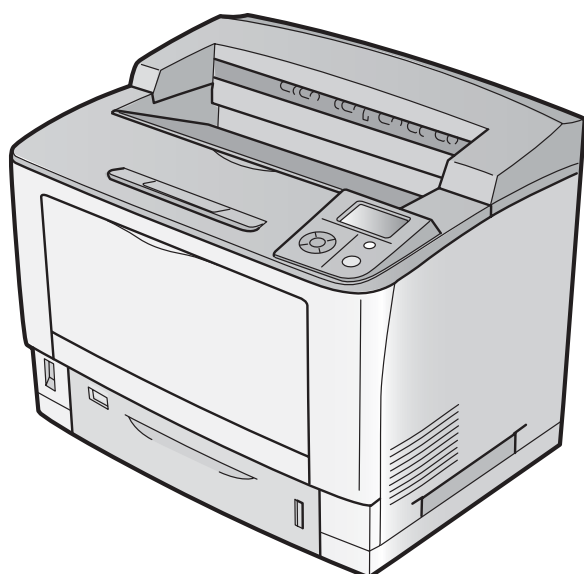
LP-S4200シリーズ LP-S3500シリーズ

取扱説明書 1
操作編

本書は製品の近くに置いて、ご活用ください。

セットアップ

ご使用の前に

セットアップ

オプションの取り付け方や本機を使用可能にするための準備作業を説明しています。

基本操作

印刷

普通紙（A4 サイズ）やハガキなどの特殊紙への印刷手順などを記載しています。

操作パネルの使い方

メンテナンス

トナーカートリッジの交換など、本機のメンテナンスに関する記載をしています。

困ったときは

トラブルの自己診断

用紙が詰まった

その他のトラブル

操作パネルとヘルプの見方

操作パネルに表示されるメッセージや、ヘルプの見方を説明しています。

電子マニュアルの見方

マークの意味

 この表示を無視して誤った取り扱いをすると、プリンタ本体が損傷したり、プリンタ本体、プリンタドライバやユーティリティが正常に動作しなくなる場合があります。この表示は、本製品をお使いいただく上で必ずお守りいただきたい内容を示しています。

参考 補足説明や参考情報を記載しています。

☞ 関連した内容の参照ページを示しています。

イラスト

本書のイラストは、特に指定がない限り LP-S4200 のイラストを使用しています。

掲載画面

- 本書の画面は実際の画面と多少異なる場合があります。また、OS の違いや使用環境によっても異なる画面となる場合がありますので、ご注意ください。
- 本書に掲載する Windows の画面は、特に指定がない限り Windows XP の画面を使用しています。
- 本書に掲載する Mac OS X の画面は、特に指定がない限り Mac OS X v10.5.x の画面を使用しています。

ハガキの表記

郵便事業株式会社製のハガキを郵便ハガキ、往復郵便ハガキ、4 面連刷ハガキと記載しています。

Windows の表記

Microsoft® Windows® 2000 Operating System 日本語版
Microsoft® Windows® XP Operating System 日本語版
Microsoft® Windows Server® 2003 Operating System 日本語版
Microsoft® Windows Server® 2008 Operating System 日本語版
Microsoft® Windows Vista® Operating System 日本語版

本書では、各オペレーティングシステムをそれぞれ Windows 2000、Windows XP、Windows Server 2003、Windows Server 2008、Windows Vista と表記しています。また、これらを総称名として「Windows」を使用しています。

Mac OS の表記

Mac OS X v10.3.9 ～ v10.5.x
本書では、各オペレーティングシステムを「Mac OS X」と表記しています。

商標

EPSON、EXCEED YOUR VISION、EPSON ESC/Page および ESC/P はセイコーエプソン株式会社の登録商標です。
EPSON ステータスモニタはセイコーエプソン株式会社の商標です。
Mac OS、AppleTalk、Bonjour および TureType は米国およびその他の国で登録された Apple Inc. の商標です。
Microsoft、Windows、Windows Server、Windows Vista は、米国 Microsoft Corporation の米国およびその他の国における登録商標です。
Adobe、Adobe Reader は Adobe Systems Incorporated（アドビシステムズ社）の商標です。
CompactFlash（コンパクトフラッシュ）は、米国 SanDisk 社の米国およびその他の国における登録商標です。
その他の製品名は各社の商標または登録商標です。

本製品の不具合に起因する付随的損害について

万一、本製品（添付のソフトウェア等も含みます）の不具合によって所期の結果が得られなかったとしても、そのことから生じた付随的な損害（本製品を使用するために要した諸費用、および本製品を使用することにより得られたであろう利益の損失等）は、補償致しかねます。

本製品の使用限定について

本製品を航空機・列車・船舶・自動車などの運行に直接関わる装置・防災防犯装置・各種安全装置など機能・精度などにおいて高い信頼性・安全性が必要とされる用途に使用される場合は、これらのシステム全体の信頼性および安全維持のためにフェールセーフ設計や冗長設計の措置を講じるなど、システム全体の安全設計にご配慮いただいた上で当社製品をご使用いただくようお願いいたします。本製品は、航空宇宙機器、幹線通信機器、原子力制御機器、医療機器など、極めて高い信頼性・安全性が必要とされる用途への使用を意図しておりませんので、これらの用途には本製品の適合性をお客様において十分ご確認のうえ、ご判断ください。

本製品を日本国外へ持ち出す場合の注意

本製品（ソフトウェアを含む）は日本国内仕様のため、本製品の修理・保守サービスおよび技術サポートなどの対応は、日本国外ではお受けできませんのでご了承ください。また、日本国外ではその国の法律または規制により、本製品を使用できないことがあります。このような国では、本製品を運用した結果罰せられることがありますが、当社といたしましては一切責任を負いかねますのでご了承ください。

著作権について

写真・書籍・地図・図面・絵画・版画・音楽・映画・プログラムなどの著作権物は、個人（家庭内その他これに準ずる限られた範囲内）で使用するために複製する以外は著作権者の承認が必要です。

プリンタの廃棄について

一般家庭でお使いの場合は、必ず法令や地域の条例、自治体の指示に従って廃棄してください。事業所など業務でお使いの場合は、産業廃棄物処理業者に廃棄物処理を委託するなど、法令に従って廃棄してください。

ご注意

- 本書の内容の一部または全部を無断転載することを禁止します。
- 本書の内容は将来予告なしに変更することがあります。
- 本書の内容にご不明な点や誤り、記載漏れなど、お気付きの点がありましたら弊社までご連絡ください。
- 運用した結果の影響については前項に関わらず責任を負いかねますのでご了承ください。
- 本製品が、本書の記載に従わずに取り扱われたり、不適当に使用されたり、弊社および弊社指定以外の、第三者によって修理や変更されたことなどに起因して生じた障害等の責任は負いかねますのでご了承ください。
- 弊社純正品以外および弊社品質認定品以外の、オプションまたは消耗品を装着し、それが原因でトラブルが発生した場合は、保証期間内であっても責任は負いかねますのでご了承ください。ただし、この場合の修理などは有償で行います。

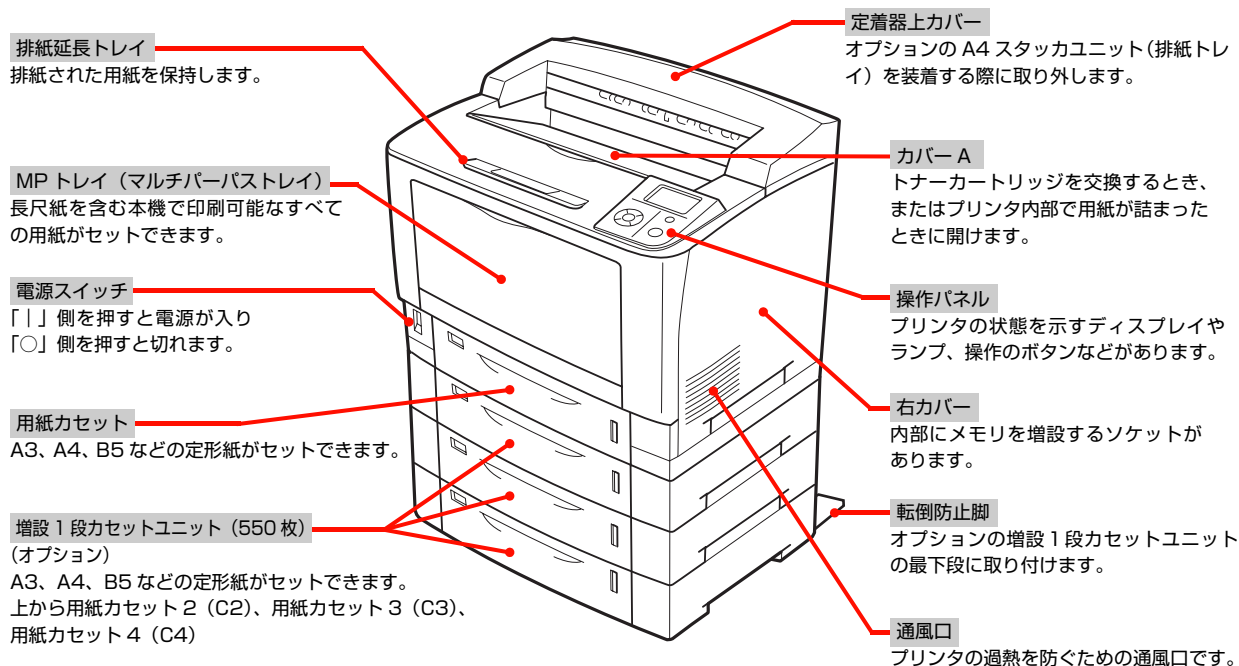
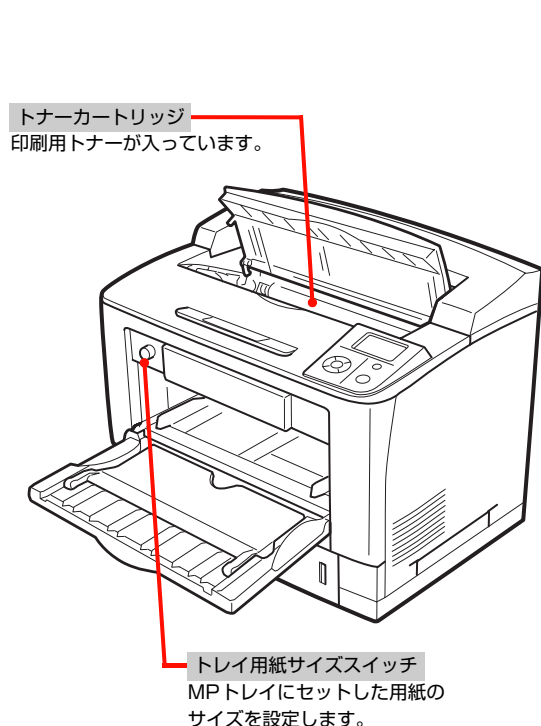
もくじ

1 ご使用の前に

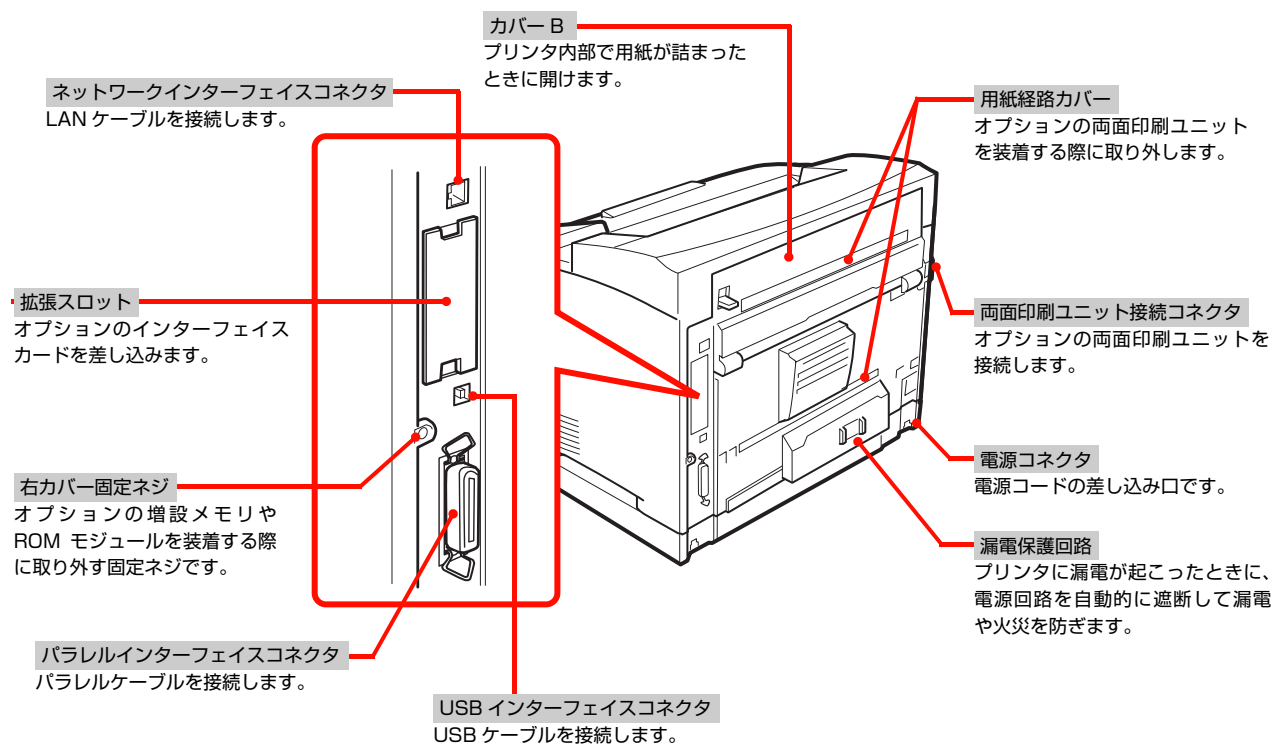
本機の各部の名称、特長、安全にお使いいただくためのご注意を記載しています。

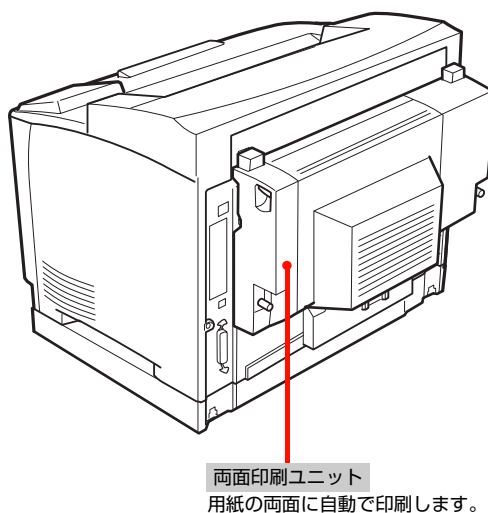
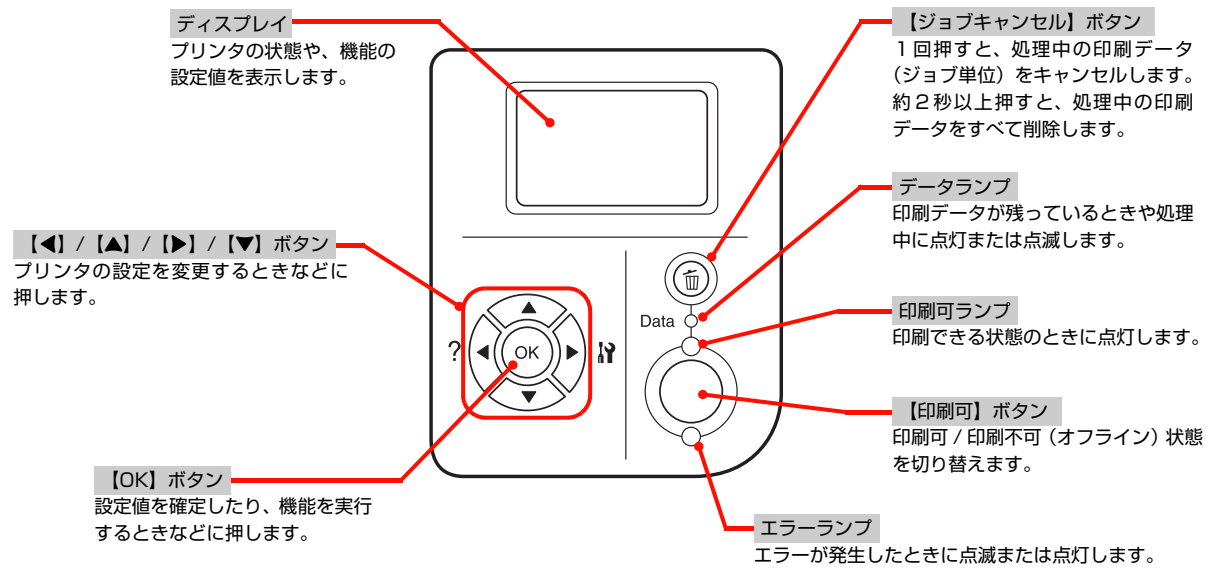
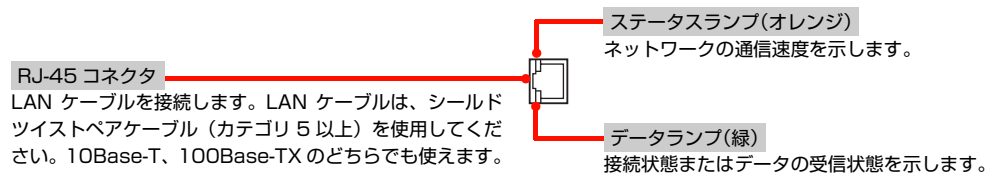
各部の名称

前面 / 右側面 / 上部

オプションの増設 1 段カセットユニット（3 段）取り付け時

カバー A、MP トレイを開けた状態

オプションの A4 スタッカユニット（排紙トレイ）装着時

背面

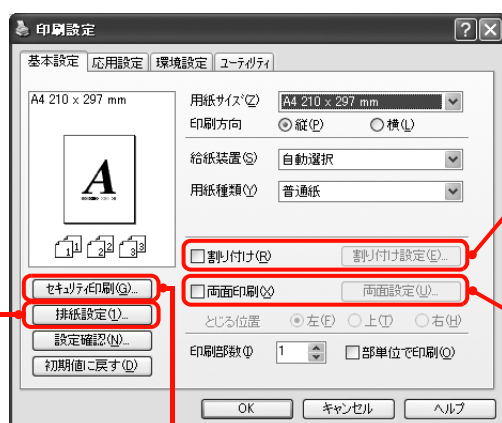
LP-S3500

LP-S4200

両面印刷ユニット以外の名称はLP-S3500と同じです。

操作パネル

ネットワークインターフェイス

データランプ（緑）	ステータスランプ（オレンジ）	状態
点灯	点灯	100Base-TXで接続されている状態
点滅	点灯	100Base-TXでデータ受信中
点灯	消灯	10Base-Tで接続されている状態
点滅	消灯	10Base-Tでデータ受信中

本機の特長

便利な印刷機能

プリンタドライバで、さまざまな便利な設定ができます（画面は Windows の例）。

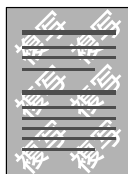
[基本設定] 画面

割り付け印刷

２ページまたは４ページを１ページに割り付け

割り付け印刷 ＋ 両面印刷

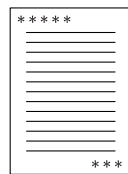
両面印刷

製本印刷

透かし印刷

不正コピーの抑制などに役立ちます。

スタンプマーク

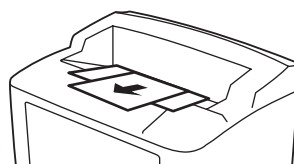
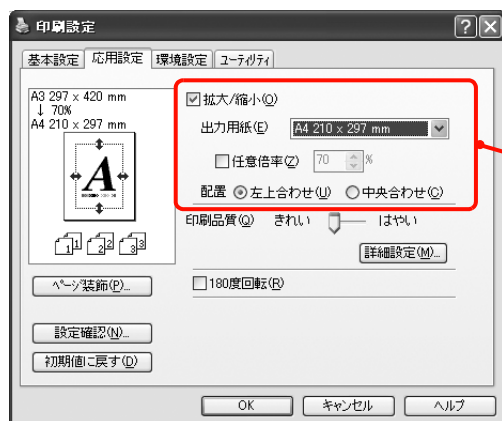
テキストやビットマップのオリジナルのマークも登録できます。

ヘッダー / フッター

ユーザー名、日付、時刻、部番号などが設定できます。

パスワード

プリンタドライバでパスワードを設定し、プリンタの操作パネルで設定したパスワードを入力すると印刷されます。

A4 用紙を 1 部ずつ縦横交互に排紙する

複数部印刷するときに、印刷した A4 用紙を 1 部ずつ縦横交互に排紙できます。

[応用設定] 画面

詳細は以下を参照してください。

☞『ソフトウェア編』（電子マニュアル）－「便利な印刷機能」

充実の印刷機能

以下のような便利な機能が搭載されています。
☞ 本書 48 ページ「印刷できる用紙」

- ハガキから A3 までの定形紙のほか、最大 297 × 508mm までの用紙に対応
- 長尺紙のみ 297 × 900mm に対応
- 封筒やラベル紙、OHP シートなどの特殊な用紙にも対応

ワイドな操作パネル

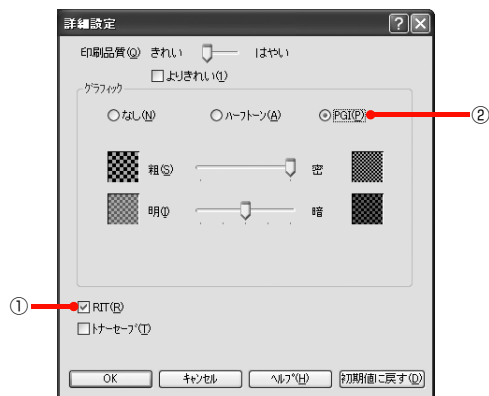
漢字やひらがなが表示できるディスプレイを搭載していますので、メッセージの確認などが容易です。消耗品を交換するときやエラーが発生したときは、イラスト入りのヘルプで対処方法の確認もできます。

省資源機能

- トナーの消費量を抑える「トナーセーブ」機能を搭載しています。印刷品質は低下しますが、用途に合わせて経済的にお使いいただけます。
  ☞ 本書 73 ページ「設定項目の一覧」
- 印刷待機時に一定時間が経過すると節電状態になる機能を搭載しています。
  ☞ 本書 73 ページ「設定項目の一覧」
- 両面印刷機能、割付印刷機能、縮小印刷機能の使用により、印刷用紙の使用枚数や用紙コストを削減できます。
  ☞ 本書 7 ページ「便利な印刷機能」

エプソン独自の高画質技術

エプソン独自の技術により、高画質印刷を実現します。

Windows の例
［詳細設定］画面

①RIT（Resolution Improvement Technology）
文字の輪郭や曲線などがギザギザにならず、なめらかに印刷できます。

②PGI（Photo &Graphics Improvement）
写真などの微妙な色調やグラデーションが美しく印刷できます。

安全上のご注意

本製品を安全にお使いいただくために、製品をお使いになる前には、必ず本書および製品に添付されております取扱説明書をお読みください。本製品の取扱説明書の内容に反した取り扱いは、故障や事故の原因になります。本製品の取扱説明書は、製品の不明点をいつでも解決できるように、手元に置いてお使いください。

記号の意味

本書および製品同梱の取扱説明書では、お客様や他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために、危険を伴う操作・取り扱いについて次の記号で警告表示をしています。内容をよくご理解の上で本文をお読みください。

⚠警告

この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。

⚠注意

この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性および財産の損害の可能性が想定される内容を示しています。

記号	意味
	高温による傷害の可能性を示しています。
	してはいけない行為（禁止行為）を示しています。
	分解禁止を示しています。
	濡れた手で製品に触れることの禁止を示しています。
	特定の場所に触れることの禁止を示しています。
	製品が水に濡れることの禁止を示しています。
	必ず行っていただきたい事項（指示、行為）を示しています。
	電源プラグをコンセントから抜くことを示しています。
	アース接続して使用することを示しています。

設置上のご注意

⚠警告

本製品の通風口をふさがないでください。
通風口をふさぐと内部に熱がこもり、火災になるおそれがあります。
布などで覆ったり、風通しの悪い場所に設置しないでください。
また、取扱説明書で指示された設置スペースを確保してください。
☞ 本書 29 ページ「設置スペース」

⚠注意

不安定な場所、他の機器の振動が伝わる場所に設置・保管しないでください。
落ちたり倒れたりして、けがをするおそれがあります。

油煙やホコリの多い場所、水に濡れやすいなど湿気の多い場所に置かないでください。
感電・火災のおそれがあります。

本製品を持ち上げる際は、無理のない姿勢で作業してください。
無理な姿勢で持ち上げると、けがをするおそれがあります。

本製品は重いので、1 人で運ばないでください。
開梱や移動の際は 2 人以上で運んでください。
本製品の質量は以下を参照してください。
☞ 本書 161 ページ「プリンタの仕様」

本製品を持ち上げる際は、取扱説明書で指示された箇所に手を掛けて持ち上げてください。
他の部分を持って持ち上げると、プリンタが落下したり、下ろす際に指を挟んだりして、けがをするおそれがあります。
本製品の持ち上げ方は以下を参照してください。
☞ 本書 14 ページ「プリンタの持ち方」

本製品を移動する際は、前後左右に 10 度以上傾けないでください。
転倒などによる事故のおそれがあります。

⚠注意

本製品を、キャスター（車輪）付きの台などに載せる際は、キャスターを固定して動かないようにしてから作業を行ってください。
作業中に台などが思わぬ方向に動くと、けがをするおそれがあります。

増設カセットユニットは必ず設置可能な組み合わせで使用してください。
転倒などによる事故のおそれがあります。

本製品またはオプションに付属の転倒防止部材（転倒防止脚）は取り付け手順を確認の上、必ず取り付けてください。
転倒などによる事故のおそれがあります。

本製品の組み立て作業（セットアップなど）は、梱包材を作業場所の外に片付けてから行ってください。
滑ったり、つまずいたりして、けがをするおそれがあります。

取り扱い上のご注意

⚠警告

煙が出たり、変なにおいや音がするなど異常状態のまま使用しないでください。
感電・火災のおそれがあります。
異常が発生したときは、すぐに電源を切り、電源プラグをコンセントから抜いてから、販売店またはエプソンの修理窓口にご相談ください。

異物や水などの液体が内部に入ったときは、そのまま使用しないでください。
感電・火災のおそれがあります。
すぐに電源を切り、電源プラグをコンセントから抜いてから、販売店またはエプソンの修理窓口にご相談ください。

取扱説明書で指示されている箇所以外の分解は行わないでください。
安全装置が損傷し、レーザー光漏れ・定着器の異常加熱・高圧部での感電など事故のおそれがあります。

お客様による修理は、危険ですから絶対にしないでください。

本製品の内部や周囲で可燃性ガスのスプレーを使用しないでください。
引火による火災のおそれがあります。

各種ケーブルは、取扱説明書で指示されている以外の配線をしないでください。
発火による火災のおそれがあります。また、接続した他の機器にも損傷を与えるおそれがあります。

⚠警告

製品内部の、取扱説明書で指示されている箇所以外には触れないでください。
感電や火傷のおそれがあります。

開口部から内部に、金属類や燃えやすい物などを差し込んだり、落としたりしないでください。
感電・火災のおそれがあります。

操作パネルのディスプレイが破損したときは、中の液晶に十分注意してください。
万一以下の状態になったときは、応急処置をしてください。

- 皮膚に付着したときは、付着物を拭き取り、水で流し石けんでよく洗い流してください。
- 目に入ったときは､きれいな水で最低15 分間洗い流した後、医師の診断を受けてください。
- 飲み込んだときは､水で口の中をよく洗浄し､大量の水を飲んで吐き出した後、医師に相談してください。

⚠注意

本製品の上に乗ったり、重いものを置かないでください。
特に、子供のいる家庭ではご注意ください。倒れたり壊れたりして、けがをするおそれがあります。

各種ケーブルやオプションを取り付ける際は、取り付ける向きや手順を間違えないでください。
火災やけがのおそれがあります。
取扱説明書の指示に従って、正しく取り付けてください。

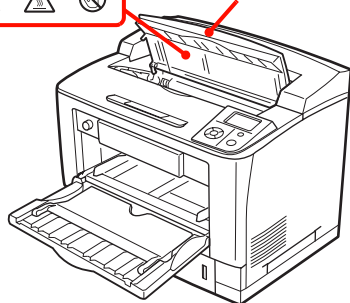
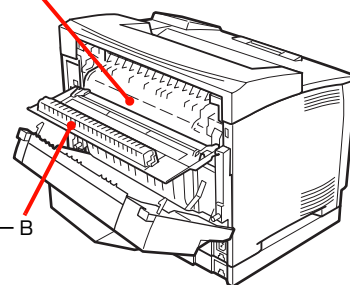
本製品を移動する際は、電源を切り、電源プラグをコンセントから抜き、すべての配線を外したことを確認してから行ってください。
コードが傷つくなどにより、感電・火災のおそれがあります。

電源投入時および印刷中は、排紙ローラ部に指を近付けないでください。
指が排紙ローラに巻き込まれ、けがをするおそれがあります。用紙は、完全に排紙されてから手に取ってください。

詰まった用紙を取り除く際は、用紙や用紙カセットを無理に引き抜かないでください。また、不安定な姿勢で作業しないでください。
急に用紙や用紙カセットが引き抜けると、勢いでけがをするおそれがあります。

本製品を保管・輸送するときは、傾けたり、立てたり、逆さまにしないでください。
トナーが漏れるおそれがあります。

⚠注意

使用中にプリンタのカバー A や カバー B を開けたときは、注意ラベルで示す定着ユニットに触れないでください。
内部は高温になっているため、火傷のおそれがあります。

下記のような条件を避けて使用してください。
本製品の排気には、人体に影響を与えるような物性は含まれておりませんが、お使いの環境条件によっては、排気臭を不快に感じることがあります。
- 製品の環境条件外での使用
- 狭い部屋での複数ページプリンタの使用
- 換気が悪い場所での使用
- 上記条件下での長時間連続稼働

紙詰まりの状態で放置しないでください。
定着ユニットが加熱し、発煙・発火による火災のおそれがあります。

紙送り圧切替レバーは勢いよく動作することがありますので、注意してください。
指を挟んだりして、けがをするおそれがあります。

電源に関するご注意

⚠警告

AC100V 以外の電源は使用しないでください。
感電・火災のおそれがあります。

電源プラグは、ホコリなどの異物が付着した状態で使用しないでください。
感電・火災のおそれがあります。

電源プラグは刃の根元まで確実に差し込んで使用してください。
感電・火災のおそれがあります。

付属の電源コード以外は使用しないでください。また、付属の電源コードを他の機器に使用しないでください。
感電・火災のおそれがあります。

破損した電源コードを使用しないでください。
感電・火災のおそれがあります。
電源コードが破損したときは、エプソンの修理窓口にご相談ください。
また、電源コードを破損させないために、以下の点を守ってください。
- 電源コードを加工しない
- 電源コードに重いものを載せない
- 無理に曲げたり、ねじったり、引っ張ったりしない
- 熱器具の近くに配線しない

濡れた手で電源プラグを抜き差ししないでください。
感電のおそれがあります。

電源コードのたこ足配線、テーブルタップやコンピュータなどの裏側にある補助電源への接続はしないでください。
発熱して火災になるおそれがあります。
家庭用電源コンセント（AC100V）から直接電源を取ってください。

電源プラグは定期的にコンセントから抜いて、刃の根元、および刃と刃の間を清掃してください。
電源プラグを長期間コンセントに差したままにしておくと、電源プラグの刃の根元にホコリが付着し、ショートして火災になるおそれがあります。

電源プラグをコンセントから抜くときは、コードを引っ張らずに、電源プラグを持って抜いてください。
コードの損傷やプラグの変形による感電・火災のおそれがあります。

本製品の電源を入れたままでコンセントから電源プラグを抜き差ししないでください。
感電・火災のおそれがあります。

⚠警告

漏電事故防止のため、接地接続（アース）を行ってください。
アース線（接地線）を取り付けない状態で使用すると、感電・火災のおそれがあります。電源コードのアースを以下のいずれかに取り付けてください。
- 電源コンセントのアース端子
- 銅片などを 65cm 以上地中に埋めたもの
- 接地工事（第 3 種）を行っている接地端子

アース線の取り付け / 取り外しは、電源プラグをコンセントから抜いた状態で行ってください。ご使用になる電源コンセントのアースを確認してください。アースが取れないときは、販売店にご相談ください。

次のような場所にアース線を接続しないでください。
- ガス管（引火や爆発の危険があります）
- 電話線用アース線および避雷針（落雷時に大量の電気が流れる可能性があるため危険です）
- 水道管や蛇口（配管の途中がプラスチックになっているとアースの役目を果たしません）

⚠注意

長期間ご使用にならないときは、安全のため電源プラグをコンセントから抜いてください。

漏電保護回路について

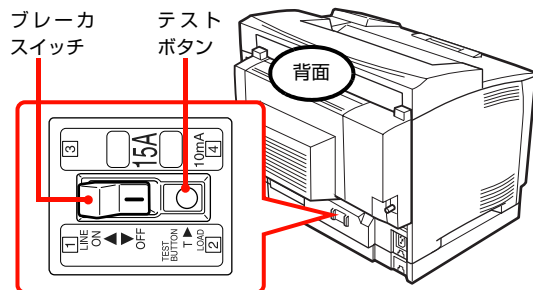
本製品の背面には漏電保護回路が付いています。プリンタに漏電が起こったときに、電気回路を自動的に遮断して漏電や火災を防ぐためのものです。

アース線を取り付けていないと機能が正常に動作しないため、ご使用の際にはアース線の接地接続が必要です。

1ヶ月に 1 度は漏電保護回路が正常に動作するか確認してください。確認方法は、以下の通りです。

①プリンタの電源を切ります。
　電源プラグはコンセントに接続した状態にしておいてください。

② 先の細い棒などで、テストボタンを押します。
　ブレーカスイッチが［OFF］の状態になれば正常です。

③ 正常に動作したら、ブレーカスイッチを［ON］に戻します。
　テストボタンが解除されます。

異常などがあるときは、お買い上げの販売店またはエプソンサービスコールセンターにご相談ください。
☞ 本書裏表紙

消耗品 / ユーザー交換部品のご注意

⚠警告

消耗品（トナーカートリッジ）、ユーザー交換可能な定期交換部品（定着ユニット）を、火の中に入れないでください。
トナーが飛び散って発火し、火傷するおそれがあります。

こぼれたトナーを電気掃除機で吸い取らないでください。
こぼれたトナーを掃除機で吸い取ると、電気接点の火花などにより、内部に吸い込まれたトナーが粉じん発火するおそれがあります。床などにこぼれてしまったトナーは、ほうきで掃除するか中性洗剤を含ませた布などでふき取ってください。

⚠注意

消耗品（トナーカートリッジ）、ユーザー交換可能な定期交換部品（定着ユニット）は、子供の手の届かない場所に保管してください。
取り扱いを誤ってけがをしたり、トナーが漏れるおそれがあります。

こぼれたトナーを吸引したり、皮膚に触れないようにしてください。
トナーは人体に無害ですが、処理時にはマスクや手袋を着用してください。

トナーが手や服などに付いてしまったり、目や口に入ってしまったときは、以下の処置をしてください。
- 皮膚に付着したときは、水や石けんでよく洗い流してください。
- 衣服に付着したときは、すぐに水で洗い流してください。
- 目に入ったときは、水でよく洗い流してください。
- 口に入ったときは、すぐに吐き出してください。吸引してしまったときは、その環境から離れ、多量の水でよくうがいをしてください。異常がある場合は、速やかに医師に相談してください。

印刷用紙の端を手でこすらないでください。
用紙の側面は薄く鋭利なため、けがをするおそれがあります。

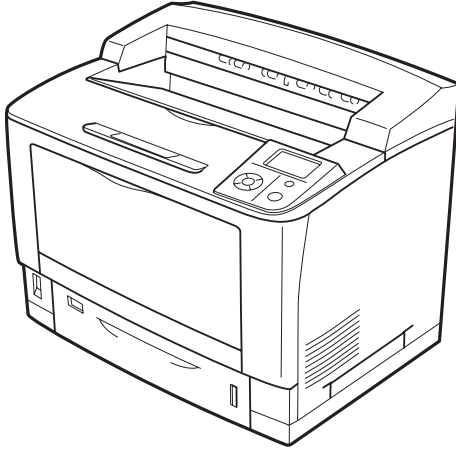
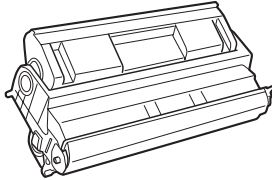
2 セットアップ

本機を使用可能にするための準備作業を説明しています。

プリンタの持ち方

必ず 2 人で持ち上げてください。前後でプリンタを持ち、下に手を掛けて運んでください。

⚠注 意

- 本製品を持ち上げる際は、無理のない姿勢で作業してください。
  無理な姿勢で持ち上げると、けがをするおそれがあります。
- 本製品は重いので、1 人で運ばないでください。
  開梱や移動の際は２人以上で運んでください。
  本製品の質量は以下を参照してください。
  ☞ 本書 161 ページ「プリンタの仕様」
- 本製品を持ち上げる際は、取扱説明書で指示された箇所に手を掛けて持ち上げてください。
  他の部分を持って持ち上げると、プリンタが落下したり、下ろす際に指を挟んだりして、けがをするおそれがあります。
- 本製品を移動する際は、前後左右に 10 度以上傾けないでください。
  転倒などによる事故のおそれがあります。
- 本製品を、キャスター（車輪）付きの台などに載せる際は、キャスターを固定して動かないようにしてから作業を行ってください。
  作業中に台などが思わぬ方向に動くと、けがをするおそれがあります。

セットアップの流れ

本機を使用可能な状態にするまでの手順を掲載しています。本書の手順に従ってセットアップを行ってください。本機の使用にあたっては、本書 9 ページに掲載されている「安全上のご注意」を必ずお読みください。

同梱物を確認します
☞16 ページ

保護材を取り外します
☞17 ページ

オプションを取り付けます（購入した場合）

- メモリ /ROM/ コンパクトフラッシュ ☞18ページ
- インターフェイスカード ☞21 ページ
- 増設 1 段カセットユニット ☞21 ページ
- 両面印刷ユニット ☞25 ページ
- A4 スタッカユニット（排紙トレイ） ☞26 ページ

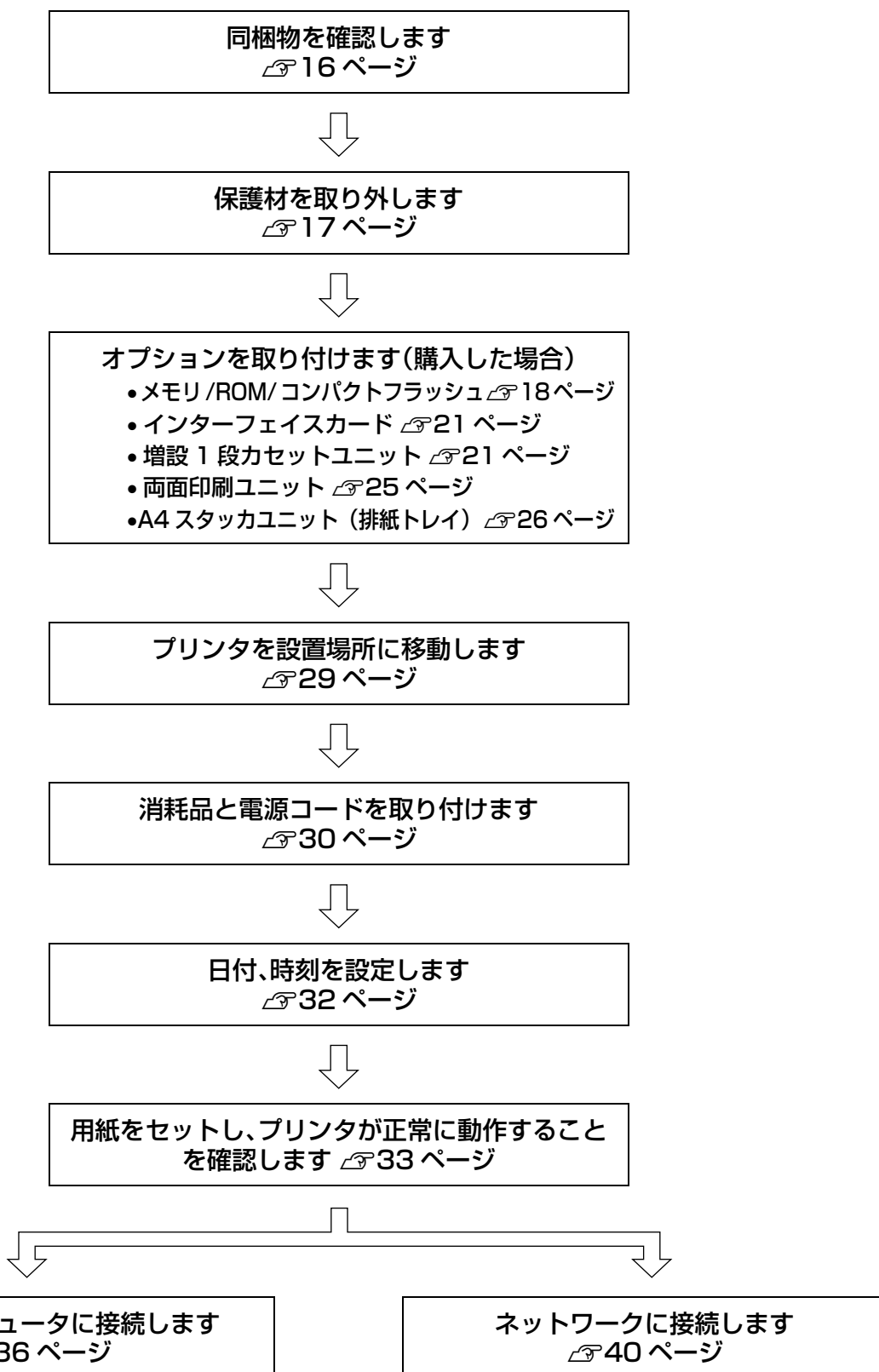
プリンタを設置場所に移動します
☞29 ページ

消耗品と電源コードを取り付けます
☞30 ページ

日付、時刻を設定します
☞32 ページ

用紙をセットし、プリンタが正常に動作することを確認します ☞33 ページ

1 台のコンピュータに接続します
☞36 ページ

ネットワークに接続します
☞40 ページ

同梱物の確認

以下のものがそろっていること、それぞれに損傷がないことを確認してください。万一、足りないものがある場合や損傷している場合は、お買い上げの販売店にご連絡ください。

取扱説明書（1 冊）	本書
ソフトウェアCD-ROM（1 枚）	以下のものが収録されています。 • プリンタソフトウェア • フォント（バーコード、TrueType） • 取扱説明書（電子マニュアル） ほか

＊上記同梱物の他に、各種ご案内や試供品が同梱されている場合がありますのでご了承ください。

取扱説明書のご紹介

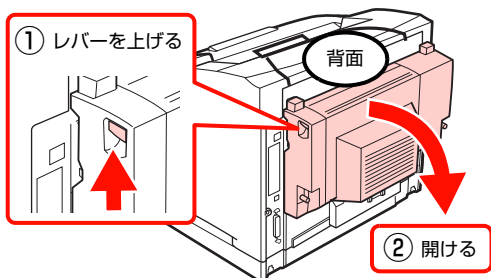
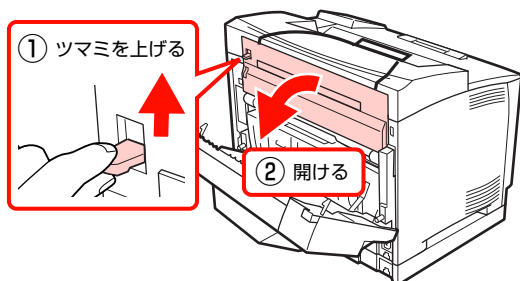
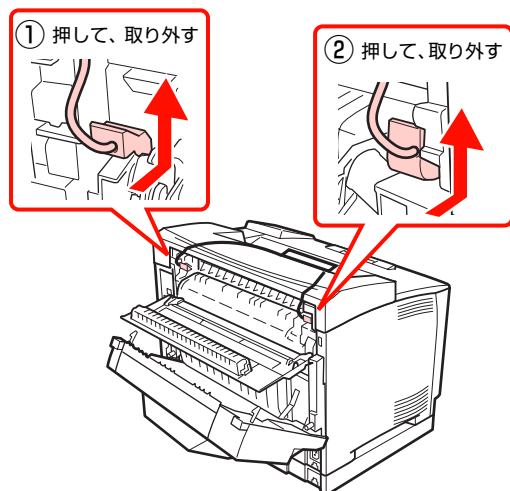
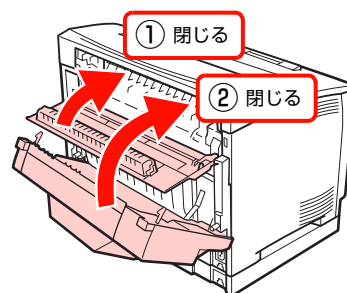
操作編（本書）	開梱してから本機を使えるようにするまでの手順、使い方の概要、トラブル対処法などを掲載しています。 また本書の PDF 版も、プリンタドライバなどのソフトウェアとともにコンピュータにインストールされます。
ソフトウェア編（電子マニュアル）	ソフトウェアの説明を掲載しています。プリンタドライバなどのソフトウェアとともにコンピュータにインストールされます。
ネットワーク編（電子マニュアル）	本機をネットワーク環境で使用するための情報を掲載しています。プリンタドライバなどのソフトウェアとともにコンピュータにインストールされます。

保護材の取り外し

本機を設置する前に、保護材を取り外してください。なお、保護材の形状や個数、貼付場所など予告なく変更されることがあります。

！重要　テープや保護材を外さないまま電源を入れると故障の原因となります。

1　**プリンタ本体に貼ってあるテープをすべてはがします。**
LP-S3500 は以上で終了です。
LP-S4200 は 2 へ進んでください。

2　**両面印刷ユニットを開きます。**

3　**カバー B を開けます。**

4　**左右の固定具を取り外します。**

5　**カバー B を閉じて、両面印刷ユニットを閉じます。**
両面印刷ユニットを装着していない場合は、カバー B のみ閉じます。

続いてオプションを取り付けます。
オプションを取り付けない場合は、本機を設置場所に移動します。
本書 29 ページ「設置」

オプションの取り付け

オプションは取り付け前に損傷のないことを確認してください。万一、足りないものがある場合や損傷している場合は、お買い上げの販売店にご連絡ください。また、オプションは最初にまとめてプリンタに取り付けてください。コインまたはプラスドライバを使用しますので、あらかじめ用意してください。

すでに本機を使用中でオプションを追加する場合は､取り付け後､プリンタドライバでオプションの設定をしてください。
本書 27 ページ「オプションをプリンタドライバで設定」

⚠警告　取扱説明書で指示されている箇所以外の分解は行わないでください。
安全装置が損傷し、レーザー光漏れ・定着器の異常加熱・高圧部での感電など事故のおそれがあります。

⚠注意
- 本製品を持ち上げる際は、無理のない姿勢で作業してください。
  無理な姿勢で持ち上げると、けがをするおそれがあります。
- 本製品は重いので、1 人で運ばないでください。
  開梱や移動の際は２人以上で運んでください。
  本製品の質量は以下を参照してください。
  本書 161 ページ「プリンタの仕様」
- 本製品を持ち上げる際は、取扱説明書で指示された箇所に手を掛けて持ち上げてください。
  他の部分を持って持ち上げると、プリンタが落下したり、下ろす際に指を挟んだりして、けがをするおそれがあります。
  本製品の持ち上げ方は以下を参照してください。
  本書 14 ページ「プリンタの持ち方」
- 本製品を移動する際は、前後左右に 10 度以上傾けないでください。
  転倒などによる事故のおそれがあります。

メモリ /ROM/ コンパクトフラッシュ

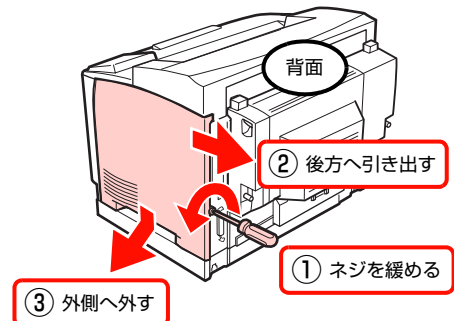
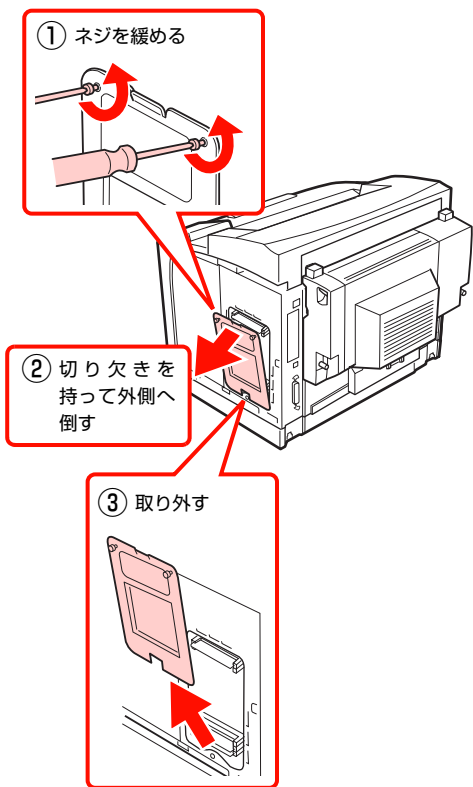
増設メモリ /ROM モジュール / コンパクトフラッシュを取り付ける手順を説明します。

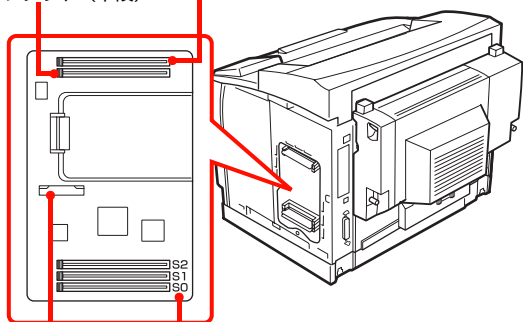
⚠警告
製品内部の、取扱説明書で指示されている箇所以外には触れないでください。
感電や火傷のおそれがあります。

!重要
- 静電気放電によって部品に損傷が生じるおそれがあります。作業の前に必ず、接地されている金属に手を触れるなどして、身体に帯電している静電気を放電してください。
- 増設メモリ/ROMモジュール/コンパクトフラッシュは慎重に取り扱ってください。必要以上に力をかけると、部品を損傷するおそれがあります。
- ROM モジュールには、フォームオーバーレイモジュールと PostScript モジュールがあります。ROM モジュールソケットは 1 箇所のみのため、同時使用ができません。付け替えてお使いください。

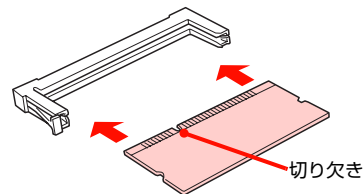
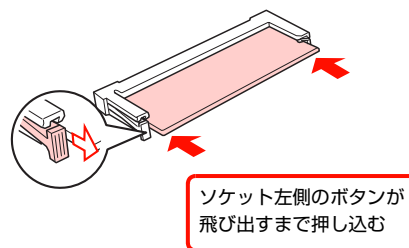
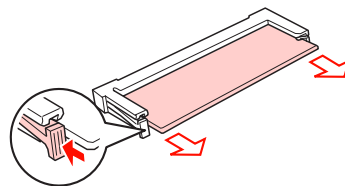
1 取り付ける部品（オプション）を用意します。

2 プリンタの電源が切れていることを確認してから、電源プラグをコンセントから抜いてください。

3 右カバーを取り外します。

4 金属板を取り外します。

5 取り付ける位置を確認します。

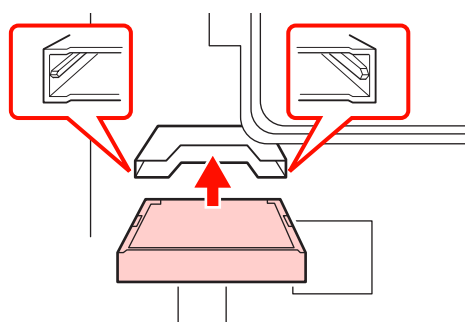
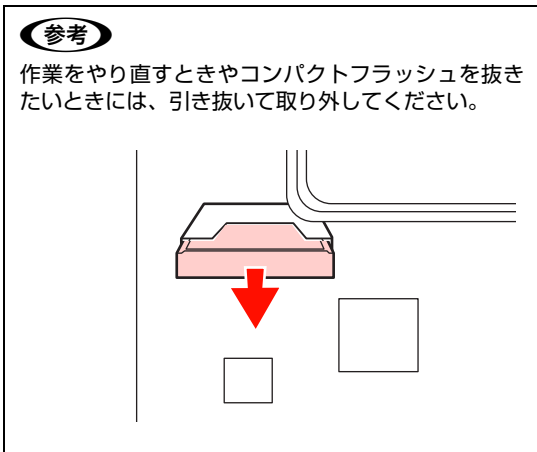
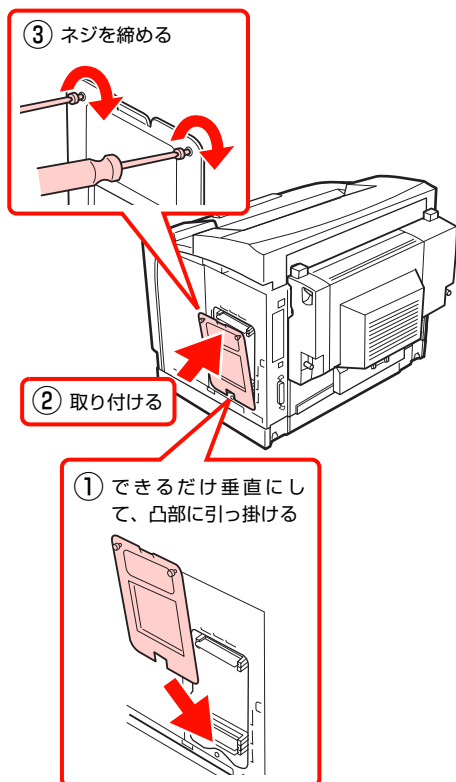
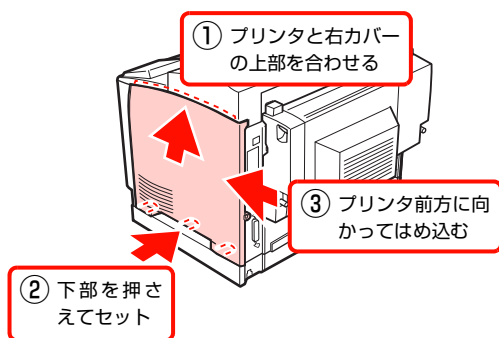
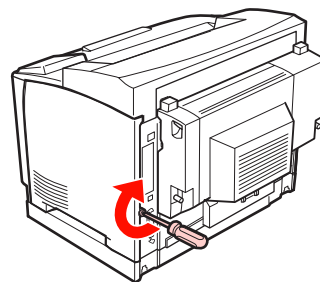
！重要
ROM モジュール用の上段ソケットに取り付けられているモジュールは取り外さないでください。本製品が動作しなくなります。

6 増設メモリ、ROM モジュール、コンパクトフラッシュを取り付けます。

増設メモリ、ROM モジュール

① 切り欠きとソケット内部を合わせます。

② 上部両端を均等に押し込みます。

参考
作業をやり直すときやメモリを抜きたいときは、ボタンを押して取り外してください。

コンパクトフラッシュ

コンパクトフラッシュの裏面を上にして、ソケット左右内側の凸部分に合うように差し込みます。

参考

作業をやり直すときやコンパクトフラッシュを抜きたいときには、引き抜いて取り外してください。

7 金属板を固定します。

8 右カバーを取り付けます。

9 右カバーを固定します。

以上で終了です。

他のオプションを取り付けない場合は、続いて本機を設置場所に移動します。

☞ 本書 29 ページ「設置」

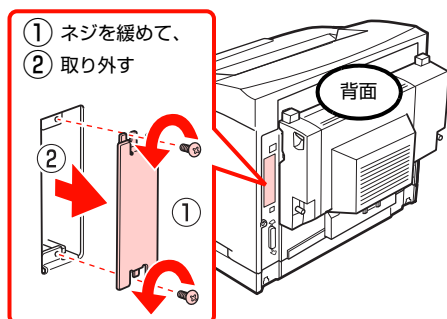
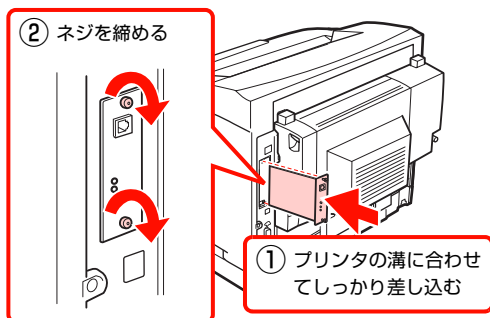
インターフェイスカード

インターフェイスカードを取り付ける手順を説明します。

！重要

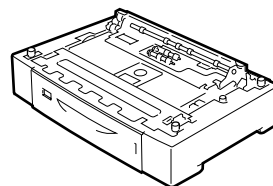
静電気放電によって部品に損傷が生じるおそれがあります。作業の前に必ず接地されている金属に手を触れるなどして、身体に帯電している静電気を放電してください。

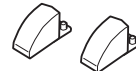
1 **プリンタの電源が切れていることを確認してから、電源プラグをコンセントから抜いてください。**

2 **コネクタカバーを取り外します。**
取り外したコネクタカバーとネジは、インターフェイスを取り外した際に必要となりますので、大切に保管してください。

3 **インターフェイスカードをセットして、ネジで固定します。**

以上で終了です。

- ネットワークの設定（IP アドレスの設定など）については、以下を参照してください。
  本書 89 ページ「IP アドレスの設定」
- 他のオプションを取り付けない場合は、続いて本機を設置場所に移動します。
  本書 29 ページ「設置」

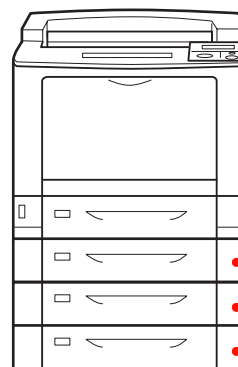
増設 1 段カセットユニット

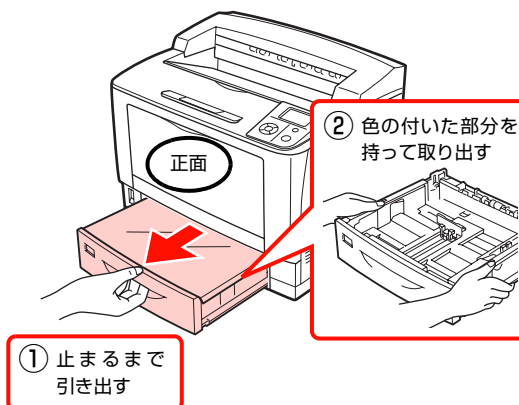
増設 1 段カセットユニット（550 枚）
LPA3Z1CU3

固定フック 4 個

転倒防止脚 2 個

⚠注意

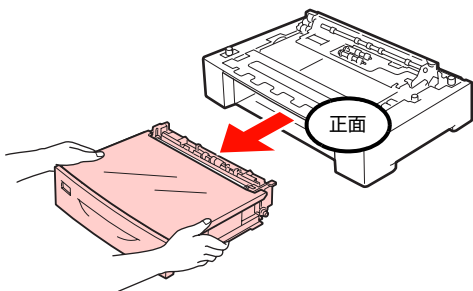
- 本製品を、キャスター（車輪）付きの台などに載せる際は、キャスターを固定して動かないようにしてから作業を行ってください。
  作業中に台などが思わぬ方向に動くと、けがをするおそれがあります。
- 増設1段カセットユニットは必ず設置可能な組み合わせで使用してください。転倒などによる事故のおそれがあります。

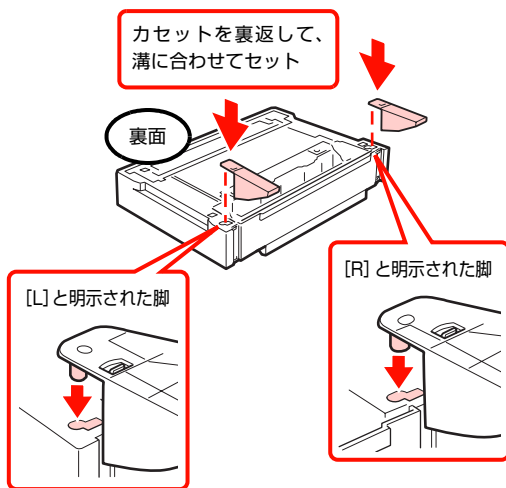
増設 1 段カセットユニットの組み合わせ図

以下の組み合わせで取り付けてください。

1 **プリンタの電源が切れていることを確認してから、電源プラグをコンセントから抜いてください。**

2 **標準の用紙カセットを取り外します。**

3

増設するカセットユニットを水平な場所に置き、用紙カセットを取り外します。

カセット内部の保護材は取り外してください。

4

増設1段カセットユニットを裏返して、左右2箇所に転倒防止脚を取り付けます。

⚠注意

- 増設1段カセットユニットを裏返す際は、平らな面に静かに置いてください。
- 転倒防止脚（2個）は、必ず最下段のカセットユニットに取り付けてください。固定していないと転倒などによる事故のおそれがあります。

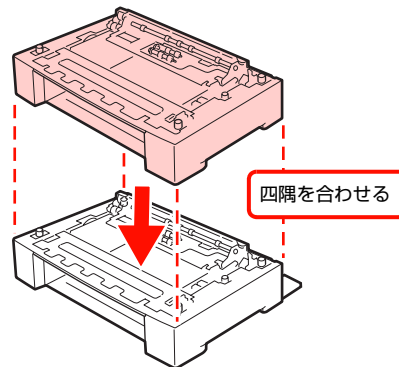
5

プリンタ台を取り付ける場合は、あらかじめ増設1段カセットユニットの最下段に取り付けておきます。

取り付け手順は専用プリンタ台の取扱説明書を参照してください。

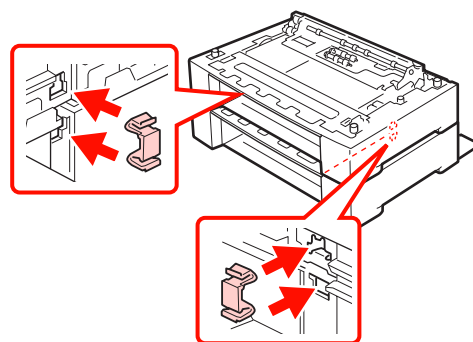
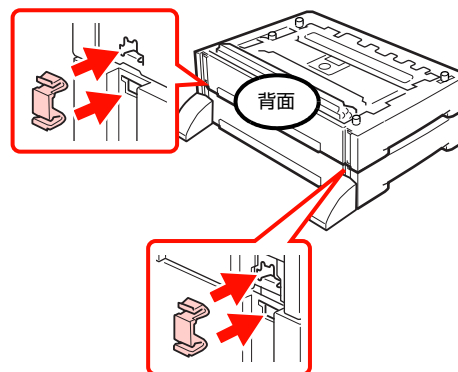
6

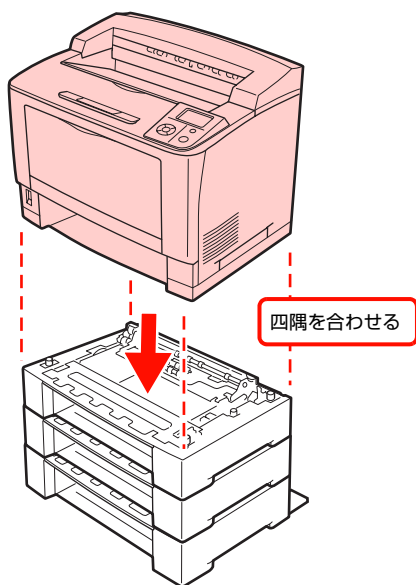
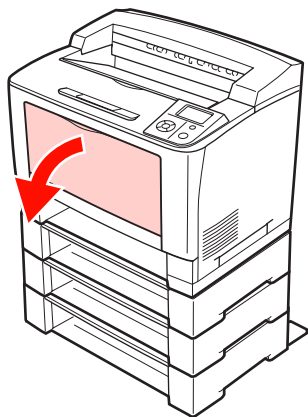
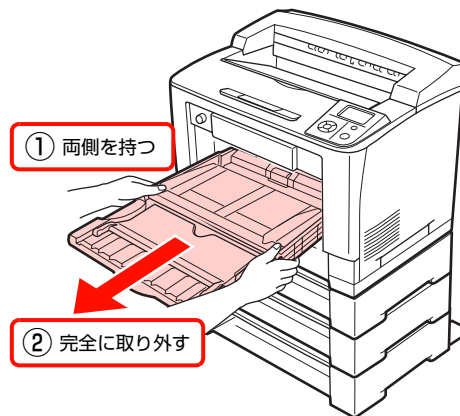
2段増設するときは、あらかじめ1段目と2段目を取り付けます。

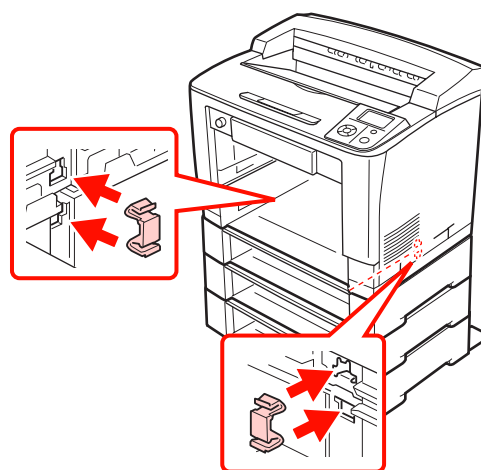
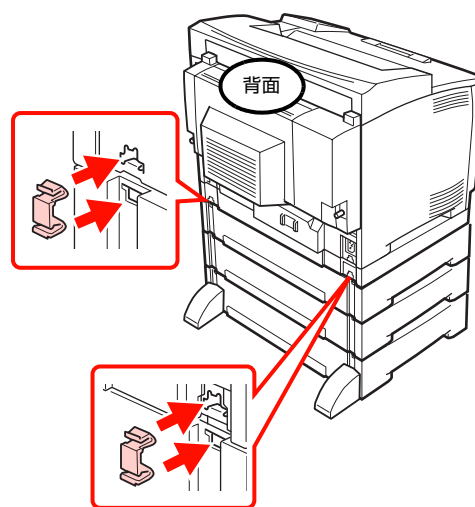
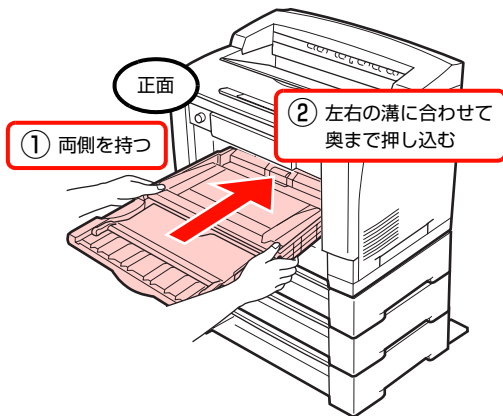
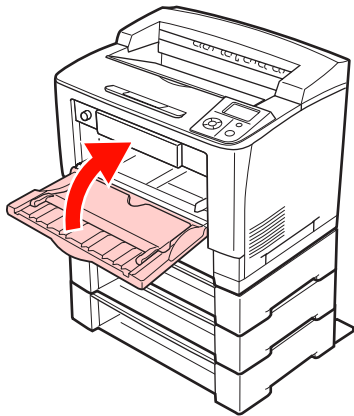
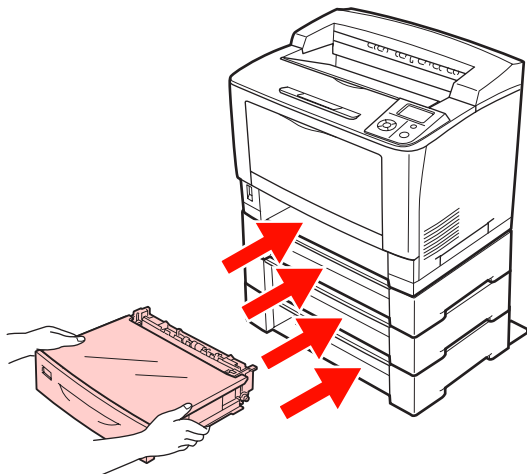
転倒防止脚を取り付けた増設1段カセットユニットを下段にして、1段目と2段目の四隅を合わせて重ねます。

3段増設するときも同様に、転倒防止脚を取り付けた増設1段カセットユニットを下段にして、2段目と3段目の四隅を合わせて重ねます。

7

同梱の固定フック（4個）で、増設1段カセットユニットを固定します。

カセット内部

カセット背面

8 本機の前後を 2 人で持ち上げ､水平に保ちます。

9 増設 1 段カセットユニットの上にプリンタを置きます。

10 MP トレイを開けます。

11 MP トレイを取り外します。

12 同梱の固定フック（4 個）で、プリンタと増設 1 段カセットユニットを固定します。

プリンタ内部

プリンタ背面

13 MP トレイをセットします。

14 MP トレイを閉じます。

15 取り外した用紙カセットをセットします。

以上で終了です。

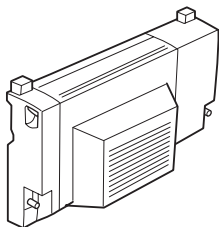
増設 1 段カセットユニットを装着した後、新たに増設する場合は、転倒防止脚を取り外してから、新しい増設 1 段カセットユニットが最下段になるようにセットしてください。取り外しの手順は以下を参照してください。

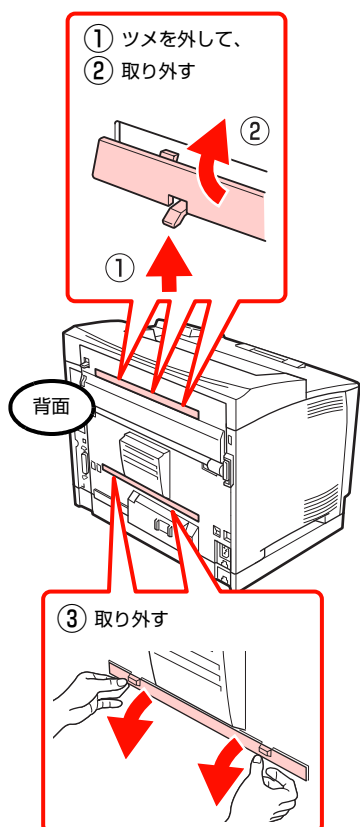
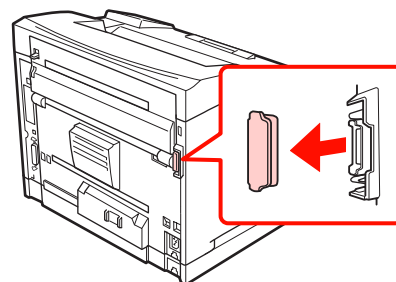
本書 111 ページ「増設 1 段カセットユニットの取り外し」

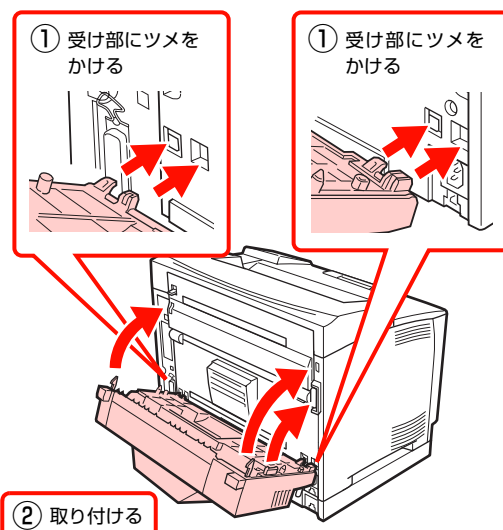
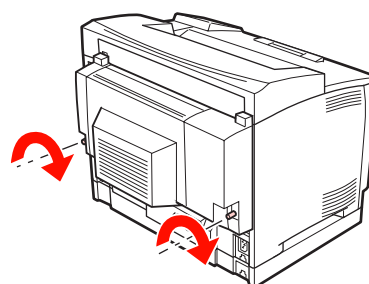
他のオプションを取り付けない場合は、続いて本機を設置場所に移動します。

本書 29 ページ「設置」

両面印刷ユニット

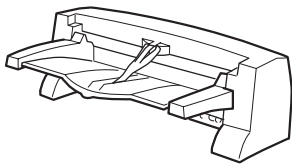
LP-S3500に両面印刷ユニットを取り付ける手順を説明します（LP-S4200 は標準装着）。

1 **プリンタの電源が切れていることを確認してから、電源プラグをコンセントから抜いてください。**

2 **カバーB上側および本体下側にある用紙経路カバーを取り外します。**

3 **コネクタカバーを取り外します。**

> **！重要**
> 取り外した用紙経路カバーと、コネクタカバーは再輸送時に使用しますので、大切に保管してください。

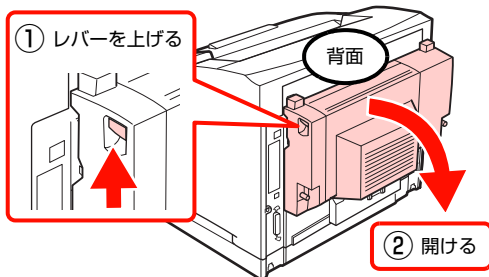
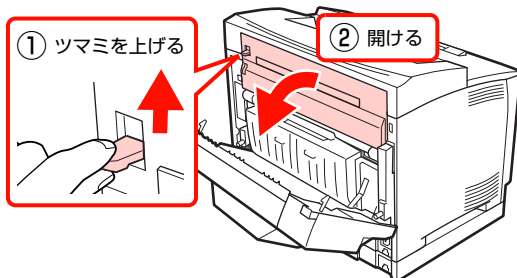
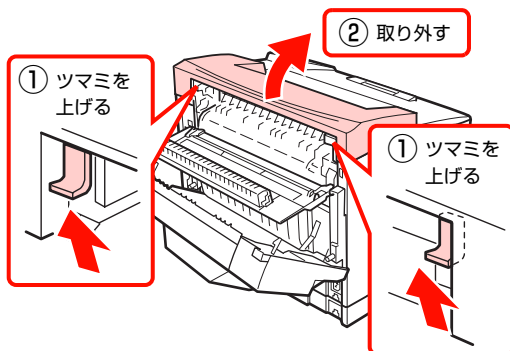
4 **両面印刷ユニットを取り付けます。**

5 **両面印刷ユニットをネジで固定します。**

以上で終了です。

他のオプションを取り付けない場合は、続いて本機を設置場所に移動します。

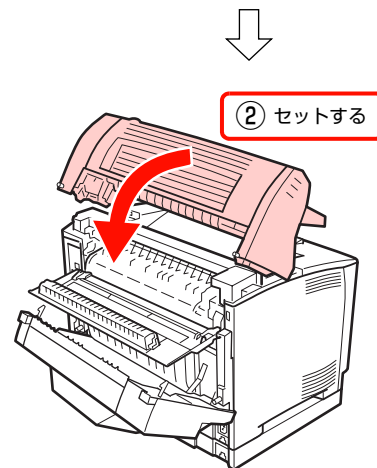
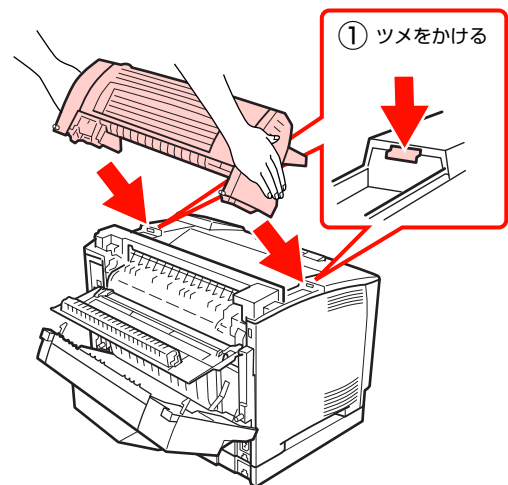
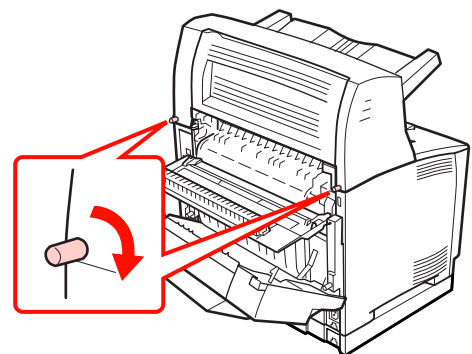
☞ 本書 29 ページ「設置」

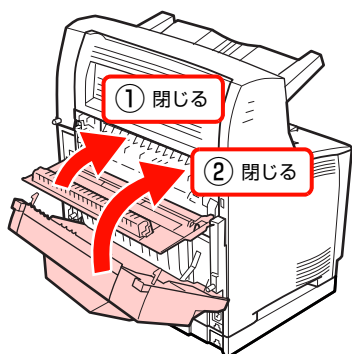
A4 スタッカユニット（排紙トレイ）

1 **プリンタの電源が切れていることを確認してから、電源プラグをコンセントから抜いてください。**

両面印刷ユニットを装着していない場合は、3 に進んでください。

2 **両面印刷ユニットを開けます。**

3 **カバー B を開けます。**

4 **定着器上カバーを取り外します。**

!重要

取り外した定着器上カバーは再輸送時に使用しますので、大切に保管してください。

5 **A4 スタッカユニット（排紙トレイ）をセットします。**

6 **ネジ（2 個）で固定します。**

7 カバー B と両面印刷ユニットを閉じます。

両面印刷ユニットを装着していない場合は、カバー B のみ閉じます。

以上で終了です。

オプションをプリンタドライバで設定

初めて本機をセットアップするときは(プリンタドライバをインストールしていない場合)、この項目を読まずに、以下のページに進んでください。

☞ 本書 29 ページ「設置」

すでに本機を使用中で、オプションを追加したときは、以下の作業を行ってください。

取り付けたオプションを使用するには、プリンタドライバの設定が必要です。

Windows の場合

- EPSON ステータスモニタをインストールしている場合は、プリンタの電源を入れ、プリンタのプロパティ画面を開いてください。プロパティ画面を開くと自動的に認識されます。
- EPSON ステータスモニタをインストールしていない場合は、プリンタドライバでオプション情報を設定する必要があります。以下の手順で設定してください。

1 Windows の［スタート］メニューから［プリンタと FAX］/［プリンタ］を開きます。

Windows Vista/Windows Server 2008：

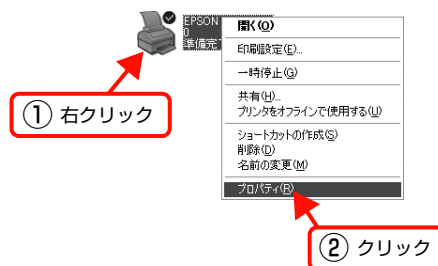
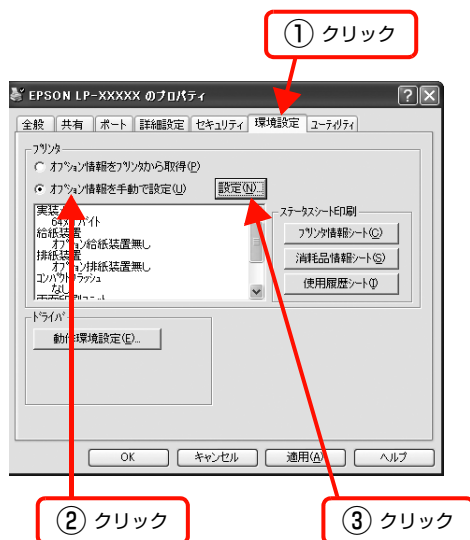
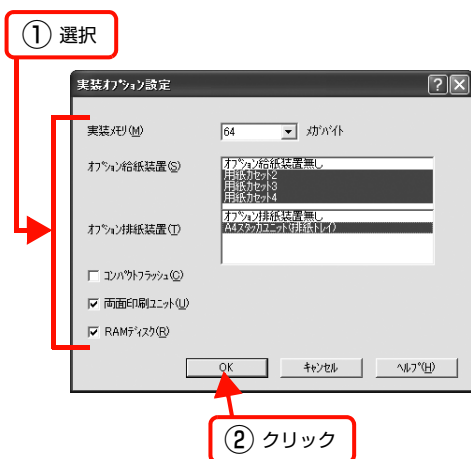
［スタート］―［コントロールパネル］―［プリンタ］の順にクリックします。

Windows XP/Windows Server 2003：

［スタート］―［プリンタと FAX］をクリックします。

Windows 2000：

［スタート］―［設定］―［プリンタ］をクリックします。

2 本機のアイコンを右クリックして、［プロパティ］をクリックします。

3 ［環境設定］画面で［オプション情報を手動で設定］をクリックし、［設定］をクリックします。

4 取り付けたオプションを選択して［OK］をクリックします。

以上で終了です。

Mac OS X の場合

［プリンタ設定ユーティリティ］または［プリントとファクス］で本機を追加し直してください。

設置

本機の設置に適した場所と設置方法を説明します。内容を確認して、正しく設置してください。

設置場所

次のような場所に設置してください。

- 本機の質量に十分耐えられる、水平で安定した場所
  ☞ 本書 161 ページ「プリンタ外形寸法 / 質量」
- プリンタ底面の脚が確実に載る、プリンタの底面よりも広い場所
- 風通しの良い場所
- プリンタの通風口をふさがない場所
- 専用の電源コンセントが確保できる場所
- 用紙のセットや印刷した用紙の取り出しが無理なく行える場所
- 以下の環境条件を満たす場所
  ☞ 本書 162 ページ「環境条件」

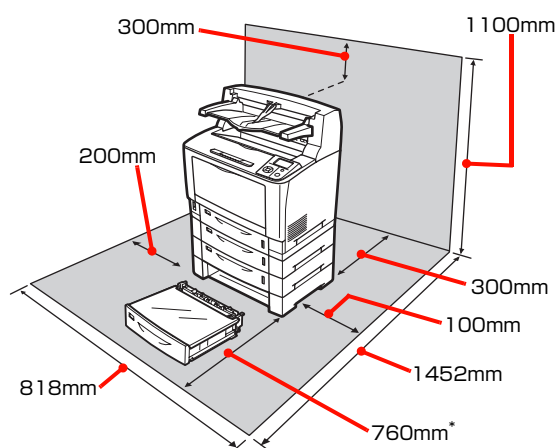
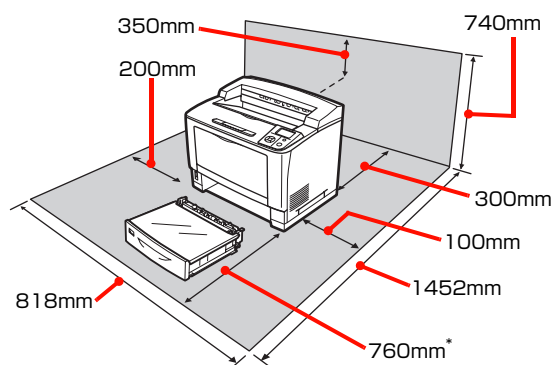
！重要

- 以下のような場所には設置しないでください。動作不良や故障の原因となります。

直射日光の当たる場所	ホコリや塵の多い場所
温度変化の激しい場所	湿度変化の激しい場所
火気のある場所	水に濡れやすい場所
揮発性物質のある場所	冷暖房器具に近い場所
震動のある場所	加湿器に近い場所
テレビ・ラジオに近い場所	

- プリンタ本体より広く平らな場所に設置してください。プリンタの底面より小さい台の上に設置すると、プリンタ底面のゴム製の脚が台からはみ出てしまうため、内部機構に無理な力がかかり、印刷や紙送りに悪影響を及ぼします。

設置スペース

消耗品の交換や普段のお手入れに支障のないよう、以下のスペースを確保して設置してください。

＊ 長尺紙を使用する場合は、用紙を手で支える必要があるため、十分なスペースを確保してください。

静電気の発生しやすい場所では、市販の静電防止マットなどを使用して静電気の発生を防いでください。

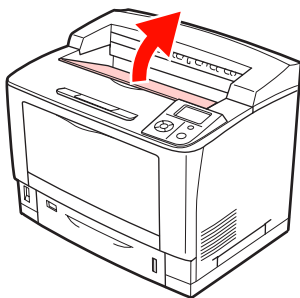
続いて消耗品をセットします。

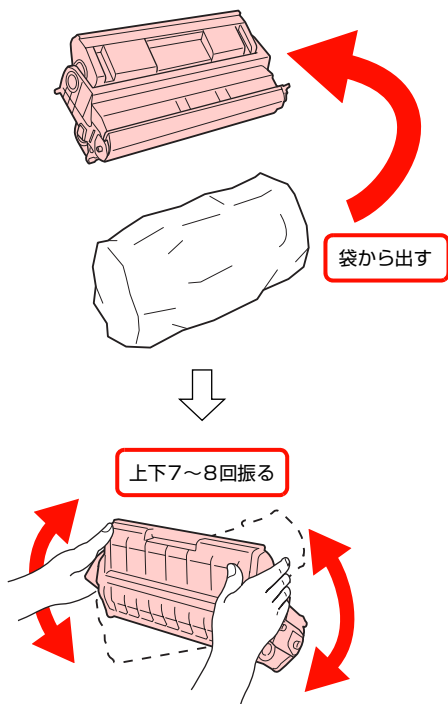
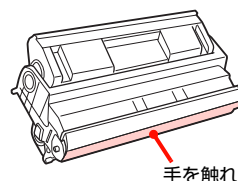
☞ 本書 30 ページ「消耗品 / 電源コードのセット」

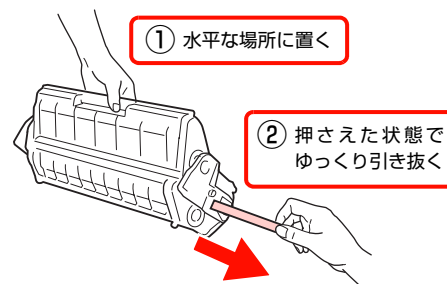
消耗品 / 電源コードのセット

消耗品（トナーカートリッジ）と電源コードを取り付ける手順を説明します。

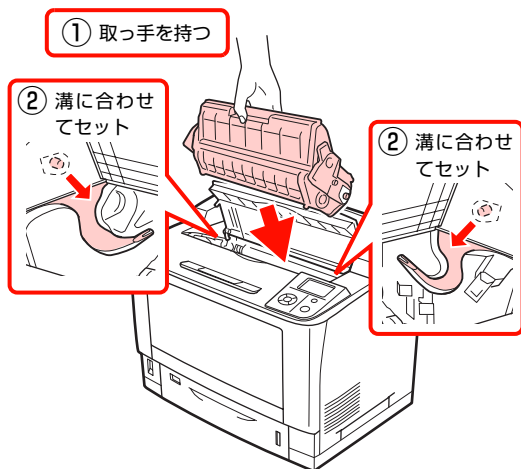
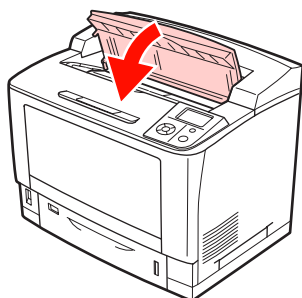
消耗品(トナーカートリッジ)

1 **カバー A を開けます。**

> **!重要**
> プリンタ内部の転写ローラやギアには手を触れないでください。故障や印刷品質劣化の原因になります。

2 **トナーカートリッジを用意します。**

> **!重要**
> 感光体（ドラム）の表面には、手を触れないでください。
>
>
>
>
> また、感光体の表面にものをぶつけたり、こすったりしないでください。感光体の表面に手の脂が付いたり、傷や汚れが付くと印刷品質が低下します。

3 **トナーシールを引き抜きます。**

> **!重要**
> - トナーシールは水平にまっすぐ引き抜いてください。斜めに引くと途中でトナーシールが切れてしまうことがあります。
> - トナーシールは引き抜くと全長約 68cm です。
> - トナーシールを引き抜いた後は、トナーカートリッジを振ったり衝撃を与えたりしないでください。

4 トナーカートリッジをセットします。

奥まで押し込み、確実にセットしてください。

5 カバー A を閉じます。

続いて、電源コードを接続します。

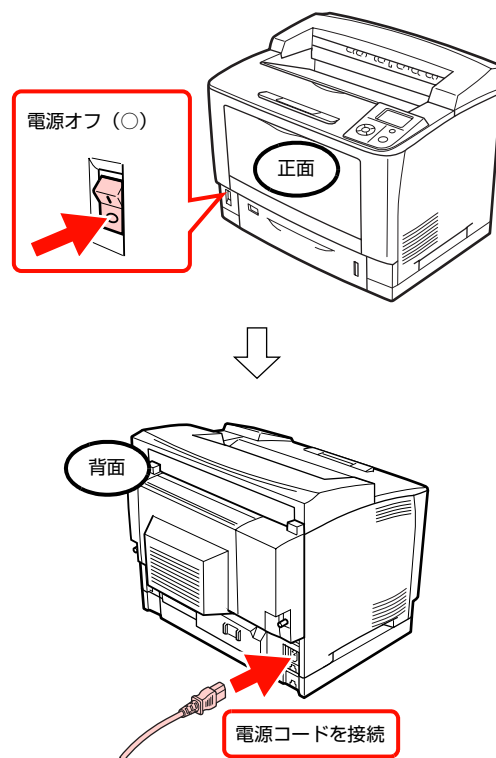
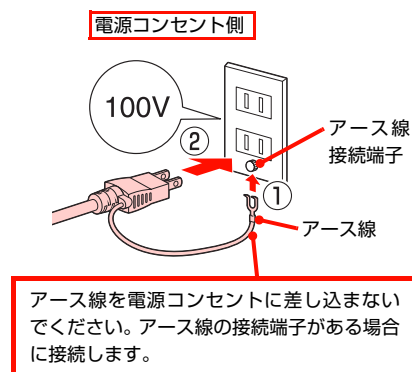
電源コード

⚠警 告

漏電事故防止のため、接地接続（アース）を行ってください。アース線（接地線）を取り付けない状態で使用すると、感電・火災のおそれがあります。電源コードのアースを以下のいずれかに取り付けてください。

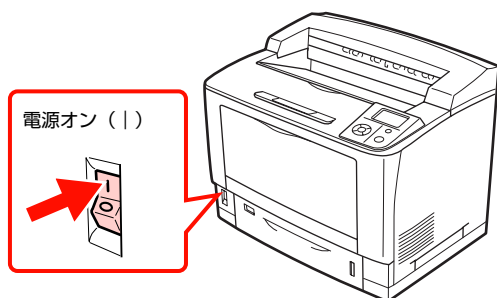
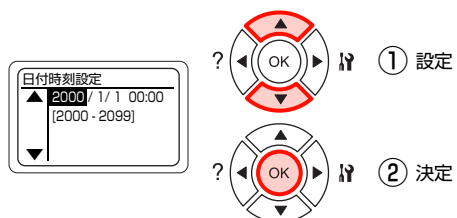
- 電源コンセントのアース端子
- 銅片などを 65cm 以上地中に埋めたもの
- 接地工事（第 3 種）を行っている接地端子

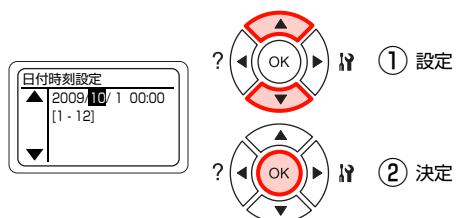
アース線の取り付け / 取り外しは、電源プラグをコンセントから抜いた状態で行ってください。ご使用になる電源コンセントのアースを確認してください。アースが取れないときは、販売店にご相談ください。

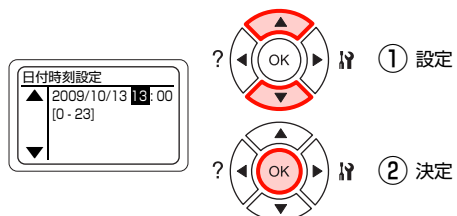
1 電源コードを接続します。

2 アース線を接続端子に接続し、電源プラグをコンセントに接続します。

続いて、プリンタの操作パネルで日付と時刻を合わせます。

日付時刻設定

初回電源投入時、操作パネルに［日付時刻設定］画面が表示されます。西暦、日付、時刻を設定してください。

1 **電源を入れます。**

2 **「西暦」を合わせます。**

3 **「月」を合わせます。**

同様に「日」を設定します。

4 **「時」を合わせます。**

同様に「分」を設定します。

続いて、プリンタの動作確認を行います。

プリンタの動作確認

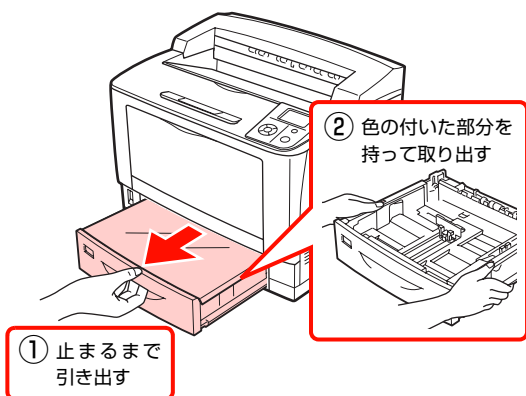
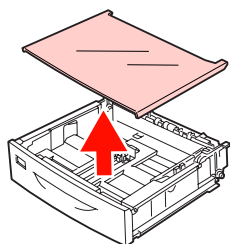
ステータスシートを印刷して、正しく印刷できるか、オプションが正しく取り付けられているかを確認します。

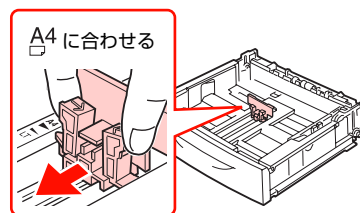
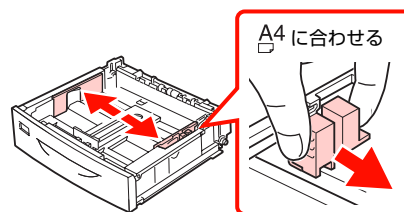
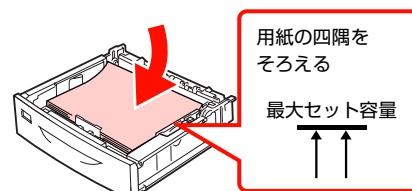
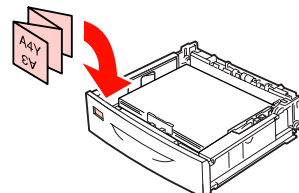
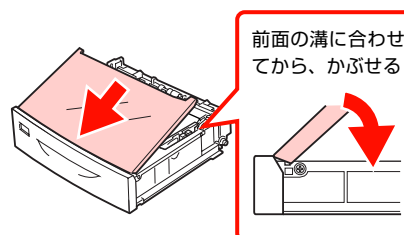
用紙のセット

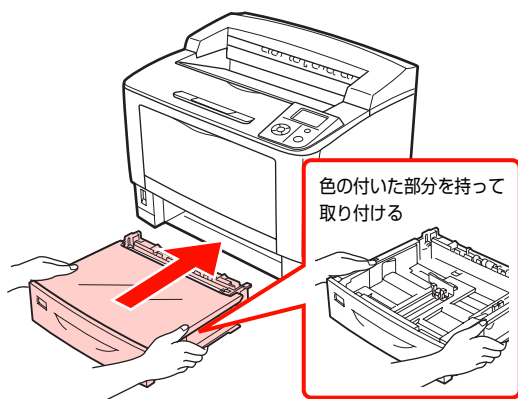
ここでは、A4 サイズの用紙を標準の用紙カセットにセットする方法を説明します。

A4 縦長や A4 サイズ以外の用紙、MP トレイ、オプションの用紙カセットへのセット方法は、以下を参照してください。

☞ 本書 50 ページ「用紙のセットと排紙」

1 **用紙カセットを取り出します。**

2 **カバーを取り外します。**

3 **用紙ガイドを移動します。**

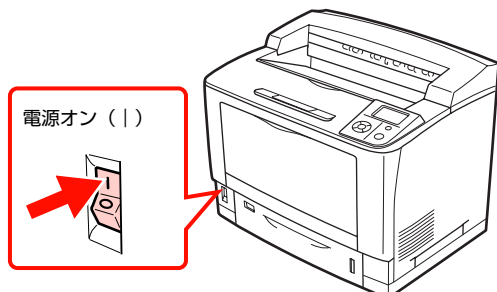
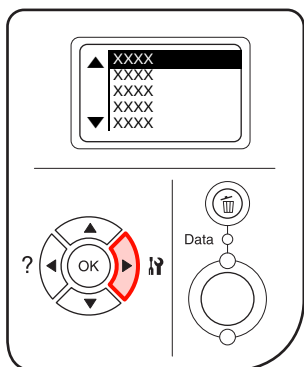
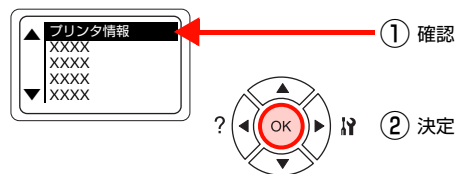
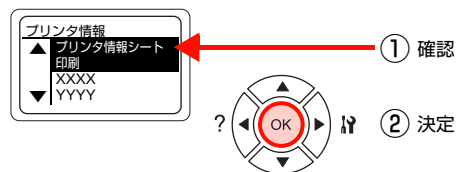
用紙ガイド(縦)

用紙ガイド(横)

4 **印刷面を上にして、用紙（A4）を横長にセットします。**

5 **用紙サイズ表示シートをセットします。**

6 **カバーを取り付けます。**

7 **用紙カセットをセットします。**

奥まで押し込み、確実にセットしてください。

続いて、プリンタが正常に動作するかを確認します。

動作確認

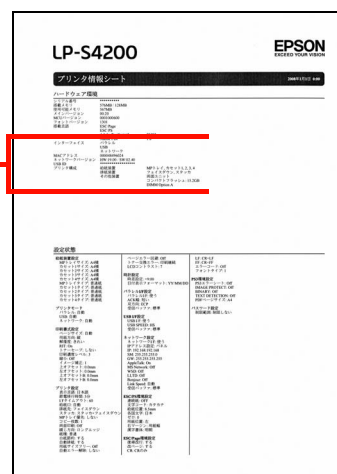
1 **プリンタの電源を入れ、操作パネルに「印刷できます」と表示されるまで待ちます。**

操作パネルに「印刷できます」または「節電中」以外のメッセージが表示されているときは、メッセージに従って対処してください。

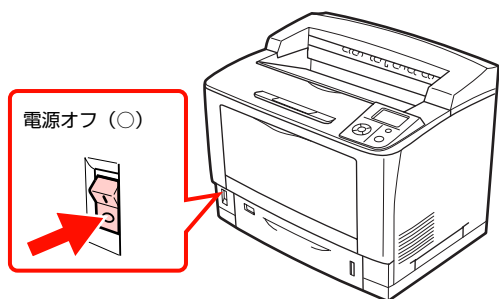
☞ 本書 147 ページ「操作パネルとヘルプの見方」

2 **操作パネルの【▶】ボタンを押して、メニューを表示します。**

3 **[プリンタ情報] が選択されていることを確認します。**

4 **[プリンタ情報シート印刷] が選択されていることを確認します。**

プリンタ情報シートが印刷されます。

印刷できないときは、以下を参照してください。

☞ 本書 45 ページ「セットアップできないときは」

プリンタ情報シートの印刷例

オプションを取り付けた場合は、
認識されているか確認します。

①ネットワークインターフェイスカード
②増設 1 段カセットユニット
③ A4 スタッカユニット（排紙トレイ）
④両面印刷ユニット
⑤コンパクトフラッシュ
⑥ ROM モジュール

5 **電源を切ります。**

続いて、コンピュータの接続と設定を行います。

コンピュータの接続と設定

プリンタとコンピュータをケーブルで接続し、プリンタドライバなどのソフトウェアのインストールと設定を行います。
本書に記載されていない OS については、エプソンのホームページでご確認ください。
http://www.epson.jp/
Windows 環境では、「EPSON ステータスモニタ」をインストールしないと取り付けたオプションが認識されません。「EPSON ステータスモニタ」は同梱のソフトウェア CD-ROM に収録されており、[おすすめインストール] を選択するとプリンタドライバとセットでインストールされます。
個別にインストールするときは、カスタムインストールを選択してください。

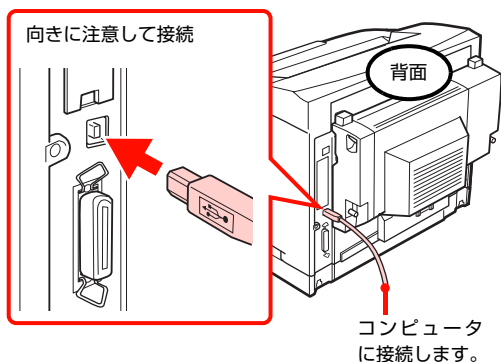
インストールが終了すると「MyEPSON」のショートカットやエイリアスがデスクトップ上に作成され、ここからユーザー登録をすることができます。

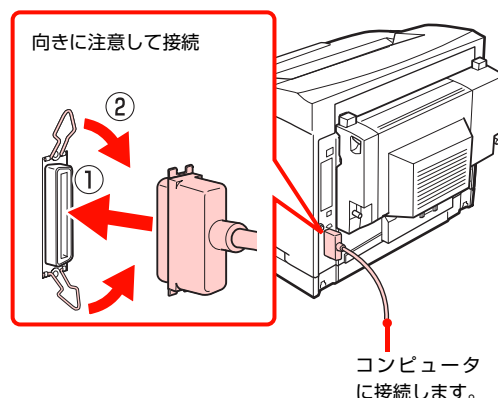
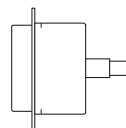
ローカル(直接)接続

USBケーブルまたはパラレルケーブルで本機とコンピュータをローカル（直接）接続します。ケーブルは本機に同梱されていませんので、以下を参照して用意してください。
本書 164 ページ「オプション / 消耗品 / 定期交換部品一覧」

1 **プリンタの電源が切れていることを確認します。**

2 **プリンタとコンピュータにケーブルを接続します。**

USB ケーブル：

！重要
USB ケーブルをネットワークインターフェイスコネクタに接続しないでください。プリンタ本体と USB ケーブル双方のコネクタが破損するおそれがあります。

パラレルケーブル（Windows のみ）：

続いて、以下のページに進んでください。

Windows：
本書 37 ページ「Windows の場合」

Mac OS X：
本書 38 ページ「Mac OS X の場合」

Windows の場合

> **！重要**
> 管理者権限のあるユーザーでログオンし、インストールしてください。

36 ページの 2 に続いて以下の作業を行ってください。

3 Windowsを起動してソフトウェアCD-ROMをセットします。

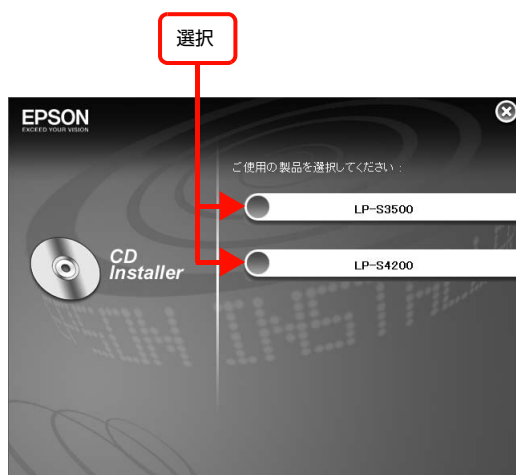
Windows Vista/Windows Server 2008:

① ［自動再生］画面の［プログラムのインストール / 実行］を、発行元が SEIKO Epson であることを確認してからクリックします。

② ［ユーザーアカウント制御］画面で［続行］をクリックします。

Windows Vista/Windows Server 2008 以外:

4 に進みます。

4 お使いの機種を選択します。

5 ［おすすめインストール］をクリックします。

6 ［ローカル（直接）接続］をクリックします。

7 画面の指示に従ってインストール作業を進めます。

最後に［完了］をクリックしてインストールを終了します。

オプションを取り付けた場合は 7 に進んでください。

8 ［スタート］メニューから［プリンタと FAX］/［プリンタ］を開きます。

Windows Vista/Windows Server 2008:

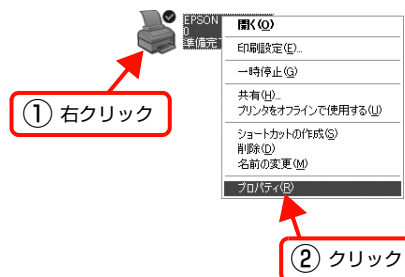
［スタート］ー［コントロールパネル］ー［プリンタ］の順にクリックします。

Windows XP/Windows Server 2003:

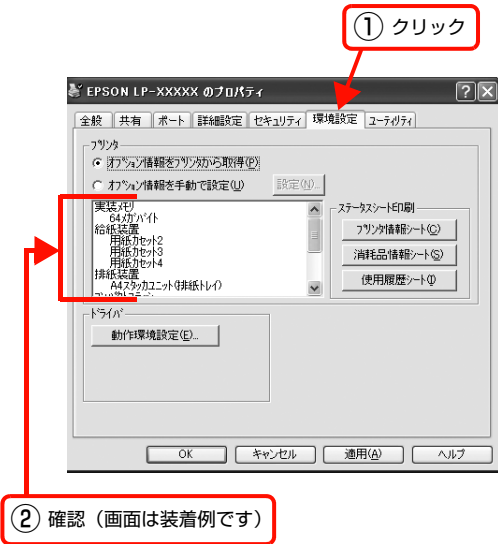
［スタート］ー［プリンタと FAX］をクリックします。

Windows 2000:

［スタート］ー［設定］ー［プリンタ］をクリックします。

9 本機のアイコンを右クリックして、プロパティをクリックします。

10 ［環境設定］タブをクリックし、装着したオプションを確認します。

取り付けたオプションが表示されないときは、以下を参照して手動設定してください。

☞ 本書 27 ページ「オプションをプリンタドライバで設定」

11 ［OK］をクリックしてプリンタのプロパティを閉じます。

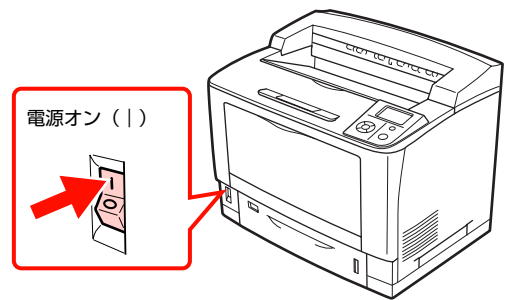
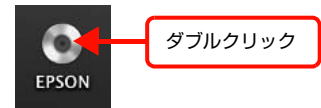
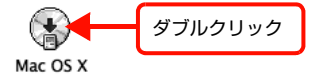
以上でセットアップは終了です。

Mac OS X の場合

！重要

- 管理者権限のあるユーザーでログオンし、インストールしてください。
- 標準HFS+形式でフォーマットしたドライブにインストールしてください。UNIX ファイルシステム（UFS）形式のドライブにはインストールできません。意図してドライブを UFS 形式に初期化し直していない一般の Mac OS X ユーザーの方は問題なくインストールできます。

36 ページの 2 に続いて以下の作業を行ってください。

3 プリンタの電源を入れます。

4 Mac OS X を起動してソフトウェア CD-ROM をセットし、デスクトップの［Epson］のアイコンをダブルクリックします。

5 ［Mac OS X］のアイコンをダブルクリックします。

6 お使いの機種を選択します。

7 ［おすすめインストール］をクリックします。

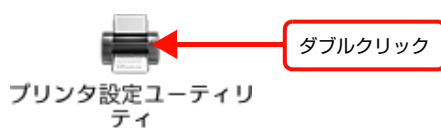
8 ［ローカル（直接）接続］をクリックします。

9 画面の指示に従ってインストール作業を進めます。

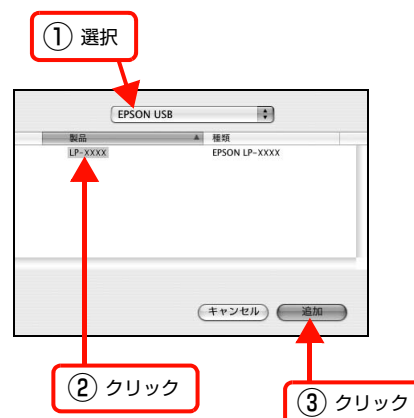
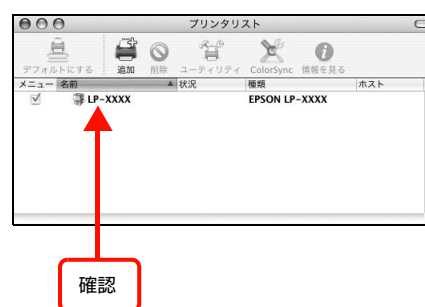
最後に［終了］をクリックしてインストールを終了します。

Mac OS X v10.4.x、v10.5.x：
以上で作業は終了です。

Mac OS X v10.3.9：
続いて 10 に進んで本機の追加をしてください。

10 ［アプリケーション］－［ユーティリティ］フォルダから［プリンタ設定ユーティリティ］を開きます。

11 ［追加］をクリックします。

使用可能なプリンタがないときは、追加を促す画面が表示されます。［追加］をクリックすると 11 の画面が表示されます。

12 ［Epson USB］または［USB］を選択してから本機を選択し、［追加］をクリックします。

13 本機が追加されたことを確認し、画面を閉じます。

以上でセットアップは終了です。

ネットワーク(LAN)接続

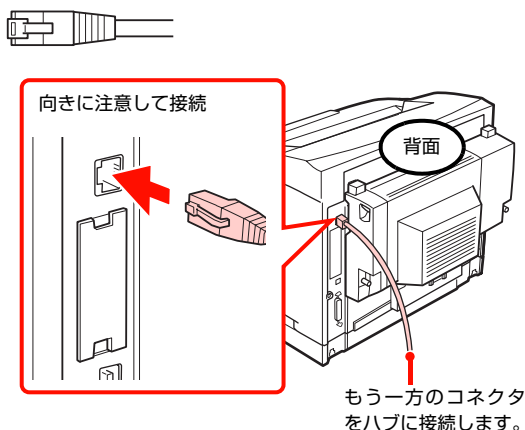
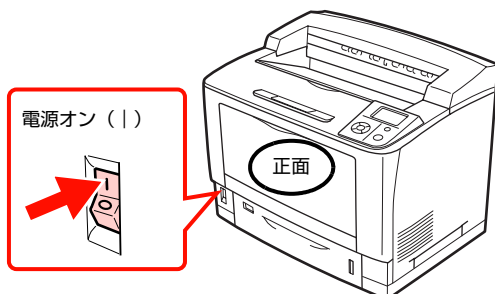
LAN ケーブルを使って、本機をネットワーク環境に接続します。LAN ケーブルは本機に同梱されていませんので、以下のケーブルを用意してください。

- シールドツイストペアケーブル（カテゴリ５以上）
- 10Base-T または 100Base-TX

ここでは、本機に添付されているソフトウェアを使用して IP アドレスを設定し、同一セグメント内のネットワークプリンタに接続する方法を説明します。上記以外の設定方法や、ネットワーク設定に関するそのほかの詳細情報は以下を参照してください（別セグメントのネットワークプリンタを探索するには、同梱のソフトウェア CD-ROM から EpsonNet Config をインストールして使用してください）。

☞『ネットワーク編』（電子マニュアル）

1 プリンタの電源が切れていることを確認します。

2 LAN ケーブルを接続します。

3 電源を入れます。

続いて、以下のページに進んでください。

Windows：
☞ 本書 40 ページ「Windows の場合」

Mac OS X：
☞ 本書 42 ページ「Mac OS X の場合」

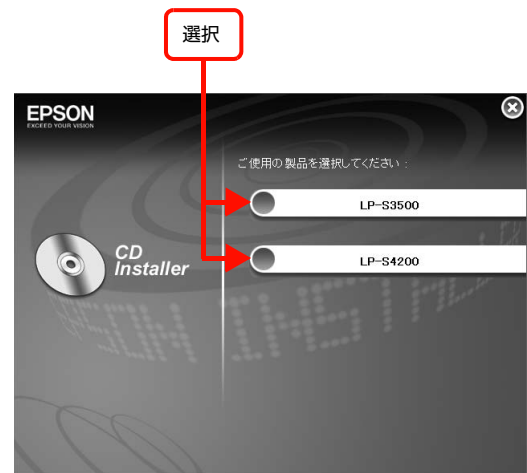
Windows の場合

3 に続いて以下の作業を行ってください。

4 Windowsを起動してソフトウェアCD-ROMをセットします。

Windows Vista/Windows Server 2008：
① ［自動再生］画面の［プログラムのインストール / 実行］を、発行元が SEIKO Epson であることを確認してからクリックします。
② ［ユーザーアカウント制御］画面で、［続行］をクリックします。

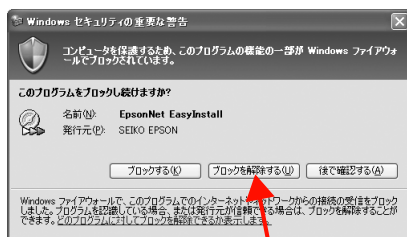
Windows Vista/Windows Server 2008 以外：
5 へ進みます。

5 お使いの機種を選択します。

6 ［おすすめインストール］をクリックします。

7 [ネットワーク（LAN）接続] をクリックします。

8 画面の指示に従ってインストール作業を進めます。

参考

- 以下の画面が表示されたら、発行元が「SEIKO Epson」であることを確認して、[ブロックを解除する] をクリックしてください。

- 市販のファイアウォールソフトウェアをインストールしていると、ファイアウォールソフトウェア関連の画面が表示されることがあります。ソフトウェアの取扱説明書を参照して、一時的に通信を許可してください。

最後に［完了］をクリックしてインストールを終了します。

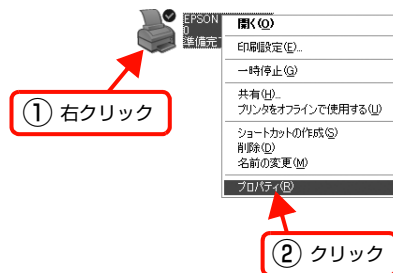
オプションを取り付けた場合は 9 に進んでください。

9 [スタート] メニューから [プリンタと FAX] ／ [プリンタ] を開きます。

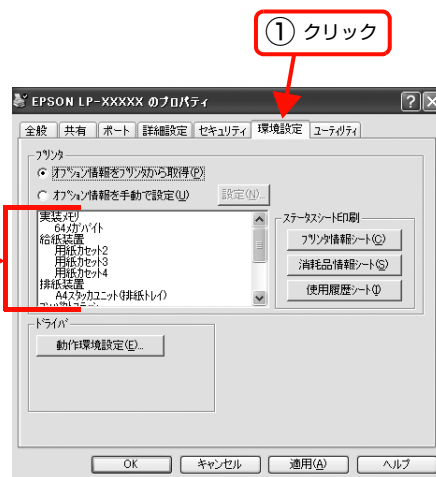
Windows Vista/Windows Server 2008：
［スタート］ — ［コントロールパネル］ — ［プリンタ］の順にクリックします。

Windows XP/Windows Server 2003：
［スタート］ — ［プリンタと FAX］をクリックします。

Windows 2000：
［スタート］—［設定］—［プリンタ］をクリックします。

10 本機のアイコンを右クリックして、プロパティをクリックします。

11 [環境設定] タブをクリックし、装着したオプションを確認します。

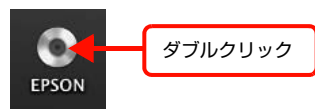
取り付けたオプションが表示されないときは、以下を参照して手動設定してください。

本書 27 ページ「オプションをプリンタドライバで設定」

12 [OK] をクリックしてプリンタのプロパティを閉じます。

以上でセットアップは終了です。

Mac OS X の場合

40 ページの 3 に続いて以下の作業を行ってください。

4 Mac OS X を起動してソフトウェア CD-ROM をセットし、デスクトップの［Epson］のアイコンをダブルクリックします。

5 ［Mac OS X］のアイコンをダブルクリックします。

6 お使いの機種を選択します。

7 ［おすすめインストール］をクリックします。

8 ［ネットワーク（LAN）接続］をクリックします。

9 画面の指示に従ってインストール作業を進めます。

最後に［終了］をクリックしてインストールを終了します。

続いて、以下のページに進んでください。

Mac OS X v10.5.x：

☞ 本書 43 ページ「Mac OS X v10.5.x の場合」

Mac OS X v10.3.9 ～ v10.4.x：

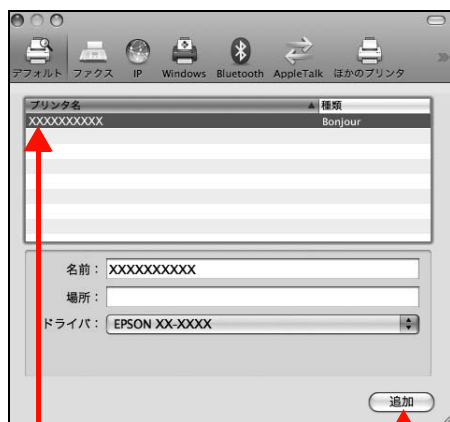
☞ 本書44ページ「Mac OS X v10.3.9～v10.4.x の場合」

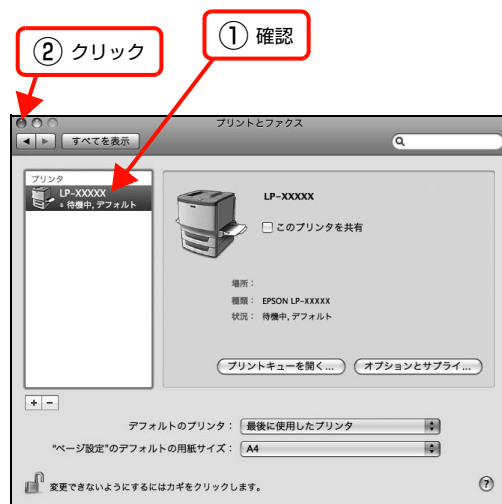
Mac OS X v10.5.x の場合

42 ページの 9 に続いて以下の作業を行ってください。

10 ［アプリケーション］－［システム環境設定］から［プリントとファクス］を開きます。

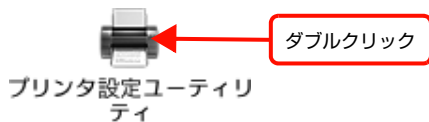
11 ［+］をクリックします。

12 本機をクリックして、［追加］をクリックします。

> **参考**
>
> 本機が表示されていないときは、以下の操作をしてください。
> ①［ほかのプリンタ］をクリックします。
> ② 表示された画面で［接続方法］を選択します。
> ③ 本機を選択して、［追加］をクリックします。

13 本機が追加されたことを確認し、画面を閉じます。

以上でセットアップは終了です。

Mac OS X v10.3.9 ～ v10.4.x の場合

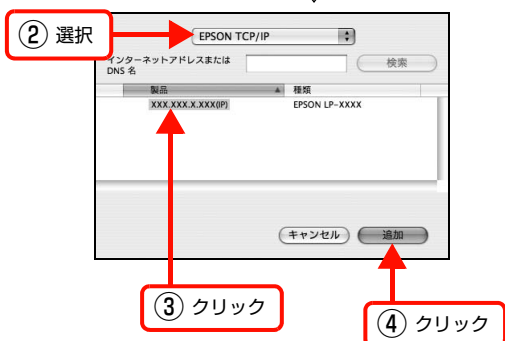
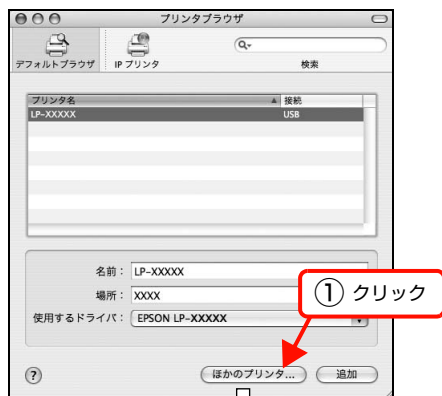
42 ページの 9 に続いて以下の作業を行ってください。

10 ［アプリケーション］－［ユーティリティ］フォルダから［プリンタ設定ユーティリティ］を開きます。

11 ［追加］をクリックします。

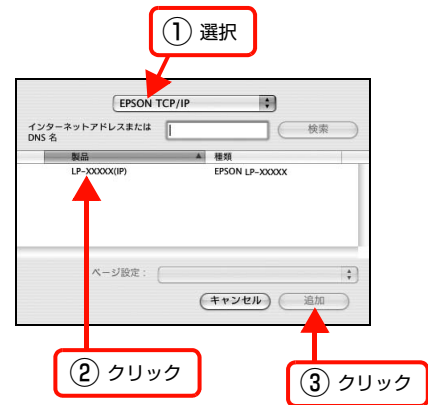
使用可能なプリンタがないときは、追加を促す画面が表示されます。［追加］をクリックすると 12 の画面が表示されます。

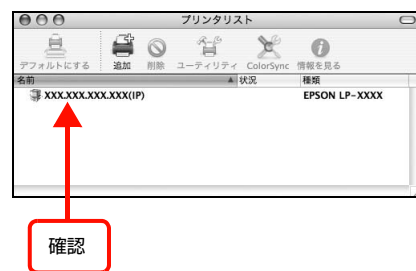
12 本機を選択し、［追加］をクリックします。

Mac OS X v10.4.x：

最初の画面で［ほかのプリンタ］をクリックします。次の画面で［Epson TCP/IP］を選択してから本機を選択します。他のプロトコルを設定する方法は以下を参照してください。

☞『ネットワーク編』（電子マニュアル）

Mac OS X v10.3.9：

［Epson TCP/IP］を選択してから本機を選択します。他のプロトコルを設定する方法は以下を参照してください。

☞『ネットワーク編』（電子マニュアル）

13 本機が追加されたことを確認し、画面を閉じます。

以上でセットアップは終了です。

セットアップできないときは

セットアップに関するトラブルとその対処方法は以下の通りです。これ以外のトラブルについては以下を参照してください。
☞ 本書 113 ページ「困ったときは」

ネットワーク設定に関する情報は、以下を参照してください。
☞『ネットワーク編』（電子マニュアル）

トラブル状態	対処方法
ソフトウェアCD-ROMをセットしても、セットアップ画面が表示されない（Windows のみ）	**CD-ROM の Autorun 機能が働いていない可能性があります。** CD-ROM ドライブの CD アイコンをダブルクリックしてください。セットアップ画面が表示されます。 **ローカル（直接）接続で、プリンタの電源を入れたままケーブルを接続していませんか？** Windows の［新しいハードウェアの検出ウィザード］画面が表示されたら、［キャンセル］ボタンをクリックし、プリンタの電源を切ってからソフトウェア CD-ROM をセットし直してください。 セットアップ画面が自動的に表示されないときは、CD-ROM ドライブの CD アイコンをダブルクリックしてください。
ステータスシートが印刷できない	**電源が入っていますか？また、操作パネルに「印刷できます」または「節電中」と表示されていますか？** 「印刷できます」または「節電中」以外のメッセージが表示されているときは、メッセージに従って対処してください。 ☞ 本書 147 ページ「操作パネルとヘルプの見方」
プリンタドライバのインストールができない（USB 接続）	**お使いのコンピュータは Windows 2000/Windows XP/Windows Server 2003//Windows Server 2008/Windows Vista がプレインストールされたコンピュータ、または Windows 98/Windows Me がプレインストールされていて Windows 2000/Windows XP/Windows Server 2008 にアップグレードしたコンピュータですか？** USB ポートの動作が保証されていないコンピュータは正常に印刷できません。お使いのコンピュータの詳細は、コンピュータメーカーへご確認ください。 **Mac OS X をご使用のときに、UNIX ファイルシステム（UFS）形式でフォーマットしたドライブにソフトウェアをインストールしていませんか？** Mac OS X をインストールする際に、ドライブのフォーマット形式を Mac OS 拡張（HFS+）形式または UNIX ファイルシステム（UFS）形式から選択することができます。本機用のプリンタドライバは、UFS 形式でフォーマットしたドライブでは使うことができませんので、HFS+ 形式でフォーマットしたドライブにインストールしてください。
プリンタドライバのインストールができない（パラレル接続）	**Windows 2000 で接続していませんか？** Windows 2000 でパラレル接続をしたときは、Epson プリンタユーティリティセットアップのプリンタ検索画面で［手動設定］をクリックして、接続先（ポート）を LPT1：に選択してください。

トラブル状態	対処方法
ネットワークインターフェイスの設定ができない	**LAN ケーブルが確実に差し込まれていますか？** 本機のコネクタとコンピュータまたはハブ側のコネクタに LAN ケーブルがしっかり接続されているか確認してください。また、ケーブルが断線していないか、変に曲がっていないかを確認してください。予備のケーブルをお持ちの方は、差し替えて確認してください。 **ハブは正常に動作していますか？** ハブのポートのリンクランプが点灯 / 点滅しているか確認してください。リンクランプが消灯している場合は、他のポートに接続して、リンクランプが点灯 / 点滅するかどうか確認してください。 他のポートに接続してもリンクランプが消灯している場合は、ハブの電源が入っていないかハブが故障している可能性があります。ネットワーク管理者に確認してください。 **IP アドレスは正しいですか？** TCP/IP で使用している場合は、IP アドレスがお使いの環境で有効な値に設定されているか確認してください。 工場出荷時の値は［192.168.192.168］ですが、製品の仕様上、工場出荷時の状態のままでは使用できません。この IP アドレスを使用する場合は、工場出荷時の値を一旦消してから同じ IP アドレスを再入力することで使用可能となります。ネットワークインターフェイスの IP アドレスは、ご利用の環境に合わせて必ず変更してください。 設定した IP アドレスは、ステータスシートまたは操作パネルの［ネットワーク情報印刷］で確認できます。 ☞本書 103 ページ「プリンタの状態・設定の確認」

3 印刷

印刷機能の概要、印刷できる用紙、基本的な印刷方法などを記載しています。

印刷できる用紙

本機で印刷できる用紙と、用紙に関する注意事項などを説明します。用紙サイズ、用紙厚などの詳細は以下を参照してください。

☞ 本書 168 ページ「用紙一覧と設定早見表」

特殊紙に関する詳細な情報は以下を参照してください。

☞ 本書 58 ページ「印刷の手順」

印刷できる用紙の種類

本機で印刷できる用紙の種類は以下の通りです。これ以外の用紙を使用すると、紙詰まりや故障の原因となります。

本機で片面印刷した用紙の裏面に印刷する場合、印刷品質は保証できません。

普通紙

用紙種類	説明
コピー用紙、	再生紙は、一般の室温環境下（温度 15 ～ 25 ℃、湿度 40 ～ 60% の環境）以外でご使用になると、印刷品質が低下したり、紙詰まりなどの不具合が発生することがありますのでご注意ください。また、再生紙は品質のばらつきが大きいため、必ず試し印刷をしてからお使いください。給紙不良や紙詰まりが発生しやすい場合は、用紙を裏返して使用することにより症状が改善されることがあります。
再生紙 （古紙配合率 100% の再生紙を含む）	

特殊紙

用紙種類	説明
郵便ハガキ	郵便ハガキ、往復郵便ハガキ、4 面連刷ハガキ。 往復郵便ハガキは、中央に折り跡のないものをお使いください。
封筒	洋形0号、洋形4号、長形3号、角形2号
厚紙	用紙厚が 91 ～ 157g/m^2 の用紙（ケント紙を含む）
特厚紙	用紙厚が 158 ～ 216g/m^2 の用紙
ラベル紙	ページプリンタ用またはコピー機用の A4 サイズのラベル紙。台紙全体がラベルで覆われているもの
OHP シート	モノクロページ用 OHP シート
定形紙以外の用紙	用紙幅 75 ～ 297mm、用紙長 98.4 ～ 508mm
長尺紙	用紙幅 297mm、用紙長 900mm の用紙

用紙を大量に購入する場合は、必ず事前に試し印刷をして印刷の状態を確認してください。また、大量に印刷する場合も、試し印刷をして思い通りの印刷結果になることを確認してください。

印刷できない用紙

以下の用紙には印刷しないでください。

プリンタの故障の原因となる用紙

- インクジェットプリンタ用特殊紙（スーパーファイン紙、光沢紙、光沢フィルム、インクジェット用郵便ハガキなど）
- アイロンプリント紙
- 他のモノクロページプリンタ、カラーページプリンタ、熱転写プリンタ、インクジェットプリンタなどのプリンタや、複写機で印刷したプレプリント紙
- 他のプリンタで一度印刷した後の裏紙
- カラーページプリンタやカラー複写機専用 OHP シート
- モノクロページプリンタ用またはモノクロコピー機用以外のラベル紙
- カーボン紙、ノンカーボン紙、感熱紙、酸性紙、和紙
- のり、ホチキス、クリップなどが付いた用紙
- 表面に特殊コートが施された用紙、表面加工されたカラー用紙
- バインダ用の穴が開いている用紙
- 貼り合わせた用紙

給紙不良、紙詰まりを起こしやすい用紙

- 薄すぎる用紙（60g/m^2 以下）、厚すぎる用紙（216g/m^2 以上）
- 濡れている（湿っている）用紙
- 表面が平滑すぎる（ツルツル、スベスベしすぎる）用紙、粗すぎる用紙
- 表と裏で粗さが大きく異なる用紙
- 折り跡、カール、破れのある用紙
- 形状が不規則な用紙、裁断角度が直角でない用紙
- ミシン目のある用紙
- 吸湿して波打ちしている用紙

約 200 ℃で変質、変色する用紙

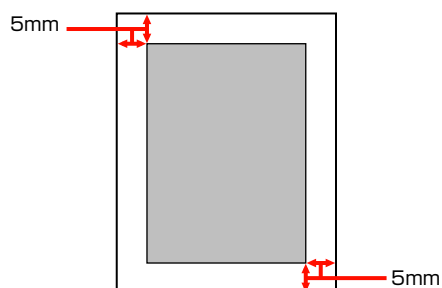
- 表面に特殊コート（またはプレプリント）が施された用紙

A4 スタッカユニット（排紙トレイ）に使用できない用紙

スタッカユニットに使用できない用紙については、以下のページを参照してください。

☞ 本書 168 ページ「用紙一覧と設定早見表」

印刷できる領域

本機の印刷保証領域は、用紙の各辺の端から 5mm（封筒の場合は 10mm）を除く領域です。

アプリケーションソフトによっては印刷領域が上記より小さくなることがあります。

用紙の保管

用紙は以下の点に注意して保管してください。

- 直射日光を避けて保管してください。
- 湿気の少ない場所に保管してください。
- 用紙を濡らさないでください。
- 用紙を立てたり斜めにしないで、水平な状態で保管してください。
- ホコリが付かないよう、包装紙などに包んで保管してください。

用紙のセットと排紙

用紙のセット方法と排紙方法を説明します。

- 用紙のセット方法は以下を参照してください。
  ☞ 本書 50 ページ「用紙カセット 1（標準）へのセット方法」
  ☞ 本書 52 ページ「MP トレイへのセット方法」
  ☞ 本書 53 ページ「用紙カセット 2 ～ 4（オプション）へのセット方法」
- A4 用紙の縦長セットについての説明は以下を参照してください。
  ☞ 本書 56 ページ「A4 縦長セットと排紙設定」

⚠注 意　印刷用紙の端を手でこすらないでください。
用紙の側面は薄く鋭利なため、けがをするおそれがあります。

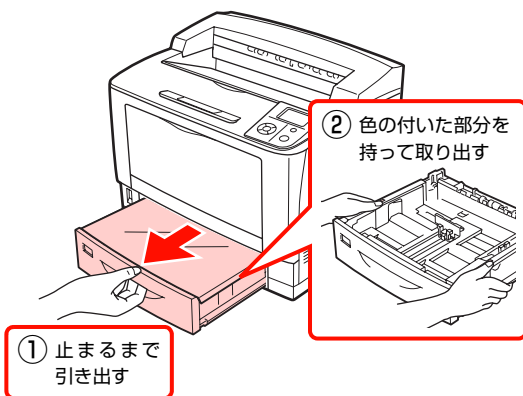
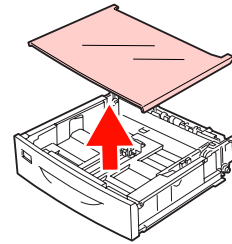
- 印刷中は、用紙カセットを引き出さないでください。
- 用紙カセットを勢いよく押し込まないでください。用紙がずれて、斜め送りや紙詰まりになるおそれがあります。

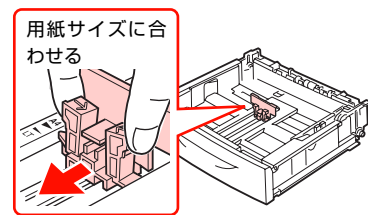
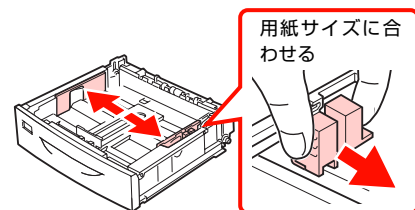
用紙カセット 1（標準）へのセット方法

本機に標準装備されている用紙カセットへのセット方法を説明します。

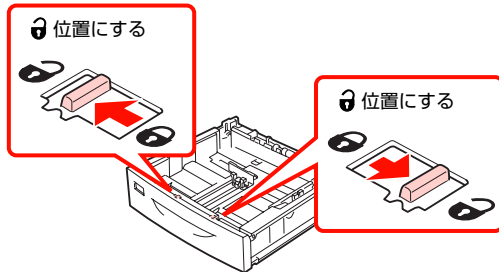
参考
プリンタドライバには［用紙カセット 1］、操作パネルには［カセット 1］と表示されます。

1 **用紙を用意し、セット方向（縦長または横長）と容量（セット可能枚数）を確認します。**
☞ 本書 168 ページ「用紙一覧と設定早見表」

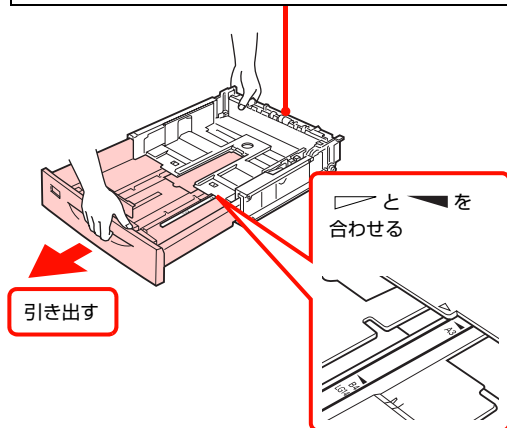
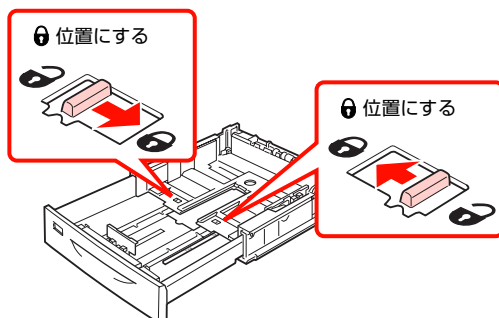
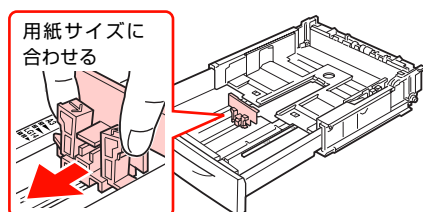
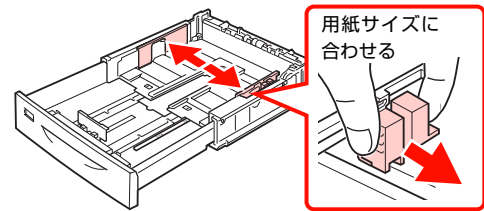
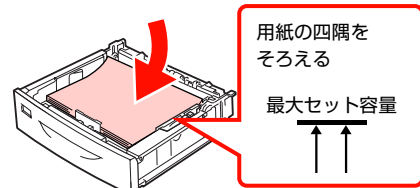
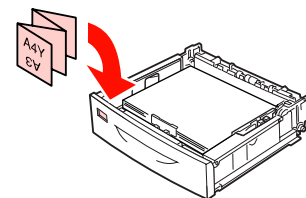
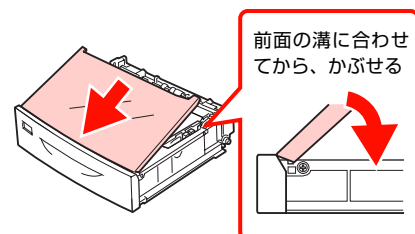
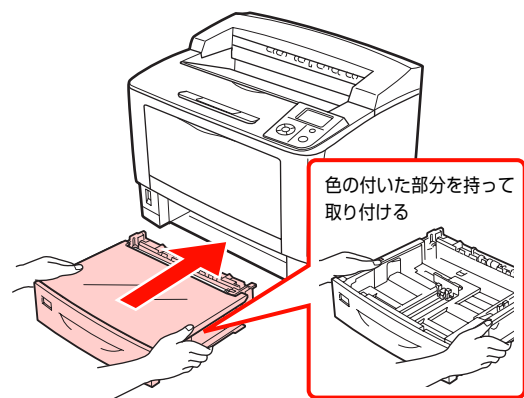
2 **用紙カセットを取り出します。**

3 **カバーを取り外します。**

4 **用紙ガイド（縦 / 横）を移動します。**
セットする用紙サイズにより縦方向に延長する場合と延長しない場合があります。

カセットを延長しない場合
① 用紙ガイド（縦）

② 用紙ガイド（横）

カセットを延長する場合

A3、B4、A4 縦などの用紙をセットするときに延長します。

① 左右の伸縮レバーロックを解除します。

② 用紙サイズに応じて用紙カセットを引き出します。

重要

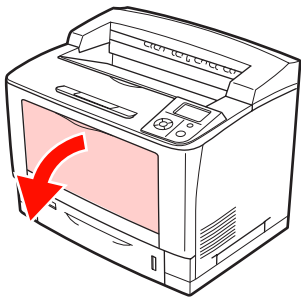
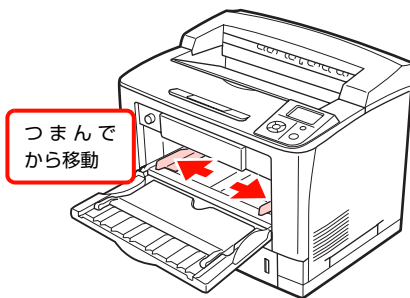
給紙ローラのゴム部分を持たないでください。給紙不良の原因となります。

③ 左右の伸縮レバーロックをロックします。

④ 用紙ガイド（縦）を移動します。

⑤ 用紙ガイド（横）を移動します。

5 **印刷面を上にして、用紙をセットします。**

6 **用紙サイズ表示シートをセットします。**

7 **カバーを取り付けます。**

8 **用紙カセットをセットします。**

以上で終了です。

MP トレイへのセット方法

MP トレイ（マルチパーパストレイ）への用紙のセット方法を説明します。MP トレイには、本機で印刷可能なすべての用紙がセットできます。

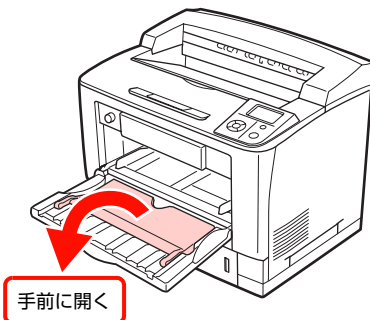
1 **用紙を用意し、セット方向（縦長または横長）と容量（セット可能枚数）を確認します。**

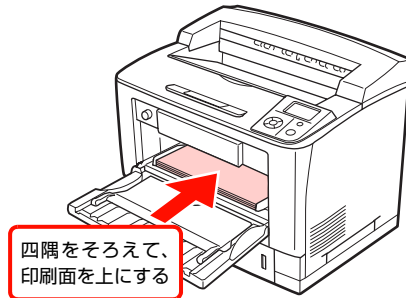
本書 168 ページ「用紙一覧と設定早見表」

2 **MP トレイを開きます。**

3 **用紙ガイドを使用する用紙サイズに合わせます。**

！重要

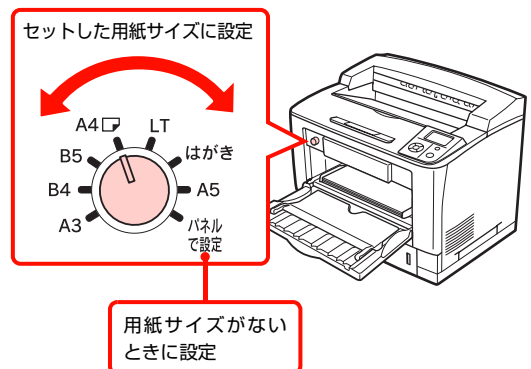
用紙ガイドは、セットする用紙サイズに必ず合わせてください。用紙サイズに合っていないと、給紙不良や紙詰まり、エラーの原因となります。

A3 や B4 などの用紙をセットする：

給紙延長トレイを手前に開いてください。

4 **用紙をセットします。**

差し込み口に軽く当たるまで入れます。

！重要

用紙は最大 200 枚（64g/m^2）までセットできます。用紙ガイド内側の最大セット容量を超えて用紙をセットすると、正常に給紙できないことがあります。

5 **トレイ用紙サイズスイッチを設定します。**

6 **［パネルで設定］にしたときは、操作パネルで用紙サイズなどを設定します。**

① ［給紙装置設定］メニューから［MP トレイサイズ］を設定します。

② ［プリンタ設定］メニューから［紙種］を設定します。

用紙によっては必要な設定項目が異なります。設定の要否と設定値は以下を参照してください。

本書 58 ページ「印刷の手順」

操作パネルの使い方の概要は以下を参照してください。

本書 170 ページ「操作パネル設定項目一覧」

以上で終了です。

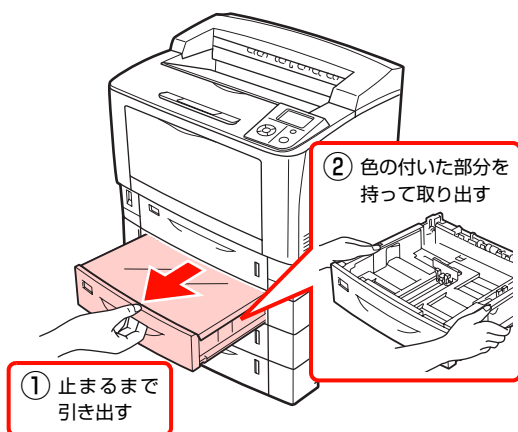
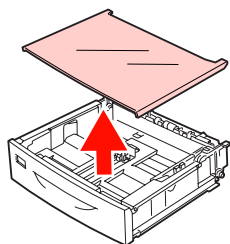
用紙カセット2～4(オプション)へのセット方法

オプションの増設 1 段カセットユニット（用紙カセット 2～ 4）への用紙のセット方法を説明します。

オプションの用紙カセットは、プリンタドライバには［用紙カセット 2］［用紙カセット 3］［用紙カセット 4］、操作パネルには［カセット2］［カセット 3］［カセット 4］と表示されます。

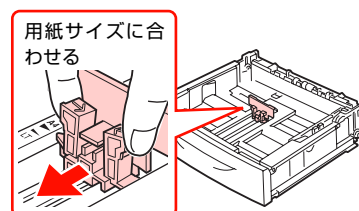
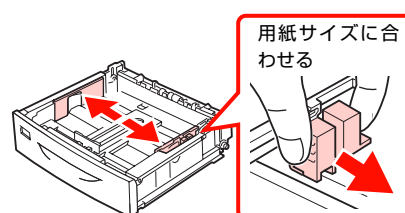
1 **用紙を用意し、セット方向（縦長または横長）と容量（セット可能枚数）を確認します。**

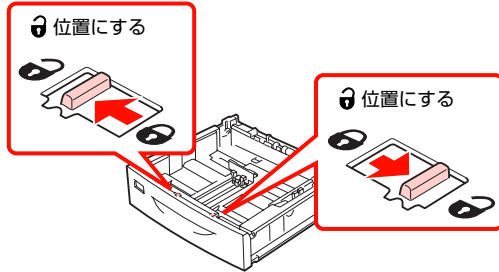
☞ 本書 168 ページ「用紙一覧と設定早見表」

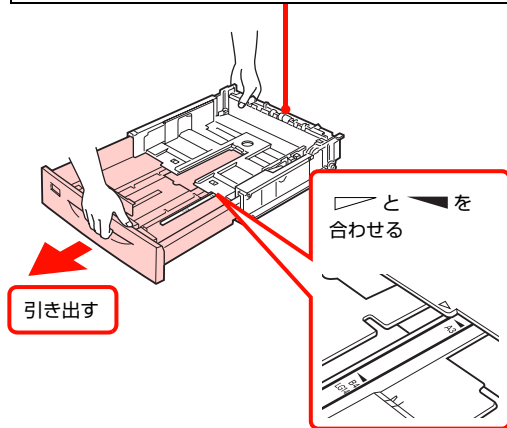
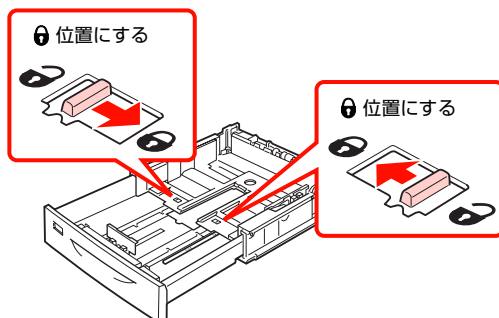
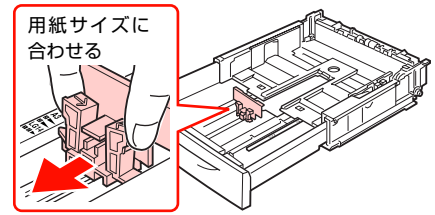
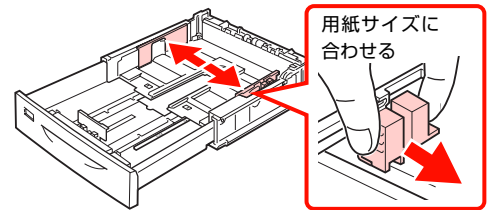
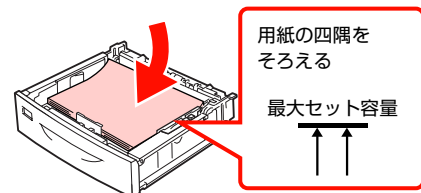
2 **用紙カセットを取り出します。**

3 **カバーを取り外します。**

4 **用紙ガイド（縦 / 横）を移動します。**

セットする用紙サイズにより縦方向に延長する場合と延長しない場合があります。

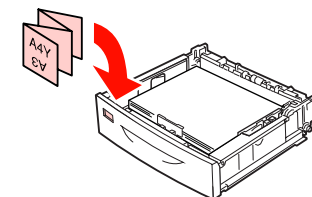
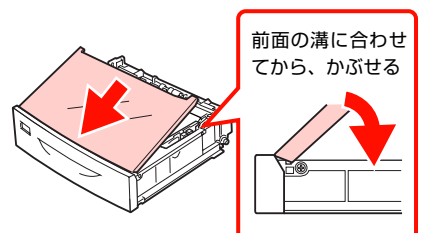
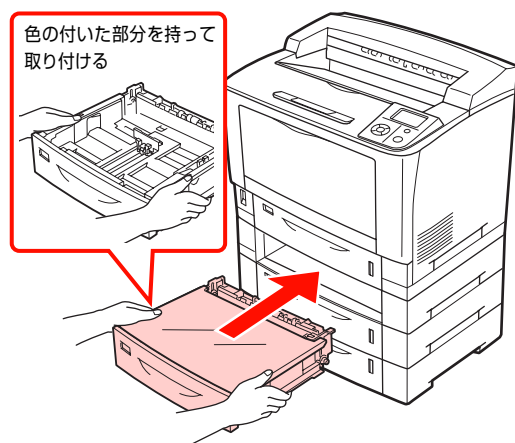
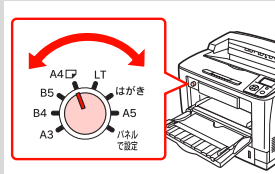
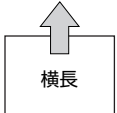
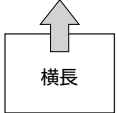
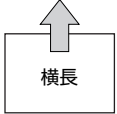
カセットを延長しない:

① 用紙ガイド（縦）

② 用紙ガイド（横）

カセットを延長する：
用紙サイズ（A3、B4、A4 縦など）をセットするときに延長します。

① 左右の伸縮レバーロックを解除します。

② 用紙サイズに応じて用紙カセットを引き出します。

！重 要
給紙ローラのゴム部分は持たないでください。給紙不良の原因となります。

③ 左右の伸縮レバーロックをロックします。

④ 用紙ガイド（縦）を移動します。

⑤ 用紙ガイド（横）を移動します。

5 印刷面を上にして、用紙をセットします。

！重 要
用紙は普通紙（$64g/m^2$）で以下の最大枚数までセットできます。
- 最大 550 枚（550 枚増設 1 段カセットユニット）
- 最大 3 段まで増設可能

最大セット容量を超えて用紙をセットすると、正常に給紙できないことがあります。

6 用紙サイズ表示シートをセットします。

7 カバーを取り付けます。

8 **用紙カセットをセットします。**

以上で終了です。

A4 縦長セットと排紙設定

本機では A4 用紙の縦長セットに対応しています。

セットした用紙の向きに合わせて、プリンタドライバの排紙設定やトレイ用紙サイズスイッチなどの設定が必要になりますので、以下の表を参照して設定をしてください。

A4 用紙のセット向きと排紙設定一覧

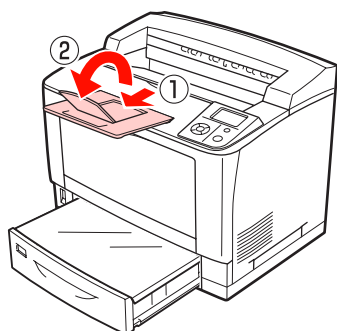
給紙装置	セット向き	プリンタドライバの排紙設定 Windows： [基本設定]画面－[排紙設定] Mac OS X： [基本設定]画面－[排紙方向]	トレイ用紙サイズスイッチ	操作パネルの設定 [給紙装置設定] メニュー－[MP トレイサイズ]
MP トレイ	縦長	Windows： 「A4 用紙を縦向きに排紙する」 Mac OS X： 「用紙を縦向きに排紙する」	【パネルで設定】	A4 縦
	横長	Windows： 「A4 用紙を横向きに排紙する」 Mac OS X： 「用紙を横向きに排紙する」	【A4□】	–
用紙カセット 1 （標準）	縦長	Windows： 「A4 用紙を縦向きに排紙する」 Mac OS X： 「用紙を縦向きに排紙する」	–	–
	横長	Windows： 「A4 用紙を横向きに排紙する」 Mac OS X： 「用紙を横向きに排紙する」		
用紙カセット２～４ （オプション）	縦長	Windows： 「A4 用紙を縦向きに排紙する」 Mac OS X： 「用紙を縦向きに排紙する」		
	横長	Windows： 「A4 用紙を横向きに排紙する」 Mac OS X： 「用紙を横向きに排紙する」		

排紙

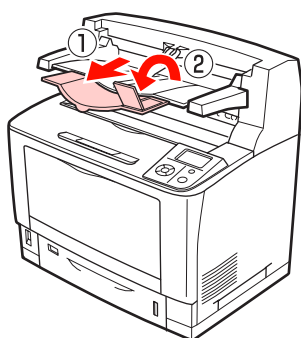
印刷された用紙は、印刷面を裏（フェイスダウン）にして排出されます。

フェイスダウントレイ

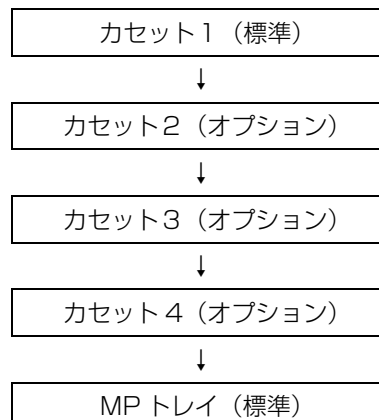
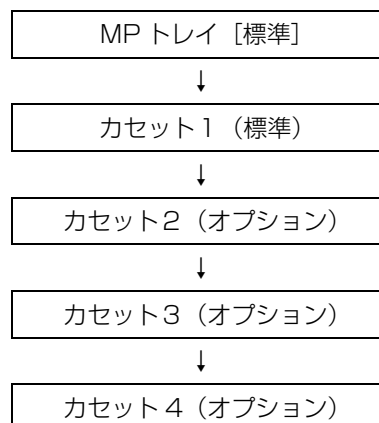
標準の排紙トレイです。

一度に普通紙（用紙厚 64g/m^2）で 500 枚まで排紙できます。なお、B4 以上の用紙を排紙する場合は、①排紙延長トレイを引き出して②排紙止めを立ててください。

スタッカトレイ

オプションの A4 スタッカユニットの排紙トレイです。A4 スタッカユニットを装着すると、フェイスダウントレイと合わせて最大 1000 枚まで排紙できます（A4、A5、B5、LT、HLT、GLT、EXE のみ排紙可能）。

なお、A4 縦などの用紙を排紙する場合は、①排紙延長トレイを引き出して②排紙止めを立ててください。

給紙装置の優先順位

プリンタドライバで［給紙装置］を［自動選択］に設定すると、［用紙サイズ］で設定した用紙がセットされている給紙装置が自動選択されます。同じサイズの用紙が複数の給紙装置にセットされているときは、以下の優先順位に従って給紙されます。

- 操作パネルで［プリンタ設定］－［MP トレイ優先］－［しない］（初期値）に設定したとき

- 操作パネルで［プリンタ設定］－［MP トレイ優先］－［する］に設定したとき

操作パネルの使い方の概要は以下を参照してください。

本書 170 ページ「操作パネル設定項目一覧」

初めの給紙装置の用紙がなくなると、次の給紙装置に自動的に切り替わります。例えば A4 の普通紙を、オプションを含むすべての給紙装置にセットすると、最大 2400 枚の連続印刷が可能です。

印刷の手順

基本的な印刷手順と特殊紙への印刷方法を説明します。

基本的な印刷手順

用紙を用意します。

本機で印刷できる用紙は以下を参照してください。
☞ 本書 168 ページ「用紙一覧と設定早見表」①②③

印刷する面を上にして用紙をセットします。

各用紙のセット方向の一覧は以下を参照してください。
☞ 本書 168 ページ「用紙一覧と設定早見表」④⑤
用紙のセット方法の詳細は以下を参照してください。
☞ 本書 50 ページ「用紙のセットと排紙」

トレイ用紙サイズスイッチまたは操作パネルで必要な設定をします。

用紙によって必要な設定項目が異なります。設定の要否と設定値は以下を参照してください。
☞ 本書 168 ページ「用紙一覧と設定早見表」⑦
操作パネルの使い方の概要は以下を参照してください。
☞ 本書 170 ページ「操作パネル設定項目一覧」

プリンタドライバで必要な設定をして、印刷を実行します。

設定項目の一覧は以下を参照してください。
☞ 本書 168 ページ「用紙一覧と設定早見表」⑧
設定方法は以下を参照してください。
☞ Windows：『ソフトウェア編』（電子マニュアル）―「Windows での使い方」
☞ Mac OS X：『ソフトウェア編』（電子マニュアル）―「Mac OS X での使い方」

以上で終了です。

ハガキや厚紙などの特殊な用紙への印刷方法を説明します。特殊紙はすべて MP トレイから給紙してください。

☞ 本書 58 ページ「ハガキへの印刷」
☞ 本書 60 ページ「封筒への印刷」
☞ 本書 61 ページ「厚紙への印刷」
☞ 本書 62 ページ「ラベル紙への印刷」
☞ 本書 63 ページ「OHP シートへの印刷」
☞ 本書 64 ページ「長尺紙への印刷」
☞ 本書 64 ページ「定形紙以外の用紙への印刷」

印刷できる用紙の詳細は以下を参照してください。
☞ 本書 48 ページ「印刷できる用紙」

参考

- 特殊紙への印刷速度は、普通紙への印刷に比べて遅くなります。これは、特殊紙への良好な印刷を行うために、プリンタ内部で印刷速度を調整しているためです。
- 大量に印刷および用紙を購入するときは、事前に試し印刷をして思い通りの印刷結果になることを確認してください。

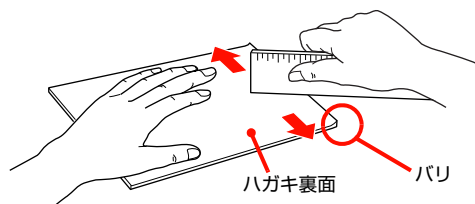
ハガキへの印刷

ハガキに印刷する際のご注意や、印刷手順を説明します。

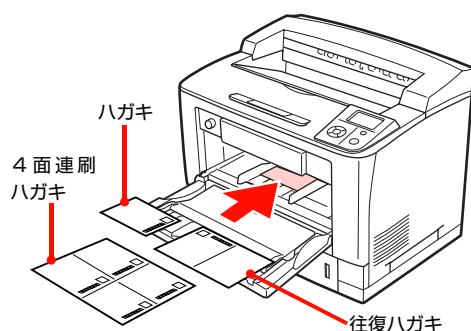
ハガキに関するご注意

- 以下のハガキには印刷しないでください。故障や印刷不良などの原因になります。
  - ・インクジェットプリンタ用の専用ハガキ
  - ・表面に特殊コート、糊付けが施されたハガキ、圧着ハガキ
  - ・ほかのプリンタやコピー機で一度印刷したハガキ
  - ・私製ハガキ、絵ハガキなど
  - ・箔押し、エンボス加工など表面に凹凸のあるハガキ
  - ・中央に折り跡のある往復ハガキ、および四面連刷ハガキ
- 大きく反っているハガキは、反りを修正してからお使いください。
- 絵入りハガキを給紙すると、絵柄裏移り防止用の粉が給紙ローラに付着して給紙できなくなることがあります。

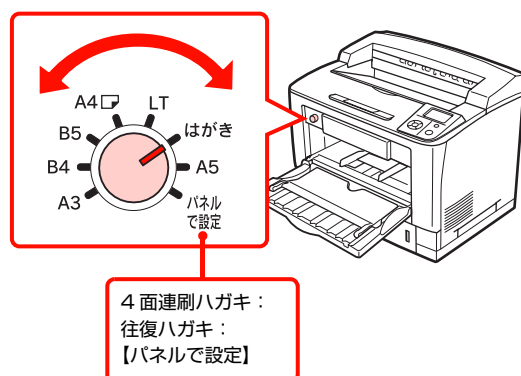
給紙 / 印刷のポイント

- 両面に印刷するときは、良好な印刷結果を得るために、宛名面を先に印刷してから通信面を印刷してください。
- 設定した位置に印刷されなかったり、用紙が二重送りされてしまうときは、用紙を 1 枚ずつセットして印刷してください。
- ハガキの先端を MP トレイの奥までしっかりセットしても給紙されないときは、先端を数ミリ上に反らせてセットしてください。
- ハガキの断面に、裁断時にできた「バリ」があるときは、除去してください。ハガキを水平な場所に置き、定規などを「バリ」がある部分に垂直にあてて矢印方向に 1 ～ 2 回こすると除去できます。また、バリを除去した後は、紙粉をよく払ってから給紙してください。紙粉は給紙不良の原因となります。

印刷手順

1 **MP トレイにハガキをセットします。**

セット枚数	60 枚まで（MP トレイのみ）
印刷面	印刷する面を上にしてセット
セット方向	横長

2 **トレイ用紙サイズスイッチを設定します。**

ハガキ：
【はがき】に設定して、4 に進んでください。

４面連刷ハガキ､往復ハガキ：
【パネルで設定】に設定して、3 に進んでください。

3 **操作パネルの設定をします。**

①［給紙装置設定］メニュー －［MP トレイサイズ］を選択。
②［4 面連刷ハガキ］または［往復ハガキ］に設定。
設定しないとエラーになりますが、【印刷可】ボタンを押すと印刷ができます。

4 **下表を参照してプリンタドライバの設定をし、印刷を実行します。**

OS	設定画面	項目	設定値
Windows	基本設定	用紙サイズ	ハガキ 100 × 148mm 往復ハガキ 148 × 200mm 4 連ハガキ 200 × 296mm
		給紙装置	MP トレイ
Mac OS X	ページ設定	用紙サイズ	ハガキ 往復ハガキ 4 連ハガキ
	印刷設定	給紙装置	MP トレイ

Windows：『ソフトウェア編』（電子マニュアル）―「Windows での使い方」
Mac OS X：『ソフトウェア編』（電子マニュアル）―「Mac OS X での使い方」

以上で終了です。

封筒への印刷

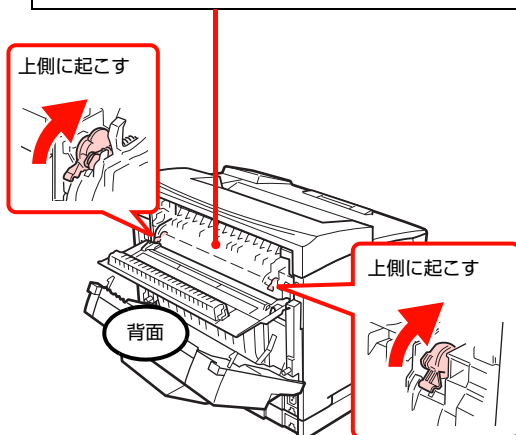
封筒に印刷する際のご注意や、印刷手順を説明します。

封筒に関するご注意

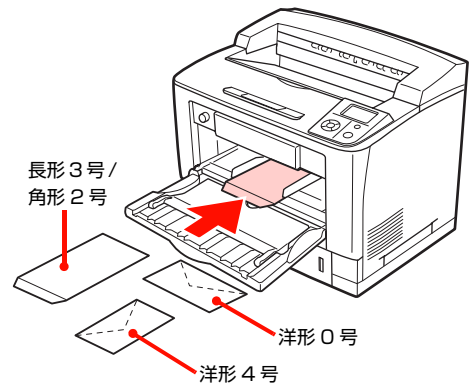
- 以下の封筒には印刷しないでください。故障や印刷不良などの原因になります。
  - ・封の部分に糊付け加工が施されている封筒
  - ・箔押し、エンボス加工など表面に凹凸のある封筒
  - ・リボン、フックなどが付いている封筒
  - ・ほかのプリンタやコピー機で一度印刷した封筒
  - ・二重封筒
  - ・窓付きの封筒
  - ・フラップの長さが 35mm 以上の封筒
- 封筒の紙種、保管および印刷環境、印刷方法によっては、しわが目立つことがありますので、紙送り圧切替レバーを操作するなどして事前に試し印刷することをお勧めします。

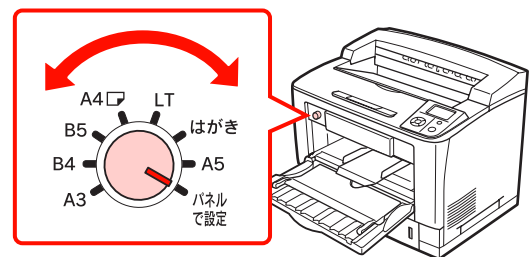
紙送り圧切替レバーについて

印刷した封筒にしわがよるときは、プリンタのカバー B を開けて、定着ユニット両側にある緑色の紙送り圧切替レバー（2 箇所どちらも）を上側に起こしてください（圧力が弱くなります）。レバーは、カチッと音がして垂直な状態になるまで回転します。しわが軽減される場合があります。

⚠注意
カバー B を開けたとき、定着ユニットに手を触れないようご注意ください。内部は 200 度と高温のため火傷の原因になります。

!重要
封筒以外の用紙は、紙送り圧切替レバー（2 箇所どちらも）を下側に倒してください（標準の圧力状態）。レバーを上側に起こしたままにすると、圧力が弱く印刷品質の低下の原因となります。

印刷手順

1 MP トレイに封筒をセットします。

セット枚数	10 枚まで（MP トレイのみ）	
印刷面	印刷する面を上にしてセット	
セット方向	洋形０号	フラップを閉じ、フラップ部がプリンタに向かって下側になるように横長にセット
	洋形４号	フラップを閉じ、フラップ部が用紙左下になるように縦長にセット
	長形３号 / 角形２号	フラップを開き、フラップ部が手前になるように縦長にセット

2 トレイ用紙サイズスイッチを【パネルで設定】に設定します。

3 操作パネルの設定をします。

① ［給紙装置設定］メニュー － ［MP トレイサイズ］を選択。

② 印刷する封筒サイズ * に設定。

* 洋形０号、洋形４号、長形３号、角形２号

4 下表を参照してプリンタドライバの設定をし、印刷を実行します。

OS	設定画面	項目	設定値
Windows	基本設定	用紙サイズ	洋形0号 120×235mm 洋形4号 105×235mm 長形3号 120×235mm 角形2号 240×332mm
		給紙装置	MP トレイ
Mac OS X	ページ設定	用紙サイズ	洋形0号、洋形4号、長形3号、角形2号
	印刷設定	給紙装置	MP トレイ

Windows：『ソフトウェア編』（電子マニュアル）―「Windows での使い方」
Mac OS X：『ソフトウェア編』（電子マニュアル）―「Mac OS X での使い方」

参考
思い通りの方向に印刷できないときは、［180 度回転］（Windows）を設定してください。Mac OS X では設定できません。

以上で終了です。

厚紙への印刷

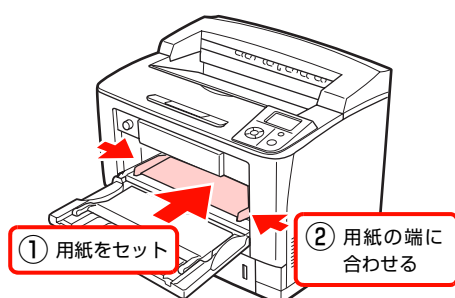
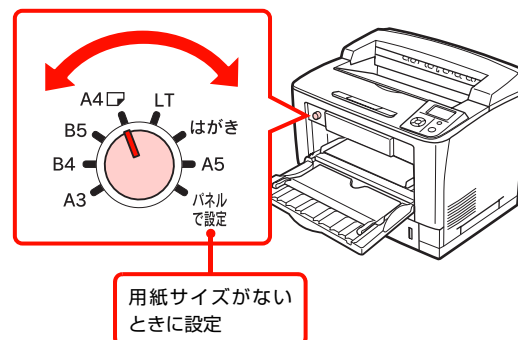
厚紙に印刷する際のご注意や、印刷手順を説明します。

厚紙に関するご注意

- 大きく反っている厚紙は、反りを修正してからお使いください。
- 特厚紙は両面印刷に対応していません。

印刷手順

1 MP トレイに厚紙をセットします。
セット方法は、下表と図を参照してください。

セット枚数	総厚 17.5mm まで（MP トレイのみ）
印刷面	印刷する面を上にしてセット
セット方向	横長または縦長 （用紙サイズにより異なる） 本書 168 ページ「用紙一覧と設定早見表」

2 トレイ用紙サイズスイッチを設定します。

3 ［パネルで設定］にしたときは、操作パネルで用紙サイズを設定します。
① ［給紙装置設定］メニュー －［MP トレイサイズ］を選択。
② 印刷する厚紙のサイズに設定。

4 下表を参照してプリンタドライバの設定をし、印刷を実行します。

OS	設定画面	項目	設定値
Windows	基本設定	用紙サイズ	印刷データで設定した用紙のサイズ
		給紙装置	MP トレイ
		用紙種類	厚紙、特厚紙
Mac OS X	ページ設定	用紙サイズ	印刷データで設定した用紙のサイズ
	印刷設定	給紙装置	MP トレイ
		用紙種類	厚紙、特厚紙

Windows：『ソフトウェア編』（電子マニュアル）―「Windows での使い方」
Mac OS X：『ソフトウェア編』（電子マニュアル）―「Mac OS X での使い方」

以上で終了です。

ラベル紙への印刷

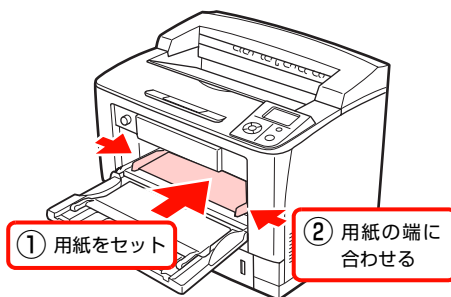
ラベル紙に印刷する際のご注意や、印刷手順を説明します。

ラベル紙に関するご注意

以下のラベル紙は使用しないでください。故障や印刷不良などの原因になります。

- ページプリンタ用またはコピー機用以外のラベル紙
- 簡単にはがれてしまうラベル紙
- 一部がはがれているラベル紙
- 糊がはみ出しているラベル紙
- 台紙全体がラベルで覆われていないラベル紙
- インクジェットプリンタ用のラベル紙

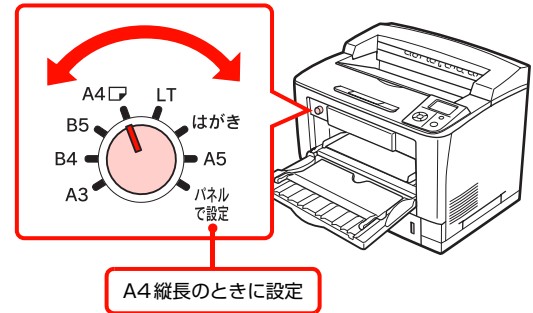
印刷手順

1 MP トレイにラベル紙（A4 または LT サイズ）をセットします。

セット方法は、下表と図を参照してください。

セット枚数	75 枚まで
印刷面	印刷する面を上にしてセット
セット方向	横長または縦長

2 トレイ用紙サイズスイッチを設定します。

横長にセット：
【A4▱】または【LT】に設定して、4 に進んでください。

縦長にセット：
【パネルで設定】に設定して、3 に進んでください。
なお、LT サイズは縦長にはセットできません。

3 操作パネルの設定をします。

① ［給紙装置設定］メニュー －［MP トレイサイズ］を選択。
② ［A4 縦］に設定。

4 操作パネルの設定をします。

① ［給紙装置設定］メニュー －［MP トレイタイプ］を選択。
② ［ラベル］に設定。
☞ 本書 71 ページ「操作パネルの使い方」

5 下表を参照してプリンタドライバの設定をし、印刷を実行します。

OS	設定画面	項目	設定値
Windows	基本設定	用紙サイズ	A4 210 × 297mm LT 8.5 × 11 in
		給紙装置	MP トレイ
		用紙種類	ラベル
		排紙設定	MP トレイにセットした用紙の向きに合わせて、排紙方向を設定。
Mac OS X	ページ設定	用紙サイズ	A4 レター
	印刷設定	給紙装置	MP トレイ
		用紙種類	ラベル
		排紙設定	MP トレイにセットした用紙の向きに合わせて、排紙方向を設定。

☞ Windows：『ソフトウェア編』（電子マニュアル）―「Windows での使い方」
☞ Mac OS X：『ソフトウェア編』（電子マニュアル）―「Mac OS X での使い方」

以上で終了です。

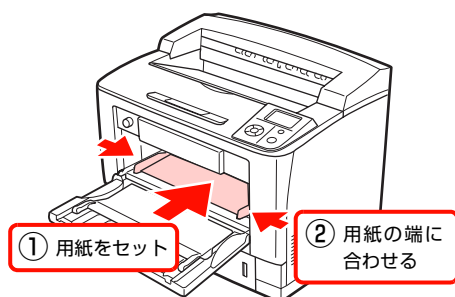
OHP シートへの印刷

OHP シートに印刷する際のご注意や、印刷手順を説明します。

OHP シートに関するご注意

- OHP シートは、手の脂が付かないように、手袋をはめるなどしてお取り扱いください。OHP シートに手の脂が付着すると、印刷不良の原因になる場合があります。
- 印刷直後の OHP シートは熱くなっていますのでご注意ください。

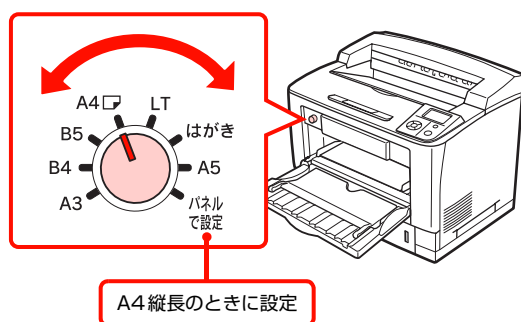
印刷手順

1 **MPトレイにOHPシート(A4またはLTサイズ)をセットします。**

セット方法は、下表と図を参照してください。

セット枚数	75 枚まで
印刷面	印刷する面を上にしてセット
セット方向	横長または縦長

2 **トレイ用紙サイズスイッチを設定します。**

横長にセット:
【A4▭】または【LT】に設定して、4に進んでください。

縦長にセット:
【パネルで設定】に設定して、3 に進んでください。
なお、LT サイズは縦長にはセットできません。

3 **操作パネルの設定をします。**

① ［給紙装置設定］メニュー － ［MP トレイサイズ］を選択。
② ［A4 縦］に設定。

4 **操作パネルの設定をします。**

① ［給紙装置設定］メニュー － ［MP トレイタイプ］を選択。
② ［OHP シート］に設定。
☞ 本書 71 ページ「操作パネルの使い方」

5 **下表を参照してプリンタドライバの設定をし、印刷を実行します。**

OS	設定画面	項目	設定値
Windows	基本設定	用紙サイズ	A4 210 × 297mm LT 8.5 × 11 in
		給紙装置	MP トレイ
		用紙種類	OHP シート
		排紙設定	MP トレイにセットした用紙の向きに合わせて、排紙方向を設定。
Mac OS X	ページ設定	用紙サイズ	A4 レター
	印刷設定	給紙装置	MP トレイ
		用紙種類	OHP シート
		排紙設定	MP トレイにセットした用紙の向きに合わせて、排紙方向を設定。

☞ Windows：『ソフトウェア編』（電子マニュアル）―「Windows での使い方」
☞ Mac OS X：『ソフトウェア編』（電子マニュアル）―「Mac OS X での使い方」

以上で終了です。

長尺紙への印刷

長尺紙（279 × 900mm）に印刷する際のご注意や、印刷手順を説明します。

長尺紙に関するご注意

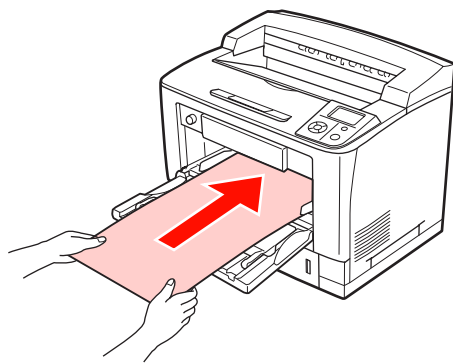
長尺紙に印刷するときは、トレイ用紙サイズスイッチの設定がないので、必ずプリンタドライバの［用紙サイズ］で長尺紙を指定してください。サイズが異なる用紙を選択して印刷すると、故障や印刷不良の原因になります。

印刷手順

1 **MP トレイに長尺紙をセットします。**

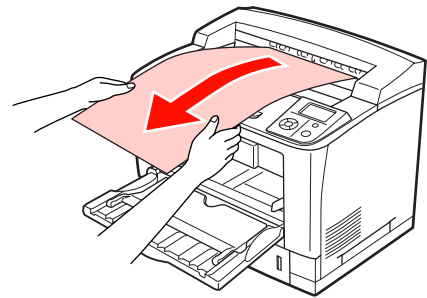
セット方法は、下表と図を参照してください。

> 参考
> - セットするときは、手で用紙を支えてください。
> - 必要に応じて、MPトレイの延長トレイを手前に倒して MP トレイを延ばしてください。

セット枚数	1 枚
印刷面	印刷する面を上にしてセット
セット方向	縦長

2 **下表を参照してプリンタドライバの設定をし、印刷を実行します。**

OS	設定画面	項目	設定値
Windows	基本設定	用紙サイズ	長尺紙
		給紙装置	MP トレイ
		用紙種類	指定しない
Mac OS X	ページ設定	用紙サイズ	長尺紙
	印刷設定	給紙装置	MP トレイ
		用紙種類	指定しない

☞ Windows：『ソフトウェア編』（電子マニュアル）―「Windows での使い方」
☞ Mac OS X：『ソフトウェア編』（電子マニュアル）―「Mac OS X での使い方」

3 **排紙される長尺紙を両手で支えてください。**

以上で終了です。

定形紙以外の用紙への印刷

定形紙以外の用紙に印刷する際のご注意や、印刷手順を説明します。

定形紙以外の用紙に関するご注意

定形紙以外の用紙に印刷するときは、必ずプリンタドライバの［ユーザー定義サイズ］（Windows）/［カスタム用紙（サイズ）］（Mac OS X）で用紙サイズを指定してください。サイズの異なる用紙を選択して印刷し続けると、プリンタ内部の定着器が損傷することがあります。

用紙サイズの登録

定形紙以外の用紙に印刷するときは、任意の用紙サイズをあらかじめ登録しておきます。

登録できる用紙サイズの詳細は以下を参照してください。

☞ 本書 168 ページ「用紙一覧と設定早見表」

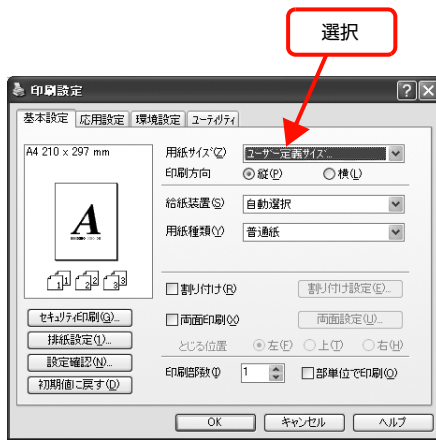
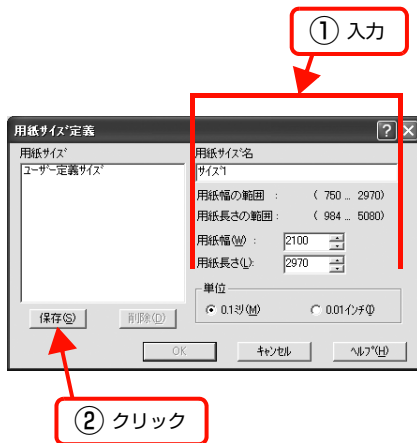
> 登録した用紙サイズは、本機のプリンタドライバを再インストールしても保持されます。

Windows の場合

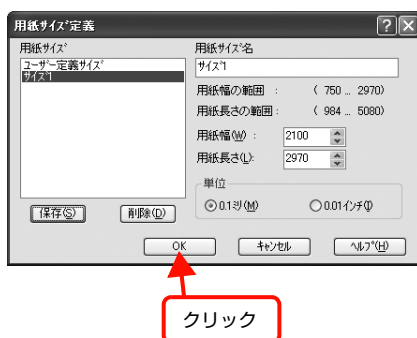
［用紙サイズ］リストに用意されていない用紙サイズを［ユーザー定義サイズ］として 20 件まで登録できます。

1 **プリンタドライバの設定画面を表示します。**

☞『ソフトウェア編』（電子マニュアル）―「Windows での使い方」

2 プリンタドライバの［基本設定］画面の［用紙サイズ］リストから［ユーザー定義サイズ］を選択します。

3 ［用紙サイズ名］、［用紙幅］、［用紙長さ］を入力してから、［保存］をクリックします。

- 登録されている用紙サイズを変更する場合は、［用紙サイズ］リストから変更したい用紙サイズをクリックして選択し、保存し直します。
- 登録されている用紙サイズを削除する場合は、［用紙サイズ］リストから削除したい用紙サイズをクリックして選択し、［削除］をクリックします。

4 ［OK］をクリックします。

ここで登録した用紙サイズが［用紙サイズ］リストから選択できるようになります。

以上で終了です。

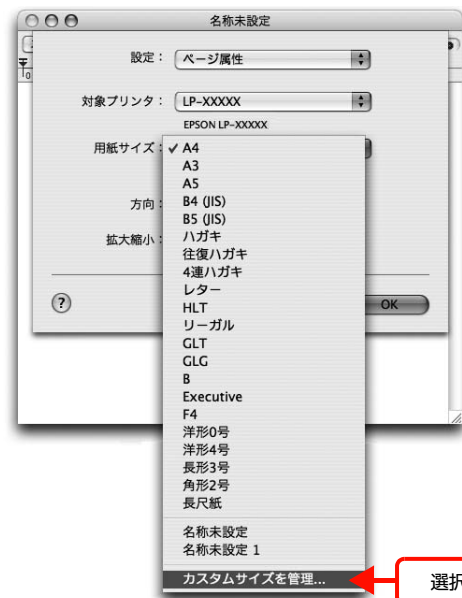
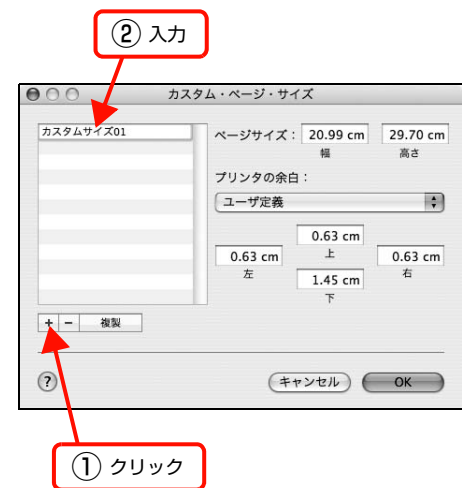
Mac OS X v10.4.x ～ v10.5.x の場合

［用紙サイズ］リストに用意されていない用紙サイズを［カスタムサイズ］として登録できます。

> **参考**
> カスタムサイズの登録は Mac OS X の機能ですので、特定のプリンタドライバに依存することなく、すべてのプリンタドライバで利用できます。

1 プリンタドライバの［ページ設定］画面を開きます。

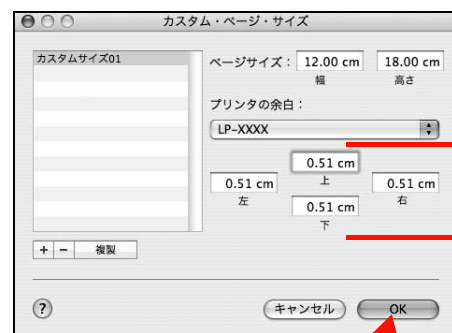
☞『ソフトウェア編』（電子マニュアル）－「Mac OS X での使い方」

2 ［用紙サイズ］メニューから［カスタムサイズを管理］を選択します。

3 ［+］をクリックしてリストに表示された［名称未設定］をダブルクリックし、カスタム用紙名を登録します。

4 ［ページサイズ］に用紙サイズを入力します。

設定の単位をインチにするには、［システム環境設定］から［言語環境］を開き、［数式］タブをクリックして［計測単位］を［U.S.］に設定します。

5 ［プリンタの余白］のプルダウンメニューから、プリンタ名を選択します。

6 ［プリンタの余白］に数値を入力し、［OK］をクリックして登録します。

ここで登録した用紙サイズが［ページ設定］画面の［用紙サイズ］リストから選択できるようになります。

- 登録されている用紙サイズを複製するときは、リストから複製したいサイズ名をクリックして選択し、［複製］をクリックします。必要に応じて設定を変更してから［OK］をクリックします。
- 登録されている用紙サイズを削除するときは、リストから削除したいサイズ名をクリックして選択し、［−］をクリックします。
- 登録している用紙サイズを変更するときは、リストから変更したい用紙サイズ名を選択し、設定を変更して［OK］をクリックします。

7 ［OK］をクリックして［ページ設定］画面を閉じます。

以上で終了です。

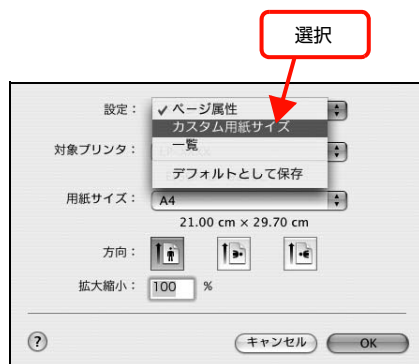
Mac OS X v10.3.9 の場合

［用紙サイズ］リストに用意されていない用紙サイズを［カスタム用紙サイズ］として登録できます。

カスタム用紙サイズの登録は Mac OS X の機能ですので、特定のプリンタドライバに依存することなく、すべてのプリンタドライバで利用できます。

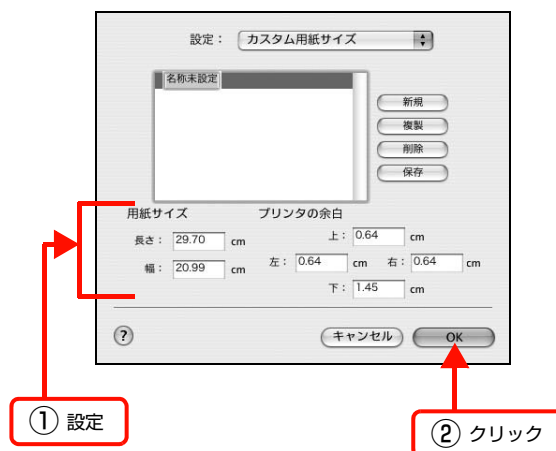
1 **プリンタドライバの［ページ設定］画面を開きます。**

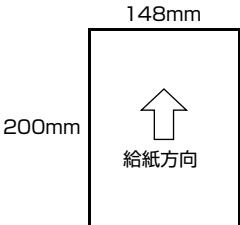
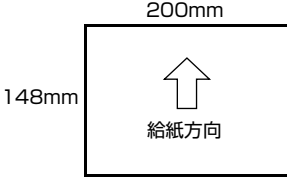
☞『ソフトウェア編』（電子マニュアル）―「Mac OS X での使い方」

2 **［設定］メニューから［カスタム用紙サイズ］を選択します。**

3 **［新規］をクリックします。**

- 登録されている用紙サイズを複製するときは、リストから複製したいサイズ名をクリックして選択し、［複製］をクリックします。必要に応じて設定を変更してから［保存］をクリックします。
- 登録されている用紙サイズを削除するときは、リストから削除したいサイズ名をクリックして選択し、［削除］をクリックします。
- 登録している用紙サイズを変更するときは、リストから変更したい用紙サイズ名を選択し、設定を変更して［保存］をクリックします。

4 **［用紙サイズ名］、［用紙サイズ］、［プリンタの余白］を設定し、［OK］をクリックします。**

ここで登録した用紙サイズが［ページ設定］画面の［用紙サイズ］リストから選択できるようになります。

- 設定を保存した際に、入力した値が OS の計算により変わることがあります。
- 設定の単位をインチにするには、［システム環境設定］から［言語環境］を開き、［数］タブをクリックして［計測単位］を［ヤード・ポンド法］に設定します。

5 **［OK］をクリックして［ページ設定］画面を閉じます。**

以上で終了です。

印刷手順

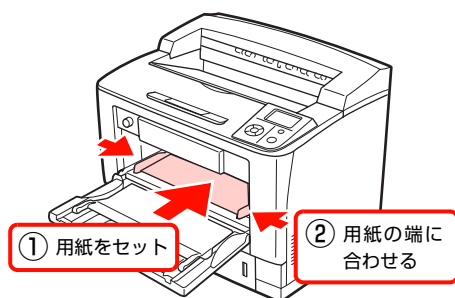
定形紙以外の用紙を印刷するときは、トレイ用紙サイズスイッチの設定がないので、必ずプリンタドライバの［ユーザー定義サイズ］の登録をしてください。

1 **印刷する用紙のサイズを［ユーザー定義サイズ］/［カスタム用紙サイズ］としてあらかじめプリンタドライバの［用紙サイズ］に登録します。**

☞ 本書 64 ページ「用紙サイズの登録」

2 **MP トレイに用紙をセットします。**

セット方法は、下表と図を参照してください。

セット枚数	総厚 17.5mm まで
印刷面	印刷する面を上にしてセット
セット方向	登録した用紙の向き （例） 「用紙幅 148mm ×用紙長 200mm」の場合 148mm / 200mm / 給紙方向 （例） 「用紙幅 200mm ×用紙長 148mm」の場合 200mm / 148mm / 給紙方向

3 **下表を参照してプリンタドライバの設定をし、印刷を実行します。**

OS	設定画面	項目	設定値
Windows	基本設定	用紙サイズ	1 で登録した用紙
		給紙装置	MP トレイ
		用紙種類	セットした用紙の種類
Mac OS X	ページ設定	用紙サイズ	1 で登録した用紙
	印刷設定	給紙装置	MP トレイ
		用紙種類	セットした用紙の種類

☞ Windows：『ソフトウェア編』（電子マニュアル）―「Windows での使い方」
☞ Mac OS X：『ソフトウェア編』（電子マニュアル）―「Mac OS X での使い方」

以上で終了です。

印刷の中止

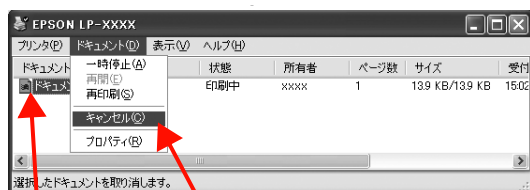
印刷処理を中止するときは、次のいずれかの方法でコンピュータ上の印刷データ、またはプリンタ上の印刷データを削除します。

コンピュータで中止

Windows の場合

1 画面右下のタスクバー上のプリンタアイコンをダブルクリックします。

2 中止したい印刷データをクリックして選択し、［ドキュメント］メニューの［印刷中止］または［キャンセル］をクリックします。

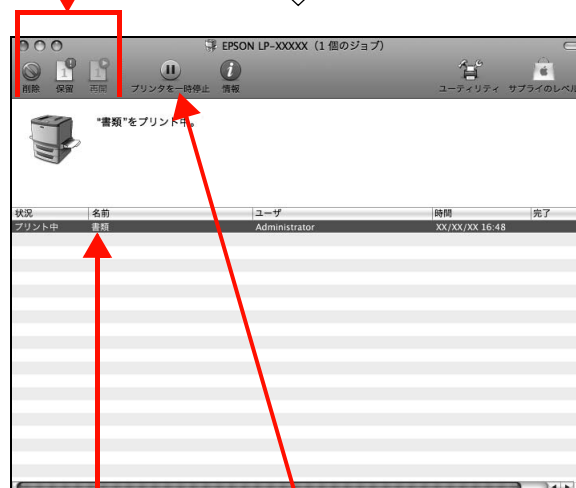
処理済みのデータが印刷されてから表示が消え、印刷が中止されます。

以上で終了です。

Mac OS X の場合

コンピュータ上の処理が続いているときは、以下のいずれかの方法で削除します。

アプリケーションソフトによっては、印刷中であることを知らせる画面が表示されることがあります。表示されているときは、印刷を中止するボタン（［キャンセル］など）をクリックして印刷を強制的に終了します。

Mac OS X v10.5.x の場合

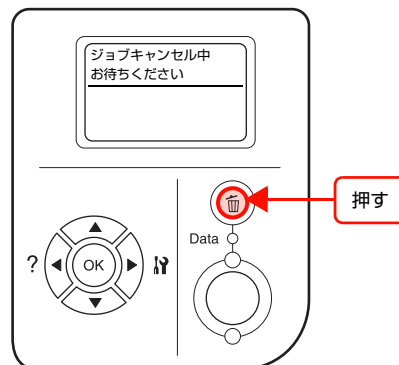
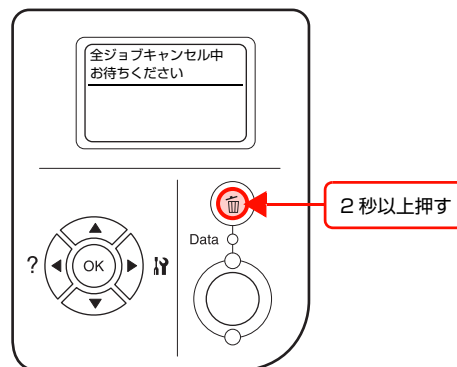
［システム環境設定］－［プリントとファクス］－［プリントキューを開く］を開き、印刷中のジョブを選択して削除（または保留 / 再開）できます。

印刷中の最後のページが排紙されると、プリンタの印刷可ランプが点灯します。

Mac OS X v10.3.9 ～ v10.4.x の場合

［プリンタ設定ユーティリティ］を開き、印刷中のジョブを選択して削除（または保留 / 再開）できます。

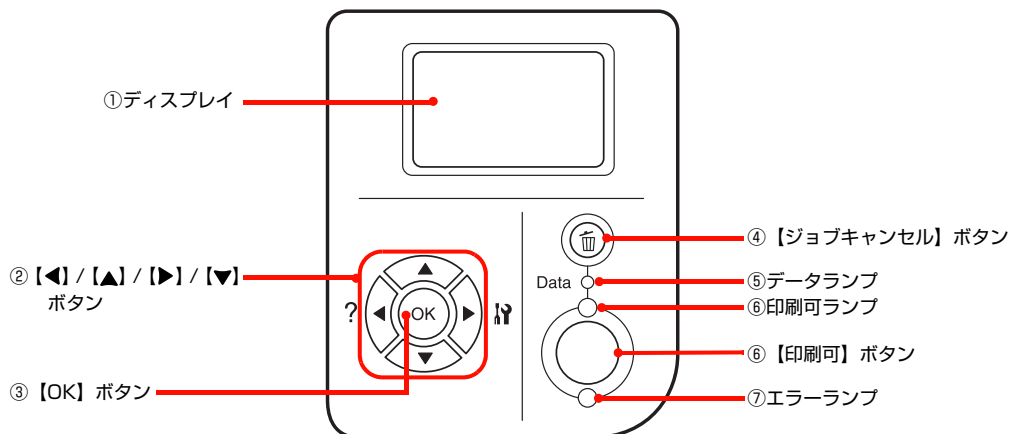
印刷中の最後のページが排紙されると、プリンタの印刷可ランプが点灯します。

操作パネルで中止

- 印刷中のデータを削除するには
  【ジョブキャンセル】ボタンを押します。

- プリンタが受信したすべての印刷データを削除するには
  【ジョブキャンセル】ボタンを約 2 秒以上押し続けます。

4 操作パネルの使い方

操作パネルの各部の名称と役割、操作手順、設定項目の内容を説明します。

操作パネルの各部の名称

操作パネルの各部の名称と機能を説明します。

①ディスプレイ

プリンタの状態や、機能の設定値を表示します。エラーが発生したときには、対処方法を表示します。

②【◀】/【▲】/【▶】/【▼】ボタン

ボタンの種類	機能
【▲】/【▼】	項目を選択します。
【◀】	ひとつ前の画面に戻ります。 ［ヘルプを見る］と表示されているときはヘルプを表示します。 ☞ 本書 157 ページ「ヘルプの見方」
【▶】	設定モードに入ったり、次に進みます。 プリンタの設定を変更するときなどに押します。詳細は、以下のページを参照してください。 ☞ 本書 73 ページ「設定項目の一覧」 ☞ 本書 170 ページ「操作パネル設定項目一覧」

③【OK】ボタン

設定値を確定したり、機能を実行するときなどに押します。

④【ジョブキャンセル】ボタン

押し方	処理
1 回押す	処理中の印刷データ（ジョブ単位）をキャンセルします。
約 2 秒以上押す	処理中の印刷データをすべて削除します。

⑤データランプ

印刷データが残っているときや処理中に点灯または点滅します。

⑥【印刷可】ボタン / ランプ

ランプは、印刷できる状態のときに点灯します。ボタンは、プリンタの状態によって処理が異なります。

ランプの状態	プリンタの状態	【印刷可】ボタンの機能
印刷可ランプ点灯	印刷可状態	印刷可 / 印刷不可（オフライン）状態を切り替えます。
印刷可ランプ消灯、データランプ点灯	印刷不可状態	約 2 秒以上押すと、受信している印刷データの最初のページのみ印刷して排紙します。
エラーランプ点滅	自動復帰できるエラーが発生	エラーを解除して印刷可状態へ自動的に復帰します。
エラーランプ点灯	自動復帰できないエラーが発生	適切な処置を行ってエラー状態を解消すると、自動的に印刷可能状態に復帰します。【印刷可】ボタンを押す必要はありません。

⑦エラーランプ

エラーが発生したときに点滅または点灯します。

設定項目の一覧

操作パネルで設定できる項目は以下の通りです。設定項目の一覧は、以下にも掲載されています。
本書 170 ページ「操作パネル設定項目一覧」

[ ]で示した設定項目はプリンタドライバでも設定可能です。プリンタドライバの設定が優先されます。

[プリンタ情報] メニュー

<table>
<tr><th>設定項目</th><th colspan="3">説明</th></tr>
<tr><td>プリンタ情報シート印刷</td><td colspan="2">現在のプリンタ状態や設定値の一覧を印刷します。</td><td rowspan="7">(【OK】ボタンで実行)</td></tr>
<tr><td>消耗品情報シート印刷</td><td colspan="2">消耗品の使用状況や残量などを印刷します。</td></tr>
<tr><td>使用履歴シート印刷</td><td colspan="2">プリンタの使用履歴一覧を印刷します。</td></tr>
<tr><td>ネットワーク情報印刷</td><td colspan="2">ネットワークインターフェイスに関する情報を印刷します。</td></tr>
<tr><td>I/F カード情報印刷</td><td colspan="2">オプションインターフェイスカードに関する情報を印刷します。オプションのインターフェイスカードを装着したときだけ表示されます。</td></tr>
<tr><td>USB 外部機器情報印刷</td><td colspan="2">接続したオプションの無線プリントアダプタに関する情報を印刷します。オプションの無線プリントアダプタが接続され、[USB I/F 設定] メニューの [USB I/F] を [使う] に設定したときだけ表示されます。</td></tr>
<tr><td>ROM モジュール A 情報</td><td colspan="2">ROMモジュールソケットに装着されているROMモジュールに、ROM モジュール情報が存在するときだけ表示します。</td></tr>
<tr><td>トナー残量</td><td>トナーの残量を表示します。</td><td rowspan="9">7段階で表示します。
多 E＊＊＊＊＊＊F
E＊＊＊＊＊ F
E＊＊＊＊ F
E＊＊＊ F
E＊＊ F
E＊ F
少 E F</td><td rowspan="10">(表示内容を確認後【印刷可】ボタンで終了)</td></tr>
<tr><td>転写ユニットライフ</td><td>転写ユニットの寿命を表示します。</td></tr>
<tr><td>定着ユニットライフ</td><td>定着ユニットの寿命を表示します。</td></tr>
<tr><td>メンテナンスユニットライフ</td><td>メンテナンスユニットの寿命を表示します。</td></tr>
<tr><td>給紙ローラ MP ライフ</td><td rowspan="5">給紙ローラの寿命を表示します。</td></tr>
<tr><td>給紙ローラ C1 ライフ</td></tr>
<tr><td>給紙ローラ C2 ライフ</td></tr>
<tr><td>給紙ローラ C3 ライフ</td></tr>
<tr><td>給紙ローラ C4 ライフ</td></tr>
<tr><td>延べ印刷枚数</td><td colspan="2">プリンタを購入してから現在までに印刷した枚数を表示します。</td></tr>
</table>

[システム情報]メニュー

設定項目	説明	
メインバージョン	本機のファームウェア（機器に内蔵されているソフトウェア）のバージョンを表示します。	（表示内容を確認後【印刷可】ボタンで終了）
MCU バージョン		
シリアル No	本機の製造番号を表示します。	
メモリ	本機に搭載しているメモリの容量を表示します。	
MAC アドレス	本機のネットワークインターフェイスのMACアドレスを表示します。	

[パスワード印刷]メニュー

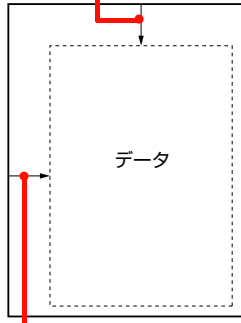
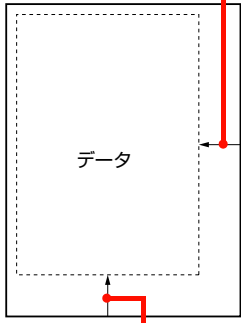
パスワード印刷を行うメニューです。プリンタに装着したオプションのメモリ（RAM）に、パスワード印刷ジョブが保存されていると表示されます。

☞『ソフトウェア編』（電子マニュアル）―「印刷ジョブにパスワードを設定」

設定項目	設定値	説明
ユーザー	プリンタドライバで設定したユーザー名	印刷するジョブを作成したユーザー名を選択します。
パスワード	XXXX	プリンタドライバで設定したパスワード（0 ～ 9 の数字 4 桁）を入力します。
ジョブ名	プリンタドライバで設定したジョブ名	全ジョブまたはジョブ名を選択します。
印刷	−	印刷を開始します。
データ消去	−	【OK】ボタンでデータ消去を実行します。

[給紙装置設定]メニュー

設定項目	設定値	説明
MP トレイサイズ	A4 横（初期値）	用紙サイズを設定します。
	A4 縦	
	A3	
	A5	
	A6	
	B4	
	B5	
	はがき	
	往復はがき	
	4 面連刷はがき	
	LT（Letter）	
	HLT（Half Letter）	
	LGL（Legal）	
	GLT（Government Letter）	
	GLG（Government Legal）	
	B（Ledger）	
	EXE（Executive）	
	F4	
	洋形 0 号	
	洋形 4 号	
	長形 3 号	
	角形 2 号	
カセット 1 サイズ カセット2サイズ カセット3サイズ カセット 4 サイズ	A4 横	標準用紙カセット（カセット 1）またはオプションの増設 1 段カセットユニット（カセット 2 ～ 4）にセットした用紙サイズを表示します。操作パネルでの変更はできません。カセット 2 ～ 4 は、オプションの増設 1 段カセットユニットを装着したときのみ表示されます。
	A4 縦	
	A3	
	A5	
	B4	
	B5	
	LT（Letter）	
	LGL（Legal）	

設定項目	設定値	説明
MP トレイタイプ	普通紙（初期値）	MP トレイにセットした用紙タイプを設定します。
	印刷済み	
	レターヘッド	
	再生紙	
	色つき	
	OHP シート	
	ラベル	
カセット 1 タイプ カセット2タイプ カセット3タイプ カセット 4 タイプ	普通紙（初期値）	標準の用紙カセット（カセット 1）またはオプションの増設 1 段カセットユニットにセットした用紙のタイプを設定します。カセット 2 ～ 4 は、オプションの増設 1 段カセットユニットを装着したときのみ表示されます。
	印刷済み	
	レターヘッド	
	再生紙	
	色つき	

[プリンタモード] メニュー

設定項目	設定値	説明
パラレル USB ネットワーク I/F カード*1	自動（初期値）	受信したデータに合わせて、自動的にプリンタモードを設定します。通常はこの設定で使用してください。
	ESC/PS	ESC/P スーパーモードになります。DOS アプリケーションソフトを使用する場合は、コンピュータから送られてきたコマンド（コントロールコード）が ESC/P であるか、PCPR201H であるかを自動判別します。ほとんどの DOS アプリケーションソフトでは、ESC/Page モードへの移行がサポートされていますので、この設定で使用できます。
	ESC/P	ESC/P（VP-1000）エミュレーションモードになります。海外版 DOS アプリケーションソフトを使用する場合や、国内版 DOS アプリケーションソフトで、画面とは違う文字が印刷される場合などに設定します。
	ESC/Page	ESC/Page モードになります。通常は設定する必要がありません。

*1 オプションのインターフェイスカードを装着したときだけ表示されます。

[印刷書式設定]メニュー

設定項目	設定値	説明
ページサイズ	自動（初期値）	印刷する文書の用紙のサイズを設定します。
	A4	
	A3	
	A5	
	A6	
	B4	
	B5	
	はがき	
	往復はがき	
	4 面連刷はがき	
	LT（Letter）	
	HLT（Half Letter）	
	LGL（Legal）	
	GLT（Government Letter）	
	GLG（Government Legal）	
	B（Ledger）	
	EXE（Executive）	
	F4	
	洋形 0 号	
	洋形 4 号	
	長形 3 号	
	角形 2 号	
用紙方向	縦（初期値）	用紙方向を設定します。
	横	
解像度	はやい	300dpi で印刷します。
	きれい（初期値）	600dpi で印刷します。 印刷するデータの容量が大きいと、メモリ不足で印刷できないことがあります。このような場合は、[はやい]（300dpi）で印刷してください。[きれい]（600dpi）で印刷するには、プリンタのメモリを増設する必要があります。
	よりきれい	1200dpi で印刷します。 印刷するデータの容量が大きいと、メモリ不足で印刷できないことがあります。このような場合は、[はやい]（300dpi）で印刷してください。[よりきれい]（1200dpi）で印刷するには、プリンタのメモリを増設する必要があります。

設定項目	設定値	説明
RIT	On（初期値）	斜線や曲線などのギザギザをなめらかにする輪郭補正機能（Resolution Improvement Technology）を使用して印刷します。
	Off	輪郭を補正しません。
トナーセーブ	しない（初期値）	トナーを節約しません。
	する	輪郭部分のみを濃く印刷しトナーの消費を約 50% 節約します。試し印刷など、印刷品質にこだわらないときにご利用ください。
印刷濃度レベル	1	印刷する文字の濃度を設定します。数字が小さいほど薄く、大きいほど濃く表示されます。
	2	
	3（初期値）	
	4	
	5	
縮小	Off（初期値）	印刷データを原寸（100%）で印刷します。
	80%	印刷データを 80%に縮小して印刷します。
イメージ補正	1（初期値）	標準の方式でイメージデータを補正します。通常はこの設定を使用してください。
	2	［ESC/PS］または［ESC/P］モードで、罫線が正しく印刷されないときに設定します。 ［ESC/Page］モードで、本機に対応していないドライバを使用していて、複雑な図の印刷に問題があるときに設定します。
上オフセット	-30.0 ～ 30.0mm （初期値 0mm）	オフセット値を 0.5mm 単位で設定します。［上オフセット B］、［左オフセット B］は用紙裏面のオフセット値を設定します。 例 1） 上オフセット 10.0mm データ 左オフセット 10.0mm 例 2） 左オフセット -10.0mm データ 上オフセット -10.0mm アプリケーションで設定した余白とずれることがあります。 印刷保証領域いっぱいに作成した印刷データに対してオフセット値を変更すると、用紙端のデータが印刷されません。 ☞ 本書 49 ページ「印刷できる領域」
左オフセット	-30.0 ～ 30.0mm （初期値 0mm）	
上オフセット B	-30.0 ～ 30.0mm （初期値 0mm）	
左オフセット B	-30.0 ～ 30.0mm （初期値 0mm）	

[プリンタ設定]メニュー

設定項目	設定値	説明
表示言語	日本語（初期値）	操作パネルの表示を日本語にします。
	English	操作パネルの表示を英語にします。
節電移行時間	1 分（初期値）*	節電状態に入るまでの時間を分単位で設定します。最後の印刷が終了してから、設定した時間が経過すると節電状態になり、消費電力を節約することができます。節電中に印刷するデータを受け取ると、ウォーミングアップを行ってから印刷を開始します。 * LP-S4200 は 1 分、3 分に対応していません。5 分が初期値になります。
	3 分 *	
	5 分 *	
	15 分	
	30 分	
	60 分	
	120 分	
	180 分	
	240 分	
I/F タイムアウト	20 ～ 600（初期値 60）	インターフェイスを自動切り替えで使用しているときの、タイムアウト時間を秒単位で設定します。タイムアウト時間とは、あるインターフェイスからのデータの受信が途切れたのち、別のインターフェイスに切り替わるまでの時間のことです。ただし、設定されているタイムアウト時間中も別のインターフェイスがデータを受信し、受信バッファにデータを蓄えています。タイムアウト時間経過後は強制的にインターフェイスが切り替わるため、印刷中にデータの受信が途切れてしまったページは、その時点で排紙されます。
給紙口	自動（初期値）	［プリンタ設定］メニューの［紙種］が［普通］の場合の給紙方法を選択します。［紙種］が［厚紙］や［特厚紙］、［OHP シート］の場合は、常に MP トレイから給紙します。［自動］に設定しておくと、印刷時に指定したサイズの用紙がセットしてある給紙装置を自動的に検出して給紙します。カセット2～ 4 は、オプションの増設 1 段カセットユニットを装着したときだけ表示されます。
	MP トレイ	
	カセット1	
	カセット2	
	カセット3	
	カセット4	
排紙先	フェイスダウン（初期値）	フェイスダウン（標準）またはオプションの A4 スタッカユニット（排紙トレイ）のどちらから排紙するかを設定します。
	スタッカ	
スタッカ	スタッカ＋フェイスダウン（初期値）	オプションの A4 スタッカユニット（排紙トレイ）を装着したときのみ表示されます。スタッカトレイとフェイスダウン（標準）を合わせて排紙させるか、排紙先でスタッカを選択した場合にスタッカトレイのみ排紙とするかを設定します。
	スタッカのみ	
MP トレイ優先	しない（初期値）	プリンタドライバの［給紙装置］の設定が［自動選択］、かつ MP トレイと用紙カセットに同サイズの用紙がセットされているときに、MP トレイからの給紙を優先するかどうかを設定します。
	する	
コピー枚数	1 ～ 999（初期値 1）	印刷するデータが何ページもある場合、印刷する枚数を設定します。ここで設定した枚数を印刷した後、次ページのデータを印刷します。
両面印刷	Off（初期値）	両面印刷するかどうかを設定します。
	On	

設定項目	設定値	説明
綴じ方向	ロングエッジ（初期値）	両面印刷の際に、用紙を綴じる位置を選択します。綴じしろは、「印刷書式設定」メニューの各オフセットで設定します。
	ショートエッジ	
紙種	普通 （初期値）	普通紙、再生紙などを使用するときに選択します。
	厚紙	紙厚が 91 ～ 157g/m^2 の厚紙やハガキなどの特殊紙を使用するときに選択します。なお、用紙サイズをハガキにした場合は、自動的に厚紙対応モードに切り替わります（表示は変わりません）。
	特厚紙	紙厚が 158 ～ 216g/m^2 の特厚紙を使用するときに選択します。なお、オプションの両面印刷ユニット装着時は特厚紙の使用はできませんので、選択しないでください。
	OHP シート	専用 OHP シートを使用するときに選択します。
白紙節約	する（初期値）	白紙ページを印刷するか、しないかを設定します。白紙ページを印刷しないと、用紙を節約できます。
	しない	
自動排紙	する（初期値）	印刷データによっては、プリンタのデータランプが点滅した状態で停止して印刷されない場合があります。[する] に設定すると、プリンタ内に残ったデータを［I/F タイムアウト］で設定した時間後に自動的に印刷して排紙します。
	しない	プリンタ内にデータが残っていても、自動排紙しません。
用紙サイズフリー	Off（初期値）	［指定と違うサイズの用紙に印刷しました］のワーニングと［用紙を交換してください xxxxx yyyy］のエラーを表示するかどうかを設定します。
	On	
自動エラー解除	しない（初期値）	［オーバーランエラー］、［用紙を交換してください xxxxx yyyyy］、［メモリ不足で印刷できません］、［指定された用紙は両面印刷できません］、［メモリ不足で両面印刷できませんでした］のエラーが発生すると、プリンタの動作を一時停止します。【印刷可】ボタンを押すと、印刷を再開します。
	する	上記のエラーが発生すると、メッセージを約 5 秒間表示した後、エラーを自動的に解除して動作を継続します。
ページエラー回避	Off（初期値）	複雑なデータ（文字数、図形などが非常に多いデータ）を印刷する場合、印刷動作に対し画像データの作成処理が追い付かないためにページエラーが発生することがあります。このとき、送られてきた画像データに相当するメモリやバッファを確保し、あらかじめ描画してから印刷動作を開始するようにして、ページエラーを回避することができます。ただし、印刷時間が長くなることがありますので、通常は［Off］に設定してください。
	On	
トナー交換エラー	印刷継続（初期値）	トナーがなくなっても、操作パネルにエラー表示せずに印刷を継続します。
	印刷停止	トナーが残り少なくなると、操作パネルに表示され、プリンタの動作を一時停止します。【印刷可】ボタンを押すと、印刷を再開します。
LCD コントラスト	0 ～ 15（初期値 7）	操作パネルに表示される文字の濃度を設定します。数字が小さいほど薄く、大きいほど濃く表示されます。
RAM ディスク	なし（初期値）	パスワード印刷機能は使用できません。
	標準	パスワード印刷時、増設メモリ容量の 50%を RAM ディスクとして使用します。
	最大	パスワード印刷時、増設メモリ容量の 100%を RAM ディスクとして使用します。

[プリンタリセット]メニュー

設定項目	説明	
ワーニングクリア	操作パネルに表示されている、消耗品など交換部品に関するもの以外のメッセージを消します。	（【OK】ボタンで実行）
全ワーニングクリア	操作パネルに表示されているすべてのワーニングメッセージを消します。	
リセット	操作パネルに「リセットシテクダサイ」と表示されたときに行ってください。現在稼働中のインターフェイスに対して、メモリに保存された印刷データを破棄します。	
リセットオール	電源を入れた直後の状態までプリンタを初期化するときに行ってください。すべてのインターフェイスに対してメモリに保存された印刷データを破棄します。また、印刷されていないパスワード印刷ジョブもメモリ（RAM ディスク）から削除されます。	
設定初期化	インターフェイスの設定を除くすべての設定値を初期化します（工場出荷時の設定に戻します）。	
定着ユニットライフリセット	定着ユニットの寿命表示を初期化します。	

[時計設定]メニュー

設定項目	設定値	説明
時差設定	-13:59 ～ +13:59 （初期値：9:00）	初期値に設定されているため変更する必要はありませんが、外部（EpsonNet Config 等）から時差が変更された場合は、修正のため設定してください。
日付時刻設定	2000/01/01 00:00 ～ 2099/12/31/ 23:59	日付や日時を設定します。 初回電源投入時や、長期間（約 10 日）未使用後の電源投入時にはこの画面が表示されます。
日付表示フォーマット	DD/MM/YY	日付の表示順を設定します。
	MM/DD/YY	
	YY/MM/DD（初期値）	

[パラレル I/F 設定]メニュー

パラレルインターフェイスに対する設定項目です。変更した設定を有効にするには、設定後約 5 秒（設定した内容をプリンタに保存する間）待ってからリセットオールするか電源を入れ直してください。

設定項目	設定値	説明
パラレル I/F	使う（初期値）	パラレルインターフェイスを使用するかどうか（インターフェイス自動選択の対象に含めるかどうか）を選択します。
	使わない	
ACK 幅	短い（初期値）	ACK 信号のパルス幅を約 1 μS に設定します。
	標準	ACK 信号のパルス幅を約 10 μS に設定します。
双方向	ECP（初期値）	ECP モードで双方向通信（IEEE 1284 準拠）します。 コンピュータのパラレルインターフェイスやアプリケーションソフトが ECP モードに対応している必要があります。
	Off	双方向通信を行いません。
	ニブル	ニブルモードで双方向通信（IEEE 1284 準拠）します。コンピュータやアプリケーションソフトで特に指定がない場合はこの設定を使用してください。
受信バッファ	標準（初期値）	搭載メモリを印刷描画用データ受信用にバランス良く配分します。
	最大	搭載メモリを、データ受信を重視して配分します。
	最小	搭載メモリを、印刷描画を重視して配分します。

[USB I/F 設定]メニュー

USB インターフェイスおよび USB インターフェイスに装着したオプションの無線プリントアダプタに対する設定項目です。変更した設定を有効にするには、設定後約 5 秒（設定した内容をプリンタに保存する間）待ってからリセットオールするか電源を入れ直してください。

設定項目	設定値	説明
USB I/F	使う（初期値）	USB インターフェイスを使用するかどうか（インターフェイス自動選択の対象に含めるかどうか）を選択します。
	使わない	
USB SPEED	HS（初期値）	すべての USB 接続機器に対応しています。通常は、この設定で使用します。
	FS	［HS］で正しく動作しないときに、この設定を使用します。
IP アドレス設定 *1	パネル	操作パネルで設定した IP アドレス、サブネットマスク、ゲートウェイアドレスの値を使用します。 操作パネルから IP アドレスを設定する方法は、以下を参考にしてください。 本書 92 ページ「オプションの無線プリントアダプタ」
	自動	ネットワーク上にある DHCP サーバから IP アドレスを自動取得します。
	PING	ネットワークから ARP コマンド /PING コマンドで設定した IP アドレスの値を使用します
IP*1	000.000.000.001 ～ 255.255.255.254*3	TCP/IP の IP アドレスを設定します。
SM*1	000.000.000.000 ～ 255.255.255.255	TCP/IP の Subnet Mask を設定します。
GW*1		TCP/IP の Gateway アドレスを設定します。
NetWare*1 *2	On	無線プリントアダプタを装着した本機がNetWareを使用できるかどうかを選択します。
	Off	
AppleTalk*1	On	無線プリントアダプタを装着した本機が AppleTalk ネットワークで使用できるかどうかを選択します。
	Off	
MS Network*1	On	無線プリントアダプタを装着した本機が MS Network を使用できるかどうかを選択します。
	Off	
Bonjour*1	On	無線プリントアダプタを装着した本機が Bonjour を使用できるかどうかを選択します。
	Off	
USB 外部機器初期化 *1	−	無線プリントアダプタの設定を初期化します。 【OK】ボタンで初期化を実行します。
受信バッファ	標準（初期値）	搭載メモリを印刷描画用データ受信用にバランス良く配分します。
	最大	搭載メモリを、データ受信を重視して配分します。
	最小	搭載メモリを、印刷描画を重視して配分します。

*1 オプションの無線プリントアダプタが装着されているときに表示されます。初期値は、無線プリントアダプタが保持しており、［USB 外部機器初期化］を実行すると初期値に戻ります。

*2 USB 外部機器が NetWare をサポートしている場合のみ表示されます。

*3 000.000.000.000、127.000.000.001、255.255.255.255、224.000.000.000 ～ 239.255.255.255 の数値はスキップします。

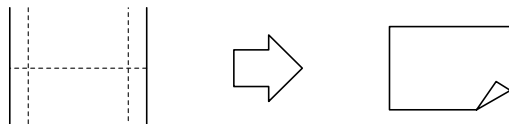
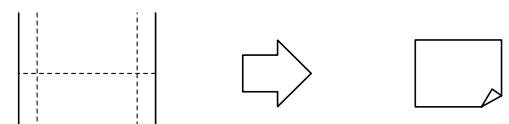
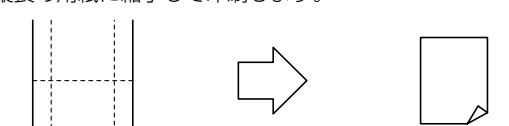
[ネットワーク設定] メニュー

本機の標準ネットワークインターフェイスに対する設定項目です。変更した設定を有効にするには、設定後約 5 秒（設定した内容をプリンタに保存する間）待ってからリセットオールするか電源を入れ直してください。

設定項目	設定値	説明
ネットワーク I/F	使う（初期値）	標準のネットワークインターフェイスを使用するかどうか（インターフェイス自動選択の対象に含めるかどうか）を選択します。
	使わない	
IP アドレス設定	パネル（初期値）	操作パネルで設定した IP アドレス、サブネットマスク、ゲートウェイアドレスの値を使用します。 操作パネルから IP アドレスを設定する方法は、以下を参考にしてください。 本書 89 ページ「標準のネットワークインターフェイス」
	自動	ネットワーク上にある DHCP サーバから IP アドレスを自動取得します。
	PING	ネットワークから ARP コマンド /PING コマンドで設定した IP アドレスの値を使用します。
IP	000.000.000.001 ～ 255.255.255.254* （初期値 192.168.192.168）	TCP/IP の IP アドレスを設定します。
SM	000.000.000.000 ～ 255.255.255.255 （初期値 255.255.255.0）	TCP/IP の Subnet Mask を設定します。
GW	000.000.000.000 ～ 255.255.255.255 （初期値 255.255.255.255）	TCP/IP の Gateway アドレスを設定します。
AppleTalk	On（初期値）	標準のネットワークインターフェイスが AppleTalk ネットワークで使用できるかどうかを選択します。
	Off	
MS Network	On	標準のネットワークインターフェイスが MS Network を使用できるかどうかを選択します。
	Off（初期値）	
WSD	On	標準のネットワークインターフェイスがWSDを使用できるかどうかを選択します。
	Off（初期値）	
LLTD	On	標準のネットワークインターフェイスが LLTD を使用できるかどうかを選択します。
	Off（初期値）	
Bonjour	On	標準のネットワークインターフェイスが Bonjour を使用できるかどうかを選択します。
	Off（初期値）	
Link Speed	自動（初期値）	データ転送速度 / 通信方式を自動判別します。
	100 Full	100BASE-TX 全二重のデータ転送速度 / 通信方式に設定します。
	100 Half	100BASE-TX 半二重のデータ転送速度 / 通信方式に設定します。
	10 Full	10BASE-T 全二重のデータ転送速度 / 通信方式に設定します。
	10 Half	10BASE-T 半二重のデータ転送速度 / 通信方式に設定します。
受信バッファ	標準（初期値）	搭載メモリを印刷描画用データ受信用にバランス良く配分します。
	最大	搭載メモリを、データ受信を重視して配分します。
	最小	搭載メモリを、印刷描画を重視して配分します。

* 000.000.000.000、127.000.000.001、255.255.255.255、224.000.000.000 ～ 239.255.255.255 の数値はスキップします。

[I/F カード設定] メニュー

本機に装着したオプションのインターフェイスカードに対する設定項目です。変更した設定を有効にするには、設定後約5 秒（設定した内容をプリンタに保存する間）待ってからリセットオールするか電源を入れ直してください。

設定項目	設定値	説明
I/F カード	使う（初期値）	オプションのインターフェイスカードを使用するかどうか（インターフェイス自動選択の対象に含めるかどうか）を選択します。
	使わない	
IP アドレス設定	パネル	操作パネルで設定した IP アドレス、サブネットマスク、ゲートウェイアドレスの値を使用します。 操作パネルから IP アドレスを設定する方法は、以下を参考にしてください。 ☞ 本書 90 ページ「オプションのネットワーク I/F カード」
	自動	ネットワーク上にある DHCP サーバから IP アドレスを自動取得します。
	PING	ネットワークから ARP コマンド /PING コマンドで設定した IP アドレスの値を使用します。 ARP コマンド /PING コマンドからの IP アドレスを設定する方法は、オプションのネットワークインターフェイスカードの取扱説明書を参照してください。
IP	000.000.000.001 ～ 255.255.255.254[*2]	TCP/IP の IP アドレスを設定します。
SM	000.000.000.000 ～ 255.255.255.255	TCP/IP の Subnet Mask を設定します。
GW		TCP/IP の Gateway アドレスを設定します。
NetWare	On	オプションのネットワークインターフェイスがNetWareネットワークで使用できるかを選択します。
	Off	
AppleTalk	On	インターフェイスカードを装着した本機が AppleTalk ネットワークで使用できるかどうかを選択します。
	Off	
MS Network	On	インターフェイスカードを装着した本機が MS Network を使用できるかどうかを選択します。
	Off	
Bonjour[*1]	On	インターフェイスカードを装着した本機が Bonjour を使用できるかどうかを選択します。
	Off	
I/F カード初期化	ー	インターフェイスカードの設定を初期化します。 【OK】ボタンで初期化を実行します。
受信バッファ	標準（初期値）	搭載メモリを印刷描画用のデータ受信用にバランス良く配分します。
	最大	搭載メモリを、データ受信を重視した配分にします。
	最小	搭載メモリを、印刷描画を重視した配分にします。

*1 Bonjour をサポートしたインターフェイスカードのみ表示されます。

*2 000.000.000.000、127.000.000.001、255.255.255.255、224.000.000.000 ～ 239.255.255.255 の数値はスキップします。

[ESC/PS 環境設定] メニュー

ESC/PS または ESC/P モードに対する設定項目です。[プリンタモード] で [ESC/PS] または [ESC/P] を設定しているときに有効になります。

設定項目	設定値	説明
連続紙	OFF（初期値）	連続紙用の印刷データを縮小せずに印刷します。
	F15 → B4 横	381 × 279.4mm（15 × 11 インチ）の連続紙用のデータをB4 横長の用紙に縮小して印刷します。
	F15 → A4 横	381 × 279.4mm（15 × 11 インチ）の連続紙用のデータをA4 横長の用紙に縮小して印刷します。
	F10 → A4 縦	254 × 279.4mm（10 × 11 インチ）の連続紙用のデータをA4 縦長の用紙に縮小して印刷します。
文字コード	カタカナ（初期値）	ESC/P 用ソフトウェアを使用しているときに有効です。 英数カナ文字コードを、カタカナコードまたは拡張グラフィックスコードに切り替えます。
	グラフィック	
給紙位置	8.5mm（初期値）	ESC/P 用ソフトウェアを使用しているときに有効です。 用紙の印刷開始位置を設定します。
	22mm	
各国文字	日本（初期値）	ESC/PS モードで PC-PR201H 用ソフトウェアを使用しているときに有効です。 英数カナ文字コード表の一部の記号をどの国に対応するかを選択します。
	アメリカ	
	イギリス	
	ドイツ	
	スウェーデン	
ゼロ	0（初期値）	英数カナ文字コードのゼロの書体を選択します。
	Ø	
用紙位置	左（初期値）	ESC/PS モードで PC-PR201H 用ソフトウェアを使用しているときに有効です。 横方向の印字範囲（136 桁）の幅の中で、用紙をどの位置に合わせるかを選択します。中央を選択した場合は、さらにオフセット量（-5mm または +5mm）を選択できます。アプリケーションソフトのプリンタ設定で PC-PR201H、シートフィーダを使用にしたときは、[中央] を選択してください。なお、アプリケーションソフトの左右マージン設定によっては、左右の一部が印刷されない場合があります。このときは、アプリケーションソフトで左右マージンを大きく設定してください。
	中央	
	中央 -5	
	中央 +5	

設定項目	設定値	説明
右マージン	用紙幅（初期値）	ESC/PS モードまたは ESC/P モードで有効です。 右マージンを選択します。用紙幅（使用する用紙の印刷可能領域)いっぱいに印刷するか、用紙サイズに関係なく 136 桁(13.6 インチ）にします。136 桁に満たない用紙に印刷するときは、用紙の印刷可能領域を超える部分を切り捨てます。
	136 桁	
漢字書体	明朝（初期値）	漢字に使用する書体を選択します。
	ゴシック	

[ESC/Page 環境設定] メニュー

ESC/Page モードに対する設定項目です。［プリンタモード］で［ESC/PS］または［ESC/Page］を設定しているときに有効になります。

設定項目	設定値	説明
復帰改行	する（初期値）	印刷データが右マージン位置を超えたときに、自動的に改行して次の行の先頭から印刷を続けるかを選択します。
	しない	
改ページ	する（初期値）	印刷データが改行のため下マージン位置を超えたときに、自動的に改ページして次のページに印刷するかを選択します。
	しない	
CR	CR のみ（初期値）	CR（復帰）動作のみを行います。
	CR + LF	CR（復帰）と同時に LF（改行）動作も行います。
LF	CR + LF（初期値）	LF（改行）と同時に CR（復帰）動作も行います。
	LF のみ	LF（改行）動作のみを行います。
FF	CR + FF（初期値）	FF（改ページ）と同時に CR（復帰）動作も行います。
	FF のみ	FF（改ページ）動作のみを行います。
エラーコード	Off（初期値）	文字コード表にない文字を無視します。
	On	文字コード表にない文字をスペースに置き換えます。
フォントタイプ	1（初期値）	「幅」対「高さ」が 1 対 2 の文字サイズが指定されたとき、15 ポイント未満は半角フォントを優先し、15 ポイント以上は全角文字を優先して印刷します。
	2	「幅」対「高さ」が 1 対 2 の文字サイズが指定されたとき、全角フォントを優先して印刷します。
	3	「幅」対「高さ」が 1 対 2 の文字サイズが指定されたとき、半角フォントを優先して印刷します。
フォーム実行 *	Off（初期値）	フォームオーバーレイ印刷を実行するかどうかを選択します。ここで［On］に設定すると、ESC/P モードでも実行できます。
	On	
フォーム番号 *	1 ～ 512（初期値 1）	オプションのフォームオーバーレイROMモジュールに登録したフォームオーバーレイ番号を選択します。

＊ フォームデータが書き込まれたオプションのフォームオーバーレイ ROM モジュールが本機に装着されているときだけ表示されます。フォームデータの作成または使用方法、フォームオーバーレイ ROM モジュールへの登録方法の詳細は、オプションの「フォームオーバーレイユーティリティ（Epson Form!4)」に添付の取扱説明書を参照してください。

[パスワード設定]メニュー

操作パネルの設定変更を制限するためのパスワードを設定する項目です。

設定項目	設定値	説明
パスワード設定	旧パスワード =xxxxxxxxxx	［制限範囲］に対するパスワードを、半角英数（大文字・小文字の区別あり）を 20 桁以内で設定します。 本書 94 ページ「パスワードの設定」
	新パスワード =xxxxxxxxxx	
	新パスワード確認 =xxxxxxxxxx	
制限範囲	制限しない（初期値）	本機能は無効になります。
	I/F 項目のみ	［パラレル I/F 設定］、［USB I/F 設定］、［ネットワーク設定］、［I/F カード設定］メニューの各設定項目の変更をパスワードで制限します。
	選択項目のみ	設定値を変更できる項目の設定変更をパスワードで制限します。設定値の確認と、［プリンタ情報］や［プリンタリセット］など設定値のない機能の実行は制限されません。
	全項目	操作パネルの全項目の操作をパスワードで制限します。

- 確定した桁は表示が＊に変わります。
- パスワードの入力を途中で間違えたら、【◀】ボタンを押すと末尾の文字が削除されるので、やり直してください。
- ［パスワード設定］で使用するパスワードは、EpsonNet Config で設定するパスワードと共通になります。
- パスワードを忘れてしまったときは、エプソンインフォメーションセンターにご相談ください。
  本書裏表紙

[お気に入り]メニュー

設定項目	説明
プリンタリセット	パネル操作中でないとき、【OK】ボタンを押すと［お気に入り］メニューの一覧を表示します。 よく使うメニューを登録しておくと便利です。 本書 96 ページ「［お気に入り］メニューの設定」
MP トレイサイズ	
システム情報	

［お気に入り］メニューに登録できるメニューおよび設定項目は以下の通りです。

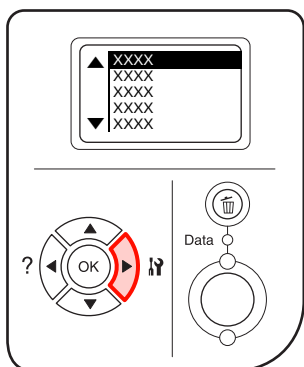
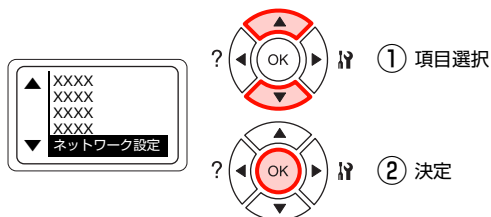
メニュー	設定項目
プリンタ情報	全項目
システム情報	全項目
パスワード印刷	メニューのみ
給紙装置設定	全項目
プリンタモード	全項目
印刷書式設定	全項目
プリンタ設定	全項目
プリンタリセット	定着ユニットライフリセット以外の項目
時計設定	全項目
ESC/PS 環境設定	全項目
ESC/Page 環境設定	全項目

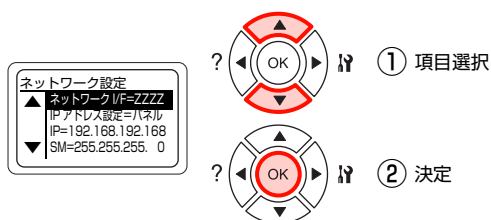
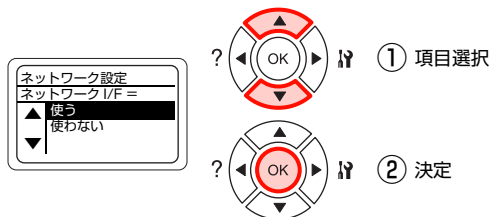
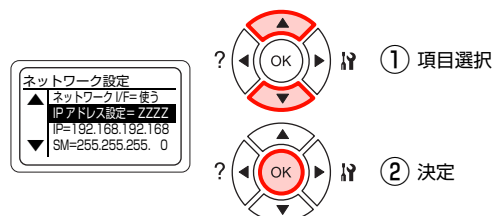
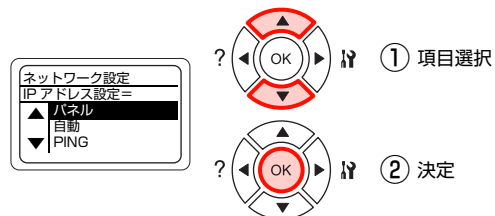
IP アドレスの設定

操作パネルで IP アドレスを設定する方法を説明します。インターフェイスによって設定方法が異なります。

標準のネットワークインターフェイス

本機の標準ネットワークインターフェイスの設定は以下の手順に従ってください。

1 操作パネルの【▶】ボタンを押して、メニューを表示します。

2 ［ネットワーク設定］を選択します。

3 ［ネットワーク I/F = ZZZZ］を選択します。

ZZZZ には［使う］または［使わない］を表示します。

4 ［使う］を選択します。

［ネットワーク I/F ＝使う］と表示されたことを確認します。

5 ［IP アドレス設定＝ ZZZZ］を選択します。

ZZZZ には［パネル］、［自動］、［PING］のいずれかを表示します。

6 ［パネル］を選択します。

［IP アドレス設定＝パネル］と表示されたことを確認します。

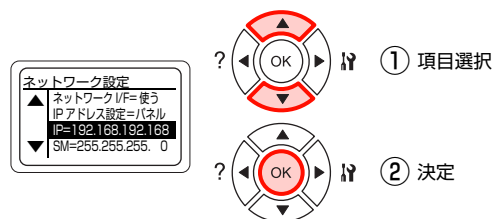
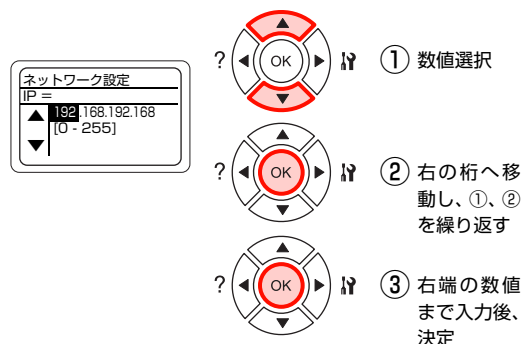
7 各アドレスを設定します。

［IP］・・・IP アドレス
［SM］・・・サブネットマスク
［GW］・・・ゲートウェイアドレス

IP アドレス：

7 －①［IP］を選択します。

7 －② IP アドレスを設定します。

！重要

IP アドレスの設定時、以下の制限事項を確認してください。
000.000.000.000、127.000.000.001、255.255.255.255、224.000.000.000 ～ 239.255.255.255 の数値はスキップします。

続いてサブネットマスク、ゲートウェイアドレスを設定します。
IP アドレスで設定したボタン操作と同様に設定してください。

8 **すべての設定が終了したら、【印刷可】ボタンを押します。**

［印刷できます］と表示されますが、ネットワークインターフェイスの初期化が終了するまで約 5 秒お待ちください。

！重要

設定直後は、ネットワークインターフェイスの初期化が行われるため、プリンタの電源を切ったり、［リセット］または［リセットオール］を実行しないでください。また、初期化中に［ネットワーク情報印刷］を実行しても設定内容は反映されません。

9 **プリンタの電源を入れ直すか、操作パネルの［リセット メニュー］から［リセットオール］を実行します。**

設定内容が有効になります。

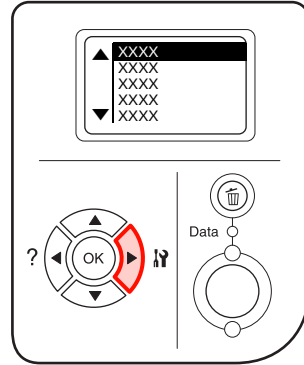
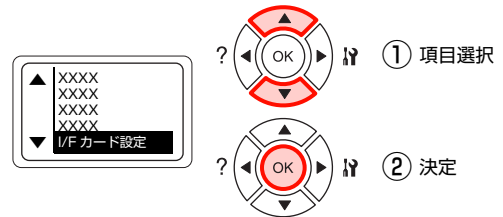
参考

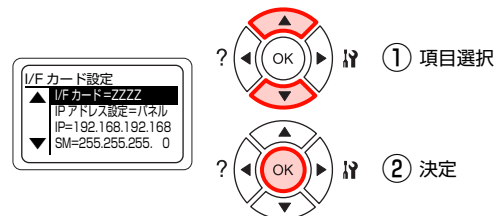
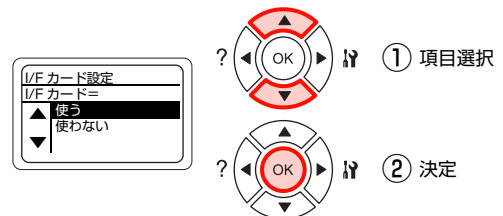
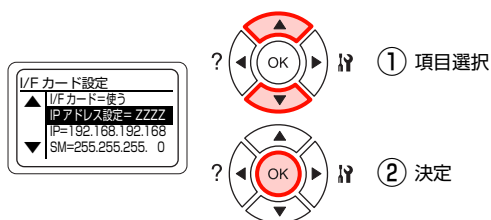
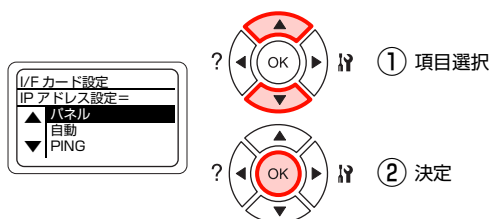
IPアドレスが正しく登録されたか確認するには、ネットワークインターフェイスの初期化が終了してから、［プリンタ情報］メニューの［ネットワーク情報印刷］を実行してください。
☞ 本書 73 ページ「［プリンタ情報］メニュー」

以上で終了です。

オプションのネットワーク I/F カード

オプションのネットワークインターフェイスカードの設定は以下の手順に従ってください。

1 **操作パネルの【▶】ボタンを押して、メニューを表示します。**

2 **［I/F カード設定］を選択します。**

3 **［I/F カード= ZZZZ］を選択します。**

ZZZZ には［使う］または［使わない］を表示します。

4 **［使う］を選択します。**

［I/F カード=使う］と表示されたことを確認します。

5 ［IP アドレス設定＝ ZZZZ］を選択します。

ZZZZ には［パネル］、［自動］、［PING］のいずれかを表示します。

6 ［パネル］を選択します。

［IP アドレス設定＝パネル］と表示されたことを確認します。

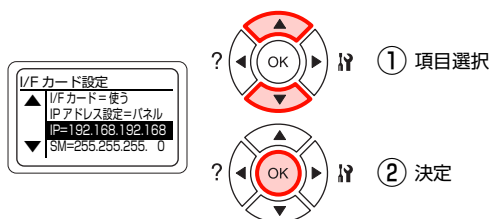
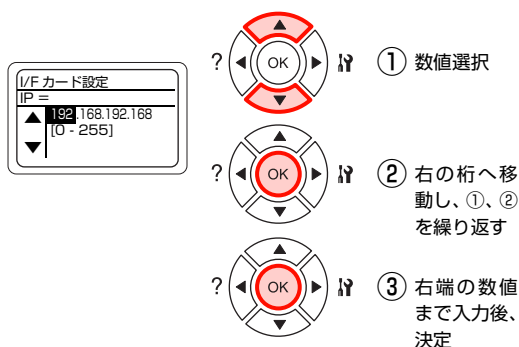
7 各アドレスを設定します。

［IP］・・・IP アドレス
［SM］・・・サブネットマスク
［GW］・・・ゲートウェイアドレス

IP アドレス：

7 －①［IP］を選択します。

7 －② IP アドレスを設定します。

！重要

IP アドレスの設定時、以下の制限事項を確認してください。
000.000.000.000、127.000.000.001、255.255.255.255、224.000.000.000 ～ 239.255.255.255 の数値はスキップします。

続いてサブネットマスク、ゲートウェイアドレスを設定します。
IP アドレスで設定したボタン操作と同様に設定してください。

8 すべての設定が終了したら、【印刷可】ボタンを押します。

［印刷できます］と表示されますが、ネットワークインターフェイスの初期化が終了するまで約 5 秒お待ちください。

！重要

設定直後は、オプションのネットワークインターフェイスカードの初期化が行われるため、プリンタの電源を切ったり、［リセット］または［リセットオール］を実行しないでください。また、初期化中に［I/F カード情報印刷］を実行しても設定内容は反映されません。

9 プリンタの電源を入れ直すか、操作パネルの［プリンタリセット］メニューから［リセットオール］を実行します。

設定内容が有効になります。

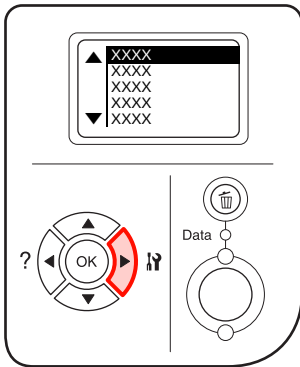
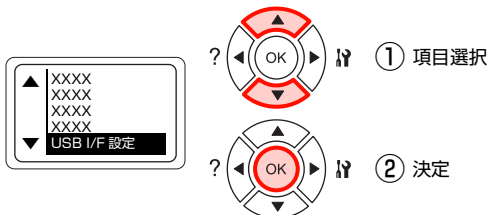
IP アドレスが正しく登録されたか確認するには、［プリンタ情報］メニューの［I/F カード情報印刷］を実行してください。
本書 73 ページ「［プリンタ情報］メニュー」

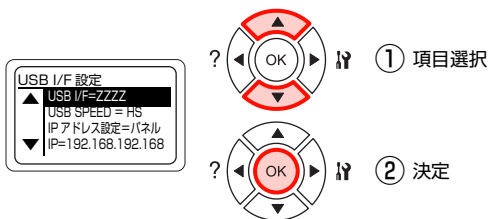
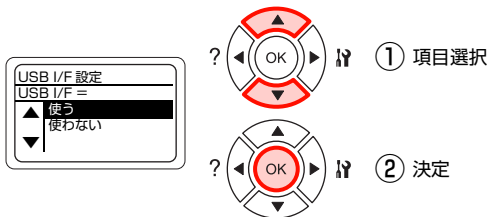
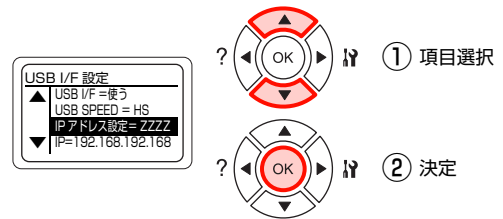
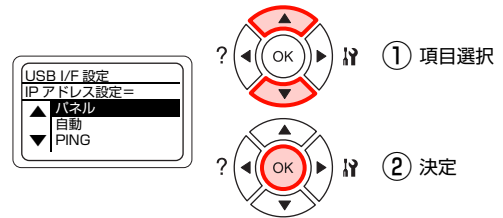
以上で終了です。

オプションの無線プリントアダプタ

オプションの無線プリントアダプタの設定は以下の手順に従ってください。

なお IP アドレス、サブネットマスク、ゲートウェイアドレス以外の設定に関しては、無線プリントアダプタの取扱説明書をご参照ください。

1 **操作パネルの【▶】ボタンを押して、メニューを表示します。**

2 **[USB I/F 設定] を選択します。**

3 **[USB I/F = ZZZZ] を選択します。**

ZZZZ には [使う] または [使わない] を表示します。

4 **[使う] を選択します。**

[USB I/F =使う] と表示されたことを確認します。

5 **[IP アドレス設定= ZZZZ] を選択します。**

ZZZZ には [パネル]、[自動]、[PING] のいずれかを表示します。

6 **[パネル] を選択します。**

[IP アドレス設定=パネル] と表示されたことを確認します。

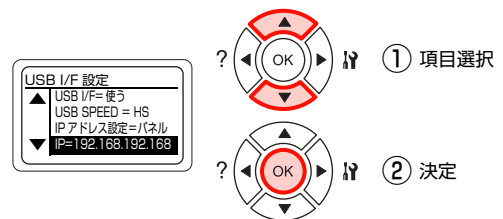
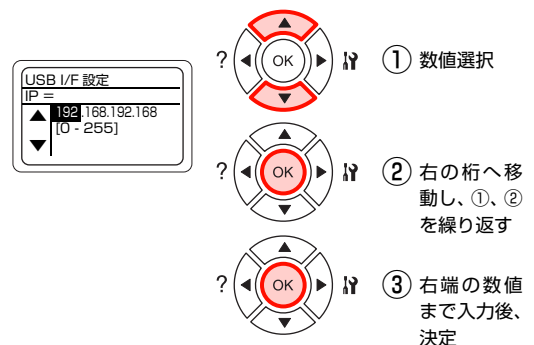
7 **各アドレスを設定します。**

[IP]・・・IP アドレス
[SM]・・・サブネットマスク
[GW]・・・ゲートウェイアドレス

IP アドレス:

7 ―① [IP] を選択します。

7 ―② IP アドレスを設定します。

!重要

IP アドレスの設定時、以下の制限事項を確認してください。
000.000.000.000、127.000.000.001、255.255.255.255、224.000.000.000 ～ 239.255.255.255 の数値はスキップします。

続いてサブネットマスク、ゲートウェイアドレスを設定します。
IP アドレスで設定したボタン操作と同様に設定してください。

8 すべての設定が終了したら、【印刷可】ボタンを押します。

［印刷できます］と表示されますが、無線プリントアダプタの初期化が終了するまで約 5 秒お待ちください。

!重要

設定直後は、無線プリントアダプタの初期化が行われるため、プリンタの電源を切ったり、［リセット］または［リセットオール］を実行しないでください。また、初期化中に［USB 外部機器情報印刷］を実行しても設定内容は反映されません。

9 プリンタの電源を入れ直すか、操作パネルの［プリンタ設定］メニューから［リセットオール］を実行します。

設定内容が有効になります。

参考

IP アドレスが正しく登録されたか確認するには、［プリンタ情報］メニューの［USB 外部機器情報印刷］を実行してください。
本書 73 ページ「［プリンタ情報］メニュー」

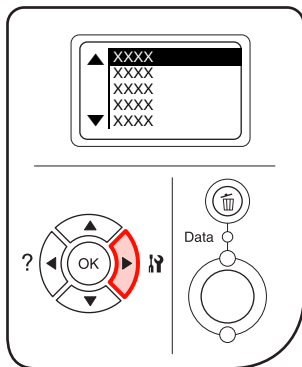
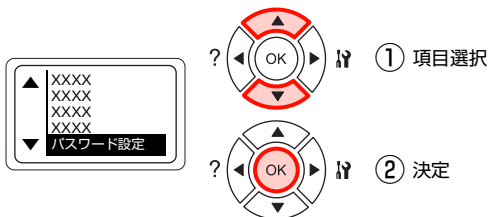
以上で終了です。

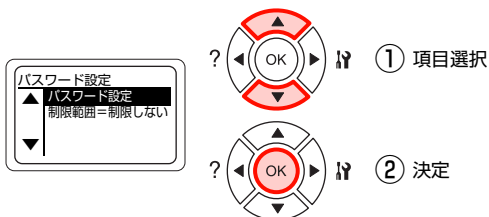
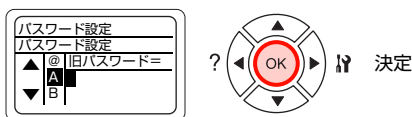
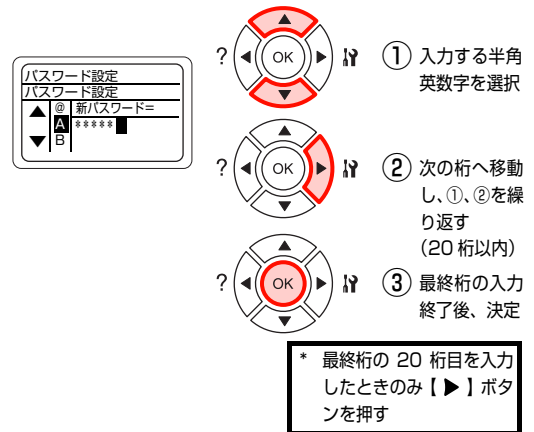
パスワードの設定

操作パネルの設定変更を制限するためのパスワードを設定する方法を説明します。

☞ 本書 88 ページ「[パスワード設定] メニュー」

パスワードの新規設定

1 操作パネルの【▶】ボタンを押して、メニューを表示します。

2 [パスワード設定] を選択します。

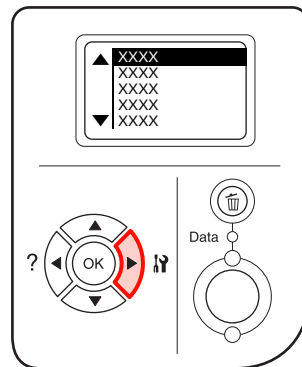
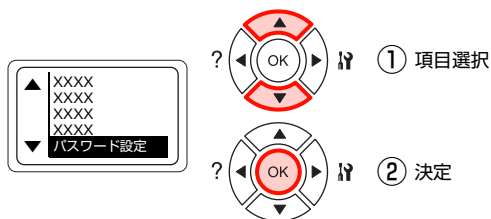
3 [パスワード設定] を選択します。

4 [旧パスワード =] と表示されたら【OK】ボタンを押します。

5 [新パスワード =] と表示されたら、新しく設定するパスワードを入力します。

確定された文字は [＊] と表示されます。
【◀】ボタンで最終桁の文字が削除されます。

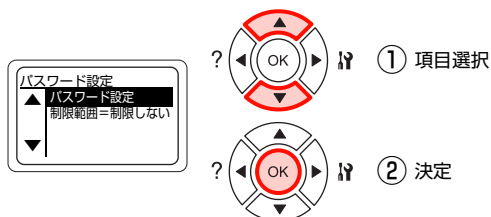
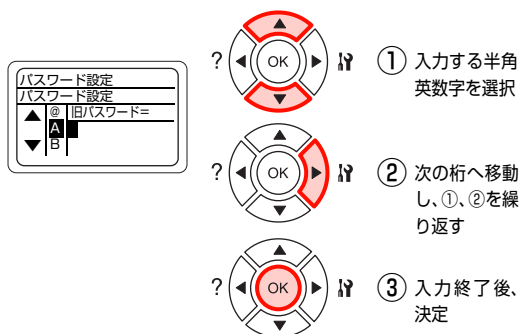
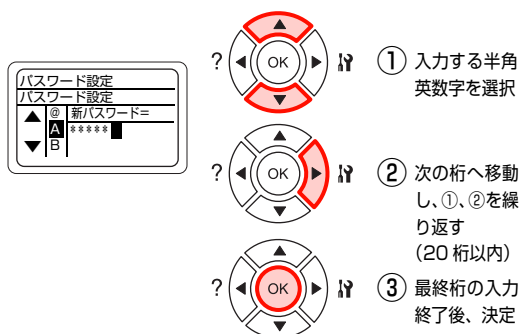
6 [新パスワード確認 =] と表示されたら、5 と同様の手順でもう一度パスワードを入力します。

7 「パスワードを設定しました」と表示されたら、【印刷可】ボタンを押して終了します。

以上で終了です。

パスワードの変更

1 操作パネルの【▶】ボタンを押して、メニューを表示します。

2 ［パスワード設定］を選択します。

3 ［パスワード設定］を選択します。

4 ［旧パスワード＝］と表示されたら、現在のパスワードを入力します。

5 ［新パスワード＝］と表示されたら、新しいパスワードを入力します。

確定された文字は［＊］と表示されます。
【◀】ボタンで最終桁の文字が削除されます。

6 ［新パスワード確認＝］と表示されたら、5 と同様の手順でもう一度パスワードを入力します。

7 「パスワードを変更しました」と表示されたら、【印刷可】ボタンを押して終了します。

以上で終了です。

設定範囲内の項目の設定変更

［パスワード設定］メニューの［制限範囲］、または［制限範囲］で設定した項目を変更しようとすると、［パスワード＝］と表示されます。

パスワードを入力すると、設定変更が可能になります。

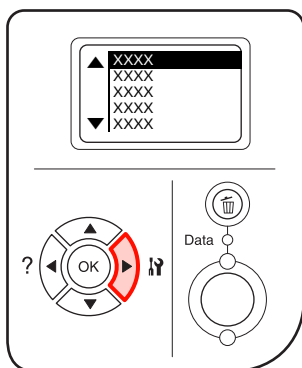
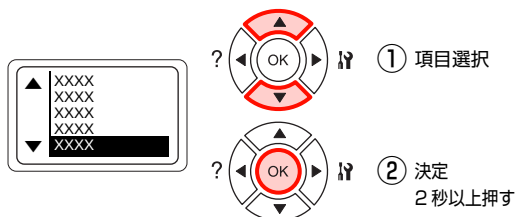
設定が完了したら【印刷可】ボタンを押して終了します。

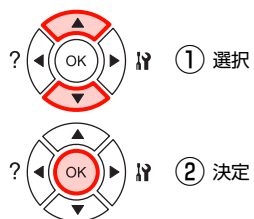
操作の途中でも【印刷可】または【ジョブキャンセル】ボタンを押すと、設定を終了できます。

［お気に入り］メニューの設定

操作パネルで［お気に入り］メニューを登録する方法を説明します。
本書 88 ページ「［お気に入り］メニュー」

設定方法

1 **操作パネルの【▶】ボタンを押して、メニューを表示します。**

2 **登録したいメニューまたは設定項目を選択します。**

［お気に入りを追加します］と表示されます。

3 **登録先を選択します。**

選択した項目に上書きされます。
［パスワード設定］メニューの［制限範囲］に設定したメニューまたは項目を登録しようとすると、パスワード入力画面が表示されます。パスワードを入力すると登録されます。

以上で終了です。

5 メンテナンス

消耗品の交換方法、本機を経済的に使う方法などを記載しています。

トナーカートリッジの交換

トナーカートリッジの交換と、使用済みトナーカートリッジの処分方法を説明します。

使用できるトナーカートリッジは以下を参照してください。

☞ 本書 164 ページ「オプション / 消耗品 / 定期交換部品一覧」

⚠警告
- 消耗品（トナーカートリッジ）を、火の中に入れないでください。
  トナーが飛び散って発火し、火傷するおそれがあります。
- 製品内部の、取扱説明書で指示されている箇所以外には触れないでください。
  感電や火傷のおそれがあります。

！重要 本機はエプソン製のトナーカートリッジ使用時に最高の印刷品質が得られるように設計されております。エプソン製以外のものをご使用になると、本機の故障の原因となったり、印刷品質が低下するなど、本機の性能が発揮できない場合があります。エプソン製以外のものをご使用したことにより発生した不具合については保証いたしませんのでご了承ください。

交換時期

トナーカートリッジは、商品に規定されている寿命まで使用できます。ただし、使用状況（電源入 / 切の回数、紙詰まり処理の回数、連続的に印刷または数ページずつ時間をおいて印刷するなど）によって異なります。交換時期は、プリンタの操作パネルやコンピュータ（EPSON ステータスモニタをインストールしている場合）に表示してお知らせします。

以下のような現象が発生するときは、トナーカートリッジが劣化しているか消耗している可能性があります。交換を知らせるメッセージが表示されなくても、交換することをお勧めします。

- 印刷が薄くかすれる、不鮮明
- 周期的に汚れが発生する
- 黒い点または線が印刷される

印刷が薄くかすれるときは、まずトナーカートリッジの残量が十分か、［トナーセーブ］の設定がされていないかを確認した上でトナーカートリッジを交換してください。

☞ 本書 73 ページ「設定項目の一覧」

保管上のご注意

- 直射日光を避け、梱包された状態で、温度 0 ～ 35 ℃、湿度 20 ～ 80%の結露しない場所に保管してください。
- 立てたり傾けた状態で保管しないでください。

使用済み消耗品の処分

以下のいずれかの方法で処分してください。

- 回収
  使用済みの消耗品（トナーカートリッジ）は、資源の有効活用と地球環境保全のため回収にご協力ください。
  ☞ 本書 100 ページ「回収」
- 廃棄
  一般家庭でお使いの場合は、ポリ袋などに入れて、必ず法令や地域の条例や、自治体の指示に従って廃棄してください。事業所など業務でお使いの場合は、産業廃棄物処理業者に廃棄物処理を委託するなど、法令に従って廃棄してください。

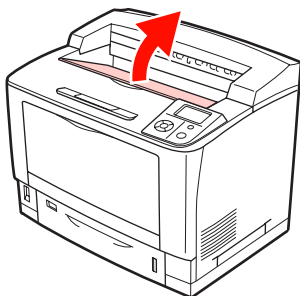
交換時のご注意

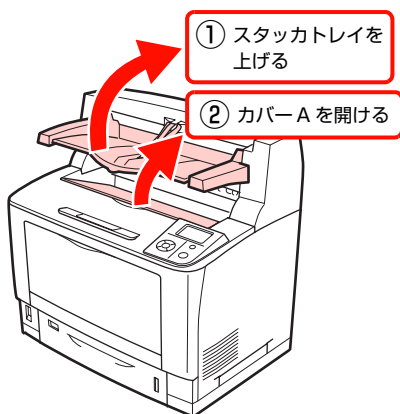
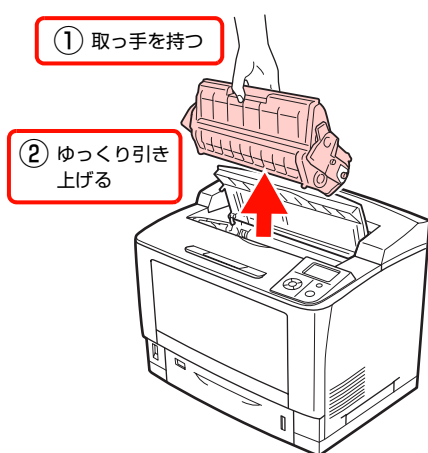
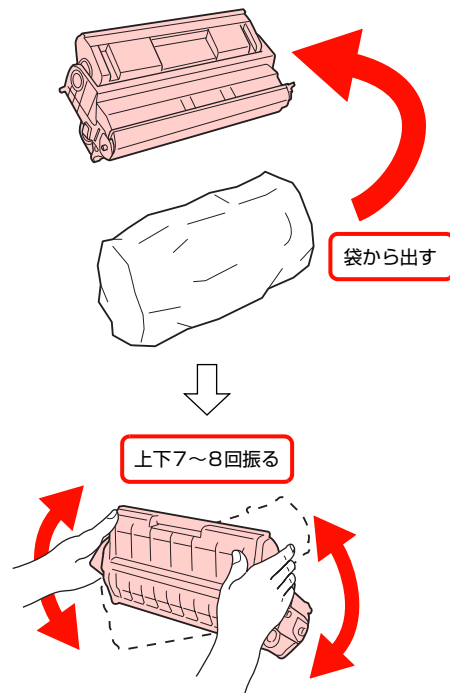
トナーカートリッジを交換するときは、以下のことに注意してください。

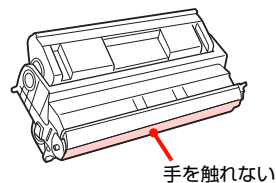
- カートリッジにトナーを補充しないでください。正常に印刷できなくなるおそれがあります。
- トナーのなくなったカートリッジは再利用しないでください。
- 寒い場所から暖かい場所に移したときは、トナーカートリッジを室温に慣らすため未開封のまま 1 時間以上待ってから使用してください。
- トナーが手や衣服に付いたときは、すぐに水で洗い流してください。
- トナーは人体に無害ですが、手や衣服に付いたまま放置すると落ちにくくなります。

交換手順

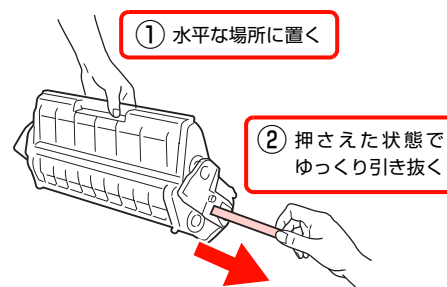
1 カバー A を開けます。

!重要

プリンタ内部の転写ローラやギアには手を触れないでください。故障や印刷品質劣化の原因になります。

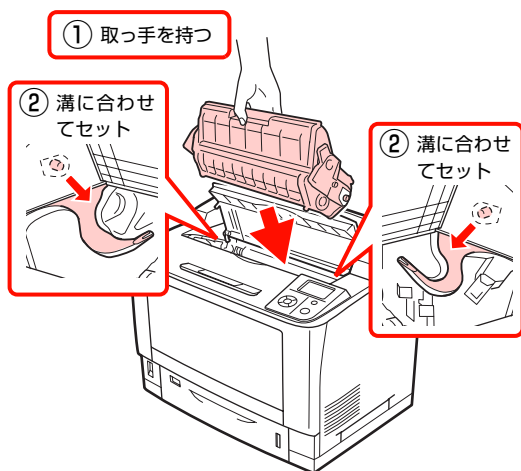
オプションの A4 スタッカユニット(排紙トレイ)装着時

2 トナーカートリッジを取り出します。

3 新しいトナーカートリッジを個装箱から取り出します。

!重要

感光体（ドラム）の表面には、手を触れないでください。

また、感光体の表面にものをぶつけたり、こすったりしないでください。感光体の表面に手の脂が付いたり、傷や汚れが付くと印刷品質が低下します。

4 トナーシールを引き抜きます。

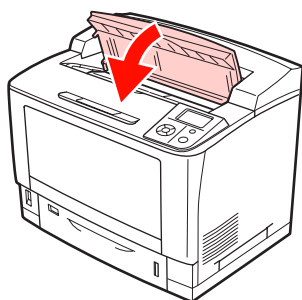
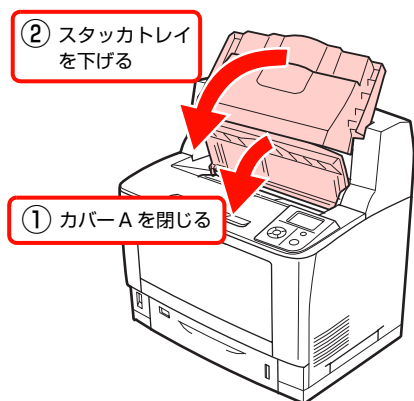
!重要

- トナーシールは水平にまっすぐ引き抜いてください。斜めに引くと途中で切れてしまうことがあります。
- トナーシールは引き抜くと全長約 68cm です。
- トナーシールを引き抜いた後は、トナーカートリッジを振ったり衝撃を与えたりしないでください。

5 **トナーカートリッジをセットします。**

奥まで押し込み、確実にセットしてください。

6 **カバー A を閉じます。**

操作パネルに「印刷できます」と表示されるまでお待ちください。

オプションの A4 スタッカユニット(排紙トレイ)装着時

!重要

カバー A を閉じてから、スタッカトレイを下げてください。プリンタの故障の原因となります。

7 **使用済みのトナーカートリッジを再梱包します。**

新しいトナーカートリッジが梱包されていた箱、袋で、使用済みトナーカートリッジを再梱包してください。トナーカートリッジの回収にご協力ください。

☞ 本書 100 ページ「回収」

以上で終了です。

回収

エプソン製のトナーカートリッジは、カートリッジ本体はもちろん、その梱包材などすべてを再利用できるリサイクル体制を整え、資源の有効利用と廃棄物ゼロの実現を目指しています。地球に優しい製品を提供する、エプソンが考える高性能のひとつです。環境保全のため、使用済みトナーカートリッジの回収にご協力いただきますようお願いいたします。

使用済みトナーカートリッジの梱包方法

使用済みトナーカートリッジの梱包には、新しいカートリッジの梱包箱を使用します。再梱包の方法は、カートリッジの梱包箱を参照してください。

回収方法

エプソンでは、環境保全活動の一環として、

- 回収ポストを全国の取扱販売店様に設置
- 宅配便等を利用した回収

により、使用済みトナーカートリッジの回収を進めています。

回収方法の詳細は、エプソン製のトナーカートリッジの梱包箱に同梱されております「ご案内シート」をご覧ください。また、エプソンのホームページでもご確認いただけます。

アドレス　http://www.epson.jp/toner/

ベルマーク運動

弊社は使用済みトナーカートリッジ回収でベルマーク運動に参加しています。学校単位で使用済みトナーカートリッジを回収していただき、弊社は回収数量に応じた点数を学校へ提供するシステムになっています。この活動により資源の有効活用と廃棄物の減少による地球環境保全を図り、さらに教育支援という社会貢献活動を行っております。詳細はエプソンのホームページをご覧ください。

アドレス　http://www.epson.jp/bellmark/

定期交換部品の交換

定期交換部品は、交換時期を知らせるメッセージが表示されたら交換してください。

使用済み定期交換部品の処分

一般家庭でお使いの場合は、ポリ袋などに入れて、必ず法令や地域の条例、自治体の指示に従って廃棄してください。事業所など業務でお使いの場合は、産業廃棄物処理業者に廃棄物処理を委託するなど、法令に従って廃棄してください。

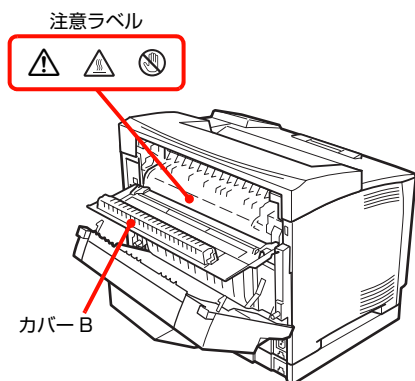
定着ユニットの交換

定着ユニットの交換方法を説明します。

本機で使用できる定着ユニットは以下を参照してください。

☞ 本書 164ページ「オプション／消耗品／定期交換部品一覧」

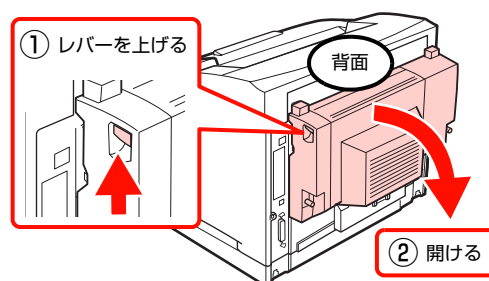
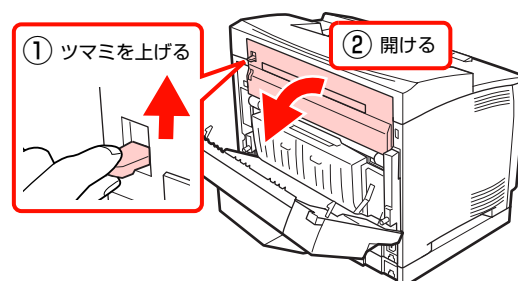
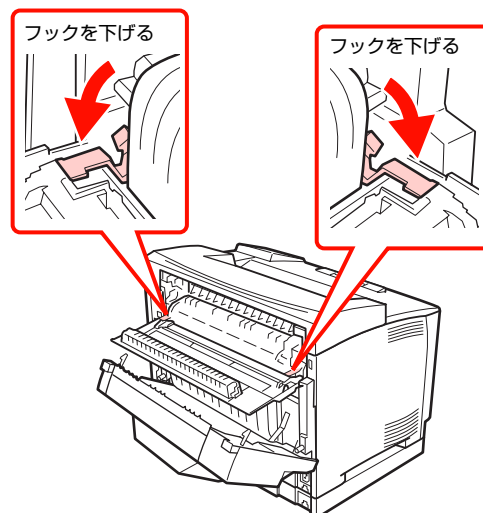
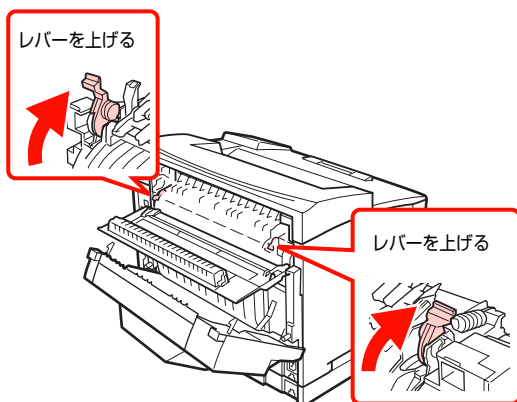
⚠ 注意

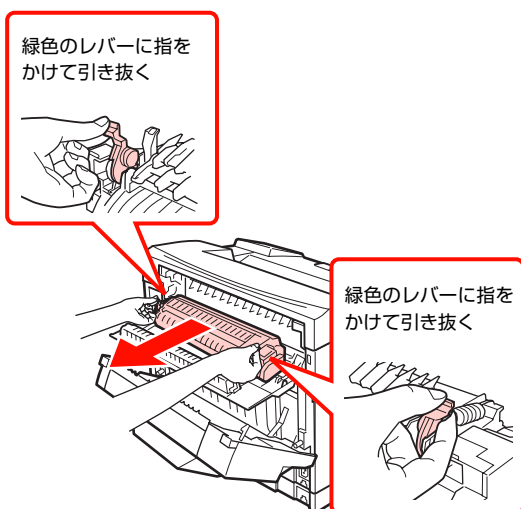
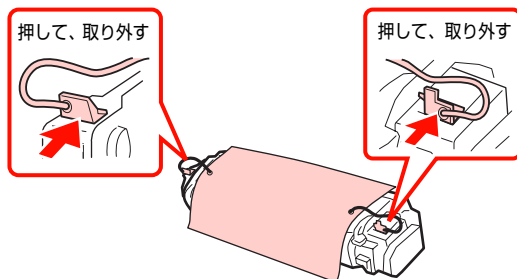
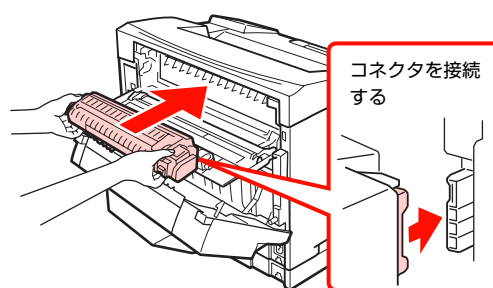
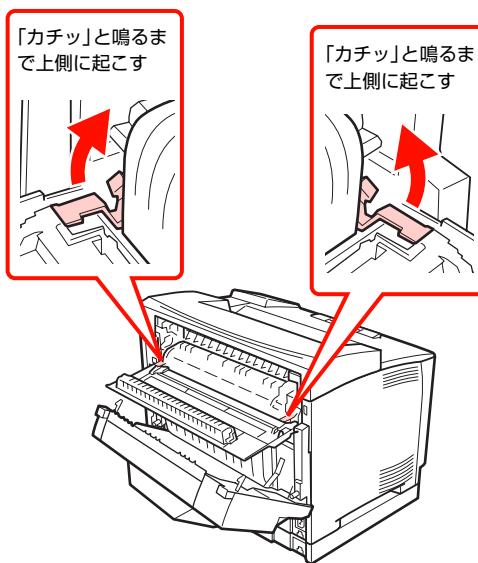
使用中および使用直後にプリンタの カバー B を開けたときは、注意ラベルで示す定着ユニットに触れないでください。内部は高温になっているため、火傷のおそれがあります。

1 **プリンタの電源が切れていることを確認してから、電源プラグをコンセントから抜いてください。**

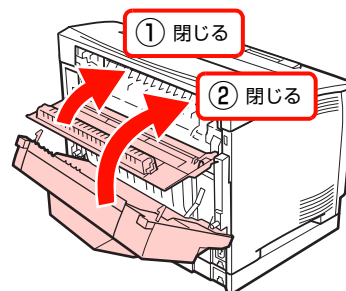
2 **定着ユニットが冷めるまで<u>約40分以上</u>お待ちください。**

使用中および使用直後の定着ユニットは高温になっています。

3 **両面印刷ユニットを開けます。**

両面印刷ユニットを装着していない場合は、4 に進んでください。

4 **カバー B を開けます。**

5 **左右２箇所のフックを下げます。**

6 左右 2 箇所の緑色のレバーを上げます。

7 **定着ユニットを取り外します。**

定着ユニットの重さは約 2kg です。取り外し時に落下させないよう、必ず両手で定着ユニットを持って、作業を行ってください。

8 **新しい定着ユニットを取り出し、保護材を取り外します。**

9 **新しい定着ユニットを取り付けます。**

10 **左右 2 箇所のフックを上側に起こします。**

11 **カバー B を閉じてから、両面印刷ユニットを閉じます。**

両面印刷ユニットを装着していない場合は、カバー B のみ閉じます。

12 **電源プラグをコンセントに接続して、プリンタの電源を入れます。**

13 **操作パネルで［プリンタリセット］メニュー－［定着ユニットライフリセット］を実行します。**

設定方法の詳細は以下を参照してください。

☞ 本書 170 ページ「操作パネル設定項目一覧」

以上で終了です。

プリンタの状態・設定の確認

現在のプリンタの状態や設定値を確認したいときは、ステータスシートを印刷します。

ステータスシートには、「プリンタ情報シート」、「消耗品情報シート」、「使用履歴シート」、「ネットワーク情報シート」の４種類があります。

ステータスシートは、プリンタの操作パネルまたはプリンタドライバから印刷できます。

本書 104 ページ「出力の仕方」

各ステータスシートの説明

各ステータスシートの記載内容について説明します。

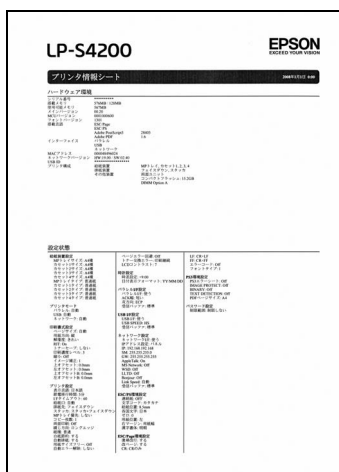
印刷の際は、必ず A4 サイズの用紙を横長にセットしてください。

プリンタ情報シート

ハードウェア環境や給紙装置の設定などが確認できます。

以下のようなときにステータスシートを印刷すると有効です。

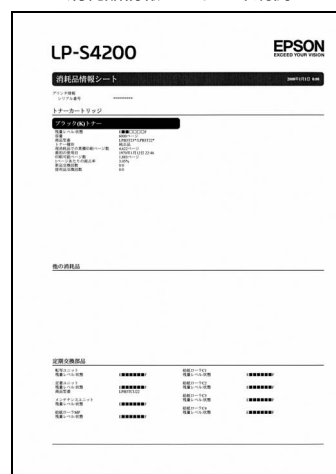
- セットアップしたとき
- プリンタが正常に動作するか確認したいとき
- プリンタの状態・設定内容を確認したいとき
- オプションを取り付けたとき（正しく取り付けられたときに記載内容に反映されます）

プリンタ情報シートの印刷例

消耗品情報シート印刷

消耗品の使用状況が確認できます。

以下のようなときにステータスシートを印刷すると有効です。

- 消耗品を交換するとき
- 消耗品の残量を確認したいとき

消耗品情報シートの印刷例

使用履歴シート印刷

プリンタ情報や使用状況が確認できます。

以下のようなときにステータスシートを印刷すると有効です。

- プリンタの使用状況を確認したいとき
- 各印刷内容の総印刷枚数を確認したいとき

使用履歴情報シートの印刷例

ネットワーク情報印刷

ネットワークインターフェイスの設定状況が確認できます。

MAC アドレスや、IP アドレスなどネットワークインターフェイスの設定状況を確認したいときに、ステータスシートを印刷すると有効です。

ネットワーク情報シートの印刷例

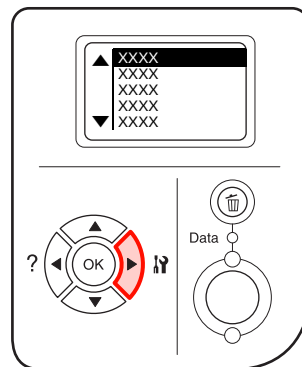
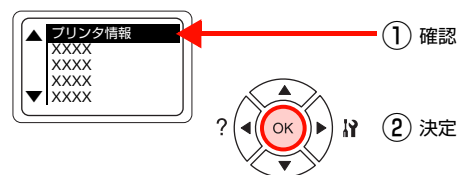
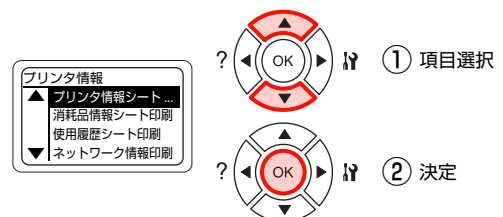
```
HHHHHHHHHHHHHHHHHHHHHHHHHHHHHHHHHHHHHHHHHHHHH
HH EPSON Network Status Sheet (1/3) HH
HHHHHHHHHHHHHHHHHHHHHHHHHHHHHHHHHHHHHHHHHHHHH
<General Information>
Card Type                     EPSON Built-in 10Base-T/100Base-TX Print Server
MAC Address                   00:00:48:49:60:3D
Hardware                      19.00
Software                      02.40
Printer Model                 LP-S3500
Time                          2008-01-01 00:00:31 GMT+09:00

<Ethernet>
Network Status                Not Linked

<TCP/IP>
Get IP Address                Manual
IP Address                    192.168.192.168
Subnet Mask                   255.255.255.0
Default Gateway               (NONE)
APIPA                         Disable
Set using PING                Enable
Acquisition way of DNS ADDR   Disable
DNS Server Address            (NONE)
                              (NONE)
                              (NONE)
Acquire Host/Domain name      Disable
Host Name                     LP-S3500-49603D
Domain Name                   (NONE)
Register the NW I/F to DNS    Disable
  Register directly to DNS    Disable
Universal Plug and Play       Disable
  Device Name                 (NONE)
Bonjour                       Disable
  Bonjour Name                (NONE)
  Bonjour Printer Name        (NONE)
  Bonjour Service             (NONE)

HHHHHHHHHHHHHHHHHHHHHHHHHHHHHHHHHHHHH LP-S3500 HH
```

出力の仕方

ステータスシートの出力方法は、「操作パネルから印刷」と「コンピュータから印刷」の2通りがあります。

操作パネルから印刷

各ステータスシートの印刷方法を説明します。

1　操作パネルの【▶】ボタンを押して、メニューを表示します。

2　［プリンタ情報］メニューが選択されていることを確認します。

3　印刷するステータスシートを選択します。

選択したステータスシートが印刷されます。
ステータスシートが印刷できないときは、以下を参照してください。

本書 45 ページ「セットアップできないときは」

以上で終了です。

コンピュータから印刷

「ネットワーク情報シート」のみコンピュータからの印刷はできません。

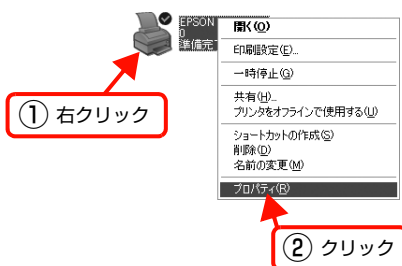
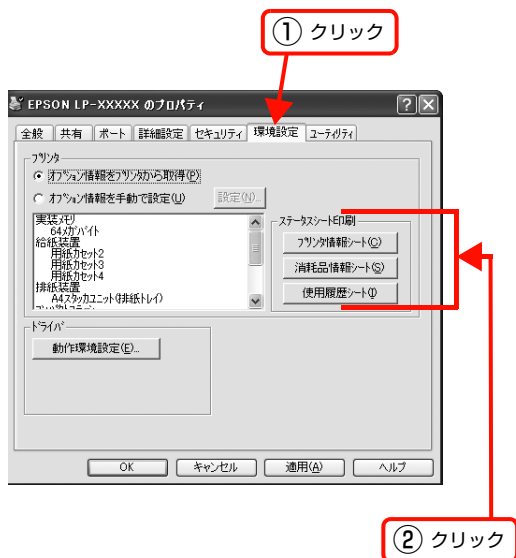
Windows の場合

1 ［スタート］メニューから［プリンタと FAX］/［プリンタ］を開きます。

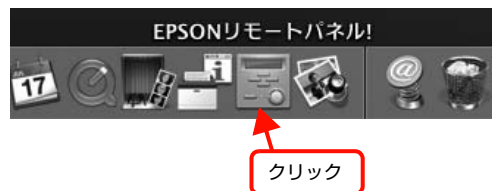
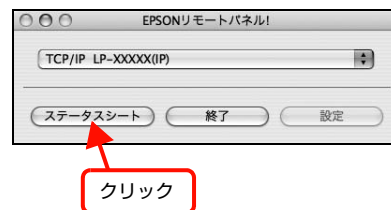
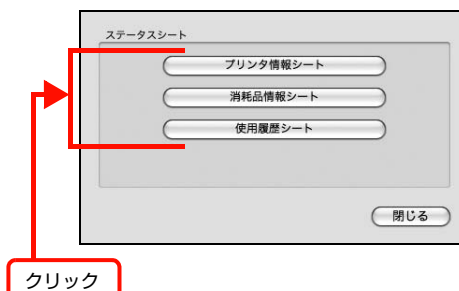
Windows Vista/Windows Server 2008：
［スタート］－［コントロールパネル］－［プリンタ］の順にクリックします。

Windows XP/Windows Server 2003：
［スタート］－［プリンタと FAX］をクリックします。

Windows 2000：
［スタート］－［設定］－［プリンタ］をクリックします。

2 本機のアイコンを右クリックして、表示されたメニューで［プロパティ］をクリックします。

3 ［環境設定］タブをクリックして、［プリンタ情報シート］/［消耗品情報シート］/［使用履歴シート］のいずれかをクリックします。

以上で終了です。

Mac OS X の場合

1 Dock にある Epson リモートパネル！のアイコンをクリックします。

2 ［ステータスシート］をクリックします。

3 ［プリンタ情報シート］/［消耗品情報シート］/［使用履歴シート］のいずれかをクリックします。

以上で終了です。

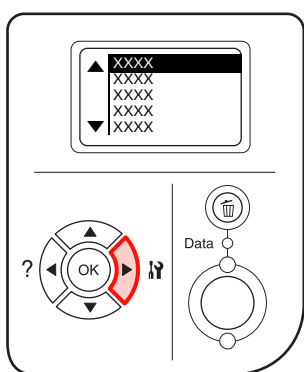
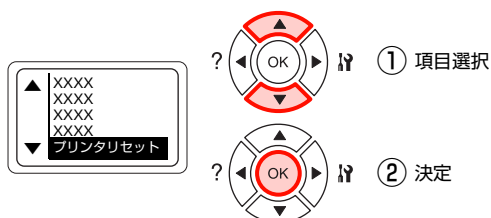
リセットの仕方

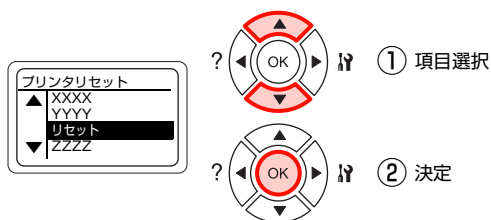
プリンタをリセットする方法を説明します。メモリに保存された印刷データの破棄と、エラーの解除を行います。

リセット

現在稼働中のインターフェイスに対して、メモリに保存された印刷データの破棄と、エラーの解除を行います。

操作手順は以下の通りです。

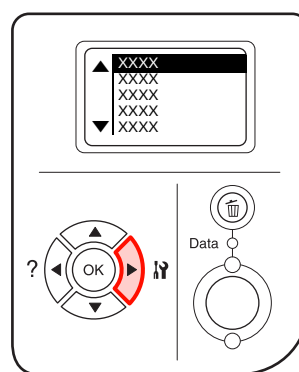
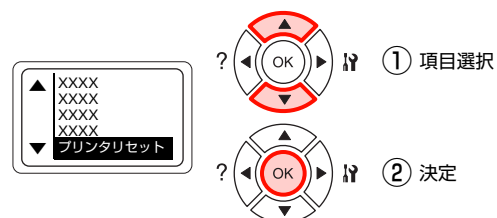
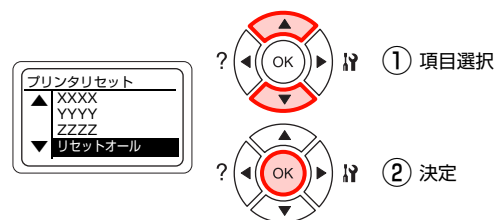
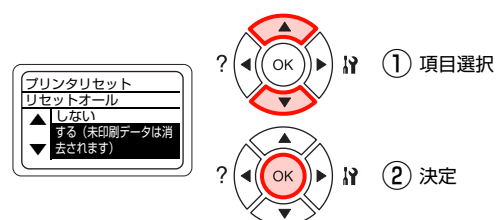
1 操作パネルの【▶】ボタンを押して、メニューを表示します。

2 ［プリンタリセット］を選択します。

3 ［リセット］を選択します。

以上で終了です。

リセットオール

プリンタは印刷を中止します。すべてのインターフェイスに対してメモリに保存された印刷データが削除されます。

操作手順は以下の通りです。

1 操作パネルの【▶】ボタンを押して、メニューを表示します。

2 ［プリンタリセット］を選択します。

3 ［リセットオール］を選択します。

4 ［する］を選択します。

以上で終了です。

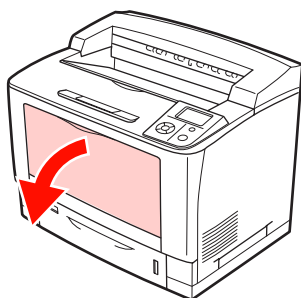
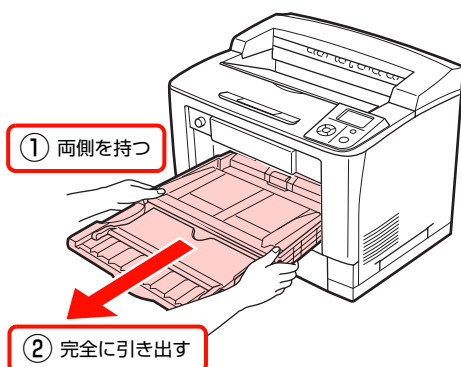
プリンタのクリーニング（清掃）

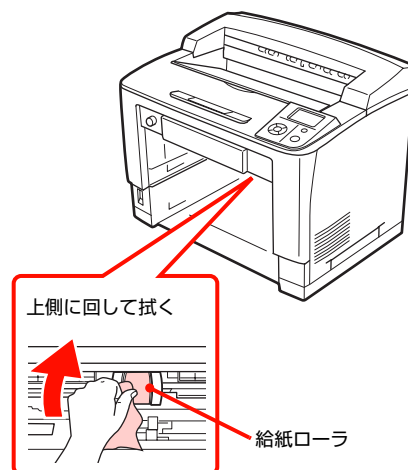
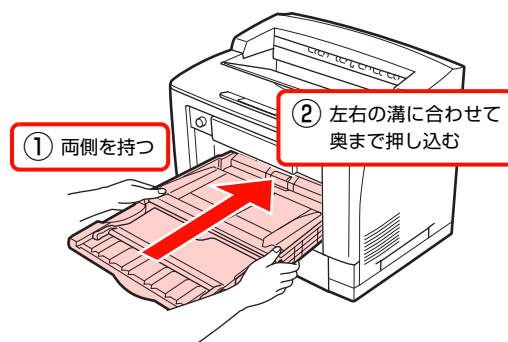
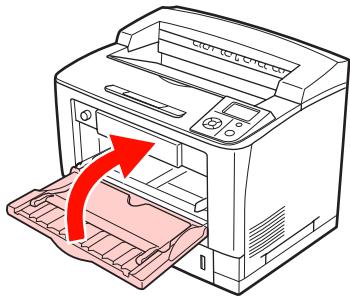
プリンタを良好な状態で使用するために、ときどきクリーニング（清掃）をしてください。
プリンタの電源を切り、電源プラグをコンセントから抜いてから作業を行ってください。

⚠警告
- 製品内部の、取扱説明書で指示されている箇所以外には触れないでください。
  感電や火傷のおそれがあります。
- 本製品の内部や周囲で可燃性ガスのスプレーを使用しないでください。
  引火による火災のおそれがあります。

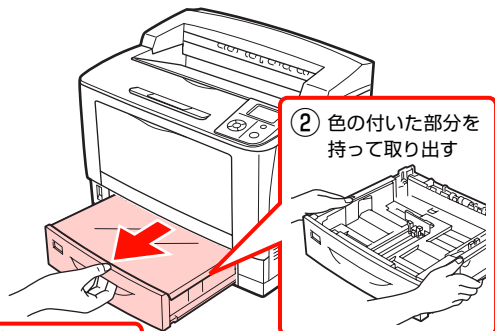
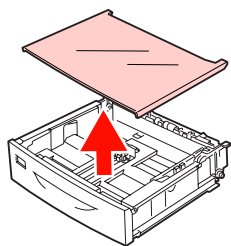
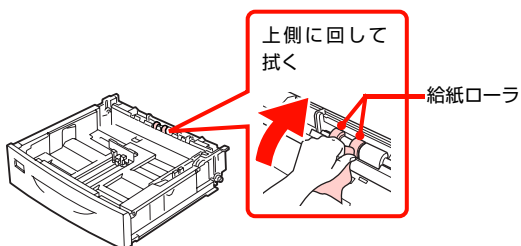
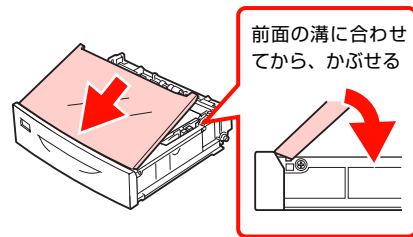
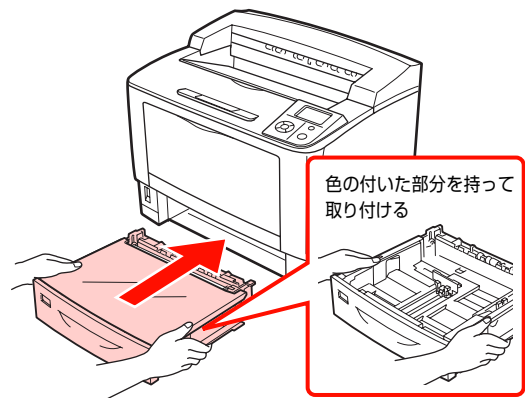
!重要
- ベンジン、シンナー、アルコールなど、揮発性の薬品を使用しないでください。変色、変形するおそれがあります。
- プリンタを水に濡らさないでください。
- 固いブラシや布などで拭かないでください。傷が付くおそれがあります。

MP トレイの給紙ローラのクリーニング

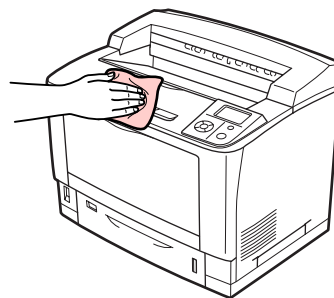
1 MP トレイを開けます。

2 MP トレイを引き出します。

3 水で濡らして固く絞った柔らかい布で、MP トレイの給紙ローラのゴムの部分を拭きます。

!重要
下向きに回すと、部品を破損するおそれがあります。

4 MP トレイをセットします。

5 MP トレイを閉じます。

以上で終了です。

用紙カセットの給紙ローラのクリーニング

1 用紙カセット（またはオプションの増設カセット）を取り出します。

2 カバーを取り外します。

3 水で濡らして固く絞った柔らかい布で、給紙ローラのゴムの部分を拭きます。

4 カバーを取り付けます。

5 用紙カセット（またはオプションの増設カセット）をセットします。

以上で終了です。

プリンタの表面の清掃

プリンタの表面が汚れたときは、水を含ませて固くしぼった布で、ていねいに拭いてください。

プリンタの移動と輸送

プリンタを移動したり輸送するときは、以下の通り作業を行ってください。

⚠注意

- 本製品を持ち上げる際は、無理のない姿勢で作業してください。
  無理な姿勢で持ち上げると、けがをするおそれがあります。
- 本製品は重いので、1人で運ばないでください。
  開梱や移動の際は2人以上で運んでください。
  本製品の質量は以下を参照してください。
  ☞ 本書161ページ「プリンタの仕様」
- 本製品を持ち上げる際は、取扱説明書で指示された箇所に手を掛けて持ち上げてください。
  他の部分を持って持ち上げると、プリンタが落下したり、下ろす際に指を挟んだりして、けがをするおそれがあります。
  本製品の持ち上げ方は以下を参照してください。
  ☞ 本書14ページ「プリンタの持ち方」
- 本製品を移動する際は、前後左右に10度以上傾けないでください。
  転倒などによる事故のおそれがあります。
- 本製品を、キャスター（車輪）付きの台などに載せる際は、キャスターを固定して動かないようにしてから作業を行ってください。
  作業中に台などが思わぬ方向に動くと、けがをするおそれがあります。

近くへの移動

本機の電源を切り、以下の付属品を取り外してください。振動を与えないように水平にていねいに移動してください。

- 電源コード
- インターフェイスケーブル
- MPトレイ内の用紙
  （必ずMPトレイを閉じてください。）
- 用紙カセット（標準/オプション）内の用紙

!重要

増設1段カセットユニットや、A4スタッカユニット（排紙トレイ）を取り付けたまま移動しないでください。

持ち上げて移動する場合

オプションの増設1段カセットユニット、A4スタッカユニット（排紙トレイ）を取り外してからプリンタを持ち上げてください。

キャスターで移動する場合

オプションのプリンタ台を装着しているときは、キャスターが付いているため、持ち上げずに移動することができます。ただし、プリンタに衝撃を与えないよう、段差のある場所などでは移動しないよう注意してください。また、移動する前に転倒防止脚を取り外し、必ずキャスターの固定を解除してください。

輸送

本機を輸送する時は、以下の準備をしてください。震動や衝撃から本機を守るために本機の工場出荷時と同じ状態または同等の状態に梱包する必要があります。

1 **プリンタの電源が切れていることを確認してから、電源プラグをコンセントから抜いてください。**

2 **取り付けてあるインターフェイスケーブルおよびオプション製品（増設1段カセットユニット、A4スタッカユニット（排紙トレイ）、両面印刷ユニット（LP-S3500でオプション装着した場合）などを取り外します。**

増設1段カセットユニット

☞ 本書111ページ「増設1段カセットユニットの取り外し」を参照して取り外してください。

A4スタッカユニット（排紙トレイ）

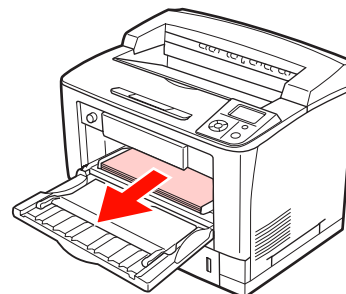
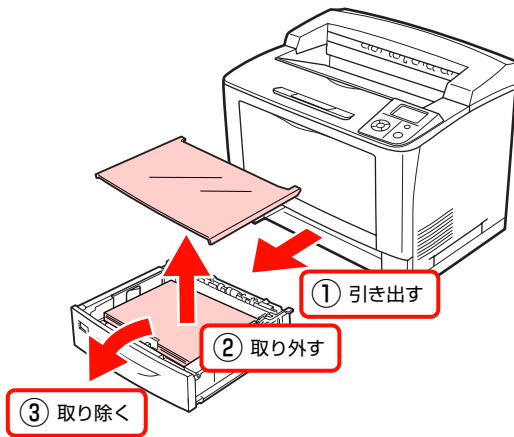
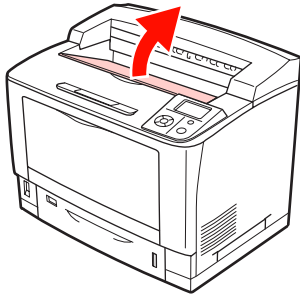
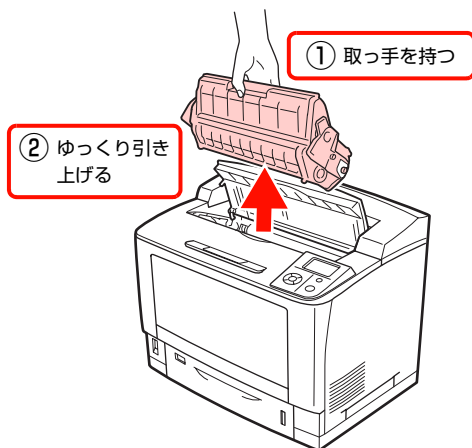
☞ 本書26ページ「A4スタッカユニット（排紙トレイ）」を参照して逆の手順にて取り外してください。

両面印刷ユニット

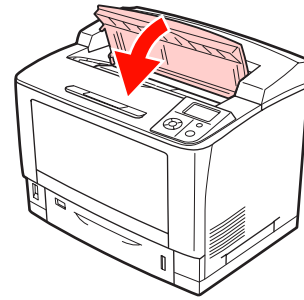
☞ 本書134ページ「両面印刷ユニットに関するエラーが表示される」を参照して取り外してください。

3 **セットされている用紙を取り除きます。**

MPトレイの場合

用紙を取り出した後、MPトレイを閉じます。

用紙カセット（またはオプション）の場合
用紙を取り出した後、用紙カセット（またはオプションの増設カセット）をプリンタにセットします。

4 カバー A を開けます。

5 トナーカートリッジを取り出します。

！重要

- トナーカートリッジを取り付けたまま運搬すると、トナーでプリンタ内部が汚れることがあります。必ず取り外してください。
- 取り外したトナーカートリッジを振らないでください。トナーがこぼれることがあります。
- 取り外したトナーカートリッジは、強い光に当てないように、製品購入時の梱包箱またはポリ袋に入れるか、厚い布などに包んでください。

6 カバー A を閉じます。

7 保護材や梱包材で梱包します。

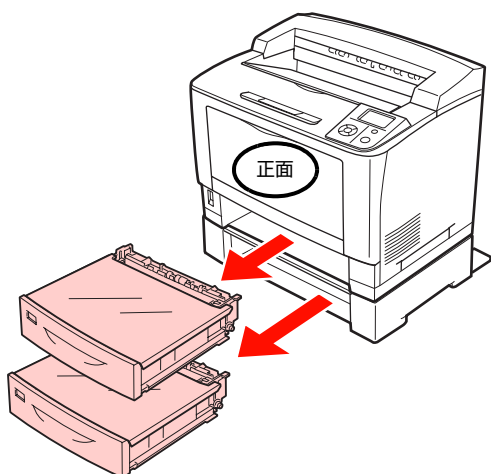
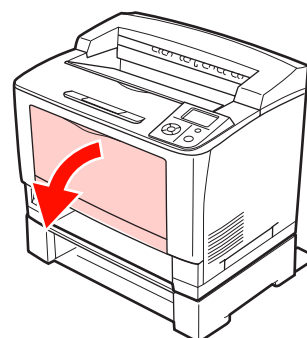
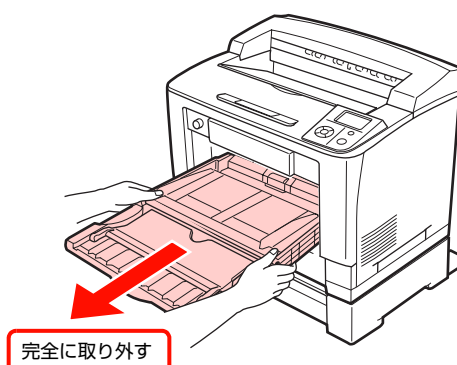
以上で終了です。

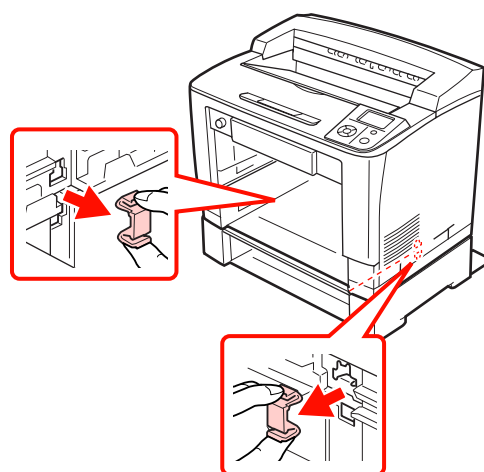
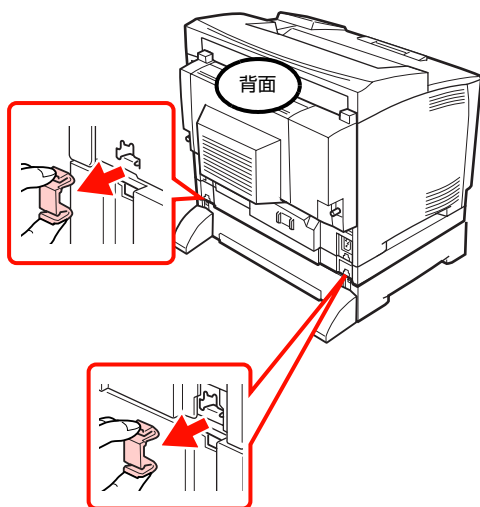
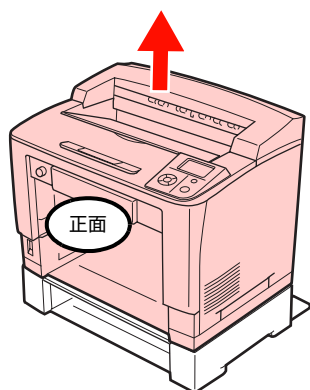
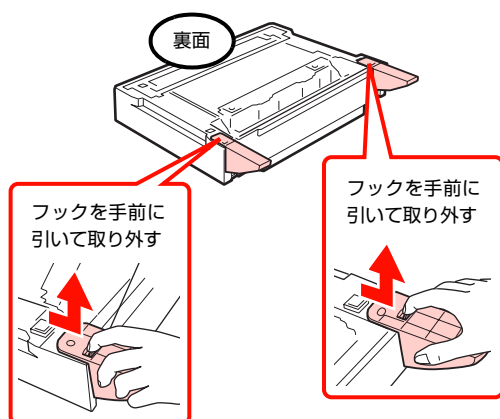
増設 1 段カセットユニットの取り外し

ここでは増設 1 段カセットユニットと、最下段に付けた転倒防止脚の取り外し方について説明します。

> ⚠注 意
> - 本製品を持ち上げる際は、無理のない姿勢で作業してください。
> 無理な姿勢で持ち上げると、けがをするおそれがあります。
> - 本製品は重いので、1 人で運ばないでください。
> 開梱や移動の際は 2 人以上で運んでください。
> 本製品の質量は以下を参照してください。
> ☞ 本書 161 ページ「プリンタの仕様」
> - 本製品を持ち上げる際は、取扱説明書で指示された箇所に手を掛けて持ち上げてください。
> 他の部分を持って持ち上げると、プリンタが落下したり、下ろす際に指を挟んだりして、けがをするおそれがあります。
> 本製品の持ち上げ方は以下を参照してください。
> ☞ 本書 14 ページ「プリンタの持ち方」
> - 本製品を移動する際は、前後左右に 10 度以上傾けないでください。
> 転倒などによる事故のおそれがあります。

1. **プリンタの電源が切れていることを確認してから、電源プラグをコンセントから抜いてください。**

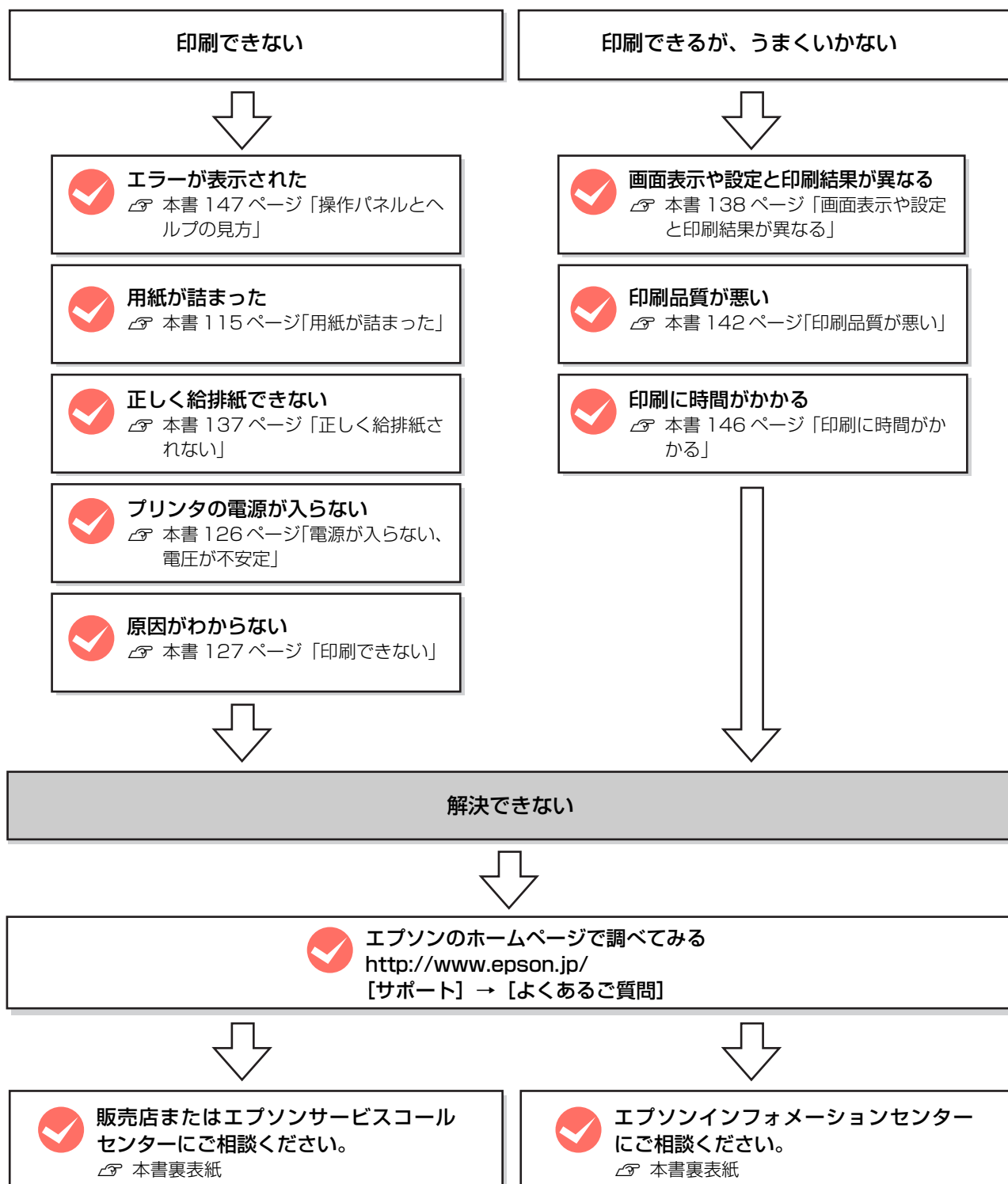
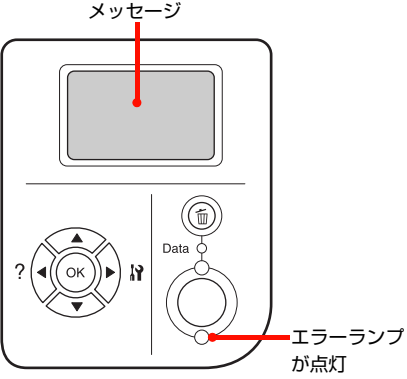
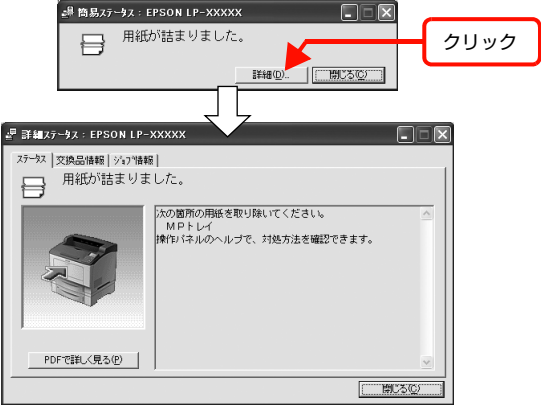
2. **標準の用紙カセットと、増設1段カセットユニットから用紙カセットを取り外します。**

3. **MP トレイを開けます。**

4. **MP トレイを取り外します。**

5. **本体と増設 1 段カセットユニットを固定している部品 (4 個) を取り外します。**

プリンタ内部

プリンタ背面

6 **プリンタを取り外します。**

7 **増設1段カセットユニットを裏返して、転倒防止脚（2個）を取り外します。**

以上で終了です。

6 困ったときは

印刷が思い通りにできないとき、トラブルが発生したときなどの対処方法を記載しています。

トラブルの自己診断

印刷が思い通りにできないとき、トラブルが発生したときなどは、まずこの章をお読みください。
以下を参照して、状況に応じて対処してください。

お問い合わせの際は、ご使用の環境（コンピュータの型番、使用アプリケーションとそのバージョン、その他周辺機器の型番など）と、本機の名称や製造番号などをご確認の上、ご連絡ください。

本機の製造番号は以下のページを参照してご確認ください。

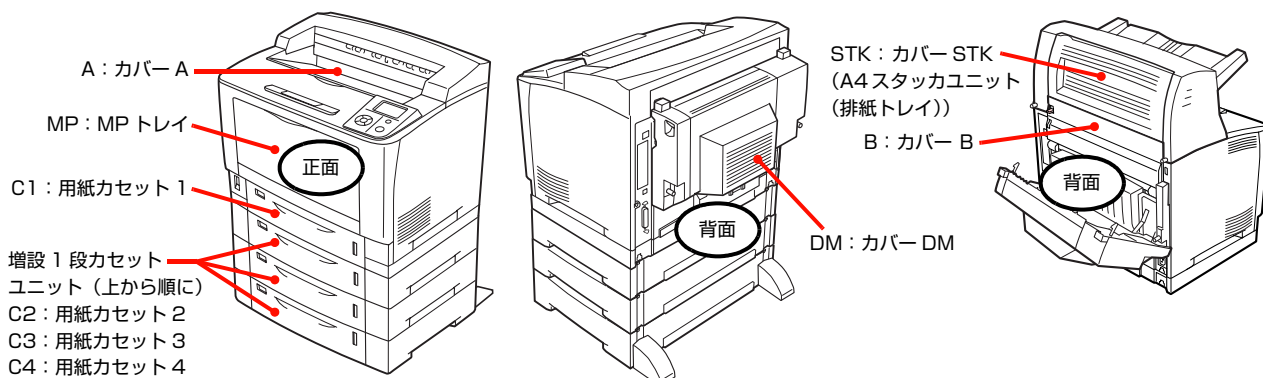
本書 163 ページ「製造番号の表示位置」

用紙が詰まった

紙詰まりが発生すると、操作パネルまたはコンピュータ（EPSON ステータスモニタがインストールされている場合）にエラーメッセージが表示されます。
操作パネルや EPSON ステータスモニタのメッセージに従って、用紙を取り除いてください。

操作パネルの表示	EPSON ステータスモニタの表示
メッセージ Data OK エラーランプ が点灯	簡易ステータス：EPSON LP-XXXXX 用紙が詰まりました。 詳細(D)...　閉じる(C) クリック 詳細ステータス：EPSON LP-XXXXX ステータス　交換品情報　ジョブ情報 用紙が詰まりました。 次の箇所の用紙を取り除いてください。 MPトレイ 操作パネルのヘルプで、対処方法を確認できます。 PDFで詳しく見る(P) 閉じる(C)

メッセージ		参照先
紙を取り除いてください MP A	用紙が詰まりました。 次の箇所の用紙を取り除いてください。 MP トレイ カバー A	116 ページ
紙を取り除いてください C* A　（* はカセットの番号）	用紙が詰まりました。 次の箇所の用紙を取り除いてください。 用紙カセット *　（* はカセットの番号） カバー A	118 ページ
紙を取り除いてください DM	用紙が詰まりました。 次の箇所の用紙を取り除いてください。 カバー DM	121 ページ
紙を取り除いてください B A	用紙が詰まりました。 次の箇所の用紙を取り除いてください。 カバー B カバー A	122 ページ
紙を取り除いてください A	用紙が詰まりました。 次の箇所の用紙を取り除いてください。 カバー A	124 ページ
紙を取り除いてください STK	用紙が詰まりました。 次の箇所の用紙を取り除いてください。 カバー STK	125 ページ

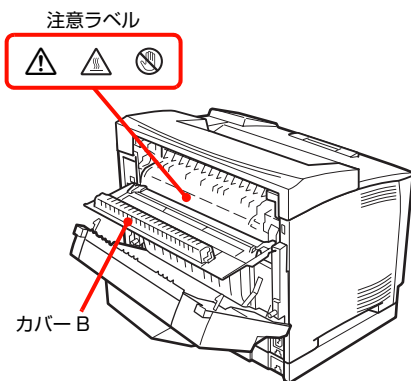
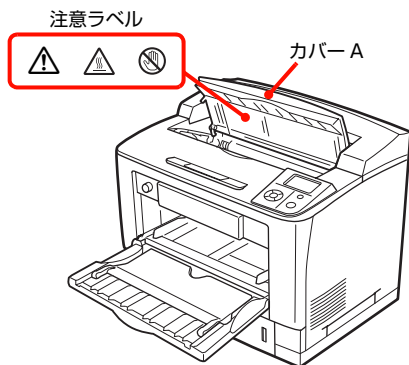
紙詰まりの場所

用紙を取り除く際のご注意

詰まった用紙を取り除く際は、以下の点に注意してください。

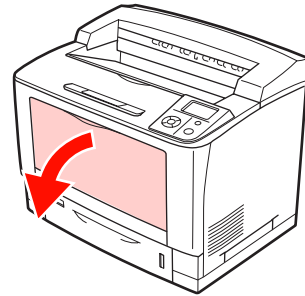
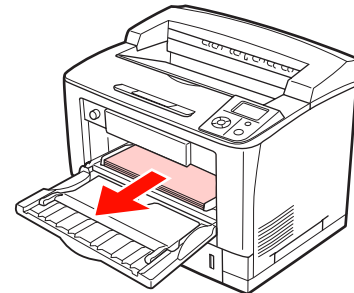
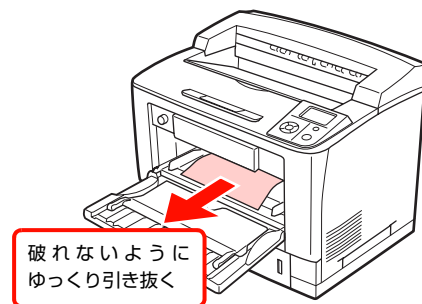
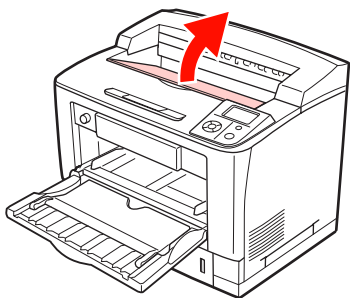
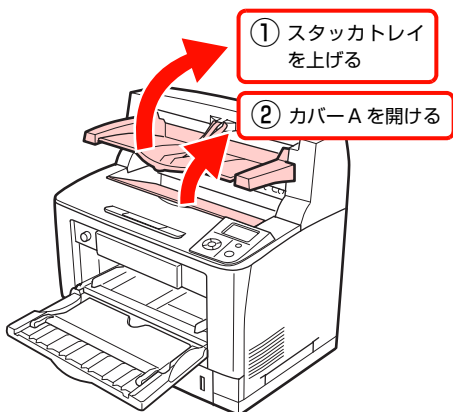
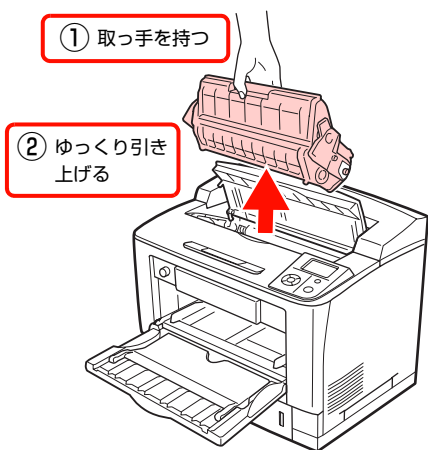
- 詰まった用紙は、破れないように両手でゆっくり引き抜いてください。無理に引き抜くと、用紙が破れて取り除くことが困難になり、さらに別の用紙詰まりを引き起こします。
- 用紙が破れた場合は、破れた用紙が残らないようすべて取り除いてください。
- 破れた用紙が取り除けない場合や、本書で説明している場所以外に用紙が詰まって取り除けない場合は、販売店またはエプソンサービスコールセンターにご相談ください。

☞ 本書裏表紙

⚠注 意

使用中にプリンタの カバー A や カバー B を開けたときは、注意ラベルで示す定着ユニットに触れないでください。
内部は高温になっているため、火傷のおそれがあります。

紙を取り除いてください MP A(給紙部)

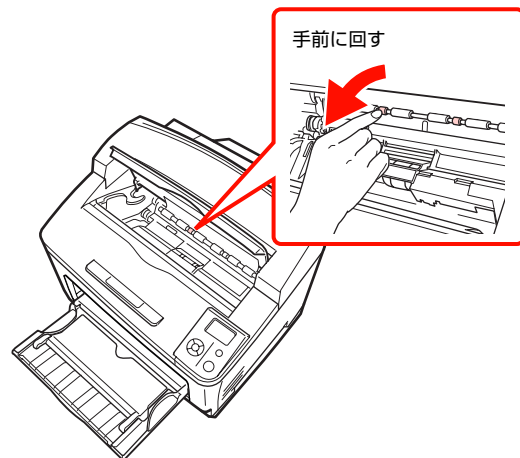
ここでは、MP トレイで詰まった用紙を取り除く手順を説明します。

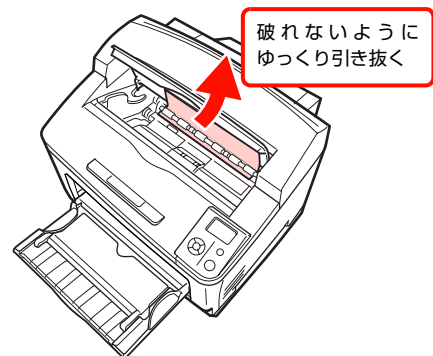
1 **MP トレイを開けます。**

2 **セットされている用紙があれば取り出します。**

3 **MP トレイの奥を確認し、詰まった用紙があれば取り除きます。**

4 カバー A を開けます。

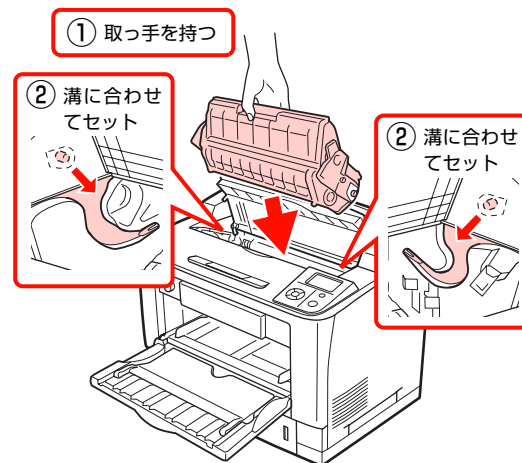
オプションの A4 スタッカユニット(排紙トレイ)装着時

5 トナーカートリッジを取り出します。

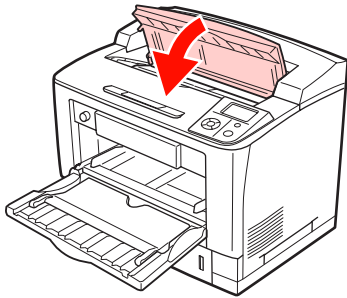
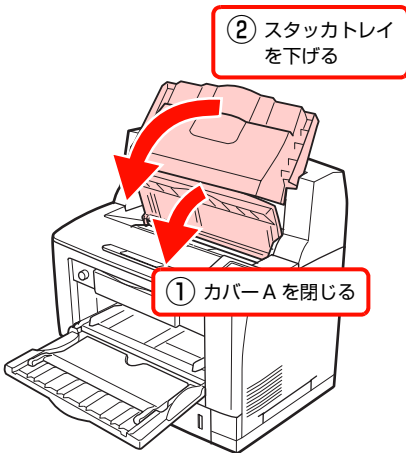
6 詰まった用紙が取り除きにくい場合は、緑色のローラを手前に回します。

! 重要

緑色以外のゴムローラには触れないでください。紙詰まりの原因となります。

7 詰まっている用紙を取り除きます。

8 トナーカートリッジをセットします。

奥まで押し込み、確実にセットしてください。

9 カバー A を閉じます。

オプションの A4 スタッカユニット(排紙トレイ)装着時

!重要

カバー A を閉じてから、スタッカトレイを閉じてください。プリンタの故障の原因となります。

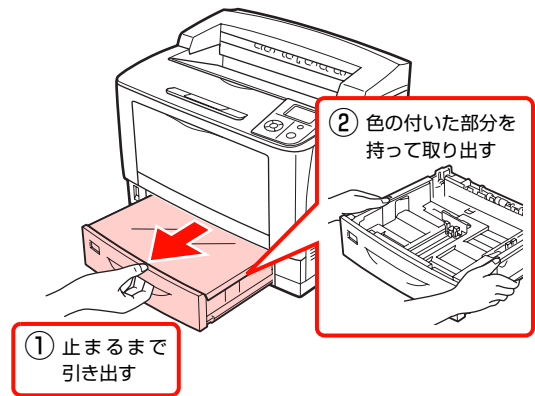
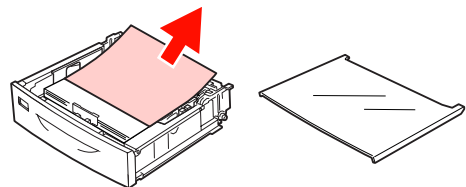
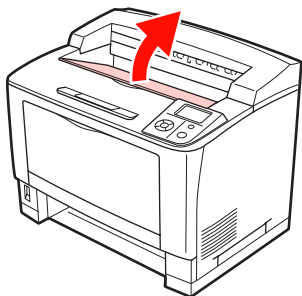
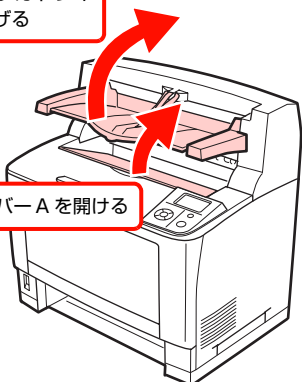
以上で終了です。

紙を取り除いてください C* A(給紙部)

ここでは、用紙カセットで詰まった用紙を取り除く手順を説明します。オプションの増設 1 段カセットユニットも基本的な手順は同じです。

参考

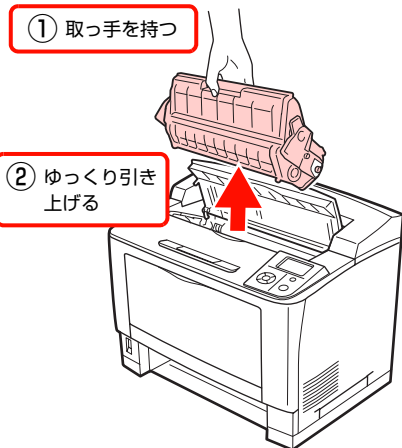
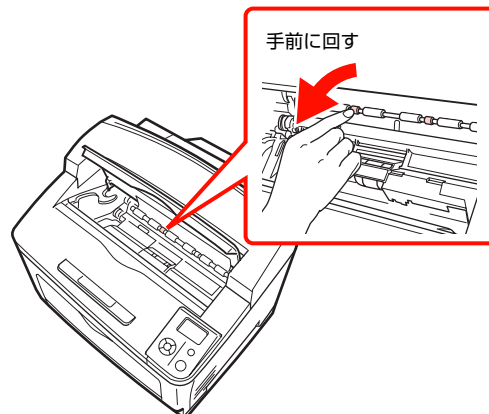
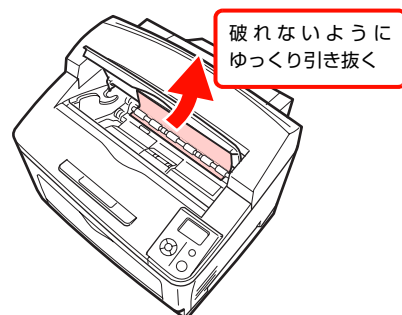
* はカセットの番号を表示します。
(C1 A、C2 A、C3 A、C4 A)

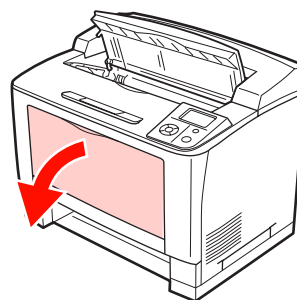
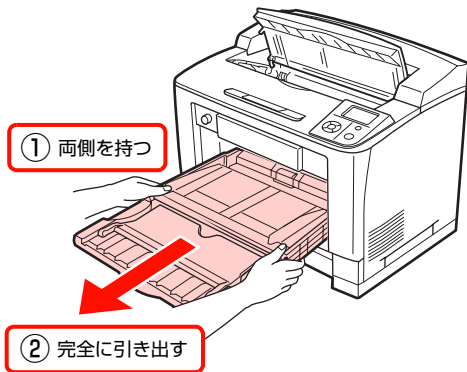
1 プリンタ（またはオプションの増設 1 段カセットユニット）から用紙カセットを取り外します。

2 詰まった用紙があれば取り除きます。

3 用紙カセット差し込み口の奥を確認し、詰まった用紙があれば取り除きます。

4 カバー A を開けます。

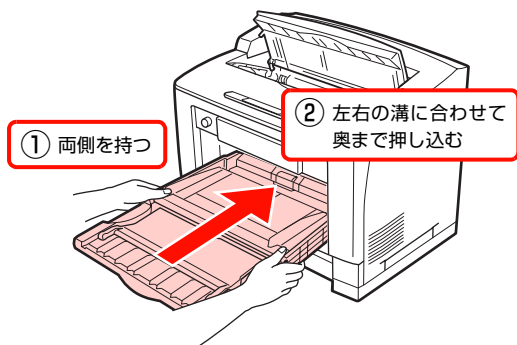
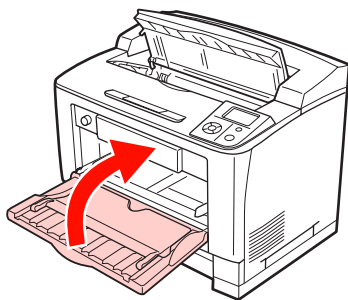
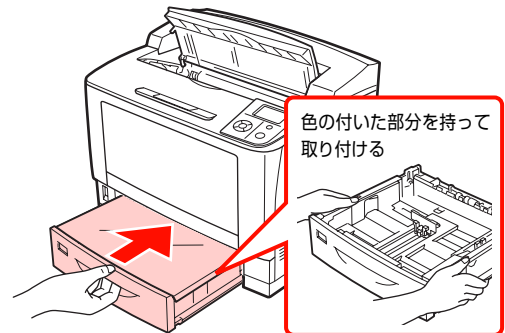
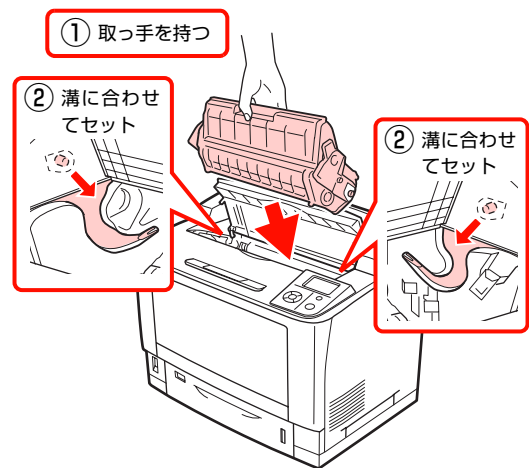
オプションの A4 スタッカユニット(排紙トレイ)装着時

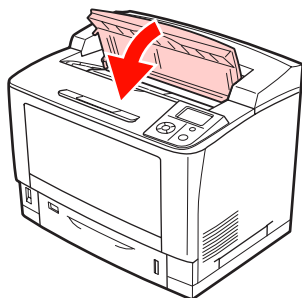
5 トナーカートリッジを取り出します。

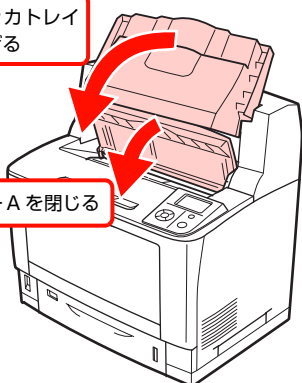
6 詰まった用紙が取り除きにくい場合は、緑色のローラを手前に回します。

!重要
緑色以外のゴムローラには触れないでください。紙詰まりの原因となります。

7 詰まっている用紙を取り除きます。

上記の手順で用紙が取り除けない場合は、8 に進んでください。

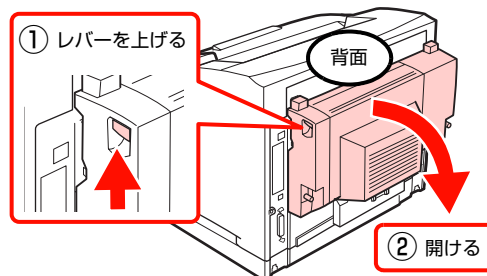
8 MP トレイを開けます。

9 MP トレイを引き出します。

10 詰まった用紙があれば破れないようにゆっくり引き抜きます。

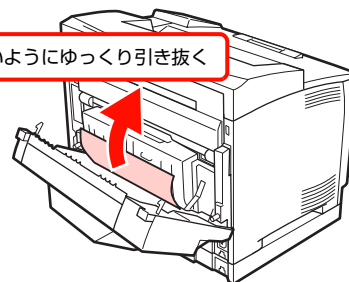
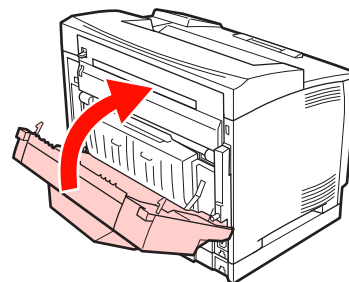
11 MP トレイをセットします。

12 MP トレイを閉じます。

13 プリンタ（またはオプションの増設 1 段カセットユニット）に用紙カセットをセットします。

14 トナーカートリッジをセットします。

奥まで押し込み、確実にセットしてください。

15 カバー A を閉じます。

オプションの A4 スタッカユニット（排紙トレイ）装着時

> **！重要**
> カバー A を閉じてから、スタッカトレイを下げてください。プリンタの故障の原因となります。

以上で終了です。

紙を取り除いてください DM（両面印刷ユニット）

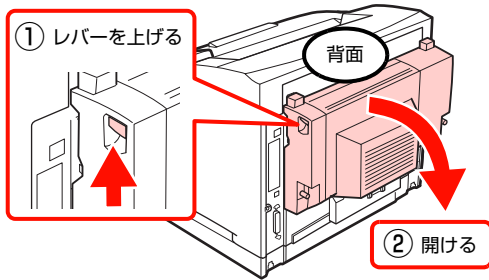
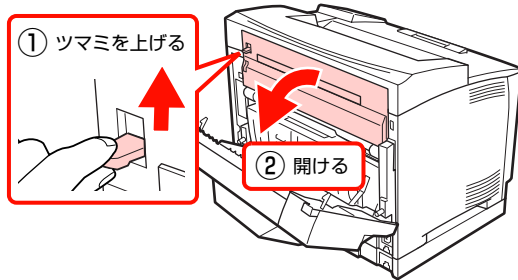
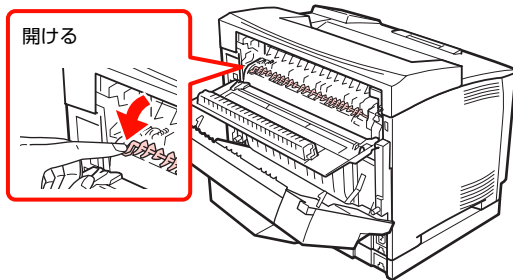
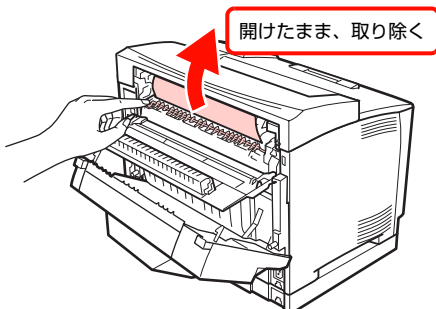
ここでは、両面印刷ユニットに詰まった用紙を取り除く手順を説明します。

1 両面印刷ユニットを開けます。

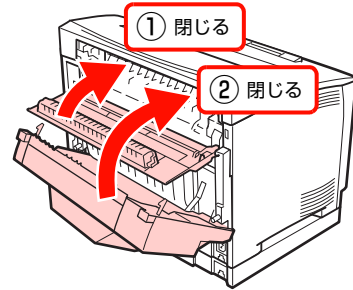
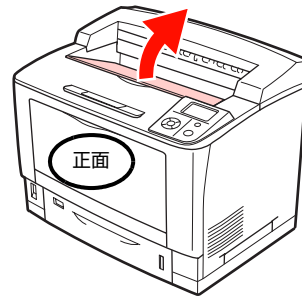
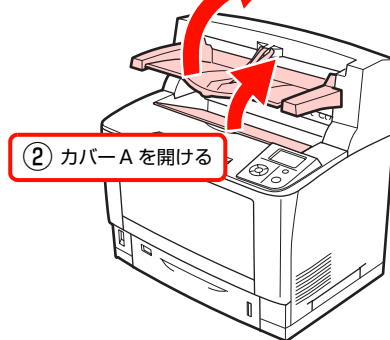
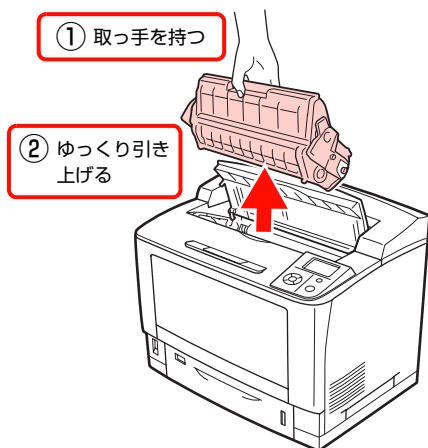
2 詰まった用紙があれば取り除きます。

3 両面印刷ユニットを閉じます。

以上で終了です。

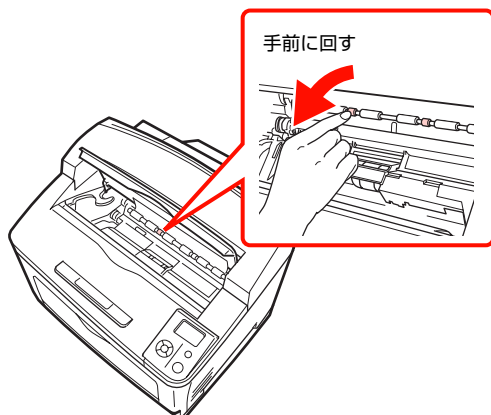
紙を取り除いてくださいＢＡ(排紙部)

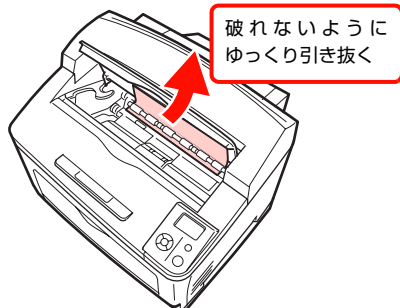
ここでは、プリンタ内部の排紙部から詰まった用紙を取り除く手順を説明します。

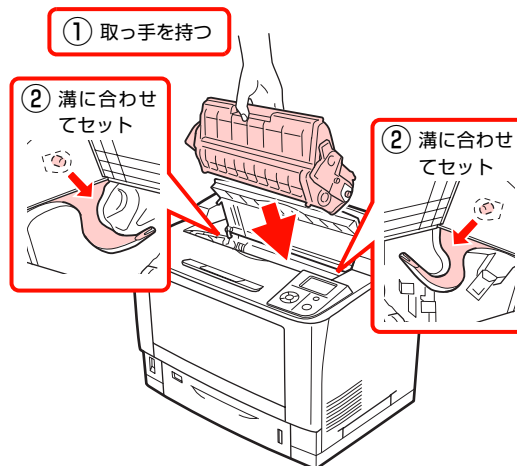
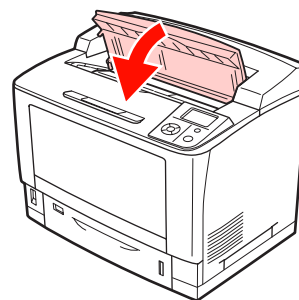
1 両面印刷ユニットを開けます。

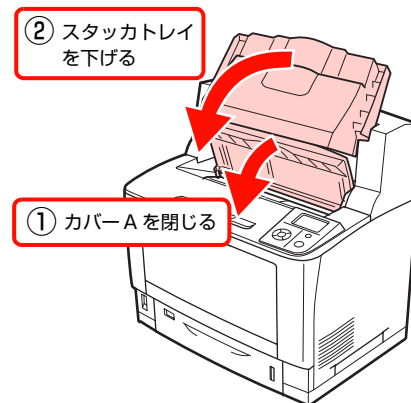
両面印刷ユニットを装着していない場合は、2 に進んでください。

2 カバー B を開けます。

3 用紙押さえレバー（緑色★印付き）を手前に半回転させ、用紙押さえを開けます。

4 詰まっている用紙があれば、用紙押さえを開けたままの状態で取り除きます。

5 用紙押さえを閉じて、カバーB、両面印刷ユニットの順に閉じます。

両面印刷ユニットを装着していない場合は、カバーBのみ閉じます。

6 カバー A を開けます。

オプションの A4 スタッカユニット(排紙トレイ)装着時

7 トナーカートリッジを取り出します。

8 詰まった用紙が取り除きにくい場合は、緑色のローラを手前に回します。

!重要

緑色以外のゴムローラには触れないでください。
紙詰まりの原因となります。

9 詰まっている用紙を取り除きます。

10 トナーカートリッジをセットします。

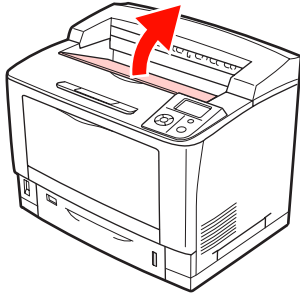
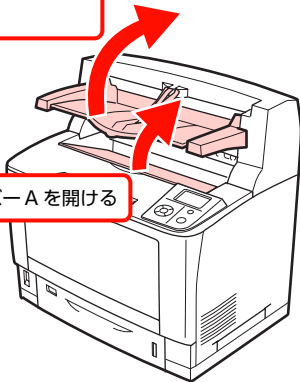
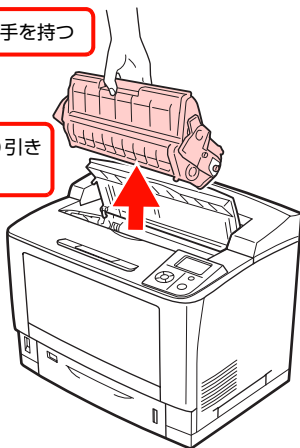
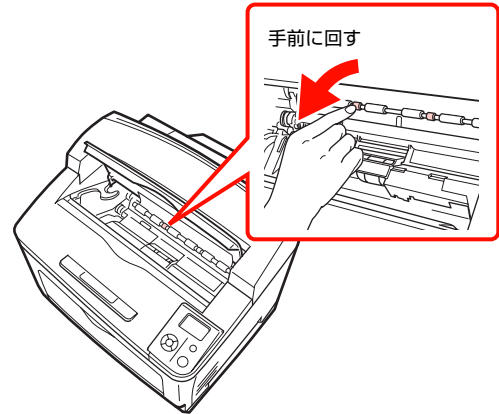
奥まで押し込み、確実にセットしてください。

11 カバー A を閉じます。

オプションの A4 スタッカユニット(排紙トレイ)装着時

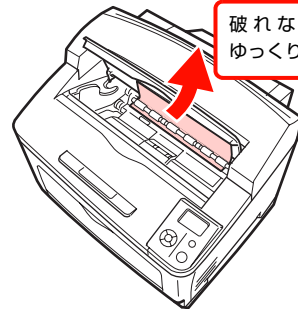
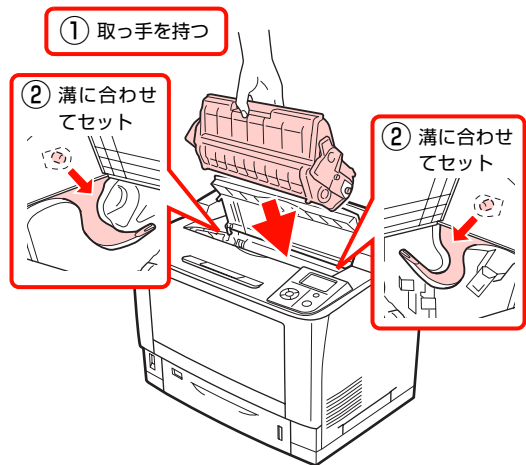
!重要

カバー A を閉じてから、スタッカトレイを下げてください。プリンタの故障の原因となります。

以上で終了です。

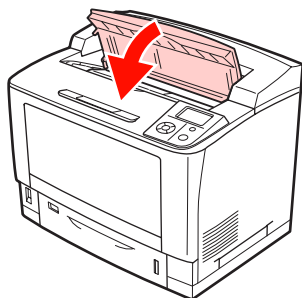
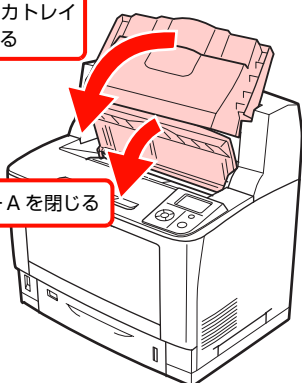
紙を取り除いてください A(内部)

ここでは、プリンタ内部の給紙経路から詰まった用紙を取り除く手順を説明します。

1 **カバー A を開けます。**

オプションの A4 スタッカユニット(排紙トレイ)装着時

2 **トナーカートリッジを取り出します。**

3 **詰まった用紙が取り除きにくい場合は、緑色のローラを手前に回します。**

> **!重要**
> 緑色以外のゴムローラには触れないでください。
> 紙詰まりの原因となります。

4 **詰まっている用紙を取り除きます。**

5 **トナーカートリッジをセットします。**
奥まで押し込み、確実にセットしてください。

6 **カバー A を閉じます。**

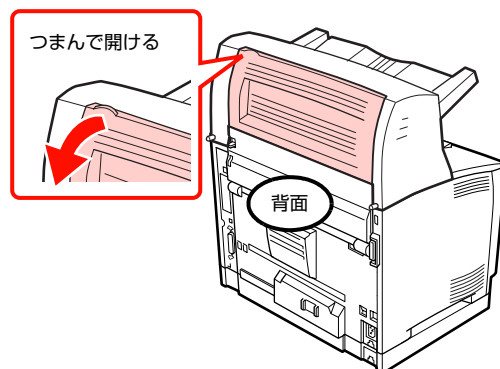
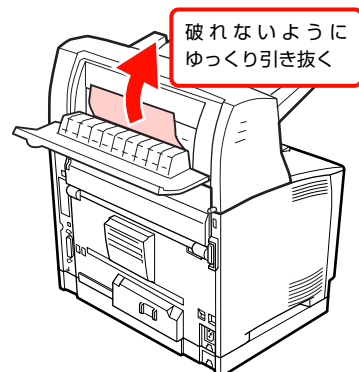
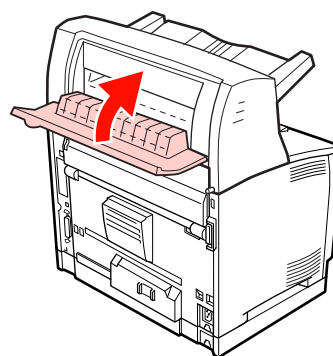
オプションの A4 スタッカユニット(排紙トレイ)装着時

!重要

カバー A を閉じてから、スタッカトレイを下げてください。プリンタの故障の原因となります。

以上で終了です。

紙を取り除いてください STK(排紙部)

ここでは、オプションの A4 スタッカユニット(排紙トレイ)に詰まった用紙を取り除く手順を説明します。

1 **カバー STK を開けます。**

2 **詰まっている用紙を取り除きます。**

3 **カバー STK を閉じます。**

紙詰まりの原因

紙詰まりが頻繁に発生する場合は、プリンタの設置や用紙のセット方法に問題がある可能性があります。

以下を参照して、原因を解消してください。

☞ 本書 137 ページ「正しく給排紙されない」

その他のトラブル

電源が入らない、電圧が不安定

プリンタの電源が入らないなど電源に関係するトラブルのときは、以下の内容を確認してください。

プリンタの電源が入らない

電源コードが抜けていたり、ゆるんでいませんか？

電源コードをプリンタとコンセントに、確実に差し込んでください。

コンセントに電源は来ていますか？

コンセントがスイッチ付きの場合はスイッチを入れます。ほかの電化製品をそのコンセントに差し込んで、動作するかどうか確かめてください。

正しい電圧（AC100V、15A）のコンセントに接続していますか？

コンセントの電圧を確かめて、正しい電圧で使用してください。
コンピュータの背面などに設けられているコンセントには接続しないでください。

プリンタ背面の漏電保護回路のブレーカスイッチが OFF になっていませんか？

ブレーカスイッチが OFF になっているときは、漏電保護回路が動作しているため電源が入りません。漏電保護回路の取扱方法は、以下を参照してください。
☞ 本書 12 ページ「漏電保護回路について」

ブレーカが動作してしまう

ブレーカの定格は十分ですか？

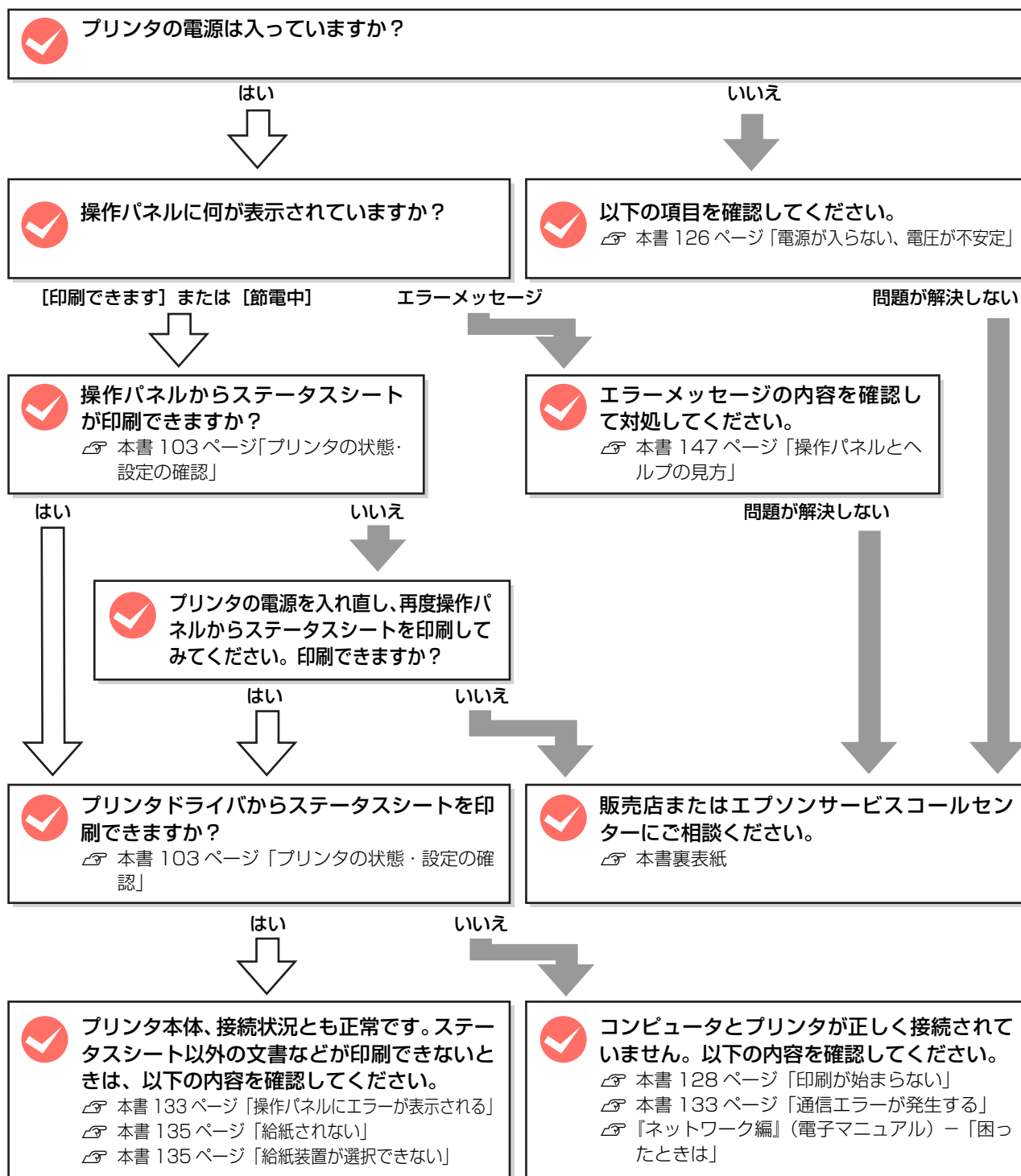
ブレーカの定格が十分であるにもかかわらずブレーカが動作してしまう場合は、他の機器を別の配線に接続してみてください。または本機用に専用配線を用意してください。

周辺の電化製品に異常が発生する

電源容量は、十分に確保されていますか？

電源容量が十分に確保されていない環境においては、本機と同一の電源ラインに接続されている蛍光灯にチラつきが発生したり、コンピュータがリセットするなどの現象が発生する可能性があります。蛍光灯、コンピュータなどが接続されている電源ラインと本機を分離してください（分電盤から独立して引かれた電源ラインへの接続をお勧めします）。また、無停電電源装置に接続するときは、他の機器に並列して接続しないでください。

印刷できない

印刷ができないときは、以下の手順でトラブルの種別を判別し、必要な項目を参照してください。

印刷が始まらない

コンピュータから印刷を実行しても、プリンタのデータランプもエラーランプも反応しないときは、コンピュータとプリンタが正しく接続されていません。または、印刷データがコンピュータの処理能力を超えている可能性があります。

EPSON ステータスモニタがインストールされている環境では、「通信エラーが発生しました」というメッセージが表示されます。

☞ 本書 133 ページ「通信エラーが発生する」

以下の内容を確認してください。

インターフェイスケーブルが外れていませんか？

プリンタ側のコネクタとコンピュータ側のコネクタにインターフェイスケーブルがしっかり接続されているか確認してください。また、ケーブルが断線していないか、変に曲がっていないかを確認してください。予備のケーブルをお持ちの方は、差し替えてご確認ください。

インターフェイスケーブルは、本機やコンピュータの仕様に合っていますか？

本機やコンピュータの仕様に合ったインターフェイスケーブルを使用してください。

☞ 本書 164 ページ「オプション / 消耗品 / 定期交換部品一覧」

インターフェイスが使用できない設定になっていませんか？

操作パネルで、特定のインターフェイスが使用できないように設定されていると、そのインターフェイスは使用できません。設定を確認してください。

☞ 本書 170 ページ「操作パネル設定項目一覧」

コンピュータは、本機の仕様に合っていますか？

システム条件を確認し、適切な環境で本機を使用してください。

☞ 本書 160 ページ「動作環境」

プリンタドライバが正しくインストールされていますか？

プリンタドライバをインストールし、接続方法に合った設定ができているか確認してください。

☞ 本書 36 ページ「コンピュータの接続と設定」

プリンタ名を変更していませんか？

ネットワークの管理者に確認して、変更したプリンタ名を選択してください。

パスワード印刷の設定をしていませんか？

プリンタドライバの［セキュリティ印刷］画面で、パスワード印刷の設定をして印刷を実行すると、印刷データは一旦プリンタのメモリ（RAM ディスク）に保存されます。プリンタから出力するには、操作パネルでパスワードを入力してください。

パスワード印刷を行わない場合は、プリンタドライバの［セキュリティ印刷］画面で［パスワード印刷をする］のチェックを外してから印刷してください。

☞『ソフトウェア編』（電子マニュアル）－「便利な印刷機能」－「印刷ジョブにパスワードを設定」

［プリンタ設定ユーティリティ］または、［システム環境設定］－［プリントとファクス］で本機が追加されていますか？（Mac OS X）

［プリンタ設定ユーティリティ］または、［システム環境設定］－［プリントとファクス］で本機のプリンタドライバをデフォルトプリンタとして選択するか、［プリント］画面で本機を選択してください。

Mac OS X v10.5.x：

Mac OS X v10.3.9 ～ v10.4.x：

本機が AppleTalk ゾーンを設定したネットワークに接続されている場合は、正しい［AppleTalk Zone］を選択して本機を追加してください。

ネットワークの設定は正しいですか？

同じネットワーク上のほかのコンピュータから印刷できるか確認してください。ほかのコンピュータから印刷できる場合は、接続状態やプリンタドライバの設定、コンピュータの設定などが正しくない可能性があります。ほかのコンピュータからも印刷できない場合は、ネットワーク環境に問題があると考えられます。ネットワーク設定の詳細は、以下を参照してください。

☞『ネットワーク編』（電子マニュアル）

通常使うプリンタとして設定されていますか？（Windows）

アプリケーションソフトによっては、印刷時に印刷するプリンタを選択できないことがあります。通常使うプリンタとして設定しておくと、印刷時に自動的に本機を選択して印刷します。以下の手順に従って確認してください。

1 **Windows の［スタート］メニューから［プリンタと FAX］/［プリンタ］を開きます。**

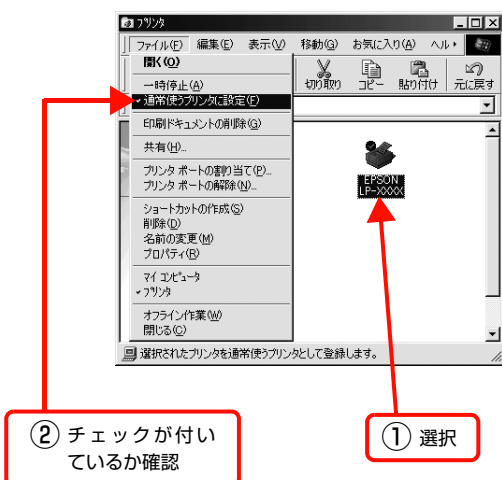
Windows Vista/Windows Server 2008：
［スタート］―［コントロールパネル］―［プリンタ］の順にクリックします。

Windows XP/Windows Server 2003：
［スタート］―［プリンタと FAX］をクリックします。

Windows 2000：
［スタート］―［設定］―［プリンタ］をクリックします。

2 **［通常使うプリンタに設定］になっているか確認します。**

Windows XP/Windows Server 2003/
Windows Vista：
本機のアイコンにチェックマークが付いていれば、［通常使うプリンタに設定］の状態になっています。チェックマークが付いていない場合は、使用するプリンタ名を右クリックし、表示されたメニューで［通常使うプリンタに設定］を選択します。

Windows 2000：
本機のアイコンを選択し、［ファイル］メニューの［通常使うプリンタに設定］が選択されているか確認します。

プリンタが一時停止またはオフラインになっていませんか？（Windows）

印刷途中で印刷を中断したり、何らかのトラブルで印刷停止した場合、プリンタまたはプリントマネージャのステータスが「一時停止」になります。このままの状態で印刷を実行しても印刷されません。

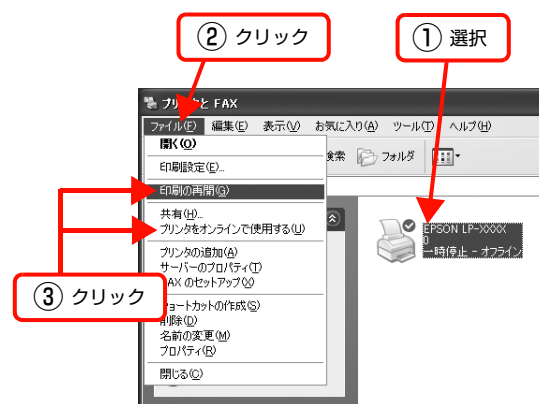
1 **Windows の［スタート］メニューから［プリンタと FAX］/［プリンタ］を開きます。**

Windows Vista/Windows Server 2008：
［スタート］―［コントロールパネル］―［プリンタ］の順にクリックします。

Windows XP/Windows Server 2003：
［スタート］―［プリンタと FAX］をクリックします。

Windows 2000：
［スタート］―［設定］―［プリンタ］をクリックします。

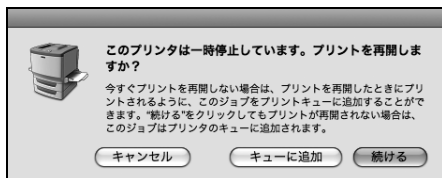
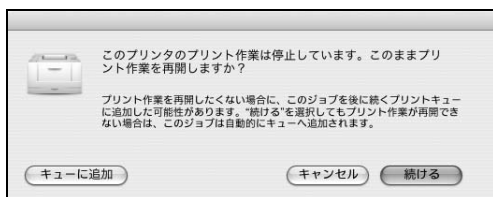
2 **本機のアイコンを選択し、印刷ができる状態に戻します。**

Windows XP/Windows Server 2003/
Windows Vista/Windows Server 2008：
［ファイル］メニューを開き、［印刷の再開］または［プリンタをオンラインで使用する］になっている場合は、クリックします。

Windows 2000：
［ファイル］メニューを開き、［一時停止］または［プリンタをオフラインで使用する］にチェックが付いている場合は、クリックして外します。

以上で終了です。

プリンタが一時停止になっていませんか？（Mac OS X）

［プリンタ設定ユーティリティ］または、［システム環境設定］－［プリントとファクス］でプリンタが一時停止になっていると、印刷を実行してもメッセージが表示されてそのままでは印刷できません。

Mac OS X v10.5.x：

Mac OS X v10.3.9 ～ v10.4.x：

［続ける］をクリックすると、プリンタ作業が再開されます。［続ける］をクリックしても印刷が再開されない場合や、［キューに追加］をクリックした場合は、以下の手順に従ってください。

Mac OS X v10.5.x の場合

1 ［システム環境設定］－［プリントとファクス］を開きます。（印刷実行時［Dock］から開けます。）

2 本機をクリックします。

3 ［プリントキューを開く］をクリックします。

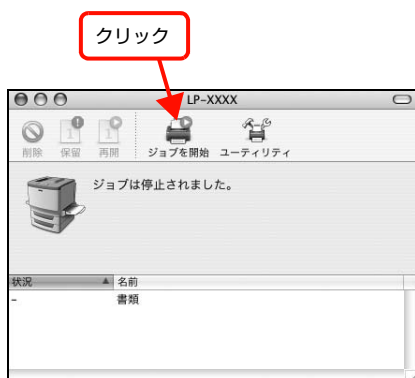
4 ［プリンタを再開］をクリックします。

以上で終了です。

Mac OS X v10.3.9 ～ v10.4.x の場合

1 ［プリンタ設定ユーティリティ］を開きます（印刷実行時は「Dock」から開けます）。

2 プリンタ名（本機）をダブルクリックします。

3 ［ジョブを開始］をクリックします。

以上で終了です。

プリンタポートの設定は正しいですか？（USB接続/Windows）

新たにUSB対応プリンタを接続し、ドライバをインストールすると、印刷先のポートの設定が変わることがあります。印刷先のポートの設定を確認してください。

1 Windowsの［スタート］メニューから［プリンタとFAX］/［プリンタ］を開きます。

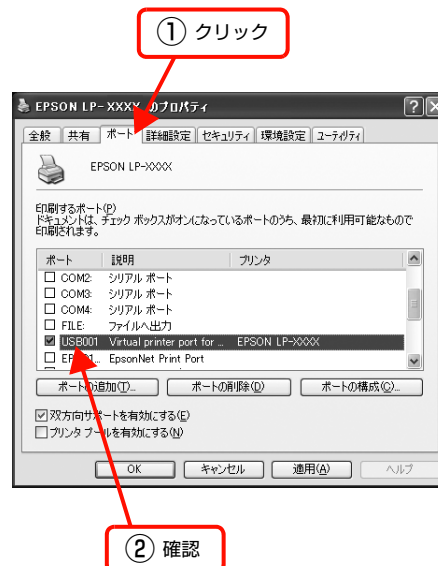
Windows Vista/Windows Server 2008：
［スタート］－［コントロールパネル］－［プリンタ］の順にクリックします。

Windows XP/Windows Server 2003：
［スタート］－［プリンタとFAX］をクリックします。

Windows 2000：
［スタート］－［設定］－［プリンタ］をクリックします。

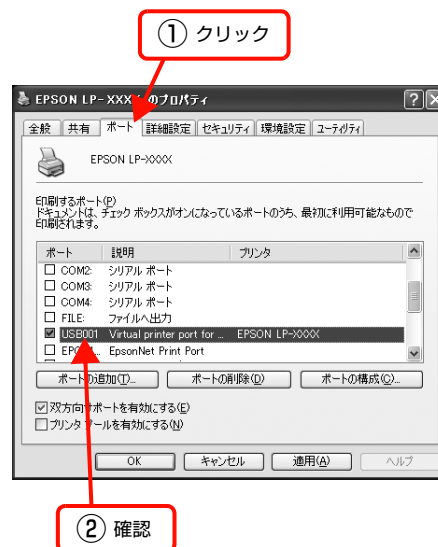
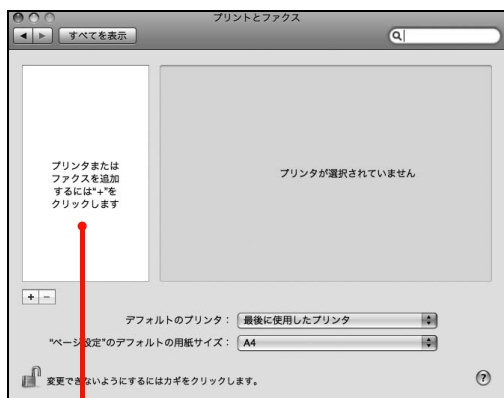
2 本機のアイコンを右クリックして、［プロパティ］をクリックします。

3 ［詳細］/［ポート］タブをクリックして［印刷するポート］/［印刷先のポート］を確認します。

① ［ポート］タブをクリックします。
② ［印刷するポート］で［USBx］が選択されていることを確認します（xはポート番号を表す数字です）。

以上で終了です。

ポートが表示されていますか？（USB接続）

以下の画面を開いて、ポートが正しく表示されているか確認してください。
表示されていないときは、プリンタの電源が入っていることを確認し、USBケーブルを一旦抜いてから差し直してみてください。
Mac OS Xは、［システム環境設定］－［プリントとファクス］または［プリンタ設定ユーティリティ］で本機を追加し直してみてください。

Windows：

Mac OS X v10.5.x：

プリンタ名が表示されていない

Mac OS X v10.3.9 ～ v10.4.x：

プリンタ名が表示されていない

本機をUSBハブの1段目に接続していますか？（USB 接続）

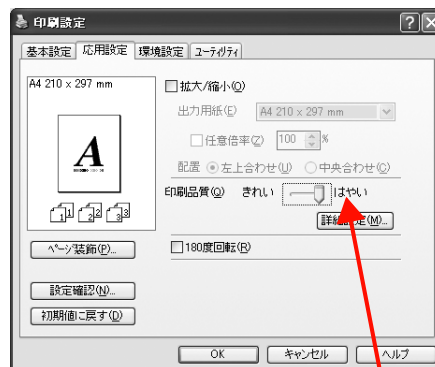
仕様上は、USB ハブを使用して 5 段まで縦列接続できますが、1 段目に接続することをお勧めします。コンピュータに直接接続されたUSBハブの1段目以外に本機を接続していて正常に動作しないときは、1 段目に接続してください。また、別のハブをお持ちの場合は、ハブを替えて接続してみてください。

WindowsがUSBハブを正しく認識していますか？（USB 接続 /Windows）

Windows の［デバイスマネージャ］の<ユニバーサルシリアルバス>の下に、USB ハブが正しく認識されているか確認してください。正しく認識されている場合は、コンピュータの USB ポートから、USB ハブをすべて外してから、本機の USB コネクタをコンピュータのUSBコネクタに直接接続してみてください。USB ハブの動作に関しては、ハブのメーカーにお問い合わせください。

容量の大きなデータを印刷していませんか？

容量の大きなデータを印刷しようとすると、コンピュータの CPU やメモリの容量によって、データを処理できないことがあります。コンピュータのメモリを増設するか、プリンタドライバの［印刷品質］の設定が［きれい］（600dpi）になっている場合は、［はやい］（300dpi）にすると印刷できることがあります。

Windows：

設定

Mac OS X v10.5.x：

設定

Mac OS X v10.3.9 ～ v10.4.x：

通信エラーが発生する

EPSON ステータスモニタがインストールされている環境で、「通信エラーが発生しました」と表示されたときは、以下の内容を確認してください。

コンピュータとプリンタが正しく接続されていますか？

以下を参照してください。

☞ 本書 128 ページ「印刷が始まらない」

ネットワーク接続で、印刷プロトコルとして Net BEUI、IPP を使用していませんか？

NetBEUI 接続時や EpsonNet Internet Print 使用時は、EPSON ステータスモニタがネットワークプリンタを監視できないために印刷を実行すると通信エラーとなる場合があります。エラーが表示されても印刷は正常に終了します。[通知設定] 画面内の [印刷中プリンタを監視する] のチェックを外すと、エラーが表示されなくなります。

☞ Windows：『ソフトウェア編』（電子マニュアル）－「Windows での使い方」－「プリンタの監視」

☞ Mac OS X：『ソフトウェア編』（電子マニュアル）－「Mac OS X での使い方」－「プリンタの監視」

リモートデスクトップ機能で、リダイレクトプリントを実行していませんか？（Windows XP/Windows Vista）

リモートデスクトップ機能を利用している状態で、移動先のコンピュータからそのコンピュータに直接接続されたプリンタへ印刷する場合、EPSON ステータスモニタがインストールされていると通信エラーが発生します。ただし、印刷は正常に行われます。

操作パネルにエラーが表示される

操作パネルにエラーメッセージが表示されていませんか？

操作パネルのエラーランプが点灯し、エラーメッセージが表示されているか確認してください。エラーメッセージの説明と対処方法は以下を参照してください。

☞ 本書 147 ページ「操作パネルとヘルプの見方」

容量の大きなデータを印刷していませんか？

容量の大きなデータを印刷しようとすると、プリンタがデータを処理できないことがあります。

- プリンタドライバの［印刷品質］の設定が［きれい］（600dpi）になっている場合は、［はやい］（300dpi）にすると印刷できることがあります。

Windows：

Mac OS X v10.5.x：

Mac OS X v10.3.9 ～ v10.4.x：

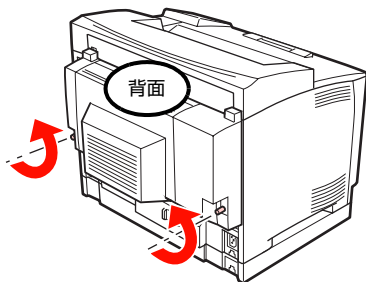
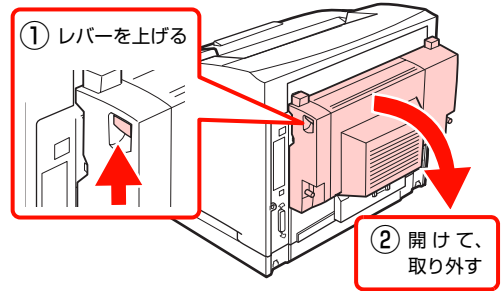
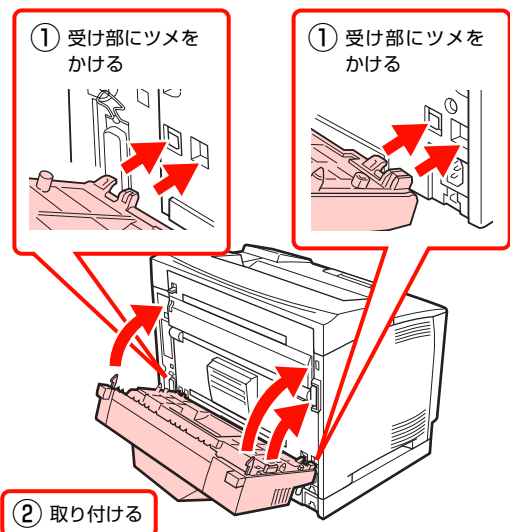
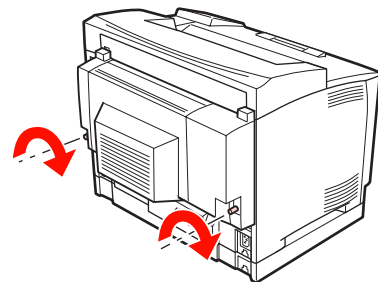
- 操作パネルで、使用していないインターフェイスを［使わない］に設定すると印刷できることがあります。
本書 170 ページ「操作パネル設定項目一覧」
- 容量の大きなデータまたは、［よりきれい］で印刷するには、プリンタにメモリを増設することをお勧めします。
必要なメモリ容量は、印刷データやアプリケーションソフトによって異なります。

両面印刷ユニットに関するエラーが表示される

両面印刷ユニットが外れています。

以下の手順に従って両面印刷ユニットを正しくセットしてください。

1 **プリンタの電源が切れていることを確認します。**

2 **両面印刷ユニットのネジを緩めます。**

3 **両面印刷ユニットを取り外します。**

4 **プリンタ背面の受け部に両面印刷ユニットのツメをかけてから、プリンタ本体に正しくセットし直します。**

5 **両面印刷ユニットをネジで固定します。**

6 **プリンタの電源を入れます。**

7 **ステータスシートを印刷し、正しく両面印刷ユニットが取り付けられているかを確認します。**
本書 103 ページ「プリンタ情報シート」

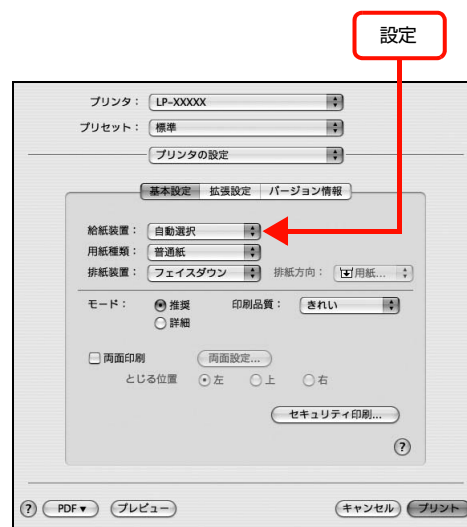
給紙されない

プリンタドライバで、使用したい給紙装置を選択していますか？

プリンタドライバの［給紙装置］の設定を確認してください。

Windows：

Mac OS X v10.5.x：

Mac OS X v10.3.9～v10.4.x：

［給紙装置］に［用紙カセット 2］/［用紙カセット 3］/［用紙カセット 4］（オプションの増設 1 段カセットユニット）が表示されないときは、実装オプションの設定をしてください。

☞ 本書 135 ページ「給紙装置が選択できない」

給紙装置が選択できない

アプリケーションソフトの給紙装置の設定は合っていますか？

給紙装置の設定は、アプリケーションソフトの設定が優先されることがあります。アプリケーションソフトの取扱説明書を参照して給紙装置の設定を確認してください。

セットしている用紙とプリンタドライバの設定は一致していますか？

ステータスシートまたはトレイ用紙サイズスイッチでの用紙サイズを確認してください。

ステータスシートは、操作パネルの［プリンタ情報］メニューから印刷します。

☞ 本書 103 ページ「プリンタの状態・設定の確認」

用紙サイズの設定を操作パネルで直接確認するには、［給紙装置設定］メニューを確認します。

☞ 本書 170 ページ「操作パネル設定項目一覧」

用紙サイズが正しく検知されていることを確認し、プリンタドライバの設定も一致させてください。

プリンタドライバで設定しましたか？

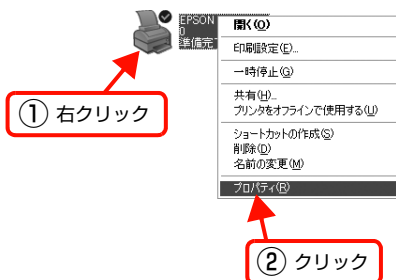
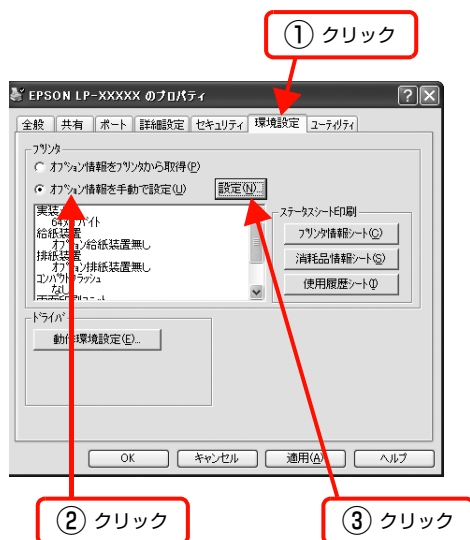
Windows：
EPSONステータスモニタをインストールしていない場合は、プリンタドライバでオプション情報を設定する必要があります。以下の手順で設定してください。
EPSON ステータスモニタをインストールしている場合は、プリンタのプロパティ画面を開くと自動的に認識されます。

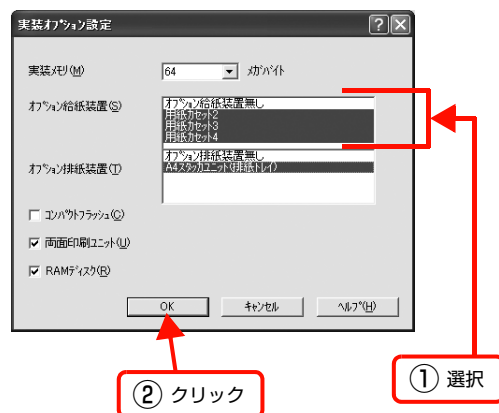
1 Windows の［スタート］メニューから［プリンタと FAX］/［プリンタ］を開きます。

Windows Vista/Windows Server 2008：
［スタート］―［コントロールパネル］―［プリンタ］の順にクリックします。

Windows XP/Windows Server 2003：
［スタート］―［プリンタと FAX］をクリックします。

Windows 2000：
［スタート］―［設定］―［プリンタ］をクリックします。

2 本機のアイコンを右クリックして、［プロパティ］をクリックします。

3 ［環境設定］画面で［オプション情報を手動で設定］をクリックし、［設定］をクリックします。

4 取り付けた用紙カセットを選択して［OK］をクリックします。

両面印刷ユニットを取り付けたときは、［両面印刷ユニット］をチェックします。

以上で終了です。

Mac OS X v10.5.x：
［システム環境設定］―［プリントとファクス］で本機を追加し直すと、情報が更新されます。または、［システム環境設定］―［プリントとファクス］―［オプションとサプライ］で［ドライバ］タブをクリックすると、オプションの装着状態の確認や変更ができます。

Mac OS X v10.3.9 ～ v10.4.x：
［プリンタ設定ユーティリティ］または、［システム環境設定］―［プリントとファクス］で、本機を追加し直すと、情報が更新されます。

正しく給排紙されない

給排紙が正しく行われなかったり、紙詰まりが発生するときは、以下の内容を確認してください。

用紙が詰まる

プリンタをプリンタの底面より小さな台の上に設置していませんか？
プリンタの底面より小さな台の上に設置すると正常な給排紙ができません。プリンタの設置場所を確認してください。

プリンタは水平な場所に設置されていますか？
設置場所が水平でなかったり、プリンタの下に異物が挟まれていると正常に給排紙されないことがあります。プリンタの設置場所の環境を再確認してください。

本機で印刷可能な用紙を使用していますか？
印刷可能な用紙を使用してください。
☞ 本書 48 ページ「印刷できる用紙」

両面印刷時に、両面印刷可能な用紙を使用していますか？
両面印刷で使用できる用紙の詳細は、以下のページを参照してください。
☞ 本書 168 ページ「用紙一覧と設定早見表」

本機の A4 スタッカユニット（排紙トレイ）で排紙可能な用紙を使用していますか？
☞ 本書 57 ページ「排紙」

セットする前に用紙をさばきましたか？
複数枚セットする際に、用紙をさばいてからセットすると給紙時の問題が発生しなくなる場合があります。

用紙カセットがプリンタに正しくセットされていますか？
標準用紙カセットやオプション増設 1 段カセットユニットの用紙カセットを正しくセットしてください。
☞ 本書 50 ページ「用紙のセットと排紙」

ハガキの先端が下向きに反っていませんか？
先端を数ミリ上に反らしてからセットしてください。

用紙ガイドが正しい位置にセットされていますか？
MP トレイや用紙カセットの用紙ガイドを、用紙サイズに合わせてセットしてください。
☞ 本書 50 ページ「用紙のセットと排紙」

給紙ローラが汚れていませんか？
給紙ローラを拭いてください。
☞ 本書 107 ページ「MP トレイの給紙ローラのクリーニング」
☞ 本書 108 ページ「用紙カセットの給紙ローラのクリーニング」

印刷中に用紙を継ぎ足していませんか？
印刷中に MP トレイに用紙を補充すると、複数枚の用紙を同時に給紙してしまい、紙詰まりの原因となることがあります。印刷を始める前、または中断して用紙を補充してください。

用紙が湿気を含んでいる可能性があります。
新しい用紙と交換することをお勧めします。

用紙が二重に送られる

用紙同士がくっついていませんか？
用紙がくっついて給紙される場合は、用紙をよくさばいてください。特殊紙の場合は、1 枚ずつセットしてください。

本機に合った用紙を使用していますか？
印刷可能な用紙をお使いください。
☞ 本書 48 ページ「印刷できる用紙」

紙詰まりエラーが解除されない

詰まった用紙をすべて取り除きましたか？
プリンタのカバー付近を確認してください。それでもエラーが解除されない場合は用紙を取り除く際に用紙が破れてプリンタ内部に残っているかもしれません。このようなときは無理に取り除こうとせずに、販売店またはエプソンサービスコールセンターにご連絡ください。
☞ 本書裏表紙

用紙が詰まっていないのにエラーが表示される。
すべてのカバーが閉まっていることを確認してください。

用紙がカールする

正しい印刷面に印刷していますか？
特に印刷面の指定がない場合でも、逆の面へ印刷することによって用紙がカールしなくなることがあります。印刷面を変えて印刷してみてください。

用紙が湿気を含んでいる可能性があります。
新しい用紙と交換することをお勧めします。

封筒にしわができる

紙送り切替レバーを操作しましたか？
しわができるときは以下を参照してください。
☞ 本書 60 ページ「封筒への印刷」

封筒が湿気を含んでいる可能性があります。
新しい封筒と交換することをお勧めします。

用紙カセットから給紙できない

用紙カセットがプリンタに正しくセットされていますか？

標準の用紙カセットやオプションの増設 1 段カセットユニットを正しくセットしてください。

本書 50 ページ「用紙のセットと排紙」

セットした後はステータスシートを印刷して、用紙カセットが認識されているか確認してください。

本書 103 ページ「プリンタの状態・設定の確認」

スタッカユニット(排紙トレイ)から排紙できない

スタッカユニットがプリンタに正しくセットされていますか？

スタッカユニットを正しくセットしてください。

本書 26 ページ「A4 スタッカユニット（排紙トレイ）」

セットした後はステータスシートを印刷して、スタッカユニットが認識されているか確認してください。

本書 103 ページ「プリンタの状態・設定の確認」

縦横交互排紙できない

［部単位で印刷］の設定は正しいですか？

縦横交互排紙を選択したときに、アプリケーションソフトによっては印刷ダイアログにある［部単位で印刷］の設定を変えると縦横交互に排紙できることがあります。［部単位で印刷］のチェックボックスをオンまたはオフに設定を変更してみてください。

画面表示や設定と印刷結果が異なる

印刷した結果が画面の表示や設定内容と異なるときは、以下の内容を確認してください。

文字や画像が画面表示と異なる

プリンタの使用環境に問題はありませんか？

再度印刷してみても同様の現象が発生する場合は、以下の点を確認してください。

- 推奨ケーブルが正しく接続されているか
  本書 36 ページ「コンピュータの接続と設定」
- お使いのコンピュータは本機のシステム条件に合っているか
  本書 160 ページ「動作環境」
- プリンタドライバのテスト印刷やステータス印刷が正常にできるか
  本書 103 ページ「プリンタの状態・設定の確認」

ページの左右または片側が切れる

印刷データの横幅は、プリンタドライバで設定した用紙サイズに収まりますか？

WEB ブラウザでインターネットの WEB サイトを印刷すると、ページの左右で印刷が切れてしまうことがあります。より大きなサイズの用紙に印刷してください。

Windows：

Mac OS X v10.5.x：

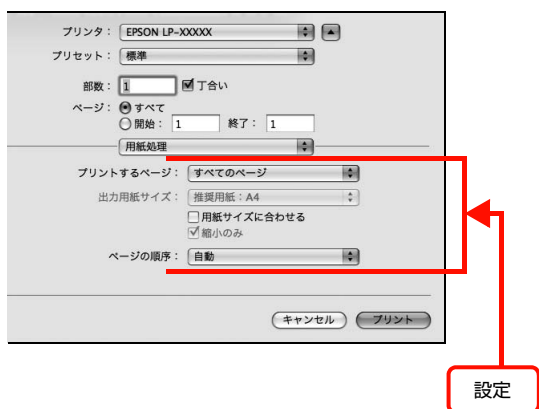
参考

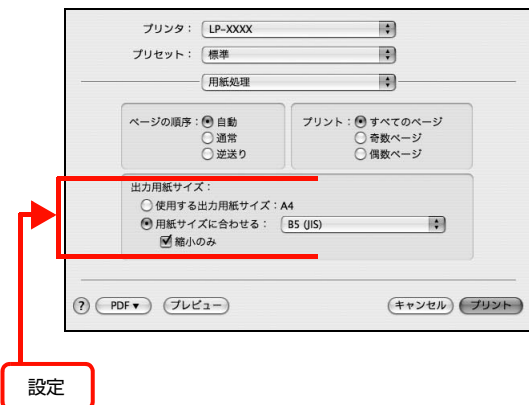
- アプリケーションによっては［用紙サイズ］が設定できません。
- ［用紙サイズ］が表示されない場合は、［ページ設定］画面で設定してください。

Mac OS X v10.3.9 ～ v10.4.x：

より大きなサイズの用紙が利用できないときは、プリンタドライバの［拡大 / 縮小］機能を使用すると、用紙サイズに合わせて印刷データを拡大/縮小して印刷できます。

Windows：

Mac OS X v10.5.x：

アプリケーションソフトによっては、［プリント］画面で［拡大縮小］が設定できます。

Mac OS X v10.4.x：

Mac OS X v10.3.9：

用紙の余白を設定しましたか？

アプリケーションソフトによっては、用紙の余白を設定できるものがあります。例えば、Microsoft Internet Explorer（WEB ブラウザ）では、［ファイル］メニューから［ページ設定］を選択して、［余白］の値を小さくして印刷してみてください。なお、本機では用紙の左右上下とも最低 4mm の余白が必要です。

オフセット値を変更しましたか？

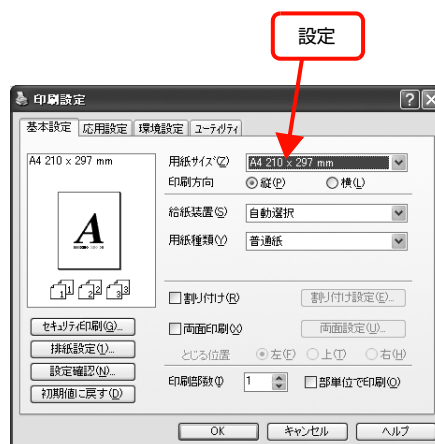
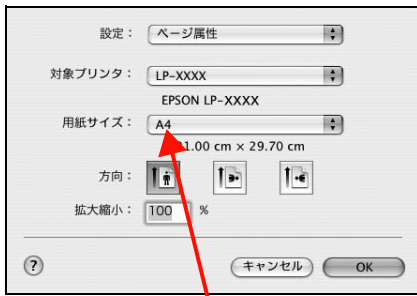
印刷保証領域外への印刷はできません。印刷保証領域いっぱいに作られた印刷データに対してオフセット値を変更すると、用紙端のデータは印刷されません。

本書 49 ページ「印刷できる領域」

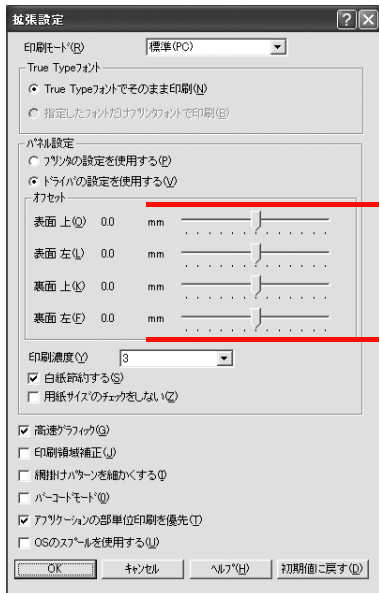
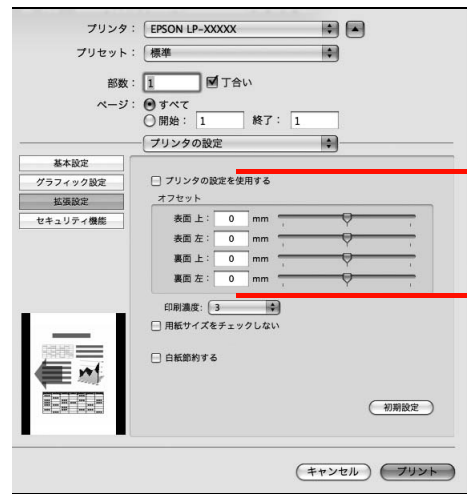
印刷位置が画面表示と異なる

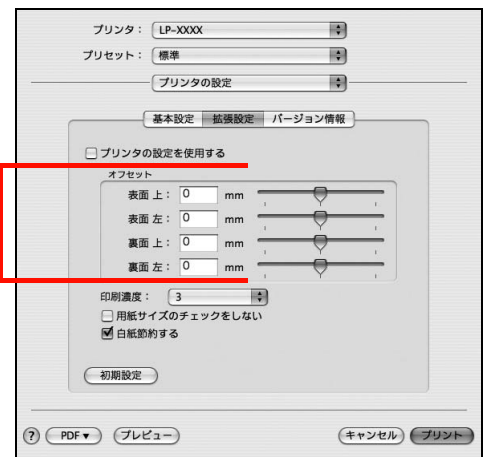
アプリケーションソフトで設定した用紙サイズと、プリンタドライバで設定した［用紙サイズ］が異なっていませんか？

アプリケーションソフトで設定した用紙サイズを、プリンタドライバの［用紙サイズ］で設定してください。

Windows：

Mac OS X：

印刷開始位置を設定しましたか？

アプリケーションソフトによっては、印刷開始位置の設定が必要です。プリンタドライバの［拡張設定］画面で［オフセット］を調整してください。

Windows：

Mac OS X v10.5.x：

Mac OS X v10.3.9～v10.4.x：

罫線が切れる

アプリケーションソフトで、本機を使用して印刷する設定になっていますか？

アプリケーションソフトの取扱説明書を参照して、本機を使用して印刷できるように設定してください。

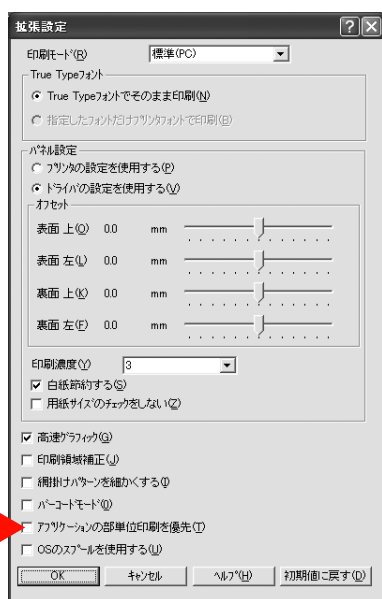
文字の位置がずれる

アプリケーションソフトで、本機を使用して印刷する設定になっていますか？

アプリケーションソフトの取扱説明書を参照して、本機を使用して印刷できるように設定してください。

部単位印刷ができない

アプリケーションソフトとプリンタドライバの両方で部単位印刷を設定していませんか？（Windows）

アプリケーションソフトとプリンタドライバの両方で部単位印刷を設定すると、一部の Windows アプリケーションソフトでは、正しく部単位印刷ができないことがあります。プリンタドライバの［拡張設定］画面で［アプリケーションの部単位印刷を優先］のチェックを外し、アプリケーションソフトではなくプリンタドライバで部単位印刷を設定してください。

A4 縦横交互排紙ができない

プリンタドライバの［部単位印刷］のチェックを外していませんか？

縦横交互排紙するには、プリンタドライバの［基本設定］－［排紙設定］を［A4 用紙を 1 部ずつ縦横交互に排紙する］、［部単位印刷］をオンにする必要があります。［部単位印刷］からオフにするとこの機能は使用できません。

設定と印刷結果が異なる

アプリケーションソフトとプリンタドライバの設定が一致していますか？

アプリケーションソフトとプリンタドライバの設定が一致しているか確認してください。印刷条件の設定は、アプリケーションソフト、プリンタドライバそれぞれで行えますが、各設定の優先順位は、お使いの状況によって異なります。

コンパクトフラッシュを初期化したい

コンパクトフラッシュのデータを消去したいときや廃棄するときなどは、以下の手順でコンパクトフラッシュを初期化してください。

！重要

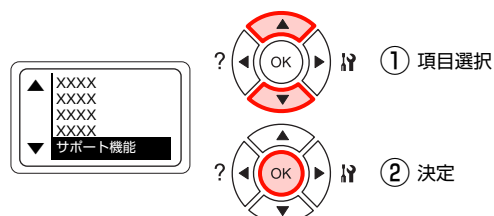
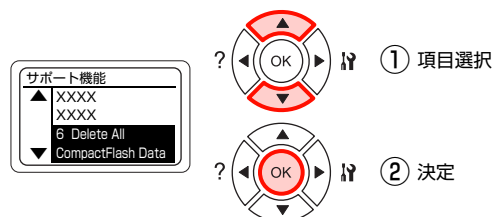
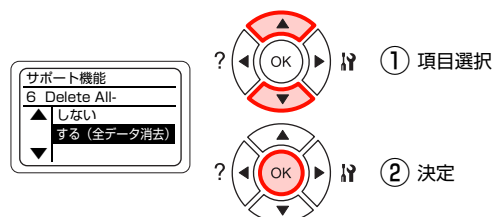
［Delete All CompactFlash Data］以外の設定項目は、変更しないでください。

1 プリンタに接続されているインターフェイスケーブルを外します。

プリンタメモリ内にジョブがないことを確認してください。

2 【▼】ボタンを押したままプリンタの電源を入れます。

操作パネルに「SUPPORT MODE」と表示されるまで【▼】ボタンを押し続けてください。

3 ［サポート機能］を選択します。

4 ［Delete All CompactFlash Data］を選択します。

5 ［する（全データ消去）］を選択します。

6 操作パネルに「CF データ全消去完了」と表示されたらプリンタの電源を入れ直します。

以上で終了です。

Windows Vista 環境での制限事項

Windows Vista をお使いの方は、以下の内容を確認してください。

プリンタドライバの設定内容が使用できない

設定を保存したプリンタ以外の設定内容を使用していませんか？

Windows Vista 環境では、ユーザー定義サイズ、スタンプマーク、プリセットの詳細設定は、インストールしたプリンタ名ごとに保存されます。それぞれに設定が保存されるため、設定を保存したプリンタ以外、設定内容は使用できません。

文字が使用できない

JIS X 0213：2004 で追加された以下の 10 文字は、下記の機能では使用できません。

俱𠮟噓屛瘦剝吞姸幷繫

- スタンプマーク機能
- プリンタフレンドリ名
- 中間スプールフォルダ設定のフォルダパスの設定
- フォームオーバーレイ機能
- ヘッダー/フッター設定で印字する際のユーザー名
- パスワード印刷のユーザー名やジョブ名
- EPSON ステータスモニタのジョブ情報表示

ジョブが正常に印刷できない

スリープ / 休止の設定をしていませんか？

印刷中に手動でスリープ/休止状態に移行しないでください。

パスワード印刷の入力画面が表示されない

［OS のスプールを使用する］にチェックを付けていませんか？

プリンタドライバの［環境設定］－［拡張設定］で［OS のスプールを使用する］にチェックを付けてパスワード印刷を実行するときは、Windows Vista の［スタート］－［コントロールパネル］－［管理ツール］－［サービス］の「Interactive Service Detection」を起動状態にしてください。

印刷品質が悪い

画質が悪いなど、印刷品質に問題があるときは、以下の内容を確認してください。

きれいに印刷できない

エプソン製のトナーカートリッジおよび定着ユニットをお使いですか？

本機はエプソン製のトナーカートリッジおよび定着ユニット使用時に最高の印刷品質が得られるように設計されています。エプソン製品以外のものをご使用になると、プリンタ本体の故障の原因となったり、印刷品質が低下するなど、プリンタ本体の性能が発揮できないことがあります。トナーカートリッジおよび定着ユニットはエプソン製品のご使用をお勧めします。また、必ず本機に合った型番のものをお使いください。

☞ 本書 164 ページ「オプション / 消耗品 / 定期交換部品一覧」

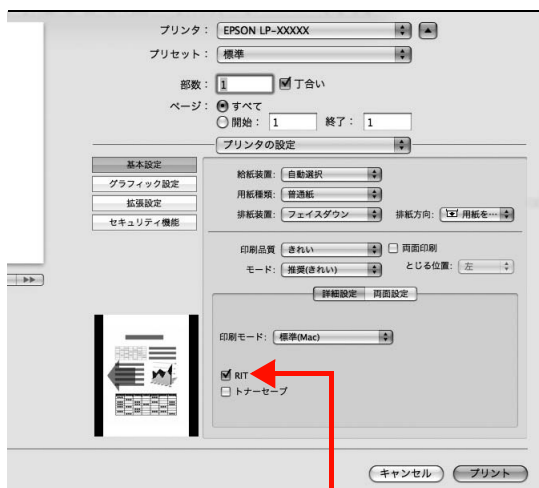
プリンタドライバの［トナーセーブ］機能を使用していませんか？

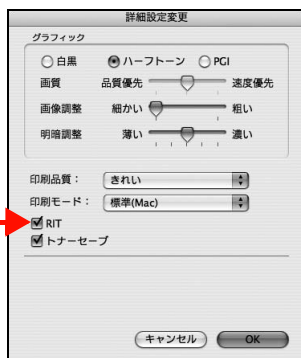
［トナーセーブ］は、印刷品質を問わない場合にトナーを節約して印刷する機能のため、試し印刷などに適しています。［トナーセーブ］機能を使用しない通常の印刷よりも、薄くなります。

☞『ソフトウェア編』（電子マニュアル）－「トナーセーブ（トナーの節約）の設定」

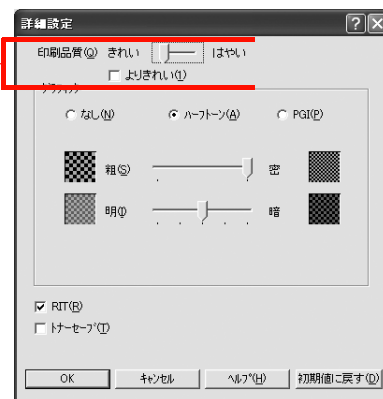
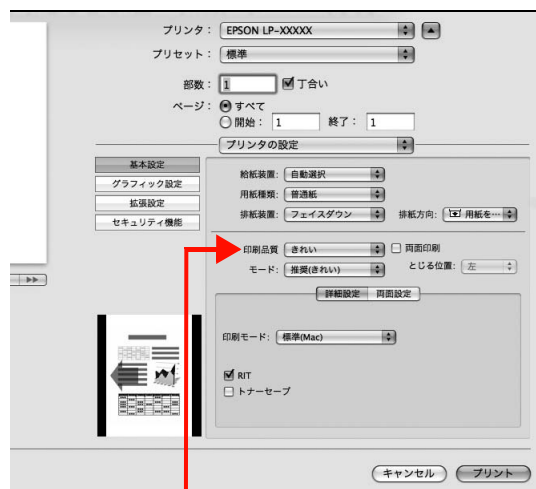
プリンタドライバの［RIT］機能を使用して印刷していますか？

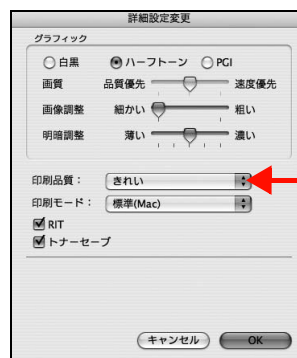
文字をきれいに印刷したいときは［RIT］機能を使用して印刷してください。ただし、写真など複雑なトーンがあるデータでは、［RIT］機能を使用しないほうがきれいに印刷できる場合があります。

Windows：

Mac OS X v10.5.x：

Mac OS X v10.3.9 ～ v10.4.x：

プリンタドライバで［印刷品質］を［きれい］（600dpi）または［よりきれい］（1200dpi）に設定していますか？

きれいに印刷したいときは、［印刷品質］を［はやい］（300dpi）ではなく［きれい］（600dpi）または［よりきれい］（1200dpi）に設定して印刷してください。ただし、複雑な印刷データではメモリ不足で印刷できない場合があります。このようなときは、［印刷品質］を［はやい］（300dpi）に戻すか、メモリを増設してください。

Windows：

Mac OS X v10.5.x：

Mac OS X v10.3.9 ～ v10.4.x

操作パネルに「解像度を落として印刷しました」というメッセージが表示されましたか？

印刷するのに十分なメモリをプリンタに増設してください。

必要なメモリ容量は、印刷データやアプリケーションソフトによって異なります。

トナーカートリッジおよび定着ユニットが、劣化または損傷している可能性があります。

数ページ印刷しても改善されないときは、新しいトナーカートリッジおよび定着ユニットに交換してください。

☞ 本書 98 ページ「トナーカートリッジの交換」
☞ 本書 101 ページ「定期交換部品の交換」

薄すぎる、濃すぎる

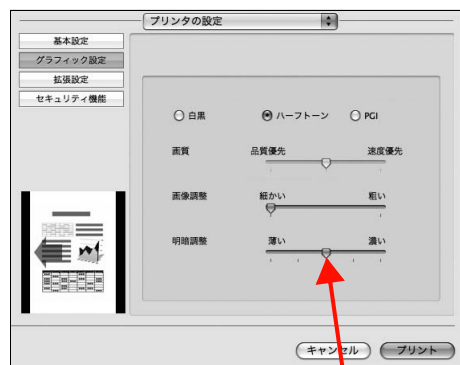
プリンタドライバの［トナーセーブ］機能を使用していませんか？

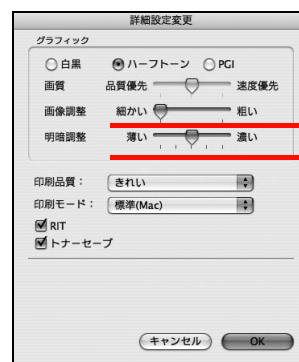
［トナーセーブ］は、印刷品質を問わない場合にトナーを節約して印刷する機能のため、試し印刷などに適しています。［トナーセーブ］機能を使用しない通常の印刷よりも、薄くなります。

☞『ソフトウェア編』（電子マニュアル）－「トナーセーブ（トナーの節約）の設定」

プリンタドライバの［グラフィック］の設定を確認してください。

［詳細設定］画面で［グラフィック］を調整してください。

Windows：

Mac OS X v10.5.x：

Mac OS X v10.3.9 ～ v10.4.x：

薄い、かすれる

用紙が湿気を含んでいる可能性があります。

新しい用紙と交換することをお勧めします。

トナーの残量は十分ですか？

ステータスシートまたは操作パネルで、トナー残量を確認してください。

☞ 本書 103 ページ「プリンタの状態・設定の確認」

トナーが残っていなければ、新しいトナーカートリッジに交換してください。

☞ 本書 98 ページ「トナーカートリッジの交換」

トナーカートリッジおよび定着ユニットが、劣化または損傷している可能性があります。

数ページ印刷しても改善されないときは、新しいトナーカートリッジおよび定着ユニットに交換してください。

☞ 本書 98 ページ「トナーカートリッジの交換」
☞ 本書 101 ページ「定期交換部品の交換」

プリンタドライバの［トナーセーブ］機能を使用していませんか？

［トナーセーブ］は、印刷品質を問わない場合にトナーを節約して印刷する機能のため、試し印刷などに適しています。［トナーセーブ］機能を使用しない通常の印刷よりも、印刷品質が劣ります。

『ソフトウェア編』（電子マニュアル）－「トナーセーブ（トナーの節約）の設定」

プリンタドライバの［用紙種類］が正しく設定されていますか？

セットした用紙とプリンタドライバの［用紙種類］の設定が合っていないと（［普通紙］の設定で厚紙に印刷するなど）、最適な印刷結果が得られません。使用する用紙の種類に合わせて、［用紙種類］を設定してください。

本書 168 ページ「用紙一覧と設定早見表」

汚れ（点）が印刷される

適切な用紙を使用していますか？

本機で印刷できる用紙を使用してください。

本書 48 ページ「印刷できる用紙」

トナーカートリッジおよび定着ユニットが、劣化または損傷している可能性があります。

数ページ印刷しても改善されないときは、新しいトナーカートリッジおよび定着ユニットに交換しください。

本書 98 ページ「トナーカートリッジの交換」
本書 101 ページ「定期交換部品の交換」

周期的に汚れる

プリンタ内の用紙経路が汚れている可能性があります。

数ページ印刷してください。

トナーカートリッジおよび定着ユニットが、劣化または損傷している可能性があります。

数ページ印刷しても改善されないときは、新しいトナーカートリッジおよび定着ユニットに交換してください。

本書 98 ページ「トナーカートリッジの交換」
本書 101 ページ「定期交換部品の交換」

指でこすると汚れる

用紙が湿気を含んでいる可能性があります。

新しい用紙と交換することをお勧めします。

適切な用紙を使用していますか？

本機で印刷できる用紙を使用してください。

本書 48 ページ「印刷できる用紙」

プリンタドライバの［用紙種類］が正しく設定されていますか？

セットした用紙とプリンタドライバの［用紙種類］の設定が合っていないと（［普通紙］の設定で厚紙に印刷するなど）、最適な印刷結果が得られません。使用する用紙の種類に合わせて、［用紙種類］を設定してください。

本書 168 ページ「用紙一覧と設定早見表」

白く抜ける（点または周期的に）

適切な用紙を使用していますか？

本機で印刷できる用紙を使用してください。

本書 48 ページ「印刷できる用紙」

トナーカートリッジおよび定着ユニットが、劣化または損傷している可能性があります。

数ページ印刷しても改善されないときは、新しいトナーカートリッジおよび定着ユニットに交換してください。

本書 98 ページ「トナーカートリッジの交換」
本書 101 ページ「定期交換部品の交換」

用紙が湿気を含んでいるか、乾燥しすぎている可能性があります。

新しい用紙と交換することをお勧めします。

プリンタドライバの［トナーセーブ］機能を使用していませんか？

［トナーセーブ］は、印刷品質を問わない場合にトナーを節約して印刷する機能のため、試し印刷などに適しています。［トナーセーブ］機能を使用しない通常の印刷よりも、印刷品質が劣ります。

『ソフトウェア編』（電子マニュアル）－「トナーセーブ（トナーの節約）の設定」

用紙全体が塗りつぶされる

トナーカートリッジおよび定着ユニットが、劣化または損傷している可能性があります。

数ページ印刷しても改善されないときは、新しいトナーカートリッジおよび定着ユニットに交換しください。

本書 98 ページ「トナーカートリッジの交換」
本書 101 ページ「定期交換部品の交換」

用紙の送り方向に対して線が入る

トナーカートリッジおよび定着ユニットが、劣化または損傷している可能性があります。

数ページ印刷しても改善されないときは、新しいトナーカートリッジおよび定着ユニットに交換しください。

本書 98 ページ「トナーカートリッジの交換」
本書 101 ページ「定期交換部品の交換」

何も印刷されない

一度に複数枚の用紙が搬送されている可能性があります。

用紙をよくさばいて、セットし直してください。

トナーの残量は十分ですか？

ステータスシートまたは操作パネルで、トナー残量を確認してください。

☞ 本書 103 ページ「プリンタの状態・設定の確認」

トナーが残っていなければ、新しいトナーカートリッジに交換してください。

☞ 本書 98 ページ「トナーカートリッジの交換」

トナーカートリッジおよび定着ユニットが、劣化または損傷している可能性があります。

数ページ印刷しても改善されないときは、新しいトナーカートリッジおよび定着ユニットに交換しください。

☞ 本書 98 ページ「トナーカートリッジの交換」
☞ 本書 101 ページ「定期交換部品の交換」

裏面が汚れる

プリンタ内の用紙経路が汚れている可能性があります。

数ページ印刷してください。

印刷に時間がかかる

印刷に時間がかかったり、一時停止してしまうときは、以下の内容を確認してください。

節電モードになっていませんか？

節電状態から印刷を実行すると、印刷開始の前にウォームアップを行いますので、排紙されるまでに時間がかかることがあります。

☞『ソフトウェア編』（電子マニュアル）－「印刷待機時の節電」

容量の大きなデータを印刷していませんか？

容量の大きなデータを印刷しようとすると、プリンタ側でデータを処理できないことがあります。操作パネルで、使用していないインターフェイスを［使わない］に設定してみてください。

☞ 本書 170 ページ「操作パネル設定項目一覧」

問題が解消されないときは、プリンタにメモリを増設することをお勧めします。

必要なメモリ容量は、印刷データやアプリケーションソフトによって異なります。

バーコードの読み取りが悪い

プリンタドライバで［印刷品質］を［きれい］または［よりきれい］に設定していますか？

プリンタドライバの［印刷品質］を［きれい］（600dpi）または［よりきれい］（1200dpi）に設定して印刷してください。

プリンタドライバの［バーコードモード］機能を使用して印刷していますか？
（Windows のみ）

プリンタドライバの［バーコードモード］機能を使用すると、バーコードの輪郭をはっきりと印刷します。

プリンタドライバの［拡張設定］画面で［バーコードモード］にチェックを付けて設定してください。

操作パネルとヘルプの見方

操作パネルに表示されるメッセージと、対処方法を記載したヘルプ機能の使い方を説明します。

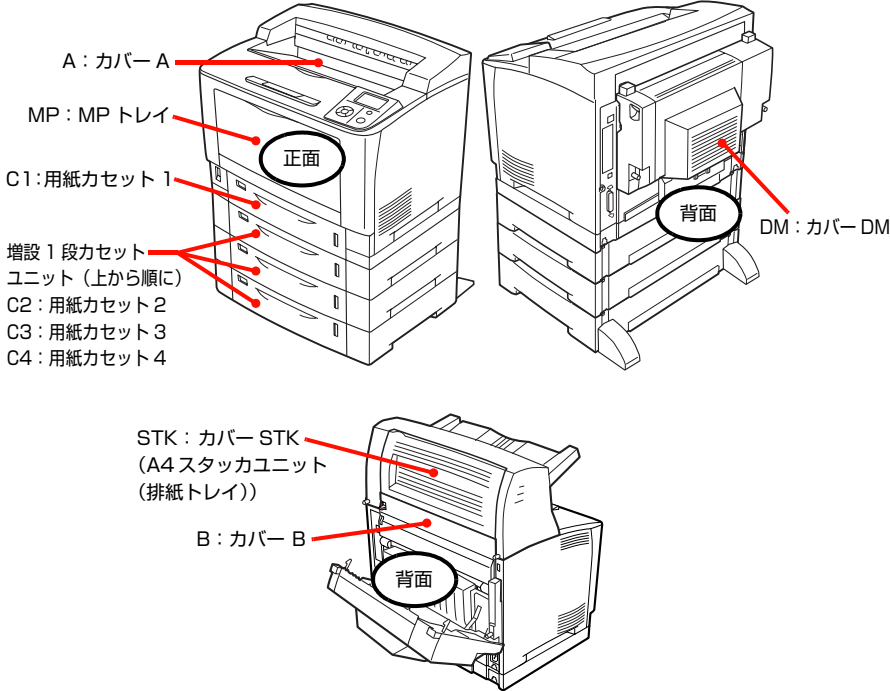
メッセージ一覧

操作パネルには、ワーニング、エラー、ステータスの３種類のメッセージが表示されます。

ワーニングメッセージ

ワーニングメッセージは、何か問題が発生したときに注意を促すメッセージです。メッセージの内容と対処方法は以下の通りです。（五十音順）

操作パネルに表示されるワーニングメッセージは、操作パネルの［プリンタリセット］メニューから［ワーニングクリア］または［全ワーニングクリア］を実行して消すことができます。
［ワーニングクリア］は、消耗品関係以外のワーニングメッセージをすべて消します。消耗品などのワーニングメッセージだけを残したいときに実行してください。［全ワーニングクリア］は、すべてのワーニングメッセージを消します。
本書 170 ページ「操作パネル設定項目一覧」

メッセージ	状況と対処方法
ROM モジュール A フォーマットエラー	書き込み可能でフォーマットされていない ROM モジュールがソケットに装着されています。初めて書き込む ROM モジュールであれば問題ありません。再度書き込みを行うか、一旦電源を切り ROM モジュールを確認してください。 本書 18 ページ「メモリ /ROM/ コンパクトフラッシュ」
印刷できないデータを受信しました	印刷データに問題があるため、印刷できませんでした。 • 本機で使用できないプリンタドライバから印刷しました。使用したプリンタドライバを確認して、正しいプリンタドライバをインストールし直して、正しいプリンタドライバから印刷してください。 • メッセージを消すには、［プリンタリセット］メニューから［ワーニングクリア］を実行します。 本書 170 ページ「操作パネル設定項目一覧」
解像度を落として印刷しました	メモリ不足により、指定された解像度で印刷できず、何らかの省略を行って印刷しました。 • 印刷処理を中止するには、コンピュータ側で印刷処理を中止してから、【ジョブキャンセル】ボタンを押します。 • メッセージを消すには、［プリンタリセット］メニューから［ワーニングクリア］を実行します。 本書 170 ページ「操作パネル設定項目一覧」 • 改めて印刷するときは、以下のいずれかの処理を行ってください。 ・プリンタドライバで［印刷品質］を［はやい］に設定する。 ・アプリケーションソフトの取扱説明書を参照して解像度を下げたり、保存（圧縮）形式を変更してデータ容量を減らす。 ・操作パネルで、使用していないインターフェイスを使わないように設定する。 ・プリンタのメモリを増設する。
給紙ローラ C1 の交換時期が近付きました	用紙カセット 1 の給紙ローラの寿命が近づきました。 このままの状態でも印刷可能ですが、良好な印刷品質を保つために早めに交換されることをお勧めします。交換は、販売店またはエプソンサービスコールセンターにご連絡ください。 本書裏表紙
給紙ローラ C1 を交換してください （エラーランプ消灯）	用紙カセット 1 の給紙ローラが寿命です。 このままでも印刷は継続できますが、販売店またはエプソンサービスコールセンターに連絡し交換してください。 本書裏表紙
給紙ローラ C2 の交換時期が近付きました	用紙カセット 2 の給紙ローラの寿命が近づきました。 このままの状態でも印刷可能ですが、良好な印刷品質を保つために早めに交換されることをお勧めします。交換は、販売店またはエプソンサービスコールセンターにご連絡ください。 本書裏表紙

メッセージ	状況と対処方法
給紙ローラ C2 を交換してください （エラーランプ消灯）	用紙カセット 2 の給紙ローラが寿命です。 このままでも印刷は継続できますが、販売店またはエプソンサービスコールセンターに連絡し交換してください。 ☞ 本書裏表紙
給紙ローラ C3 の交換時期が近付きました	用紙カセット 3 の給紙ローラの寿命が近づきました。 このままの状態でも印刷可能ですが、良好な印刷品質を保つために早めに交換されることをお勧めします。交換は、販売店またはエプソンサービスコールセンターにご連絡ください。 ☞ 本書裏表紙
給紙ローラ C3 を交換してください （エラーランプ消灯）	用紙カセット 3 の給紙ローラが寿命です。 このままでも印刷は継続できますが、販売店またはエプソンサービスコールセンターに連絡し交換してください。 ☞ 本書裏表紙
給紙ローラ C4 の交換時期が近付きました	用紙カセット 4 の給紙ローラの寿命が近づきました。 このままの状態でも印刷可能ですが、良好な印刷品質を保つために早めに交換されることをお勧めします。交換は、販売店またはエプソンサービスコールセンターにご連絡ください。 ☞ 本書裏表紙
給紙ローラ C4 を交換してください （エラーランプ消灯）	用紙カセット4の給紙ローラが寿命です。 このままでも印刷は継続できますが、販売店またはエプソンサービスコールセンターに連絡し交換してください。 ☞ 本書裏表紙
給紙ローラ MP の交換時期が近付きました	MP トレイの給紙ローラの寿命が近づきました。 このままの状態でも印刷可能ですが、良好な印刷品質を保つために早めに交換されることをお勧めします。交換は、販売店またはエプソンサービスコールセンターにご連絡ください。 ☞ 本書裏表紙
給紙ローラ MP を交換してください （エラーランプ消灯）	MP トレイの給紙ローラが寿命です。 このままでも印刷は継続できますが、販売店またはエプソンサービスコールセンターに連絡し交換してください。 ☞ 本書裏表紙
コンパクトフラッシュに空き容量がありません	オプションのコンパクトフラッシュの容量がいっぱいになりました。データの処理が終了するまでお待ちください。
指定と違うサイズの用紙に印刷しました	設定したサイズと異なるサイズの用紙に印刷しました。 • メッセージを消すには、［プリンタリセット］メニューから［ワーニングクリア］を実行します。 ☞ 本書 170 ページ「操作パネル設定項目一覧」 • ［プリンタ設定］メニューの［用紙サイズフリー］を［On］に設定すると、このワーニングメッセージは表示されなくなります。 ☞ 本書 170 ページ「操作パネル設定項目一覧」
指定と違うタイプの用紙に印刷しました	印刷時に設定したサイズとタイプ（種類）の用紙がセットされている給紙装置が見つからないため、用紙サイズのみ一致する給紙装置から給紙しました。 • ［プリンタリセット］メニューから［ワーニングクリア］を実行すると表示は消えます。 ☞ 本書 170 ページ「操作パネル設定項目一覧」 • 各給紙装置にセットしている用紙のタイプと、操作パネルの［給紙装置設定］メニューで設定した用紙タイプを確認してください。 ☞ 本書 170 ページ「操作パネル設定項目一覧」
指定とは違う排紙口に排紙しました	排紙口で［スタッカトレイ］を選択時に、印刷データにスタッカトレイへ排紙できない用紙サイズが含まれているため、排紙できない用紙サイズになった時点で、それ以降はすべてフェイスダウントレイに排紙しました。
定着ユニットの交換時期が近付きました	定着ユニットの寿命が近づきました。 このままの状態でも印刷可能ですが、良好な印刷品質を保つために早めに交換されることをお勧めします。以下のページを参照して新しい定着ユニットと交換してください。 ☞ 本書 101 ページ「定期交換部品の交換」

メッセージ	状況と対処方法
定着ユニットを交換してください （エラーランプ消灯）	定着ユニットが寿命です。 このままでも印刷は継続できますが、印刷汚れやかすれが発生することがあります。新しい定着ユニットに交換してください。
転写ユニットの交換時期が近付きました	転写ユニットの寿命が近づきました。 このままの状態でも印刷可能ですが、良好な印刷品質を保つために早めに交換されることをお勧めします。交換は、販売店またはエプソンサービスコールセンターにご連絡ください。 本書裏表紙
転写ユニットを交換してください （エラーランプ消灯）	転写ユニットが寿命です。 このままでも印刷は継続できますが、販売店またはエプソンサービスコールセンターに連絡し交換してください。 本書裏表紙
トナーの交換時期が近付きました	トナーカートリッジのトナー残量が少なくなりました。 印刷は継続できますが、新しいトナーカートリッジを用意してください。 本書 164 ページ「オプション / 消耗品 / 定期交換部品一覧」
トナーカートリッジを交換してください （エラーランプ消灯）	トナーカートリッジが寿命です。 【印刷可】ボタンを押すと印刷は継続できますが、印刷途中でトナーがなくなり、かすれることがあります。新しいトナーカートリッジに交換してください。
パスワード印刷の登録に失敗しました	パスワード印刷ジョブを登録できませんでした。 • 印刷していないパスワード印刷ジョブがすでに 64 ファイルある状態で、さらにパスワード印刷ジョブを登録しようとしました。印刷していないパスワード印刷ジョブを印刷するか消去してから、再度登録してください。 • メモリが増設されていないとパスワード印刷ジョブは登録できません。増設するメモリを取り付けてください。 • ［プリンタ設定］メニューの［RAM ディスク］を［標準］または［最大］に設定してください。 『ソフトウェア編』（電子マニュアル）－「便利な印刷機能」―「印刷ジョブにパスワードを設定」
非純正品トナーカートリッジ	エプソン製以外のトナーカートリッジが取り付けられています。 このまま使用すると、印刷品質やトナー残量表示が、エプソン製のトナーカートリッジを使用したときと異なることがあります。エプソン製のトナーカートリッジとの交換をお勧めします。
日付時刻設定で時刻を修正してください	日付、時刻が初期設定値です。 日付、時刻の設定を行ってください。 本書 170 ページ「操作パネル設定項目一覧」
部数印刷できませんでした	指定した部数の印刷データを扱うためのメモリの容量が足りないため、1 部だけ印刷しました。 部数印刷するには、データの容量を少なくするか、プリンタのメモリを増設してください。
メモリ不足のため印刷に時間がかかりました	印刷処理中にメモリ不足が発生しました。印刷は続行します。 印刷処理を中止するには、コンピュータ側で印刷処理を中止してから、［リセット］または［リセットオール］を行います。 メッセージを消すには、［プリンタリセット］メニューから［ワーニングクリア］を実行します。 本書 170 ページ「操作パネル設定項目一覧」 容量の大きいデータを印刷するには、プリンタのメモリを増設してください。
メンテナンスユニットの交換時期が近付きました	メンテナンスユニットの寿命が近づきました。 このままの状態でも印刷可能ですが、良好な印刷品質を保つために早めに交換されることをお勧めします。交換は、販売店またはエプソンサービスコールセンターにご連絡ください。 本書裏表紙
メンテナンスユニットを交換してください （エラーランプ消灯）	メンテナンスユニットが寿命です。 このままでも印刷は継続できますが、販売店またはエプソンサービスコールセンターに連絡し交換してください。 本書裏表紙

エラーメッセージ

エラーメッセージは、速やかに対処が必要な問題が発生したときに表示されるメッセージです。メッセージの内容と対処方法は以下の通りです。（五十音順）

メッセージ	状況と対処方法
I/F カードエラー	本機で使用できない I/F カードが取り付けられているため認識できません。一旦電源を切り、本機で使用可能な I/F カードを取り付けてください。 本書 164 ページ「オプション / 消耗品 / 定期交換部品一覧」 本書 21 ページ「インターフェイスカード」
MP トレイをセットしてください	MP トレイが正しい位置にセットされていません。 MP トレイの左右を持って、「カチッ」と音がするまで奥に押し込みます。
MP トレイの用紙の向き（縦 / 横）を直してください	MP トレイにセットされた用紙の向きと、プリンタドライバの［排紙設定］で指定した用紙の向きが異なります。以下のいずれかの処置を行ってください。 ①プリンタドライバで指定した排紙の向きが正しい場合は、MP トレイから用紙を一旦取り除き、プリンタドライバで指定した向きに合わせてセットし直します。 ［トレイ用紙サイズスイッチ］が［パネルで設定］のとき： 操作パネルで［給紙装置設定］メニュー －［MP トレイサイズ］の現在の設定が［A4 横］になっているときは［A4 縦］に、［A4 縦］になっているときは［A4 横］に設定します。 ［トレイ用紙サイズスイッチ］が［A4◪］のとき： ［トレイ用紙サイズスイッチ］を［パネルで設定］にして、操作パネルで［給紙装置設定］メニュー －［MP トレイサイズ］を［A4 縦］に設定します。その後【印刷可】ボタンを押すと、エラーが解除されて印刷を再開します。 ②MP トレイにセットされた用紙の向きが正しい場合は、【ジョブキャンセル】ボタンを押して印刷を中止し、プリンタドライバで正しい排紙の向きを指定し直して印刷します。
ROM モジュール A 書き込みエラー	ROM への書き込みが正常に終了しませんでした。または、ROM モジュールが装着されていません。
ROM モジュール A リードエラー	本機で使用できない ROM モジュールが取り付けられているため認識できません。一旦電源を切り ROM モジュールを確認してください。 本書 18 ページ「メモリ /ROM/ コンパクトフラッシュ」
サービスへ連絡ください ＊＊＊＊ 電源をオフ / オンしても復帰しなければサービスに連絡してください	サービスコールエラーが発生しました。「＊＊＊＊」の部分はエラーの分類とコード番号を表します。 一旦電源を切り、数分後に入れ直します。再度発生したときは、操作パネルの表示を書き写してから、販売店またはエプソンサービスコールセンターへご連絡ください。 本書裏表紙
オーバーランエラー	印刷内容が複雑で、プリンタの処理が追い付きません。 • ［プリンタ設定］メニューの［自動エラー解除］が［しない］（初期値）に設定されている場合は、以下のいずれかの操作を行ってください。 ①【印刷可】ボタンを押すと、エラーが発生したページを印刷しないで次の印刷を行います。 ②印刷を中止する場合は、【ジョブキャンセル】ボタンを押します。 • ［プリンタ設定］メニューの［自動エラー解除］が［する］に設定されている場合は、一定時間（5 秒）後にエラー状態が解除されます。
カセット 1 の用紙の向き（縦 / 横）を直してください	カセット 1 にセットされた用紙の向きと、プリンタドライバの［排紙設定］で指定した用紙の向きが異なります。以下のいずれかの処置を行ってください。 ①プリンタドライバで指定した排紙の向きが正しい場合は、カセット 1 から用紙を一旦取り除き、プリンタドライバで指定した向きに合わせてセットし直してから【印刷可】ボタンを押すと、エラーが解除されて印刷を再開します。 ②カセット 1 にセットされた用紙の向きが正しい場合は、【ジョブキャンセル】ボタンを押して印刷を中止し、プリンタドライバで正しい排紙の向きを指定し直して印刷します。
カセット 2 の用紙の向き（縦 / 横）を直してください	カセット 2 にセットされた用紙の向きと、プリンタドライバの［排紙設定］で指定した用紙の向きが異なります。以下のいずれかの処置を行ってください。 ①プリンタドライバで指定した排紙の向きが正しい場合は、カセット 2 から用紙を一旦取り除き、プリンタドライバで指定した向きに合わせてセットし直してから【印刷可】ボタンを押すと、エラーが解除されて印刷を再開します。 ②カセット 2 にセットされた用紙の向きが正しい場合は、【ジョブキャンセル】ボタンを押して印刷を中止し、プリンタドライバで正しい排紙の向きを指定し直して印刷します。

メッセージ	状況と対処方法
カセット３の用紙の向き（縦／横）を直してください	カセット 3 にセットされた用紙の向きと、プリンタドライバの［排紙設定］で指定した用紙の向きが異なります。以下のいずれかの処置を行ってください。 ①プリンタドライバで指定した排紙の向きが正しい場合は、カセット 3 から用紙を一旦取り除き、プリンタドライバで指定した向きに合わせてセットし直してから【印刷可】ボタンを押すと、エラーが解除されて印刷を再開します。 ②カセット３にセットされた用紙の向きが正しい場合は、【ジョブキャンセル】ボタンを押して印刷を中止し、プリンタドライバで正しい排紙の向きを指定し直して印刷します。
カセット４の用紙の向き（縦／横）を直してください	カセット 4 にセットされた用紙の向きと、プリンタドライバの［排紙設定］で指定した用紙の向きが異なります。以下のいずれかの処置を行ってください。 ①プリンタドライバで指定した排紙の向きが正しい場合は、カセット 4 から用紙を一旦取り除き、プリンタドライバで指定した向きに合わせてセットし直してから【印刷可】ボタンを押すと、エラーが解除されて印刷を再開します。 ②カセット４にセットされた用紙の向きが正しい場合は、【ジョブキャンセル】ボタンを押して印刷を中止し、プリンタドライバで正しい排紙の向きを指定し直して印刷します。
カバー＊＊＊＊を閉じてください	「＊＊＊＊」に表示されるカバーが開いているか、確実に閉じていません。「＊＊＊＊」に以下のカバー名が表示されます。 A：カバー A（本体上部前側） B：カバー B（本体上部後側） DM：カバー DM（両面印刷ユニット） STK：カバー STK（A4 スタッカユニット（排紙トレイ）） 表示されているカバーを閉じると、エラーが解除されます。
紙をセットしてください **xxxxx yyyy**	以下のようなときに表示されます。 ①印刷のために給紙しようとした給紙装置「xxxxx」に、用紙がセットされていません。 給紙装置「xxxxx」にサイズ「yyyy」の用紙をセットすると、エラーが解除されて印刷されます。 本書 168 ページ「用紙一覧と設定早見表」 本書 50 ページ「用紙のセットと排紙」 ②すべての給紙装置に用紙がセットされていません。 いずれかの給紙装置に用紙をセットすると、エラーが解除されて印刷されます。
紙を取り除いてください **＊＊＊＊**	「＊＊＊＊」の部分に表示される箇所で用紙詰まりが発生しました。用紙詰まりが複数の箇所で発生している場合、「＊＊＊＊」の部分には操作パネルに表示可能な範囲まで表示されます。 以下のページを参照して、「＊＊＊＊」の部分に表示される箇所から詰まった用紙を取り除いてください。詰まった用紙をすべて取り除き、カバーを閉じるとエラーが解除され、詰まった用紙の印刷データから印刷を再開します。 本書 115 ページ「用紙が詰まった」

メッセージ	状況と対処方法
給紙ローラ C1 を交換してください （エラーランプ点滅）	用紙カセット 1 の給紙ローラが寿命です。 【印刷可】ボタンを押すと印刷は継続できますが、販売店またはエプソンサービスコールセンターに連絡し交換してください。 本書裏表紙
給紙ローラ C2 を交換してください （エラーランプ点滅）	用紙カセット 2 の給紙ローラが寿命です。 【印刷可】ボタンを押すと印刷は継続できますが、販売店またはエプソンサービスコールセンターに連絡し交換してください。 本書裏表紙
給紙ローラ C3 を交換してください （エラーランプ点滅）	用紙カセット 3 の給紙ローラが寿命です。 【印刷可】ボタンを押すと印刷は継続できますが、販売店またはエプソンサービスコールセンターに連絡し交換してください。 本書裏表紙
給紙ローラ C4 を交換してください （エラーランプ点滅）	用紙カセット 4 の給紙ローラが寿命です。 【印刷可】ボタンを押すと印刷は継続できますが、販売店またはエプソンサービスコールセンターに連絡し交換してください。 本書裏表紙
給紙ローラ MP を交換してください （エラーランプ点滅）	MP トレイの給紙ローラが寿命です。 【印刷可】ボタンを押すと印刷は継続できますが、販売店またはエプソンサービスコールセンターに連絡し交換してください。 本書裏表紙
コンパクトフラッシュエラー	本機で使用できないオプション装置が取り付けられているため認識できません。 一旦電源を切り、本機で使用可能なコンパクトフラッシュを取り付けてください。 本書 164 ページ「オプション / 消耗品 / 定期交換部品一覧」 本書 18 ページ「メモリ /ROM/ コンパクトフラッシュ」
指定された用紙は両面印刷できません	両面印刷実行時、用紙のサイズまたは種類が両面印刷不可なため、両面印刷の実行を中止します。 ・［プリンタ設定］メニューの［自動エラー解除］が［しない］（初期値）に設定されている場合は、以下のいずれかの操作を行ってください。 ①【印刷可】ボタンを押すと、セットされている用紙に片面印刷します。 ②印刷を中止する場合は【ジョブキャンセル】ボタンを押します。 ・［プリンタ設定］メニューの［自動エラー解除］が［する］に設定されている場合は、一定時間（5 秒）後にエラーが解除され、セットされている用紙に片面印刷します。
スタッカ排紙フル	スタッカトレイへの排紙がいっぱいになりました。（オプションの A4 スタッカユニット（排紙トレイ）を装着している場合） スタッカトレイの用紙を取り除いてください。【印刷可】ボタンを押すと、印刷を再開します。
定着ユニットを交換してください （エラーランプ点滅）	定着ユニットが寿命です。 【印刷可】ボタンを押すと印刷は継続できますが、新しい定着ユニットと交換してください。 本書 101 ページ「定着ユニットの交換」 交換後、［プリンタリセット］－［定着ユニットライフリセット］を実行するとエラーが解除されます。
データに異常があるため印刷できません	印刷データの異常です。 ・［プリンタ設定］メニューの［自動エラー解除］が［しない］（初期値）に設定されている場合は、以下のいずれかの操作を行ってください。 ①【印刷可】ボタンを押すと、エラーが発生したページを印刷しないで次の印刷を行います。 ②印刷を中止する場合は、【ジョブキャンセル】ボタンを押します。 ・［プリンタ設定］メニューの［自動エラー解除］が［する］に設定されている場合は、一定時間（5 秒）後にエラーが解除され、エラーが発生したページを印刷しないで次の印刷を行います。
転写ユニットを交換してください （エラーランプ点滅）	転写ユニットが寿命です。 【印刷可】ボタンを押すと印刷は継続できますが、販売店またはエプソンサービスコールセンターに連絡し交換してください。 本書裏表紙
トナーカートリッジが故障です	トナーカートリッジをセットし直すか、新しいものに交換してください。 交換後に電源を入れ直してください。 本書 98 ページ「トナーカートリッジの交換」

メッセージ	状況と対処方法
トナーカートリッジが正しくありません	トナーカートリッジを正常なものに交換してください。交換後に電源を入れ直してください。 本書 98 ページ「トナーカートリッジの交換」
トナーカートリッジを交換してください （エラーランプ点灯）	トナーがなくなりました。 トナーカートリッジを交換してください。交換後、カバーA を閉じるとエラーが解除されます。 本書 98 ページ「トナーカートリッジの交換」
トナーカートリッジを取り付けてください	トナーカートリッジがセットされていません。 取り付けた後、カバー A を閉じるとエラーが解除されます。 本書 98 ページ「トナーカートリッジの交換」
非純正品トナーカートリッジ	トナーカートリッジはエプソン製ではありません。 このまま使用すると、印刷品質やトナー残量表示が、エプソン製のトナーカートリッジを使用したときと異なることがあります。エプソン製のトナーカートリッジとの交換をお勧めします。 本書 98 ページ「トナーカートリッジの交換」
フェイスダウン排紙フル	フェイスダウントレイへの排紙がいっぱいになりました。 フェイスダウントレイの用紙を取り除いてください。 【印刷可】ボタンを押すと、印刷を再開します。
メモリ不足で印刷できません	処理中にメモリ不足、メモリに対する不正な処理が発生し、動作が続行できなくなりました。 • 【ジョブキャンセル】ボタンを押すと、印刷が中止されます。 • ［プリンタ設定］メニューの［自動エラー解除］が［しない］（初期値）に設定されている場合は、**【印刷可】**ボタンを押すと印刷を継続します。ただし、エラーが発生したページは不完全な印刷結果になります。 • ［プリンタ設定］メニューの［自動エラー解除］が［する］に設定されている場合は、一定時間（5 秒）後にエラーが解除され、印刷を継続します。ただし、エラーが発生したページは不完全な印刷結果になります。 • 改めて印刷するときは、以下のいずれかの処置を行ってください。 ①プリンタドライバで［印刷品質］を［はやい］に設定する。 ②アプリケーションソフトの取扱説明書を参照して解像度を下げたり、保存（圧縮）形式を変更してデータ容量を減らす。 ③プリンタのメモリを増設する。 ④使用していないインターフェイスを、操作パネルで使わないように設定する。
メモリ不足で両面印刷できませんでした	両面印刷実行時、印刷データを扱うためのメモリが足りないため、裏面が印刷できません。この場合、表面のみ印刷して排紙します。 • 以下のいずれかの操作を行ってください。 ①表面側のみ印刷された用紙を裏返してもう一度セットし、**【印刷可】**ボタンを押すと片面印刷で印刷を再開します。 ②【ジョブキャンセル】ボタンを押して、印刷を中止します。 • 改めて印刷するときは、以下のいずれかの処置を行ってください。 ①プリンタドライバで［印刷品質］を［はやい］に設定する。 ②アプリケーションソフトの取扱説明書を参照して解像度を下げたり、保存（圧縮）形式を変更してデータ容量を減らす。 ③プリンタのメモリを増設する。 ④使用していないインターフェイスを、操作パネルで使わないように設定する。
メンテナンスユニットを交換してください （エラーランプ点滅）	メンテナンスユニットが寿命です。 【印刷可】ボタンを押すと印刷は継続できますが、販売店またはエプソンサービスコールセンターに連絡し交換してください。 本書裏表紙

メッセージ	状況と対処方法
用紙を交換してください **xxxxx yyyy**	給紙をしようとした給紙装置「xxxxx」にセットされている用紙サイズと、印刷する用紙サイズ「yyyy」が異なっています。 • ［プリンタ設定］メニューの［自動エラー解除］が［しない］（初期値）に設定されている場合は、以下のいずれかの操作を行ってください。 ① 給紙装置「xxxxx」にサイズ「yyyy」の用紙をセットし、【印刷可】ボタンを押して印刷します。 本書 168 ページ「用紙一覧と設定早見表」 本書 50 ページ「用紙のセットと排紙」 ②用紙を交換しないで【印刷可】ボタンを押します。セットされている用紙に印刷します。 ③印刷を中止する場合は、【ジョブキャンセル】ボタンを押します。 • ［プリンタ設定］メニューの［自動エラー解除］が［する］に設定されている場合は、一定時間（5 秒）後にエラーが解除され、セットされている用紙に印刷します。
用紙サイズ設定エラー **紙を取り除いてください**	設定した用紙サイズと異なるサイズがセットされたため、用紙詰まりが発生しました。 以下のページを参照して、詰まった用紙を取り除いてください。正しいサイズの用紙をセットし、カバーを閉じるとエラーが解除され、印刷を再開します。 本書 115 ページ「用紙が詰まった」
両面印刷ユニットエラー	両面印刷ユニットがセットされていません。または正しくセットされていません。 • 一旦プリンタの電源を切り、両面印刷ユニットをセットし直してください。 本書 134 ページ「両面印刷ユニットに関するエラーが表示される」 • お買い上げの販売店またはエプソンコールセンターにご連絡ください。 本書裏表紙
両面用紙サイズエラー	両面印刷実行時、給紙しようとした用紙サイズと印刷する用紙サイズが異なっているため、印刷できません。この場合、裏面のみ印刷して排紙します。 ①正しいサイズの用紙をセットしてください。 ②【印刷可】ボタンを押すと印刷を再開します。

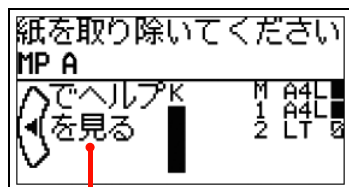
ステータスメッセージ

ステータスメッセージは、プリンタの状態を示すメッセージです。プリンタは正常に動作しています。メッセージの内容は以下の通りです。（五十音順）

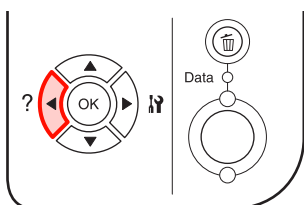
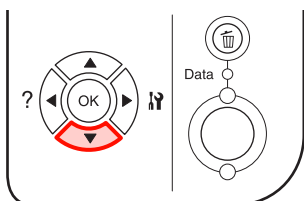
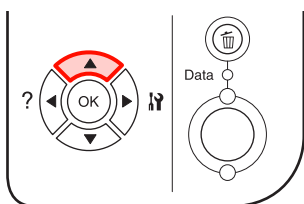
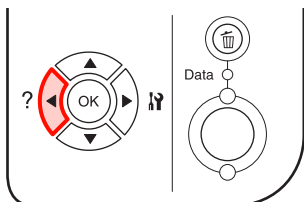
メッセージ	状況と対処方法
CF CHECK	オプションのコンパクトフラッシュを確認中です。
Formatting CF	オプションのコンパクトフラッシュを初期化中です。
RAM CHECK	プリンタの RAM を確認中です。
ROM A 書き込み中 電源オフ禁止 nn/mm	オプションのフォームオーバーレイ ROM モジュールにデータを書き込み中です。
ROM CHECK	プリンタの ROM を確認中です。
ROM P 書き込み中 電源オフ禁止 nn/mm	標準の ROM モジュールにデータを書き込み中です。
ROM モジュール A 情報	ROM モジュール A 情報を印刷中です。
SELF TEST	自己診断と、初期化を行っています。
印刷できます	印刷可状態で、プリンタに送られているデータがない状態です。
ウォーミングアップ しばらくお待ちください	ウォーミングアップ中です。
エラーの原因が解消されて いません	エラーを解除できません。
オフライン 印刷を停止します	印刷データの作成やデータ受信は行いますが、印刷動作を開始しない状態です。【印刷可】ボタンを押すと、現在の状態を表示します。
消耗品情報シート 印刷中	消耗品情報を印刷中です。
使用履歴シート 印刷中	使用状態の履歴を印刷中です。
ジョブキャンセル中 お待ちください	• 【ジョブキャンセル】ボタンの操作によって印刷中の処理を中止しています。 • コンピュータ側のプリンタドライバによって印刷中の処理を中止しました。
節電中	操作パネルで指定した時間が経過し、節電状態になっています。データの受信、またはリセットで解除されます。
全ジョブキャンセル中 お待ちください	【ジョブキャンセル】ボタンの操作によって印刷中の処理を中止しています。
プリンタ情報シート 印刷中	プリンタの設定状態を印刷中です。
プリンタ冷却中 しばらくお待ちください	定着ユニットの温度を下げるために、印刷を中止している状態です。定着ユニットが既定温度まで下がると印刷を再開します。
用紙排紙中	プリンタ内に残っている印刷データを、【印刷可】ボタンによって印刷・排紙中です。
リセット	現在使用中のインターフェイスに対してメモリに保存されたデータを破棄し、エラーを解除中です。

メッセージ	状況と対処方法
リセット　オール	印刷を中止後、すべてのインターフェイスに対してメモリに保存されたデータを破棄しています。しばらくお待ちください。
リセットしてください	印刷実行中にパネル設定を変更しました。以下のいずれかの操作を行ってください。 ①操作パネルの［プリンタリセット］から［リセット］または［リセットオール］を実行します。直後に変更が反映されますが、印刷データはすべて削除されます。 本書 170 ページ「操作パネル設定項目一覧」 ②【印刷可】ボタンを押します。印刷実行後に変更が反映されます。

ヘルプの見方

操作パネルに、エラーメッセージとともに［ヘルプを見る］と表示されたときは、対処方法を参照することができます。

この表示があるときは、ヘルプを参照できます。

ヘルプの見方は以下の通りです。

1 【◀】ボタンを押します。

2 【▼】ボタンを押して、次の手順に進みます。

【▲】ボタンを押すと、前の手順に戻ります。

3 【◀】ボタンを押して終了します。

以上でヘルプの閲覧は終了です。

電子マニュアルの見方

本機に同梱されているソフトウェア CD-ROM には、PDF 形式の取扱説明書（電子マニュアル）が収録されています。この取扱説明書を見るには、Adobe Reader やプレビュー（Mac OS X）などの PDF 閲覧用ソフトウェアが必要です。Adobe Reader は、アドビシステムズ社のホームページからダウンロードできます。また、各 OS に対応する Adobe Reader のバージョンは、アドビシステムズ社のホームページでご確認ください。

取扱説明書はソフトウェアとともにコンピュータにインストールされます。インストールされた取扱説明書の見方は以下の通りです。

スタートメニューから見る

Windows の場合

1. Windows の［スタート］－［すべてのプログラム］（またはプログラム）－［Epson］をクリックします。
2. ご覧になりたい取扱説明書の名称をクリックします。

以上で終了です。

Mac OS X の場合

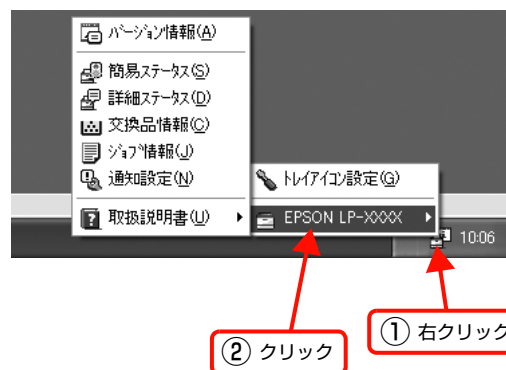
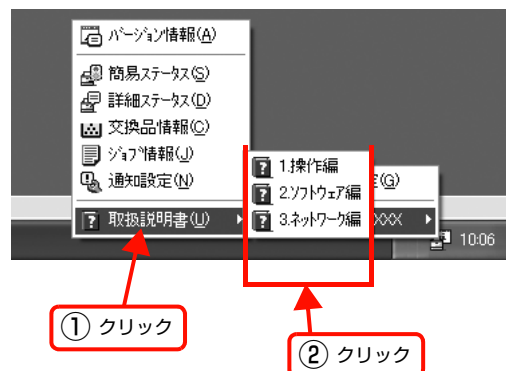
1. デスクトップ上のマニュアルエイリアスを見つけます。
2. ご覧になりたい取扱説明書の名称をクリックします。

> **参考**
> ハードディスクから参照する場合は、以下の通りです。［アプリケーション］－［Epson］－［TPMANUAL］－［LP-S3500］（または［LP-S4200］）－［JPN］－［GUIDE］の順にクリックして、電子マニュアルを開きます。

以上で終了です。

EPSON ステータスモニタから見る

Windows のみ

1. タスクトレイの EPSON ステータスモニタのアイコンを右クリックし、［Epson LP-S3500］（または［Epson LP-S4200］）をクリックします。

2. ［取扱説明書］から、参照したい取扱説明書を選択します。

以上で終了です。

7 付録

本機の仕様と、操作パネルの設定項目一覧を記載しています。

仕様

以下は 2008 年 9 月現在の情報です。

動作環境

ソフトウェアをインストールし、使用するためのシステム条件は以下の通りです。最新のサポート OS 情報、またはプリンタドライバの制限事項の詳細はエプソンのホームページで確認してください。

アドレス：http://www.epson.jp/support/

Windows

<table>
<tr><td colspan="2">OS</td><td>Windows 2000 Server
Windows 2000 Professional
Windows 2000 Advanced Server
Windows Server 2003 Standard Edition
Windows Server 2003 Enterprise Edition
Windows Server 2003 Standard x64 Edition
Windows Server 2003 Enterprise x64 Edition
Windows Server 2008 Enterprise Edition x64
Windows Server 2008 Enterprise Edition x86
Windows Server 2008 Standard Edition x64
Windows Server 2008 Standard Edition x86
Windows XP Professional
Windows XP Home Edition
Windows XP Professional x64 Edition
Windows Vista Home Basic
Windows Vista Home Premium
Windows Vista Business
Windows Vista Ultimate
Windows Vista Enterprise
Windows Vista Home Basic x64 Edition
Windows Vista Home Premium x64 Edition
Windows Vista Business x64 Edition
Windows Vista Ultimate x64 Edition
Windows Vista Enterprise x64 Edition</td></tr>
<tr><td colspan="2">CPU*</td><td>Pentium® 233MHz 以上（Celeron® 633MHz 以上を推奨）</td></tr>
<tr><td colspan="2">メモリ</td><td>128MB 以上（推奨 256MB 以上）</td></tr>
<tr><td colspan="2">ハードディスク</td><td>500MB 以上の空き容量</td></tr>
<tr><td rowspan="3">接続方法</td><td>USB</td><td>• USB1.1/2.0 に対応していて、コンピュータメーカーにより USB ポートの動作確認が保証されているコンピュータ
• Epson USB ケーブル（型番：USBCB2）を使用します。</td></tr>
<tr><td>パラレル</td><td>Epson パラレルインターフェイスケーブル（型番：PRCB4N）を使用します。
DOS/V、PC-98NX シリーズ、ECP モード対応
推奨ケーブル以外のケーブル、プリンタ切替機、ソフトウェアのコピー防止のためにプロテクタ（ハードウェアキー）などを、コンピュータと本機の間に装着すると、プラグアンドプレイやデータ転送が正常にできないことがあります。</td></tr>
<tr><td>ネットワーク</td><td>市販の LAN インターフェイスケーブル（ストレートケーブル）を使用します。
LAN ケーブルは、シールドツイストペアケーブル（カテゴリ 5 以上）を使用してください。10Base-T または 100Base-TX のどちらでも使えます。
対応プロトコル：TCP/IP（WSD、LLTD、SSL 対応）、AppleTalk、NetBEUI</td></tr>
</table>

* 各 OS の必要システム条件を満たしていること（OS の推奨動作環境以上での使用を推奨）。

Windows XP/Windows Vista のリモートデスクトップ機能* を利用している状態で、移動先のコンピュータに直接接続されたプリンタへ印刷する場合、EPSON ステータスモニタがインストールされていると通信エラーが発生します。ただし、印刷は正常に行われます。

* 移動先のモバイルコンピュータなどからオフィスネットワーク内のコンピュータ上にあるアプリケーションソフトやファイルへアクセスし、操作することができる機能。

Mac OS

OS		Mac OS X v10.3.9 ～ v10.5.x
CPU*		• PowerPC G3、G4、または G5 プロセッサ搭載（G4 500MHz 以上を推奨） • Intel 社製プロセッサ
メモリ		64MB 以上（推奨 128MB 以上）
ハードディスク		100MB 以上の空き容量（推奨 200MB 以上）
接続方法	USB	• USB1.1/2.0 に対応していて、コンピュータメーカーにより USB ポートの動作確認が保証されているコンピュータ • Epson USB ケーブル（型番：USBCB2）を使用します。
	ネットワーク	市販の LAN インターフェイスケーブル（ストレートケーブル）を使用します。 LAN ケーブルは、シールドツイストペアケーブル（カテゴリ 5 以上）を使用してください。10Base-T または 100Base-TX のどちらでも使えます。 対応プロトコル：TCP/IP、AppleTalk、NetBEUI

* 各 OS の必要システム条件を満たしていること（OS の推奨動作環境以上での使用を推奨）。

プリンタの仕様

基本仕様

プリント方式	半導体レーザービーム走査＋乾式一成分電子写真方式	
解像度	300dpi*1、600dpi、1200dpi	
プリント速度	600dpi	：LP-S4200： 44 ページ / 分（A4 横、片面印刷時） LP-S3500： 38 ページ / 分（A4 横、片面印刷時）
ウォームアップ時間	電源オン時	：18 秒以内（温度 23 ℃、湿度 55%、定格電圧にて）
	スリープからの復帰時	：18 秒以内（温度 23 ℃、湿度 55%、定格電圧にて）
ファーストプリント *2	片面印刷時	：7.8 秒（A4 横）/9.2 秒（A3）
	両面印刷時	：11.8 秒（A4 横）/14.4 秒（A3）
稼働音 （本体、標準条件）*3	レディ時	：LP-S4200：36dB（A）以下 LP-S3500：34dB（A）以下
	稼働時	：LP-S4200：58dB（A）以下 LP-S3500：56dB（A）以下
耐久性（製品寿命）	1,200,000 ページ（A4 横連続時） または 5 年のいずれか短い方	

*1 25.4mm｛1 インチ｝あたりのドット数（Dots Per Inch）
*2 1200dpi、カセット 1 からの給紙の場合は異なります。
*3 標準条件：MP トレイを閉めて、用紙カセットから普通紙を給紙したとき

プリンタ外形寸法 / 質量

外形寸法	LP-S4200：幅 518mm ×奥行き 518mm ×高さ 390mm LP-S3500：幅 518mm ×奥行き 429mm ×高さ 390mm
質量	LP-S4200：約 24.8kg（消耗品含まず） LP-S3500：約 22.5kg（消耗品含まず）

オプション外形寸法 / 質量

外形寸法 （小数点以下四捨五入）	両面印刷ユニット（LPA3RU3）*1： 幅 435mm ×奥行き 147mm ×高さ 233mm
	増設 1 段カセットユニット 550 枚（LPA3Z1CU3）： 幅 505mm ×奥行 373mm ×高さ 143mm
	A4 スタッカユニット（排紙トレイ）（LPA3HT1）： 幅 501mm ×奥行き 312mm ×高さ 212mm
質量	両面印刷ユニット（LPA3RU3）*1：約 2.3kg
	増設 1 段カセットユニット 550 枚（LPA3Z1CU3）：約 6.3kg
	A4 スタッカユニット（排紙トレイ）（LPA3HT1）：約 3kg

*1 LP-S3500 のみオプションとして装着可能

電気関係 *2

定格電圧	AC100V ± 10%	
定格電流	11A	
周波数	50/60Hz ± 3Hz	
消費電力	最大	：LP-S4200：1150W LP-S3500：1140W
	印刷時	：LP-S4200：741W LP-S3500：679W
	レディ時	：LP-S4200：101W LP-S3500：88W
	スリープモード時	：LP-S4200：6W LP-S3500：4W
	電源オフ時	：0W

*2 オプション含まず

環境条件

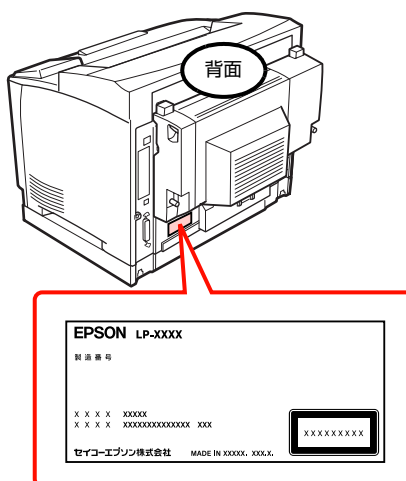
動作時	温度	：5 ～ 35 ℃
	湿度	：15 ～ 85%（ただし結露しないこと）
	気圧（高度）	：658Hpa 以上（3500m 以下）
	水平度	：傾き 5 度以下
	照度	：3000lx 以下（ただし直射日光を照射させないこと）
	周囲スペース	：上方 350mm（オプションの A4 スタッカユニット（排紙トレイ）装着時 300mm）、左側方 200mm、右側方 100mm、前方 760mm、後方 300mm
保存・輸送時	温度	：0 ～ 35 ℃
	湿度	：15 ～ 85%（ただし結露しないこと）

コントローラ基本仕様

制御コード体系	モード自動判別	：ESC/Page、ESC/P スーパー（ESC/P エミュレーション、PC-PR201H エミュレーション）
RAM	標準	：LP-S4200：128MB LP-S3500：64MB
	オプション増設時	：最大 576MB
インターフェイス	標準	：パラレル IEEE1284 準拠双方向（コンパチブル、ニブルモード、ECP モード） USB（Rev. 1.1 および 2.0 対応） 10Base-T/100Base-TX
	オプション	：Type B I/F（1 スロット）

文字仕様

文字コード	JISX0208-1990 準拠	
書体	欧文	ローマン、サンセリフ Windows 対応 TrueType 互換 14 書体 DutchTM 801（Medium/Italic/Bold/Bold Italic） SwissTM 721（Medium/Italic/Bold/Bold Italic） Courier（Medium/Italic/Bold/Bold Italic） Symbol More WingBats
	和文	明朝、ゴシック

製造番号の表示位置

保守サービスなどのお問い合わせの際に製造番号が必要になる場合があります。上図のラベル内容を確認してください。

オプション / 消耗品 / 定期交換部品一覧

本機で使用できるオプションと消耗品は以下の通りです。

2008 年 9 月現在

商品名		型番	備考
ケーブル/カード /アダプタ	USB ケーブル	USBCB2	USB2.0/1.1 対応
	パラレルケーブル	PRCB4N	DOS/V、PC-98NX シリーズ、ECP モード対応 推奨ケーブル以外のケーブル、プリンタ切替機、ソフトウェアのコピー防止のためのプロテクタ（ハードウェアキー）などを、コンピュータと本機の間に装着すると、プラグアンドプレイやデータ転送が正常にできないことがあります。
	LAN ケーブル	ー	以下の条件を満たす市販のLANケーブルを使用してください。 • シールドツイストペア • カテゴリ 5 以上 • ストレート
	ネットワークインターフェイスカード *1	PRIFNW7/ PRIFNW7S	100BASE-TX、10BASE-T 準拠 対応プロトコル：TCP/IP、AppleTalk、NetBEUI
	802.11g 対応無線プリントアダプタ *2	PA-W11G2	IEEE802.11b および IEEE802.11g 準拠 対応暗号化技術：WEP および WPA-PSK（TKIP/AES）
給紙装置	増設 1 段カセットユニット 550 枚	LPA3Z1CU3	対応用紙サイズ：A3、A4、A5、B4、B5、Letter、Legal 容量：550 枚
	両面印刷ユニット	LPA3RU3	自動両面印刷をするための装置 LP-S4200 は標準。 LP-S3500 はオプション。
排紙装置	A4 スタッカユニット（排紙トレイ）	LPA3HT1	大容量で排紙をするための装置
台	専用プリンタ台（キャスター付き）	CSCBN12B	プリンタ本体または増設 1 段カセットユニットの最下段に取り付けできます。
記憶媒体	RAM モジュール	ー	容量の大きなデータを印刷するとき、パスワード印刷をするときなどに増設してください。また、大容量の部数印刷などをするときに取り付けると、コンピュータを早く印刷作業から開放することができます。 エプソンのホームページから本機のオプション情報をご覧ください。 http://www.epson.jp/ プリンタの内部メモリを最大 576MB まで増設できます。 購入時のメモリ容量： LP-S4200：128MB LP-S3500：64MB
	コンパクトフラッシュ	ー	パスワード印刷や大量の部数印刷などをするときに取り付けていると、コンピュータを早く印刷作業から開放できます。
	フォームオーバーレイ ROM モジュール	LPFOLR4M2	Epson Form!4 で作成したフォームを登録する ROM モジュール 容量：4MB
	PostScript 3 ROM	LPS42PSROM	PostScript3 プリンタとして使用する ROM モジュールです。 LP-S4200/LP-S3500 共通オプション
ソフトウェア	Epson Form!4	EPFORM4	Windows 用のフォームオーバーレイユーティリティ。フォーム（書式）とデータを別々に作成し、両者を重ね合わせて印刷するフォームオーバーレイ機能を利用するための、フォームを作成します。

商品名		型番	備考
消耗品	ET カートリッジ	LPB3T22	印刷寿命 *3：約 6,000 ページ
	ET カートリッジ	LPB3T23	印刷寿命 *3：約 15,000 ページ
	環境推進トナー	LPB3T22V	印刷寿命 *3：約 6,000 ページ
	環境推進トナー	LPB3T23V	印刷寿命 *3：約 15,000 ページ
定期交換部品	転写ユニット 給紙ローラ MP 給紙ローラC1/C2/C3/C4 メンテナンスユニット	－	印刷寿命 *3：200,000 ページ 印刷寿命 *3：100,000 ページ 印刷寿命 *3：200,000 ページ 印刷寿命 *3：600,000 ページ 本品の交換は、弊社の認定を受けたサービス実施店のサービスエンジニアまたは弊社のサービスエンジニアが実施します。交換時期を知らせるメッセージが表示されたときは、販売店またはエプソンサービスコールセンターにご連絡ください。 本書裏表紙 定期交換に伴う出張基本料、技術料、部品料は保証期間内外を問わず有償となります。
	定着ユニット	LPB3TCU22	ユーザー交換可能な定期交換部品 印刷寿命 *3：約 100,000 ページ

*1　I/F カード装着後のネットワークの設定（IP アドレスの設定など）については、以下を参照してください。
本書 89 ページ「IP アドレスの設定」

*2　オプションの無線プリントアダプタの設定については、以下を参照してください。
本書 89 ページ「IP アドレスの設定」

*3　A4 横 5%連続印刷時。ただし、印刷ページ数は目安です。印刷の仕方により、印刷可能ページ数は異なります。間欠印刷（1 回あたりの印刷ページ数が 1 ～数ページ程度の少ない印刷）、用紙サイズ、用紙方向、厚紙印刷、印刷原稿および電源の頻繁な入切などにより印刷可能ページ数は少なくなります。そのため、消耗品の印刷可能ページ数は、お客様の使用条件、使用環境によっては半分以下になる場合があります。

環境推進トナーのご案内

環境推進トナーは、セイコーエプソン株式会社がトナーカートリッジ（容器）の所有権を保有し、「環境推進トナー使用許諾契約」に基づき、お客様に一定期間（1 回のみ）の使用権を許諾する消耗品です。使用後は、環境推進トナーに添付の案内書をご覧いただき、セイコーエプソン株式会社に必ずご返却ください。（送料無料）。

エプソンのホームページでもご確認いただけます。

アドレス　http://www.epson.jp/products/offirio/printer/kankyotoner/

サービス・サポートのご案内

各種サービス・サポートの一覧

弊社が行っている各種サービス・サポートは本書裏表紙でご案内しています。

■マニュアルのダウンロードサービス

製品マニュアル（取扱説明書）の最新版 PDF データをダウンロードできるサービスを提供しています。

アドレス　http://www.epson.jp/support/

保守サービスのご案内

「故障かな？」と思ったときは、あわてずに、まず以下のページをよくお読みください。そして、接続や設定に間違いがないことを必ず確認してください。

☞ 本書 113 ページ「困ったときは」

保証書について

保証期間中に、万一故障したときには、保証書の記載内容に基づき保守サービスを行います。ご購入後は、保証書の記載事項をよくお読みください。保証書は、製品の「保証期間」を証明するものです。「お買い上げ年月日」「販売店名」に記入漏れがないかご確認ください。これらの記載がない場合は、保証期間内であっても、保証期間内と認められないことがあります。記載漏れがあった場合は、お買い求めいただいた販売店までお申し出ください。

保証書は大切に保管してください。保証期間、保証事項については、保証書をご覧ください。

補修用性能部品および消耗品の保有期間

本製品の補修用性能部品および消耗品の保有期間は、製品の製造終了後 6 年間です。

※改良などにより、予告なく外観や仕様などを変更することがあります。

保守サービスの受付窓口

保守サービスに関してのご相談、お申し込みは、次のいずれかで承ります。

- お買い求めいただいた販売店
- エプソンサービスコールセンター

☞ 本書裏表紙

保守サービスの種類

エプソン製品を万全の状態でお使いいただくために、下記の保守サービスをご用意しております。詳細については、お買い求めの販売店またはエプソンサービスコールセンターまでお問い合わせください。

種類		概要	修理代金と支払方法	
			保証期間内	保証期間外
年間保守契約	出張修理	• 製品が故障した場合、最優先で技術者が製品の設置場所に出向き、現地で修理を行います。 • 修理のつど発生する修理代・部品代 * は無償になるため予算化ができて便利です。 • 定期点検（別途料金）で、故障を未然に防ぐことができます。 * 消耗品（インクカートリッジ、トナー、用紙など）は保守対象外となります。	無償	年間一定の保守料金
スポット出張修理		• お客様からご連絡いただいて数日以内に製品の設置場所に技術者が出向き、現地で修理を行います。 • 故障した製品をお持ち込みできない場合に、ご利用ください。	無償	出張料+技術料+部品代 修理完了後そのつどお支払いください。

* 交換寿命による定期交換部品の交換は、保証内外を問わず、出張基本料・技術料・部品代が有償となります。
  年間保守契約の場合は、定期交換部品代のみ、有償となります（お客様交換可能な定期交換部品の場合は、出張基本料・技術料についても有償となります）。
* 本機は、輸送の際に専門業者が必要となりますので、持込保守および持込修理はご遠慮願います。

エプソンサービスパック

エプソンサービスパックは、ハードウェア保守パックです。

エプソンサービスパック対象製品と同時にご購入の上、登録していただきますと、対象製品購入時から所定の期間（3 年、4 年、5 年）、安心の出張修理サービスと対象製品の取り扱いなどのお問い合わせにお答えする専用ダイヤルをご提供いたします。

- スピーディな対応：スポット出張修理依頼に比べて優先的に迅速にサービスエンジニアを派遣いたします。
- もしものときの安心：万一トラブルが発生した場合は何回でもサービスエンジニアを派遣し対応いたします。
- 手続きが簡単：エプソンサービスパック登録書を FAX するだけで契約手続きなどの面倒な事務処理は一切不要です。
- 維持費の予算化：エプソンサービスパック規約内・期間内であれば、つど修理費用がかからず維持費の予算化が可能です。

エプソンサービスパックは、エプソン製品ご購入販売店にてお買い求めください。

用紙一覧と設定早見表

本機で印刷できる用紙と、印刷の際に必要な設定などを一覧表示しています。基本的な印刷の手順は以下を参照してください。

本書 58 ページ「印刷の手順」

①用紙種類	②用紙サイズ		③用紙厚	④給紙装置と用紙容量		
				MP トレイ	カセット 1	カセット 2 ～ 4
				–	–	増設 1 段カセットユニットの場合
				印刷面を上	印刷面を上	印刷面を上
普通紙 コピー用紙 再生紙	A3	297 × 420mm	60 ～ 90g/m2	200 枚 *1	550 枚	550 枚 *1
	A4	210 × 297mm				
	A5	148 × 210mm				
	B4	257 × 364mm				
	B5	182 × 257mm				
	Legal (LGL)	8.5 × 14 インチ				
	Letter (LT)	8.5 × 11 インチ				
	A6	105 × 148mm			×	×
	Government Legal (GLG)	8.5 × 13 インチ				
	Ledger (B)	11 × 17 インチ				
	Half-Letter (HLT)	5.5 × 8.5 インチ				
	Government Letter (GLT)	8 × 10.5 インチ				
	Executive (EXE)	7.3 × 10.5 インチ				
	F4	210 × 330mm				
	定形紙以外	75 ～ 297mm × 98.4 ～ 508mm	60 ～ 216g/m2	普通紙：200 枚 *1 厚紙 / 特厚紙：17.5mm		
	長尺紙	297mm × 900mm	60 ～ 216g/m2	1 枚		
郵便ハガキ	ハガキ	100 × 148mm	190 g /m2	60 枚	×	×
	往復ハガキ	148 × 200mm				
	4 面連刷ハガキ	200 × 296mm				
封筒	洋形 0 号	120 × 235mm	75 ～ 90 g /m2	10 枚	×	×
	洋形 4 号	105 × 235mm				
	長形 3 号	120 × 235mm	75 ～ 100 g /m2			
	角形 2 号	240 × 332mm	75 ～ 120 g /m2			
OHP シート	A4	210 × 297mm	–	75 枚	×	×
	Letter（LT）	8.5 × 11 インチ				
ラベル紙	A4	210 × 297mm	–	75 枚	×	×
	Letter（LT）	8.5 × 11 インチ				
厚紙	A3	297 × 420mm	厚紙 91 ～ 157g/m2 特厚紙 158 ～ 216g/m2	17.5mm	×	×
	A4	210 × 297mm				
	A5	148 × 210mm				
	A6	105 × 148mm				
	B4	257 × 364mm				
	B5	182 × 257mm				
	Letter (LT)	8.5 × 11 インチ				
	Legal (LGL)	8.5 × 14 インチ				
	Ledger (B)	11 × 17 インチ				
	Half-Letter (HLT)	5.5 × 8.5 インチ				
	Government Letter (GLT)	8 × 10.5 インチ				
	Government Legal (GLG)	8.5 × 13 インチ				
	Executive (EXE)	7.3 × 10.5 インチ				
	F4	210 × 330mm				

*1　64g/m2 の用紙をセットした場合の枚数です。

×：不可
−：設定不要

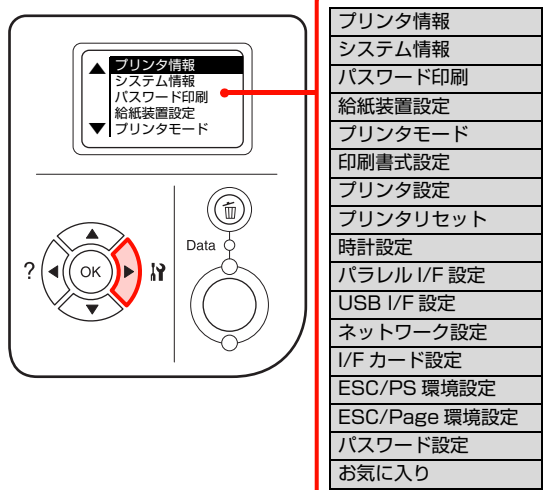
⑤セット方向（↑は給紙方向）	⑥自動両面印刷	⑦トレイ用紙サイズスイッチ	⑧スタッカユニット	⑨操作パネル MP トレイタイプ カセットタイプ *4	⑩プリンタドライバ 用紙サイズ	給紙装置	用紙種類	排紙方向
縦長	○	A3	×	普通紙、印刷済み、レターヘッド、再生紙、色つき	A3	④参照	指定しない、普通紙、印刷済み、レターヘッド、再生紙、色つき	× *5
横長		A4□	○		A4			A4 用紙を横向きに排紙
縦長		パネルで設定			A4			A4 用紙を縦向きに排紙
横長		A5			A5			× *5
縦長		B4	×		B4			
横長		B5	○		B5			
縦長		パネルで設定	×		LGL			
横長		LT	○		LT			
横長	×	パネルで設定	×		A6			
縦長	○				GLG			
縦長					B			
横長			○		HLT			
横長	×				GLT			
横長	○				EXE			
縦長			×		F4			
登録した向き					ユーザー定義サイズ			
縦長				×	長尺紙			
横長	×	はがき	×	−	ハガキ		ハガキ	× *5
横長					往復ハガキ		−	
横長					４連ハガキ			
横長 ※フラップを閉じる	×	パネルで設定	×	−	洋形０号		−	
縦長 ※フラップを閉じる					洋形４号			
縦長 ※フラップを開く					長形３号			
					角形２号			
横長	×	A4□	×	OHP シート	A4		OHP	A4 用紙を横向きに排紙
縦長		パネルで設定			A4			A4 用紙を縦向きに排紙
横長		LT			LT			× *5
横長		A4□	×	ラベル	A4		ラベル	A4 用紙を横向きに排紙
縦長		パネルで設定			A4			A4 用紙を縦向きに排紙
横長		LT			LT			× *5
縦長	○ *2	A3	×	−	A3		指定しない、厚紙、特厚紙	× *5
横長		A4□	○ *3		A4			A4 用紙を横向きに排紙
縦長		パネルで設定			A4			A4 用紙を縦向きに排紙
横長		A5			A5			× *5
横長	×	パネルで設定	×		A6			
縦長	○ *2	B4			B4			
横長		B5	○ *3		B5			
横長		LT			LT			
縦長		パネルで設定	×		LGL			
縦長					B			
横長			○ *3		HLT			
横長	×				GLT			
縦長	○ *2		×		GLG			
横長			○ *3		EXE			
縦長			×		F4			

*2　特厚紙は自動両面印刷に対応していません。
*3　特厚紙はスタッカユニットへの排紙に対応していません。
*4　操作パネルでは［カセット１タイプ］、［カセット2タイプ］、［カセット3タイプ］、［カセット４タイプ］と表示されます。
*5　Windows では［排紙方向］の項目の選択はできますが、機能が有効になるのは A4 のみです。

操作パネル設定項目一覧

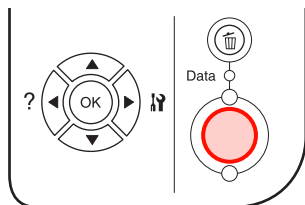
設定手順

1 【▶】ボタンを押してメニューを表示します。

- プリンタ情報
- システム情報
- パスワード印刷
- 給紙装置設定
- プリンタモード
- 印刷書式設定
- プリンタ設定
- プリンタリセット
- 時計設定
- パラレル I/F 設定
- USB I/F 設定
- ネットワーク設定
- I/F カード設定
- ESC/PS 環境設定
- ESC/Page 環境設定
- パスワード設定
- お気に入り

2 項目を選択します。

3 決定または実行します。

さらに選択項目があるときは 2 ～ 3 を繰り返します。

4 【印刷可】ボタンで終了します。

設定項目一覧

- USB 外部機器情報印刷
- ROM モジュール A 情報
- トナー残量 =E******F
- 転写ユニットライフ =E******F
- 定着ユニットライフ =E******F
- メンテナンスユニットライフ= E******F
- 給紙ローラ MP ライフ =E******F
- 給紙ローラ C1 ライフ =E******F
- 給紙ローラ C2 ライフ =E******F
- 給紙ローラ C3 ライフ =E******F
- 給紙ローラ C4 ライフ =E******F
- 延べ印刷枚数

プリンタの使用状況（オプションの装着状況）などにより、常に表示されない項目もあります。
設定項目や使い方の詳細は、詳細は本書 71 ページ「操作パネルの使い方」を参照してください。

索引

A

B

C

E

F

G

H

I

L

M

N

O

R

S

U

W

あ

い

う

え

お

か

き

こ

し

す

せ

そ

つ

て

と

に

ね

の

は

ひ

ふ

へ

ほ

み

め

も

ゆ

よ

ら

り

れ

ろ

わ

複製が禁止されている印刷物について

紙幣、有価証券などをプリンタで印刷すると、その印刷物の使用如何に係わらず、法律に違反し、罰せられます。

（関連法律）

刑法第 148 条、第 149 条、第 162 条

通貨及証券模造取締法第 1 条、第 2 条など

以下の行為は、法律により禁止されています。

- 紙幣、貨幣、政府発行の有価証券、国債証券、地方証券を複製すること（見本印があっても不可）
- 日本国外で流通する紙幣、貨幣、証券類を複製すること
- 政府の模造許可を得ずに未使用郵便切手、郵便はがきなどを複製すること
- 政府発行の印紙、法令などで規定されている証紙類を複製すること

次のものは、複製するにあたり注意が必要です。

- 民間発行の有価証券（株券、手形、小切手など）、定期券、回数券など
- パスポート、免許証、車検証、身分証明書、通行券、食券、切符など

電波障害自主規制について　－注意－

この装置は、情報処理装置等電波障害自主規制協議会（VCCI）の基準に基づくクラス B 情報技術装置です。この装置は、家庭環境で使用することを目的としていますが、この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。取扱説明書に従って正しい取り扱いをしてください。本装置の接続において指定ケーブルを使用しない場合、VCCI ルールの限界値を超えることが考えられますので、必ず指定されたケーブルを使用してください。

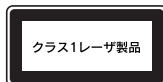
瞬時電圧低下について

本装置は、落雷等による電源の瞬時電圧低下に対し不都合が生じることがあります。電源の瞬時電圧低下対策としては、交流無停電電源装置等を使用されることをお勧めします。（社団法人電子情報技術産業協会（社団法人日本電子工業振興協会）のパーソナルコンピュータの瞬時電圧低下対策ガイドラインに基づく表示）

電源高調波について

この装置は、高調波電流規格 JIS C 61000-3-2 に適合しています。

レーザー製品の表示について

本プリンタは、レーザーの国際規格 IEC60825-1 で定められた、クラス 1 レーザー製品です。識別のため、「クラス 1 レーザ製品」と書かれたラベルを製品に貼付しています。通常使用時には、レーザーは内部にありお客様が被ばくすることはありません。

内部のレーザー放射ユニットについて

本プリンタの内部には、レーザー国際規格 IEC60825-1 で定められた、クラス 3B のレーザーダイオードを内蔵していますが、プリントヘッドのレーザー開口部においてはクラス 1 レベルに制御されています。

最大平均放射パワー：5mW

波長：770 ～ 800nm

レーザー放射ユニットは、内部の見えない場所にあります。指示以外の分解行為は、行わないでください。指示以外の手順による制御や調整は危険なレーザー放射の被ばくをもたらすおそれがあります。

オゾンについて

ページプリンタの印刷原理上、印刷処理中には微量のオゾンが発生します（排気風にオゾン臭を感じることがあります）。印刷中に本機が発生するオゾンは微量であり、通常の作業環境における安全許容値（1.5mg/h）を上回ることはありません。ただし、オゾン濃度はプリンタの設置環境によって変わるため、下記のような条件での使用は避けてください。

- 製品の環境条件外での使用
- 狭い部屋での複数ページプリンタの使用
- 換気が悪い場所での使用
- 上記条件下での長時間連続稼働

長時間印刷時や大量印刷時には、換気をするようにしてください。

エコマーク物質エミッションに関する試験方法について

試験方法

RAL-UZ122：2006

粉塵、オゾン、スチレン、ベンゼンおよび TVOC の放散については、エコマーク No.122「プリンタ Version2」の物質エミッションの放散速度に関する認定基準を満たしています。（トナーは本製品用に推奨しております「LPB3T23」を使用し、印刷を行った場合について、試験方法：RAL-UZ122：2006 の付録 2 に基づき試験を実施しました。）

●エプソンのホームページ http://www.epson.jp
各種製品情報・ドライバー類の提供、サポート案内等のさまざまな情報を満載したエプソンのホームページです。
インターネットFAQ エプソンなら購入後も安心。皆様からのお問い合わせの多い内容をFAQとしてホームページに掲載しております。ぜひご活用ください。
http://www.epson.jp/faq/

●エプソンサービスコールセンター
修理に関するお問い合わせ・出張修理・保守契約のお申し込み先

050-3155-8600 【受付時間】月～金曜日9:00～17:30（祝日、弊社指定休日を除く）

◎上記電話番号をご利用できない場合は、042-511-2949へお問い合わせください。

●修理品送付・持ち込み依頼先 ＊一部対象外機種がございます。詳しくは下記のエプソンのホームページでご確認ください。
お買い上げの販売店様へお持ち込みいただくか、下記修理センターまで送付願います。

拠点名	所在地	TEL
札幌修理センター	〒060-0034 札幌市中央区北4条東1-2-3 札幌フコク生命ビル10F エプソンサービス(株)	011-219-2886
松本修理センター	〒390-1243 松本市神林1563 エプソンサービス(株)	050-3155-7110
東京修理センター	〒191-0012 東京都日野市日野347 エプソンサービス(株)	050-3155-7120
福岡修理センター	〒812-0041 福岡市博多区吉塚8-5-75 初光流通センタービル3F エプソンサービス(株)	050-3155-7130
沖縄修理センター	〒900-0027 那覇市山下町5-21 沖縄通関社ビル2F エプソンサービス(株)	098-852-1420

【受付時間】月曜日～金曜日 9:00～17:30（祝日、弊社指定休日を除く）
＊ 予告なく住所・連絡先等が変更される場合がございますので、ご了承ください。
＊ 修理について詳しくは、エプソンのホームページ http://www.epson.jp/support/ でご確認ください。
◎上記電話番号をご利用できない場合は、下記の電話番号へお問い合わせください。
・松本修理センター：0263-86-7660 ・東京修理センター：042-584-8070 ・福岡修理センター：092-622-8922

●ドアtoドアサービスに関するお問い合わせ先 ＊一部対象外機種がございます。詳しくは下記のエプソンのホームページでご確認ください。
ドアtoドアサービスとはお客様のご希望日に、ご指定の場所へ、指定業者が修理品をお引取りにお伺いし、修理完了後弊社からご自宅へお届けする有償サービスです。＊梱包は業者が行います。

ドアtoドアサービス受付電話 050-3155-7150 【受付時間】月～金曜日9:00～17:30（祝日、弊社指定休日を除く）

◎上記電話番号をご利用できない場合は、0263-86-9995へお問い合わせください。
＊平日の17:30～20:00および、土日、祝日、弊社指定休日の9:00～20:00の電話受付は0263-86-9995（365日受付可）にて日通諏訪支店で代行いたします。＊ドアtoドアサービスについて詳しくは、エプソンのホームページ http://www.epson.jp/support/ でご確認ください。

●エプソンインフォメーションセンター 製品に関するご質問・ご相談に電話でお答えします。

050-3155-8055 【受付時間】月～金曜日9:00～17:30（祝日、弊社指定休日を除く）

◎上記電話番号をご利用できない場合は、042-585-8580へお問い合わせください。

●購入ガイドインフォメーション 製品の購入をお考えになっている方の専用窓口です。製品の機能や仕様など、お気軽にお電話ください。

050-3155-8100 【受付時間】月～金曜日9:00～17:30（祝日、弊社指定休日を除く）

◎上記電話番号をご利用できない場合は、042-585-8444へお問い合わせください。

上記050で始まる電話番号はKDDI株式会社の電話サービスKDDI光ダイレクトを利用しています。
上記電話番号をご利用いただけない場合は、携帯電話またはNTTの固定電話（一般回線）からおかけいただくか、各◎印の電話番号におかけくださいますようお願いいたします。

●ショールーム ＊詳細はホームページでもご確認いただけます。 http://www.epson.jp/showroom/
エプソンスクエア新宿 〒160-8324 東京都新宿区西新宿6-24-1 西新宿三井ビル1F
【開館時間】 月曜日～金曜日 9:30～17:30（祝日、弊社指定休日を除く）

● MyEPSON
エプソン製品をご愛用の方も、お持ちでない方も、エプソンに興味をお持ちの方への会員制情報提供サービスです。お客様にピッタリのおすすめ最新情報をお届けしたり、プリンターをもっと楽しくお使いいただくお手伝いをします。製品購入後のユーザー登録もカンタンです。
さあ、今すぐアクセスして会員登録しよう。

インターネットでアクセス！	http://myepson.jp/

▶ カンタンな質問に答えて会員登録。

● 消耗品のご購入
お近くのエプソン商品取扱店及びエプソンダイレクト（ホームページアドレス http://www.epson.jp/shop/ または通話料無料 0120-545-101）でお買い求めください。（2009年7月現在）

エプソン販売株式会社 〒160-8324 東京都新宿区西新宿6-24-1 西新宿三井ビル24階
セイコーエプソン株式会社 〒392-8502 長野県諏訪市大和3-3-5

ビジネス（LP） 2009. 07

411739900

EPSON LP-S4200/LP-S3500 取扱説明書1 操作編